

DS

845

A45

1878

v.5

East

Asiatic

Studies

Japan. Dajokan

Tokumei zenken taishi

PLEASE DO NOT REMOVE

CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY



Digitized by the Internet Archive
in 2011 with funding from
University of Toronto

持命全權大使

米歐回曉寔記



DS

845

A45

1878

v. 5



太政官
記
錄
掛
刊
行

米歐回覽實記五編

目錄

第五編 歐羅巴大洲ノ部下 附リ歸航日程

第八十二卷 維納^{ウリイン}萬國南覽會見聞ノ記上

叙論

維納「ブラッテル苑」ノ圖 同「ブラーテル苑」ノ圖

萬國博覽會ノ由來

「ブラーテル苑」博覽會場ノ建築

同各國列品櫥ノ配置

各國列品目撃ノ概略

米利堅及ヒ伯爾西^{ブラシール}

英吉利

佛蘭西

瑞士

參目錄

一 丁

二 丁

五 丁

九 丁

一 丁

一 丁

一 丁

一 丁

以太利

一七丁

白耳義及ヒ荷蘭他

一九丁

第八十三卷 維納萬國博覽會見聞ノ記下

日耳曼

二一丁

填地利及ヒ匈加利

二三丁

露西亞

二六丁

噠馬及ヒ瑞典那威

二七丁

希臘埃及「ローマニヤ」及ヒ土耳其等

二八丁

日本

二九丁

美術館並ニ西洋畫術

三〇丁

器械館

三七丁

農業展覽廳舍

三八丁

場内庭苑ノ出店

三九丁

萬國博覽會中堂ノ圖

同日本埃及ヨリ建タル家屋ノ圖

第八十四卷 スイス 瑞士國ノ記 自六月十九日至二十一日

地積人口及ヒ略史

獨佛以語ノ三大部及ヒ政體

山 水 道 路

農 業 產 物

礦 業 製 作

貿 易

人 種 風 俗

バイエロン 拜焉國ヨリ「コンスタンチン湖ヘノ途上

「ローマン埠頭ヨリ「ズリツキ府ヘノ途上

「ズリツキ並ニ大小學校

「ズリツキ府ヨリ「ペロン府ヘノ途上

「ペロン府及ヒ近郊ノ回覽

「ペロン旅館眺望ノ圖 同市街ノ圖

四一丁
四三丁
四六丁
四八丁
四九丁
五一丁
五二丁
五三丁
五四丁
五六丁
五八丁
六〇丁

第八十五卷 瑞士國山水ノ記 自六月廿二日至廿四日

「ペロン府ヨリ」チユン邑ヘノ途上 六三丁

「チユン湖ノ風景」 六四丁

「チユン埠頭ノ圖」 チユン湖風景ノ圖

「インテルラクゲン邑」 六五丁

同圖 「ウインテルセン埠頭ノ圖」

「ブリンスエル湖」ギースホーフ瀑 六七丁

「トラチエ山村」

「ブルニツク山路ヨリ」ブリンスエル湖及ヒ「アヘル運河ヲ望ム圖」

「アルニツク山中ノ景ノ圖」

「アルニツク山中ノ風景」 六九丁

同山村ノ光景ノ圖 「ルンゲルン湖村ノ圖」

「サルノン湖村及ヒ三人獵師ノ説」 七一丁

「サルノン邑ヨリ」スリッキ府ヘ途上ノ山水 七三丁

「ルゼルン府

七四丁

同圖 同湖山ノ景ノ圖

「ウィツナウ埠頭ニ落成セル山ヲ上ル鑛道及ヒ山上

七六丁

同瀛車驛ノ圖 同鑛道ノ圖

同鑛道ニテ谷ヲ越ル圖 同絶頂旅館ノ景ノ圖

「ルゼルン府ヨリ「ペロン府ヘノ歸途

七九丁

第八十六卷 「ペロン」及ヒ「ゼチーヴァ府ノ記

自六月廿五日至七月十五日

「ペロン府ノ小學校並ニ説

八一丁

同博物館及ヒ書庫

八四丁

「ペロン府ヨリ「ゼチーヴァ府ヘノ途上

八五丁

「フライ堡府ノ圖 「シヨン山村古城ノ圖

「ゼチーヴァ湖「ローザン府

八六丁

同湖岸「ヴェヴェー邑ノ圖 「ローザン府埠頭ノ圖

「ゼチーヴァ府 同圖

八七丁

同上水車場

八八丁

「ヒリッ」社ノ時辰儀製作場

八九丁

牢獄

九一丁

「ゼ子ーヴ」郡政廳及ヒ政治ノ大略

九二丁

米英「アラバマ」船疑議ノ審判

九五丁

「ゼ子ーヴ」湖ノ遊覽

九六丁

「ゼ子ーヴ」府ヨリ佛國ヘノ途上

九九丁

第八十七卷 佛國里昂^{リヨン}及ヒ馬耳塞府^{マールセイユ}ノ記 自七月十五日至十八日

「ルボン」驛ヨリ里昂府ヘノ途上

一〇一丁

里昂府並ニ蠶絲ノ説

一〇二丁

蠶病五種ノ説

一〇五丁

生絲改會所

一〇七丁

織絹場

一〇九丁

染絲場

一一〇丁

里昂府ヨリ馬耳塞府ヘノ途上

馬耳塞府

同「ルプレート苑行樹ノ圖」 同燈明臺ノ圖

馬耳塞埠頭 同圖

第八十八卷 西班牙及葡萄牙國ノ略記

南^ノ班^バ牙^{ニヤ}國地積人口及ヒ略史

人種風俗及ヒ國亂ノ由來

地理及ヒ馬^マ德^{トリ}里^リ府^{ツト}バルセロナ港「セザール府等

河水道路

氣候

農牧產物

礦工商業

教育及ヒ教門ノ弊

葡^ポ萄^ト牙^ユ國地積人口及ヒ略史政體

一三六丁	一三三丁	一二七丁	一一七丁	一一四丁	一一二丁	一一一丁
------	------	------	------	------	------	------

地理氣候及ヒ里斯^{リス}奔^{ベン}府

一三八丁

農礦工商ノ業

一四〇丁

人種風俗教育

一四一丁

第八十九卷 歐羅巴洲政俗總論

列國ノ大別小別及ヒ成國ノ原由

一四五丁

民種ノ權義

一四八丁

婚姻ノ權義

一四八丁

言語ノ權義

一五一丁

信教ノ權義

一五四丁

政治ノ分レ及ヒ社會ノ風

一五九丁

第九十卷 歐羅巴洲地理及ヒ運漕總論

歐洲山野ノ分レ

一六五丁

河道及ヒ湖水

一六九丁

陸路貿易ノ要衝

一七二丁

海路貿易ノ要衝

道路ノ關係及ヒ開修ノ法

物貨運搬及ヒ物力ヲ使役スル說

第九十一卷 歐羅巴洲氣候及ヒ農業總論

氣候ノ七原由

化形變形變位ノ別及ヒ農野ノ概論

農耕品

樹藝品

牧畜漁業

肥糞

勸農會社

農學ノ起リ及ヒ農學校

農業博覽會

第九十二卷 歐羅巴洲工業總論

一七六丁	一八七丁	一九〇丁	一九二丁	二〇二丁	二〇五丁	二〇七丁	二〇九丁	二一〇丁	二一三丁
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

工業ト礦利トノ關係

二一五丁

石炭礦

二一六丁

鑛礦

二一八丁

棉毛麻絹紡織

二二〇丁

銅鉛錫及ヒスベテ賤金貴金ノ礦

二二四丁

工業ノ利ハ必需品日用品及ヒ運漕ヲ足ラスニアルヲ

二二八丁

化學術ノ工產物及ヒ石礦

二三一丁

美術品

二三四丁

起作者ト職工トノ關係及ヒ保護ノ主要

二三六丁

專賣免許

二四〇丁

第九十三卷 歐羅巴洲商業總論

歐洲人最モ商業ヲ重ノス

二四三丁

運送ハ商業中ノ最要事

二四六丁

普通貿易別段貿易及ヒ出貨入貨ノ主義

二四八丁

輸出入品ニ未製半製己製ヲ別ツ

十種貿易主要品

二五二丁
二五五丁

十種ノ外ノ貿易主要品

二六〇丁

市場「マーケット」

二六二丁

運漕會社「ドック」及ヒ貸庫

二六四丁

商人集會所「エキステンヂ」ニ「ブルス」

二六六丁

商法會議所「コンメルス」

二六八丁

歸航日程

第九十四卷

地中海航程ノ記 自七月二十日至二十六日

馬耳塞港マレタ

二七一丁

「コルシカ」「サルヂニヤ島」附「ガルバルヂー氏小傳」

二七三丁

那不兒港ナポリ

二七五丁

同所王宮廣達ノ圖 同港ノ全景及ヒ「モンヴェスシオ火山ノ圖」

「エチナ火山及ヒ「メスシナ峽」

二七七丁

英領「マルタ島」ノ砲臺

二七九丁

土耳其國「カンチャ島」

二八一丁

埃及國亞歷山大府

二八三丁

同運河口「ポール・ド・サイド」港回覽

二八四丁

第九十五卷 紅海航程ノ記 自七月廿七日至廿一日

佛人「レッニツ」氏シュウエスカナル蘇士運河ヲ鑿開セシ事

二八九丁

蘇士運河

二九六丁

埃及人ノ風俗ノ圖 蘇士運河口ノ圖

蘇士港 附リ埃及國都「カイロ」ウ府

三〇〇丁

紅海及ヒ西奈山

三〇二丁

「ペーリン」峽ノ砲臺

三〇四丁

第九十六卷 阿剌伯航程ノ記 自八月一日至八日

阿剌伯國及ヒ亞丁港回覽

三〇七丁

熱帶人民ノ怠惰

三一〇丁

亞丁ノ溜水池

三一二丁

印度海ノ飛魚

三七五丁

印度ノ孟買府署記

三一六丁

第九十七卷 錫蘭島ノ觀 自八月九日至十一日

「ポイント・デ・ゴール港

三二一丁

「チャイナ園」ノ「アトミタミピヤール佛藍

三二四丁

「ボーカバット岡上ノ釋迦ノ墓

三二六丁

肉桂園「シナメン・ガーデン」

三二八丁

「ウアツクアールラ園 附リ鱷魚ノヲ

三三〇丁

錫蘭島ノ畧記

三三二丁

英國ヨリ支配ノ政體

人種及ヒ生理ノ概略

產物貿易

第九十八卷 榜葛刺海航程ノ記 自八月十二日至十七日

錫蘭ノ山狀

三三九丁

印度、カルカタ府略記

三四〇丁

附リ日本海上貿易ノ要處ヲ論ス

蘇莫答刺國 シモダラ

三四七丁

同國ノ生理物産

「エッシー」國ト荷蘭陀國トノ交戰

三五〇丁

歐洲人南東洋人ヲ遇スル暴戻ナルヲ論ス

三五三丁

滿刺加海ノ景況 マラツガ

三五六丁

第九十九卷 支那海航程ノ記 自八月十八日至二十六日

滿刺加ノ地理風俗

三五九丁

新嘉坡港ノ產物貿易 シンカポール

三六〇丁

安南國柴混河口ノ廣澤 ナム サイゴン

三六三丁

柴棍府 サイゴン

三六四丁

新隆縣及ヒ天后聖母廟

三六七丁

安南國ノ略説

三六九丁

東京^{トシキ}

交趾^{コウチ}

東捕塞^{カンボチヤ}

眞臘^{ツァンラ}

第百一卷

香港^{ホンゴン}及ヒ

上海^{シャンハイ}ノ記

自八月二十七日至九月十三日

香港島^{ホンゴン}ノ風景

三七五丁

同港ノ起リ及ヒ回覽

三七六丁

香港及ヒ廣東^{カントン}ノ交易並ニ支那古來南海ノ通商論

三七八丁

臺灣島ノ略説

三八一丁

呂宋國^{ロソン}ノ馬尼刺港^{マニラ}略説

三八二丁

揚子江口^{ヤンズーキヤン}ノ景船

三八五丁

上海縣^{シャンハイ}

同

滬城及ヒ城隍廟

三八六丁

支那人ノ風俗

造船場

三八九丁

長崎ノ風景

三九一丁

米歐回覽實記

第五編 歐羅巴大洲ノ部下

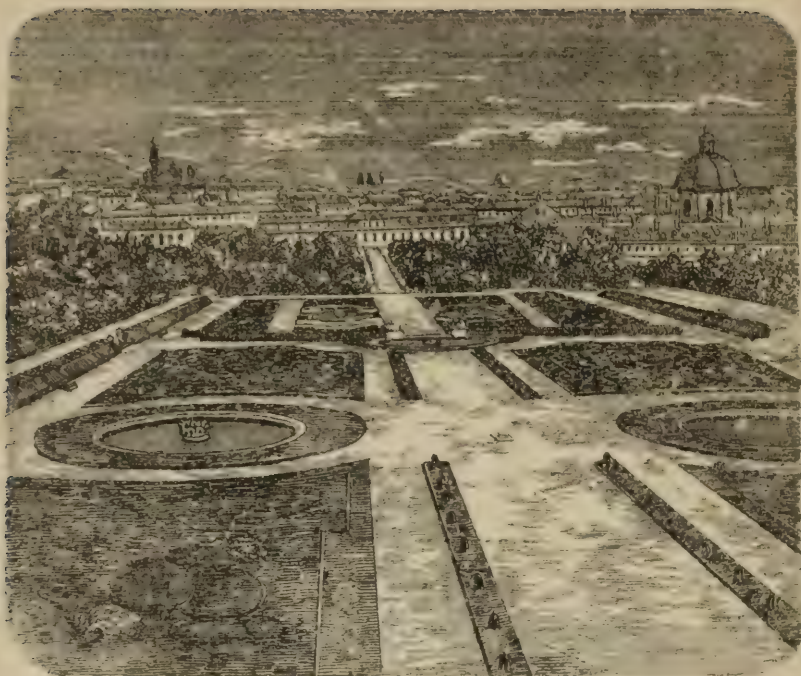
第八十二卷 萬國博覽會見聞ノ記上

歐羅巴洲ノ列國、佛朗西革命ノ機ニ感觸セラレ、民ハ自由ノ理ヲ展ヘ、國ハ立憲ノ體ニ變シテヨリ、爾來星霜僅ニ八十年ヲ經タリ、中ニモ塙國ハ帝威ヲ保續シタレヒ、亦二十年來、己ニ立憲ノ體ニ改メ、露國ノ獨裁モ、十年來ハ、ホゞ民ニ自由ヲ與ヘンヲ圖ル、歐洲ノ文明ハ、此改革ノ深淺ニ源シ、其精華ハ、發シテ、工藝ノ產物トナリ、利源ハ滾々トシテ湧出ス、米、英、佛ヨリ、歐洲ノ野ヲ經歷スルニ、通邑大都ニ、製作ヲ競ヒ、貿易ヲ務メルヲ、晝ハ車輪ノ輶輶タルヲキ、夜ハ炎燄ノ天ヲ焦スヲミル、各都ニ留レハ、製場商會ノ厚意ニテ、ミナ其製作ノ狀ヲ實驗セシメタレヒ、是ハ特ニ千百中ノ一二ニシテ、其國ニ於テ、尤大盛隆ナルモノ、ミ、安ソ全洲製作ノ景況ヲ盡スニ足ラン、幸ニ塙國ニ萬國博覽

會ヲ開クニ逢ヒ其場ニ觀テ昨日ノ目撃ヲ再檢シ未見ノ諸工產ヲ實閱シタルハ此記行ヲ結フニ大ニ力ヲ得タリ夫歐洲列國ノ大小相分ル、英、佛、露、普、墺ノ大國アレハ又白、蘭、薩、瑞、噠ノ小國アリ國民自主ノ生理ニ於テハ大モ畏ルニ足ラス小モ侮ルベカラス英、佛、兩國ノ如キハミナ文明ノ旺スル所ニテ工商兼秀レト白耳義瑞士ノ出品ヲミレハ民ノ自主ヲ遂ケ各良寶ヲ蘊蓄スルヲ大國モ感動セラル普ハ大ニ薩ハ小ナルモ工藝ニ於テハ相讓ラス而シテ露國ノ大ナルモ此等ノ國トハ猶其列ヲ同クスル能ハス墺國ノ列品ヲミレハ勉強シテ文明國ニ列スルヲ得ルニスギス是他ナシ民ニ自主ノ精神乏キニヨルナリ噫此等ノ競ヒハ是太平ノ戰爭ニテ開明ノ世ニ最モ要務ノ事ナレハ深ク注意スヘキモノナリ、

○博覽會ハ「エキスピション」トテ國國ヨリ物產ヲ持集リテ一樓櫺ノ内ニ列シ之ヲ衆人ニ觀セテ各地人民ノ生意土宜工藝及ヒ嗜好風習ヲ知ラシメ一ハ持集リタル人人己ノ物品ヲ衆見ニ供シテ其賣買ノ聲譽ヲ廣メ永久ノ利益ヲ計ルニ便ニシ一ハ他人ノ持集リシ物品ヲ觀テ己ノ及ハサル所以ヲシリ今

ウリ
ン
維納府
フラー
テール
苑



同苑ノ
廣路ノ
行樹
此ニ萬國博覽
會ヲ設ク




ヨリ工夫スヘキ要ヲ考ヘ、諸方ノ嗜好ニ從ヒ、更ニ我生意ヲ廣メスル、目的ヲ達スヘシ、并セテ名士ノ高評ヲ乞ヒ、其注意ヲ受ケ、益其進歩ヲナス津筏ヲ求ムルニ便ニス、故ニ貿易ヲ盛ンニシ、製作ヲ勵マシ、知見ヲ衆ニ廣ムルニハ、切要ナル會場ニテ、國民ノ治安、富強ノ媒助トナス設ケナリ、○西洋各國ニテ、方今工藝ノ精美ニナリシ實效ヲミレハ、其伎倆ハ、幾百年ノ功ヲツミテ、此隆盛ヲナセシヤト疑ハルレモ、實ハ其年尙淺キヲ、萬國博覽ノ盛會ヲ催セルニテ知ラレタリ、歐羅巴洲ニテ此會ヲ設ケシ濫觴ハ、一千七百年ノ初メ、路易第十四世、佛國巴黎府ニ、此ニ似タル會ヲナシタリ、然レモ全備ナル會ハ、今ニ只五回アルマテニテ、今ヲサル二十三年前、一千八百五十一年ニ、今英國女王ノ贅「コー堡國^{アリン}侯^スアルバルト君ノ思考ニ因リテ、倫敦府「バイドパーク」ニ於テ、大玻黎觀ヲ建築シ、五月一日ヨリ、百四十一日ノ間興行セシヲ第一回トス、此時内外國ノ民來觀セシモノ六百餘萬人ニテ、券子ノ價二百十萬餘弗ヲ收メタリ、此時マテ、英國ノ工技ハ、只器械ヲ恃ミ、風致甚タ拙劣ナリシニ、此會ニ因テ、英民始メテ從來ノ鄙陋ヲ覺ヘ、風致顏貌、及ヒ各國ノ嗜好ニ投合スルヲ發明

シ驚クヘキ駿進ヲナシタリ、并セテ他ノ國國モ發覺ノ效驗著シカリシニヨ
 リ、國內ニ此博覽會場ヲ保續セシヲ謀リ、南「ケンシントン」ノ常博覽會ヲ設
 ケタリ、「アルバルト」君ノ偉功ハ、此會ト共ニ、不朽ニ傳ヘテ、稱譽セラル、ニ至
 リヌ。○四年ヲ隔テ、五十五年ニ、佛國巴黎ニテ二百日間ノ會ヲ興行セシニ、當
 時佛國ノ製作ハ、歐洲ヲ目下ニ蔑視シタリシニ、英國ノ工術、前會ノ感動ニヨ
 リ、佛國風ヲ脱シテ、別ニ面目ヲ開クモノ多キニヨリ、佛國人民モ、更ニ努力セ
 サルヘカラサルヲ目然ニ著意シタリキ、其後六十二年ニ、倫敦ニテ再興行
 シ、六十七年ニ、巴黎ニテ又二百十七日ノ間興行セリ、此時ハ最モ盛大ノ會ニ
 テ、來觀ノモノ八百餘萬人、券子ノ價百九十萬弗ヲ收メタリ、是即チ慶應三年
 ニアタリ、我日本ヨリモ、舊幕府、鹿兒島、佐賀ノ諸藩ヨリ、物產ヲ持渡リテ列品
 シタリ、此巴黎再度ノ會マテハ、會場ニ於テ雌雄ヲ爭フハ、英佛ノ兩國ニテ、英
 ハ進歩ノ効ヲス、メ、佛ハ聲譽ヲ落サ、ラント勵ミタレト、英國ノ工産ハ、年
 年ニ増シ、佛國ノ工産ハ、年年ニ減スル勢ナレハ、佛人大ニ奮發シ、一時ノ贏輸
 ニ安ンセス、器術博覽館、工藝ノ諸學ヲ、振起創立シタリ、巴黎府「コンゴルト」苑

ノ常博覽會「コンセルワトワル」ノ器械博覽館ノ類是ナリ、其後各國モ靡然トシテ英佛ノ同軌ニイデ、皆此館校ヲ設ケテ、方今ニ至リ益備ハルニ從ヒ、歐洲ノ工藝貿易、ミナ萬民ニ奮勵心ヲ感發セシメ、年ヲ逐フテ隆盛ニ赴キシモ十五、乃至二十年間ノ「ニスギザルナリ」○巴黎再度ノ會ニアタリ、填ノ國本ハ始メテ定マリ、人民ヤ、自由ノ精神ヲ遂ケ、心ヲ生理ニ注意スルノ機會トナリタレハ、此度填國ノ人民、英佛ノ踵ヲツキテ、博覽會ヲ興行セ、^ソヲ企起セシニ、填帝深ク其意ヲ嘉尙シ大ニ助力ヲナシ、去ル七十年ノ五月ニ、政府ヨリ免許ヲ下シ、バロン・シワルツ・センホルヒ氏ヲ總裁ニ選舉シ、歐洲諸國ハ言ニ及ハス、細、弗、米洲ノ諸國ニモ報知シテ會ニ列品セン^ソヲ乞ヘリ、已ニ我一行ノ未タ發程セサル以前ヨリ、日本ニ於テモ、列品ノ用意ニトリカヘリ、本年五月一日ニ至リ、皇帝臨幸アリテ、開院ノ式ヲ舉行シ、各國ヨリ各廊ヲ分占シテ、諸物品ヲ陳列シ、本月ニ至リテ、大約整ヒタリ、

○博覽會場ハ、維納ノ東北ナル「プラーテル偕樂苑」ニ於テ大圓堂、長廊榭ヲ建起ス、此「プラーテル苑」ノ地タル^{ダニフ}多腦河ノ中洲ニ位シ、全洲ハ五方英里餘平坦ノ

場所ナリ、此ニ細草ヲ播蒔シ、樹木ヲ植エ、中ニハ茶亭酒店等アリ、景色ヲ清淨ニ修メ、府中ノ遊樂地トナシ、府ノ東邊ヲ中樞トシ、三條ノ斜線ヲ日脚狀ニ劃シ、大路ヲ開ク、兩側ニ「ボースチエストナット」櫓ニ似テ緑陰愛スヘキ樹ナリ樹ヲウエ、毎條坦平、遠キニ連リ髮ノ如シ、其壯美ナルヲ、佛國巴黎ノ「パーテブロン」ニ比スヘキ勝地ナリ、今度其正中ニ於テ、會場ノ地域ヲ相シ、堂榭ヲ建築セリ、○其堂榭ハ、圓堂ヲ中心ニ建テ、其左右ニ、廊榭スヘテ十六座ヲ並ヘ、長廊榭ヲ以テ、其中央ヲ串連ス、下狀ヲ高ク敷釘シ、上字ヲ高朗ニ葺ク、前ニ廣苑ヲ存シ、匝スニ長廊ヲ以テシ、六ヶ所ニ門ヲ設ケテ、人ヲ往來セシム、圓堂ノ正面ナル南門ヲ正門トシ、是ヨリ「カイゼルアル」ヲ開ク、(即チ皇帝臨幸ノ正路ナリ)、其左右ニハ細草甃ヲ學ビ、明沙雪ヲ欺ク、兩個ノ甃池アリ、水鳥ヲ放チ、中央ヨリ水ヲ跳ラセ、高サ五六丈ノ上ニ噴騰ス、堂榭ノ左右背後ニ於テハ、種種ノ廡舎ヲ建列シテ、其不足ヲ補ヒ、中間ニハ、各國ヨリ、其國ノ建築風ニヨリテ、茶亭酒店遊樂ノ舍場ヲ設ケ、其土俗ノ如クニ生理ヲナス、宛トシテ地球上ヲ縮メテ、此一苑ノ内ニ入レタル思ヒヲナス、是此場ノ梗概ナリ、○中央圓堂ノ造構ハ實ニ絶大ノ建

築ニテ、來觀ノ人ヲシテ、落膽セシムルニ足ル、往年倫敦ノ圓堂ハ、其經百六十
「フィート」ニ築キシモ、人ヲ驚カシタリ、羅馬「セントピートル」寺ノ圓堂ハ、其經百
餘「フィート」ナルモ、亦絶大ト稱ス、然ルニ此度ノ堂構ハ、其圓經二百五十「フィート」
高サ三百七十「フィート」即經四十二間ノ圓堂ヲ其高 鎔鐵ヲ編テ間架トナシ、飛
蓋均ク張リ、彫棟高ク竊リ、渾淪混沌タリ、其間ノ文窓網戸ハ、玻璃ヲ嵌シ、上頂
ニ結ヘル中心ニハ、壞帝ノ寶冠ヲ摸刻シテ、寶珠ニカヘ、國旗ヲ其頭ニ舉ク、之
ヲ望メハ、盡トシテ雲ニ入り、渺渺タリ、是ヨリ虛櫺三層ニテ、下ノ圓蓋ニ至ル、
闌縫ノ密ナルハ、重學ノ蘊ヲツクシ、鑲邊ノ精ナルハ、工匠ノ術ヲ極ム、周圍ニ
各國ノ國旗ヲ建テ、五彩風ニ飄ル、是ヲ會場ノ中點トナセリ、○圓堂ノ四周ハ、
長サ六百七十「フィート」我百十幅サ八十「フィート」ノ廊榭ヲ圍ミ、 狀ヲナシ、而テ
其同長同幅ノ廊榭ヲ各七座ツ、建テ、其正中ヲ貫クニ、同幅ニテ長サ二千七
百九十「フィート」ノ長廊榭我四百八十間餘 ヲ以テシ、其狀ハ  橢形ヲナセリ、
各廊榭ノ間ハ平均ニ庭ヲ存シ、以テ各國ノ列品ヲ分布ス、此堂榭ノ總面積ヲ
算スレハ、殆ト我十一町歩ノ廣サニ及フ、此廊榭ヲ一周廻スルモ、我二里二町ノ

路程ヲ歩スルニ同シ、區區ニ寶アリ、步步ニ珍アリ、一武一睇シテ去ルトキハ
 終日ナルモ、其幾分ヲカ見ルヘキ、其壯大ノ盛會ナルヲ想像スヘシ、是ヲ本廊
 樹トス、○埃國ニテ此堂樹ヲ築クハジメ、以謂ク各國ノ列品夥多シキモ、是ニ
 テ餘裕アルヘシト、思ヒノ外ニ、各國ノ列品多クシテ、本廊樹ノ内ノミニテ容
 ル、ニ足ラス、皆其庭ヘ廊字ヲ新ニ建出シ、遂ニ全廊無庭ノ屋トナリ、長サ二
 千七百九十「フィート」、幅六百七十「フィート」ノ一大廊樹トナリテ、衆珍羣奇ヲ充物
 シタリ、試ミニ之ヲ算スルニ、總積我五萬千六百十五步（即チ十七町步）ノ場屋ナ
 リ、而テ此外ニモ、器械列品ヲ陳列スル爲メニ、二字ノ廊舎ヲ建ツ、其廣サ兩字
 ヲ合セテ、一萬坪ニ及フヘシ、東方ノ空地ニ於テハ、本廊樹ト一町許ヲ離シテ
 幅サ五百「フィート」、長サ六百「フィート」ノ煉化石屋ヲ建築シ、美術館トス、本廊ヨ
 リ長廊ヲ綴リテ、此ニ往クニ便ニス、其東ニハ牛馬諸畜ノ展覽場アリ、花卉、草
 木ノ展覽場アリ、其間ニハ、各國ヨリ旗亭、茶店、或ハ國風ノ屋ヲ建テ、雜品ヲ賣
 ルアリ、一周日ヲ徧クシテ、場中ヲ回ルモ、其一斑ヲミルニスキサルナリ、○場
 内ニ入ルニハ、博覽掛ヨリ券子ヲ出スヲ買受ケル法ニテ、其手合セニテ、各門

ヲ入ル、フ諸觀場ニ同シ其券子ハ兩様アリ全會通用スルモノハ一枚ニ付價百「フロレン」ヲ收ム婦人ハ其半價ヲ收ム一周日ハ男女ヲ問ハズ五「フロレン」日ニ出入スルモノハ門ニテ一「フロレン」ヲ拂フテ入ル日曜日ニハ半「フロレン」

○博覽會場ニ於テ堂榭廨舍ノ配置ハ已ニ前ニ記述セルカ如シ其本廊榭ノ内ニ於テ各國ヨリ分占シテ其物品ヲ陳列セル區別ハ長廊ノ西入口ヨリ東ニ向ヒテ數フル左ノ如シ、

西方ノ入口ヨリ圓堂ニ向ヒテ進行スレハ各座ノ橫廊南北ニ橫ハリ回覽スルモノ入テ又出ツ其國國ハ、

西第一座 其南ハ米利堅合衆國ノ北部其北ハ同南部并テ 伯爾西國、
フラジル

西第二座 英國

西第三座 其南ハ葡萄牙^{ポルトガル}西班牙^{スペイン}兩國其北ハ英國各附屬地ヨリノ物品ヲ陳

列ス

西第四座 佛國

西第五座 其南一半ハ^{スイス}瑞士國其一半及ヒ北ハ佛國ノ各附屬地ヨリノ物ヲ

陳列ス

西第六座 以太利國、

西第七座 其南ハ^{ベルヂユム}白耳義國其北ハ^{ホルランド}荷蘭佗國、

西第八座 圓堂ノ背ナル一座マテ、日耳曼聯邦ヨリ陳列シ、圓堂ノ内ニマテ
及ヘリ

圓堂内 其前ナル一座マテ塙國維納ノ列品ナリ

東第一座第二座第三座ミナ塙國聯邦、

東第四座 ^{ホシガリ}匈牙利國

東第五座 其南ハ露西亞國其北ハ^{デンマルク}噠馬國、

東第六座 其南ハ露西亞國其北ハ^{スイデンノルウェー}瑞典那威聯邦、

東第七座 其南ハ希臘及ヒ露西亞國其北ハ支那^{ロマンニヤ}羅馬尼波斯、

東第八座 其南ハ土耳其國其北ハ日本國、

是其大略ナリ、列品後ニ至リ、廊榭ニテ足ラス、庭ニ向ヒテ建出シ、或ハ他國ノ

有餘ヲ折シテ之ヲ分占セルアリ我一行ノ逗留セシ頃ハ正ニ建築中ナルアリ或ハ陳列ヲ更正セルアリ米國ノ如キハ廊榭ノ不足ナルヨリ論議ヲ生シテ或ハ荷物ヲ引返シタルモアリ龐然タル大堂榭ヲ建テ其狹隘ナルトテ口角ヲ生スルハ世界ノ工作日日ニ盛ナルヲ實ニ意料ノ外ニ出タリ、各國列品ノ夥多シキ之ヲ睹ルモ目力給セス之ヲ評スルモ精力屈ス華然タル光輝ニ心ヲ奪ハレ精緻ナル妙工ニ神ヲ耗ス或ハ巨大ノ工ニ落膽シ或ハ神奇ノ機ニ驚愕ス細少ノ一物モ價萬金ナルアリ素素タル龐品ニ奇思ヲ寄せタルアリ之ヲ要スルニ衆邦ノ億兆其精神ヲ鍾メタル英華ヲ擢テ、此内ニ陳列シタレハ物トシテ珍ナラサルハナク奇ナラサルハナシ而シテ五萬歩ノ廣キニ充物シタレハ我輩ノヨク目睹ヲ遂タルハ曾テ百分ノ一二ニモ及ヘルヤ他日博覽會派出ノ諸官ニテ記載アルヘシ此ニ只特ニ目ヲ矚セル一二ヲ略舉セン、

○米國ハ事故ニヨリテ列品不整ナリ新約克レミトン氏ノ小銃ヲ出ス今ニテハ新トスルニ足ラス此國器械ノ製作ハ世界獨歩ト自負ス自ラ奇奇妙妙ノ

モノヲ見掛タレトモ、未タ此國ノ精華トスルニハ足ラサルヘシ、南部ヨリ棉花、烟草、麻類ヲ多ク列セリ、其内ニ養蠶ノ雛形、及ヒ黃白各種ノ繭ト、生絲トヲ出シタルヲミル、米國ノ南部ニテ、近年此業ヲ創起シタリトノ評説ハ、確トシテ信スベシ、是ヲシテ後日ニカノ棉烟ノ如ク、米國ヨリ產出セシメハ、世界五十ノ者ハ、ミナ帛ヲキルヘキニ至ラン、但シ該國ハ、備價其タ貴ケレハ、其繭絲ノ價、過分ニ下落セハ、產出スルトモ不利ナルニモ至ランカ、東洋蠶桑ノ利ヲウケタル諸國、注意スヘキ事ナリ、

○アラシ伯爾西國

西國ノ出品ハ、其工技ノ風、大抵歐洲ノ範圍ニテ、其技藝ハ、未タ十分ノ地位ニ至ラス、半開ノ狀ヲアラハセリ、一區ニ木材ノ見本、數百種列ス、此國ノ中部ニハ、長林千里、溫熱兩帶ニ亘リテ、其涯畔ヲ充ムルヲ得ズト稱スレハ、世界ノ林虞ヲ守ル國ト謂フヘキ地ナルヲ以テ、其林中ニ、嘉木ノ夥多シキヲモ知ラレタリ、又此國ノ南部、熱帶地ノ產ト覺ヘテ、種種眩爛ナル光彩ヲ具シタル鳥羽、或ハ蟲蛾ヲ乾燥シテ、剪綵花ヲ製シタルヲ出シ、觀者ニ賣與ヘタリ、歐洲ニナキ珍物ナリ

○英國ノ列品人ハ思ヒノ外ニ少シ多クハ曩日ニ其諸都府ヲ回リ一見セシ諸
製作會社ヨリノ出品ナレハ故人ニ逢フタル心地セリ羅紗諸毛布棉絲棉布
線^{レース}縋^スゴム細工等ミナ回覽ノ各卷ニ詳記シタレハ此ニ啖^ハ啖^ハヲ要セス此諸品
及ヒ皮革ノ鞠美ナルヲ他ニ類ヲミス特ニ獨^ハ步^ハナルハ鐵工ナリ^{ヒツファイル}舌非力ノ鋼
物中ニ徑一丈五六尺ニモ及フヘキ大鋸輪ヲ出ス益此府ノ鋼物ハ世ニ價ア
ルヲヲシルナリ抑鋼鐵ノ諸器ハ百工ノ本資ニテ工ノ其事ヲ善セントス必
ス先ツ其器ヲ利ス此ニ鋼刃ノ梗概ヲ述ヘン凡西洋ニテ職工ノ道具ハ或ハ
車ニ仕掛ケ或ハ人手ニテ扱フ其類各殊ニテ皆其便利ト堅剛トヲ極ム外科
道具^{ハサミ}鋏^{ハサミ}剪刀^{ハサミ}小刀ノ如キ種種ニ奇工ヲ出ス匠工ノ用フル道具ニハ輪鋸帶鋸
線鋸尋常鋸ノ別アリ輪鋸トハ中軸アリテ旋轉シ其周緣ニ鋸齒ヲキリタレ
ハ木材之ニ觸レ手ニ應シテ兩截トナル帶鋸トハ環帶ノ如クシテ兩端ヲ輪
軸ニテ張ル輪回ニ從ヒ其帶モ急ニ升降シ木材之ニ觸レテ截レル凡幅甚タ
廣キモノハ此鋸ヲ用フ線鋸ハ帶鋸ノ如キアリ弓弦ノ如キアリ皆針大ノ織
條ニ鋸齒ヲキリ是ニテ寄木細工唐草其他ノ彫眼工ヲナス尋常ノ鋸モ手ニ

テ推スアリ、足ニテ機ヲ踏ムアリ、輪ニテ上下スルアリ、或ハ此理ニヨリテ刀
 刃ヲモ運用ス、元來刀刃ノ物ヲキルハ、凹凸カトテ、其刃ニ細微ナル鋸齒ヲナ
 スニヨル、故ニ鋸ト同様ノ仕掛ニテ用フヘシ、只甚大ノ力ヲ加フヘカラサル
 ナリ、鉋ニモ種種アリ、輪鉋アリ、尋常板ヲ削ルハ之ヲ用フ、盤旋鉋アリ、圓緣繩
 木等ノ圓形ノモノヲ作ル、轆轤鉋アリテ、圓面ヲ斲ス、又柱、額緣卓箱、ナトニ、方
 圓種種ノ高低ヲ以テ、模様ヲナスニ用フルハ、其鉋刃ノ面ニ、屈曲凹凸ヲナス、
 歐洲各國、ミナ工業ヲ勸奨シ、其器械ヲ利スルヲ務メサルハナシ、中ニモ薩
 撒波希米白耳義及ヒ瑞士ノ山中ニハ、鐵冶多シ、以テ英佛ノ都ニモ出店ス、惟
 英國ノ舌非力ハ、殊ニ鋼細工ニ高名ナル地ナリ、○「ストツクトン」ノ「ミントン」社
 ヨリ出セル、陶器ハ殊ニ美ナリ、己ニ彼國ノ記、其他北明翰ノ玻瓈細工、金、銀、銅
 ノ細工等、甚タ美ナリ、倫敦ノ出品モ亦夥多シク、出色モノ甚タ多シ、○屬國ノ
 部中ニハ、三年前ニ豪斯多刺利洲ヨリ掘出シタルトテ、大金碗ヲ出ス、重サ十
 八貫目、又九貫目ノ一、碗ヲ出ス、世界ニ數アル尤物ナルヘシ、又二尺四方、高サ
 五尺ニ及フ、鹽岩ヲ出ス

○佛國ノ工藝ハ、夙ニ歐洲ヲ雄視セリ、方今各國ミナ進歩ヲ競フ中ニモ、殊ニ全
場中ノ精華ヲ著シタリ、陶器「エフラン」ノ兩枝ハ、愈出テ愈精ナリ、銅ノ鑄物ハ、
技巧ノ美ナル、光澤ノ麗シキ、獨其妙ヲ擅ニス、婦人ノ帽ニ飾ル剪綵花ニハ、金
銀珠玉ヲ鑲鏤シ、華然爛然トシテ、場中ニ春ヲナセリ、毛布麻布ノ諸織物ハ、精
緻ニシテ輕細ナルヲ、他國ノ及ハサル所タリ、織絹ノ技ニ至リテハ、只以太利
アリ、其匹トナルノミ、獨逸ノ諸國ハ、遂ニ一等ヲ輸サ、ルヲ得ス、煙斗泥ニテ
烟管ヲ製シ、煉石ニテ入齒、及ヒ嵌睛イレメヲ造リ、ミナ天然ヲ欺ク、巴黎府ノ賽寶石マカヒ
社ヨリ出シタル、各種ノ賽寶石ハ、殆ト天然ヲ欺ク、中ニ徑三寸ノ金剛石ヲ出
セルハ、觀者ヲシテ一怪愕ヲ費サシメタリ、真金剛石徑三寸ユ及フハ、金銀ヲ
鍍シタル器皿モ、亦其長スル所ナリ、支那ノ七寶、日本ノ象眼ヲ巧ミニ摸セリ、
玻黎ノ諸細工中ニモ、鏡ハ聞ヘタル名產タリ、佛國ノ鏡ハ、周縁ニ玻黎ヲ裝フ、
其中ニ幅五尺、高サ丈二三尺ノ大鏡ヘ、玻黎片水銀ヲ塗リタル鏡ニ用フル片ヲ以テ、草花ノ
模様ヲ鑲メタルハ、最モ美ニ、價一萬二千「フランク」ニス、グト云、其他凸鏡、凹鏡
ノ類、ミナ精ナリ、寄木ノ細工モ、施工輕靡ナリ、扇子、粧飾具、香奩、風流ノ諸品、外

科道具、玩要ノ品ニ至ルマテ、人ヲシテ目ヲ刮テ觀セシム、工精ニ質潤ヒ、善ク人ノ嗜好ニ投シ、且店夥ミセモノノ觀客ヲ款接スル甚タ伶利ニ交際ニヨキヲ以テ、此場ニ於テモ殊ニ賣高多ク、利益ヲ受ケタルトナリ、凡佛國ノ物品ハ、英國トハ其趣キ異ナリ、英ハ質ヲ貫フヘシ、價貴キモ久シキニタユ、佛ハ工ヲ買フヘシ、價廉ニシテ顔貌甚々潤華ナリ、

○西班牙、葡萄牙ハ、出品未タ備ハラズ、詳覽ヲ闕タリ、

○瑞西國ハ、元來工藝ノ國ニテ、平地各國ノ技術、進歩スルニ從ヒ、益其技、工ヲ精細ノ實ニ導ク、是ニアラサレハ、富庶ノ目的ヲ達スルニ足ラサレハナリ、セ子一ヴイ、ペロン」ノ諸府ヨリ、時計ノ出品多シ、此國ノ名産ナリ、歐洲各國ニ、時計ノ入用ハ實ニ驚ク程ニ莫大ナリ、倫敦、巴黎、其他ノ各都ミナ製セサルナシ、荷蘭佗人ノ節儉ナルモ、每室ニ必ス置時計コック一ヲスヘタルニテ、推考スヘシ、然レモ是ミナ置時計、掛時計等、用工猶廉ナルモノニテ、其價モ廉ニ、賣レ高甚々廣大ナリ、各國ミナ製作ス、袂時計ナツヂノ細工ニ至リテハ、竟ニ瑞西ノ專利ニテ、其技工モ益進ム、各國ノ製場ミナ壓セラレタルヲ免レス、然レモ一見ノ際ニハ、美惡

ノ細評ニ及ヒ難シ、之ニ亞スル技工ハ、樂器ノ諸工ナリ、一箇ノ金籠アリ、中ニ細禽ヲ造リタリ、彈力仕掛ニテ、此禽翼ヲ振ヒ、嘴ヲ動カシ、玲瓏啁囀スルヲ、其聲音、顔貌、動作、宛トシテ活ルカ如シ、是モ「オールゴール」ノ一類ニテ、其工ハ天然ヲ欺クト謂フヘシ、木棉ヲ紡シテ、纖細ノ絲ヲナスニ長ス、歐洲ニテ甚タ聲譽ヲ得タリ、又棉絲ニテ、軟輕ナル縮木棉ヲ織ルヲ、近年ニ發明シ、又評判ヨシ、麥藁細工、寄木細工、ヨセキ及ヒ木材ノ彫刻ヲ多ク出セリ、又瑞士諸郡ノ圖ヲ張ル、是ハ此國ノ發明ニテ、山嶺ヲ平面ニ寫シテ、其高低ノ狀ヲ、陰陽ノ隈取ニヨリ、宛トシテ空中ヨリ俯瞰スルカ如クナラシメル圖法ナリ、

○以太利國人ノ機工ナル「ハ」佛國モ或ハ一步ヲ讓ルヘシ、兩國ノ工技ハ、其趣ヲ異ニス、曾テ以國佛羅稜府^{フロレンス}ノ陶器店ニテ、花瓶ヲ購ヒシキ、店主曰ク、是ハ佛國ノ陶ナリトテ、其方形ノ取柄^{トリエ}ヲ指シ、以太利人ハ、如此ノ新奇ナル思想ヲナサストイヒ、更ニ自國ノ陶器ヨリ擇マンヲ望ミタリ、凡佛人ハ、奢靡ニシテ風致ヲ尙ヒ、新奇ナルヲ悅フ、以人ハ美麗ヲ好ミ、諸物穩當ニテ、自然ナルヲ尙フ、是兩國技工ノ異ナリ、以太利ヨリ出ス陶器ハ、不透明ニシテ、上代ノ古拙ナ

ルヲ摸スルニ妙ヲ得タリ「モザイカル」(即チ雜綴石)ノ細工モ、此國古代ヨリノ傳ニテ、羅馬ニテハ、細小ノ嵌鑲ヲナシ、佛羅稜ニテハ、務メテ石材ヲ截小セスシテ、諸花紋ヲ鑲ス、ミナ人目ヲ矚シタル精技ナリ、琥珀織リ、縐子、天鵝絨、紋絹等、諸絹織ハ、佛國ト伎倆ヲ爭ヒ、兼テ棉布、毛布、綿^レ縐^スニ及フ、米^ミ蘭^{ラン}ノ出品尤多シ、那不兒^{ナアブル}ノ珊瑚細工「フェチシャ」ノ玻瓈細工、細細里ノ硫磺細工等ハ、一種無類ノ產物ナリ、貝細工ハ、地中海濱ノ產ニテ、佛國ト工ヲ競フ、第一ニ彫石ノ偶像ハ、此國獨歩ノ技ニテ、雅藝ノ館内ニハ、陳列整ハサレ、本廊ニ陳列セルモノ、常ニ看客ノ步ヲ留メシメタリ、魚ヲ提ケ嬉遊スル小兒、麥袋ヲ踏テ立タル小兒、半成シタル彫像ヲ瞻矚シ工夫ヲコラス童子、眼鏡ヲカケ氣車ノ雛形ヲ造ル像、小兒ヲ傳^{モリ}スル小女假泣スル像等アリ、精神活動シテ、情態面貌ニ溢レタルハ、實ニ彫刻ノ妙奧ヲキハメタリト、謂ヘシ、

○白耳義ハ、礪利ニヨリテ富ヲオコセル國ニテ、其工藝モ、平地ノ諸國ニテハ、第一等ナルヘシ、其技工ハ早ク歐洲ニ聲價ヲ得タリ、全國ノ土質層疊圖、礪坑ヲ堀ル器械、礪内ノ圖、安全燈ノ新發明ナトアリ、鐵、石炭ノ見本及ヒ明礪ノ大塊

ヲ堆積ス、麻、亞麻、其他諸織緯質ノ艸ニテ、種種ノ工ヲナス、中ニモ線縹ノ織法ニ精緻ヲキハメタルハ、評判高シ、棉絲、棉布ノ紡織、玻璃、陶器ミナ宜シ、製鐵ノ諸器、鑄銅ノ工、麥、葉細工、烟艸ノ製造、皮革ノ細工、毛布ノ諸種ヲ出ス、此國ハ農牧ヲ勉メテ、工藝ヲ勵マシ、内ニ充テ、外ニ波及ス、目的實著ニシテ、華靡ニ驚セサレハ、回覽ノ目ニハ、美麗ナラサレ、其國民ノ良技ニ於テハ、文明ノ大國モ感動サル、ニ至ル、凡ソ廊中ニ入テ、此國ノ物品ヲミル中ニ、國民ノ精神、自ラ振興ノ氣象ヲアラハセルヲ覺ヘタリ、

○荷蘭佗國ハ、特技多シ、金剛石ヲ磨琢スル、棉麻ノ諸布ヲ晒白スル、生蠟ヲ晒白スルハ、他國ノ及フ能ハサル所ナリ、然レ、市場内回覽ノ目ニハ、著シカラス、藥水釀酒ノ罎子ヲ盛ンニ出ス、亦外貌ヲミテ品スヘキモノニ非ス、陶器ハ劣質ニカ、ハル、只此國ニテ人目ヲ驚セシハ、漆器類ナリ、歐洲ニ漆ナシ、東西印度ヨリ輸入スル「ヴェニシ」「ゴム」、其他木脂ノ液ヲ乾性油ニテ煉リ、獸骨炭ヲ和シ、黑漆ヲ製シテ塗ル、其質弱ク、光澤ニ乏シケレ、日光ニ因テ其色ヲ變セサル利アリ、歐洲各國ミナ之ヲ漆ニ代用ス、此節ハ蘭人其漆液ニツキテ、更ニ工夫ヲソ

へ、日本ノ漆細工ヲ模造シタリ、其一二ハ青貝細工ニテ、蘭人得意ノ光射畫樣ヲ用ヒ「モザイク」法ニヨリ、黒漆ヲ地塗ニシ、各彩ノ具ヲ嵌シ、月夜都府ノ景、月夜海上燈臺ノ景ナドヲ畫キシハ、其巧妙ナルヲ人ヲシテ嗟嘆已マサラシメタリ、又日本ノ高蒔繪、屏風ノ蒔繪板ナドモ出品セリ、

第八十三卷 萬國博覽會見聞ノ記下

○日耳曼ハ二十五邦ノ出品ヲ物品ノ部分ニテ陳列シ、并テ圓堂ノ内ニモ陳子
タレハ、其數夥シク、覽觀ニ疲ル、ホドナリ、中ニモ伯林ハ、大都會ナレハ、出品
殊ニ精華ナリ、絹織ハ、天鵝絨「ゴフラン」ノ織法多ク、染色華ニ紋理縝ナルヲ、佛
以兩國トハ、別機軸ナリ、然レモ竟ニ彼ニハ及ハサルヘシ、毛織モノ、絹ヲ欺
クアリ、木棉ハ「タン子ルボルヒ會社」ノ製作甚タ多ケレモ、圓堂ニ出シタル「ア
ルサス」^{地名}ノ紡織ハ、歐洲第一ノ譽ヲ得タリ、但此地ハ、近年佛國ヨリ裂取タル
部分ナレハ、獨逸ノ名譽ニハアラサルナリ、剪綵花ノ細工甚タ美ナリ、佛國ノ
剪綵花ハ工ニ長ス、日耳曼ハ眞ニ似ルニ妙ナリ、又生花ヲ藥水ニテ乾カシ、色
澤ヲ保ツ方ヲ發明シタリ、陶器ハ伯林ヨリ、經二尺ノ圓キ机板、花瓶、水壺、偶像
等ヲ出ス、佛國ト特角スルニ足ル、シレセン州ハ、普國ノ工藝地ニテ、殊ニ玻璃
ノ美質ヲ出ス、又玻璃及ヒ黃銅ニテ、諸器物、遠鏡、眼鏡、分析ニ用フル諸器ヲ製
スルハ、此國ノ長技ニカ、ル、圓堂ノ前ニ於テ、煉火石ニテ小屋ヲ庭中ニタツ、

各色ノ瓦種彫刻ノ瓦ヲ以テ檐壁ニ模様ヲ疊ミ出シ、或ハ欄干ヲ粧ヒ、甃池
 ヲ砌シ、家什ヲ飾リ、竈突ヲ作ル、凡歐米ノ諸國ハ、煉火石ニ精ヲ求メサルナケ
 レヒ、伯林ノ製造ハ、特ニ精良ナリ、又新工夫ノ煖爐ストーブアリ、陶瓦ニテ壁面ニ塗上
 ルモノナリ、燃料少ク、溫度平和ナルヲ、鑲製ノ及フ所ニアラス、伯林府中ハ多
 リ、伯林、及ヒ諸都府ヨリ出セル布帛、皮革、帽子、手套、象牙細工、烟斗、泥ノ烟管、木
 細工、傘、鞭、要玩ノ具ニ至ルマテ、精粗大小枚舉シ難シ、學術器械、化學ノ產物ハ、
 此國殊ニ多カリキ、○拜焉國ハ、西方ノ薩撒ナリ、陶器ノスカシ、畫細工、玻璃、銅
 ノ鑄物、及ヒ絹織、絹絲ヲ出ス、蠶桑ノ利ハ此國ニモ興セル歟、毛織、及ヒ木材ノ
 諸工モ亦長ス、三角尺、匠工ノ細工道具、エム製ノ外科道具等ヲ見掛タリ、○薩
 撒國夙ニ工藝ヲ以テ富ヲ起シ、工民ノ數ハ、農民ニ過ルト云國ナレハ、出品モ
 亦多ク、殊ニ紡織、印刷、及ヒ製鐵ノ名所ニテ、是ニカ、ル器械多シ、木棉、メリヤ
 ス「ミナ名品ナリ、トレスデン」ノ烟草モ名高シ、「マイツセン」ノ陶器ハ、高サ五尺ノ
 花瓶ル首トシ、出品多シ、伯林ト美ヲ競フ、其他寄木細工、象牙ノ彫物、電氣器械、
 「メリヤス」器械ナトヲ見掛タリ、○ウルテンホルヒ國ノ出品ハ、聯邦麻布ノ部

ニ多ク其標記ヲミル、又木細工ノ置時計、掛時計ニ、奇工ノモノアリシハ、
國ノ出品ナリト覺ヘタリ、其他旱堡府ノ晴雨計、「オ、グス堡」ノ大工道具、「ホン
ニ」ノ寒暖計、「ノレン」ボルヒ「ポフロンテン」等ノ圖引道具、「ステッチン」ノ顔料ナ
ト、各區各域ニ出品夥シ、藥種、藥液、顔料、賽金粉、香料、石鹼、外科道具、分析器械
ナト、一一ニ枚舉シ難シ、畧一瞥シ過タルノミ、

○壤地利國ハ、自國ノ會ナレハ、出品ノ夥多シキ、數廊ヲ兼ヌ、第一圓堂ノ内ハ、大

半此國ノ出品ナリ、カイセルマーチ正路ヨリ入レハ、入口ニ羅綾錦繡綢緞諸絨ヲ出ス、獨逸綺

縹ノ伎倆ニテ、百彩光華ヲキハメ、爛漫トシテ、春ヲナス、又毛織ニシテ其美ハ

絹ヲ欺クモアリ、圓堂ニ至レハ、愴恍トシテ回覽ノ心ヲ散漫シ、只其堂構ノ宏

大ニ驚ク、此内ニハ出色ノ品甚タ多カリキ、象牙ニテ小塔ヲ作タルアリ、其大

ナルハ長サ一丈ニ及フアリ、以テ柱トシ堂尖トス、又幅一丈ニ高サ二丈ニア

マル玻璃板アリ、石筆、石版ニ便利ヲキハメタルアリ、銅器、金銀器、所謂ル獨逸

「メタール」ト名ク、白銅ノ細工、盡ク美ヲ競フ、内ニ鑲金ノ花瓶ニ、薔花ヲ玻璃ニ

テ細工シ、纏繞セシメタルハ、殊ニ人目ヲ屬シヌ、左ノ廊ニ向ヘハ、維納ノ名産、

草ノ「モザイク」アリ、是ハ熟韋ヲ截拔キ、其中ニ色々ノ草、或ハ玻璃板、陶板ヲキ
 リ、種種ノ花紋ヲ嵌鑲シ、箱ノ蓋、或ハ書籍ノ標紙ナドニ用フ、美麗ノ品ナリ、玻
 珀、瑪瑙、眞ニ賽スヘシ、凡寶石ハ、人造ニテハ成リ難キ所アルモノナレト、琥珀
 ニ限リ、天然人造ヲ辨シ難キヲ以テ、今ハ價ヲ失ヒシトナリ、文明ノ進ムニ從
 ヒ、他ノ寶石モ價ヲ失ヒシモノ更ニアルヘシ、玻璃ハ東第一廊ノ右半座ヲ專
 ニス、高名ナル波希^{ダヘミヤ}米州ヨリ出シタル蠟燭立ハ、鍍金ノ銅ニテ、叢枝ヲ造リ、之
 ニ三層五層ニ玻璃球ヲ環列シ、下ニ三稜玻璃ノ短冊ナトヲ、貫珠ノ如クカケ
 タレハ、七色眩耀シテ、人目ヲ射ル、此等ヲ首トシテ、杯、碗、皿、鉢、瓶、壺、水盛瓶、床飾
 ナドヲ雜陳セシハ、水晶ノ中ヲスギル思ヒヲナセリ、剪綵花ハ、日耳曼ト工ヲ
 競ヒ、ミナ眞ヲ欺ク、博覽會總裁「バロン」シワルツセンホルグ氏ノ出セル、薄キ
 牛皮ニテ造レル花、又「キルク」ヲ薄クナシテ造レル花アリ、寄木細工ニモ美麗
 ノ品アリ、「モラヒヤ州」ニ烟斗泥ヲ出ス、維納人ハ以テ烟管ヲ製ス、其工ハ日耳
 曼ニ匹スヘシ、一管五百弗ニ及フアリ、元來烟斗泥ハ「メールシャム」ト名ク、泡石
 ノ類ニテ「シリケット」^六「マク子シヤ」^三ノ合成ニテ、黑海ノ濱、或ハ山嶺中ヨリモ

出ル、雪白ノ化石ナリ、其性熱ヲ引クニ鈍シ、之ヲ煉テ烟管ヲ製スルハ、伯林ノ
專技ナリシニ、今ハ塙佛ノ諸國モ、其工ヲヨクスルヲニナリタリト云、入齒ノ
細工モ、此泥ニテ煉成スルモノ歟、皮革ノ諸工、羅紗絨毯ノ織物、及ヒ紙ノ製造
ミナ美ナリ、一區ニハ礦山學校ヨリ、地質ニカ、ル繪圖ヲ出ス、全國地質土宜
ヲ詳查セル圖ナトハ、諸學士ノ多少精神ヲ碎キテ取立テ、此節始テ成就セシ
トナリ、山ヲ摸截シタル圖ニハ、地ノ層疊ヲ示シ、或ハ石炭脈ヲ示ス圖等、詳明
ヲキハム、之ヲ要スルニ、普塙ノ政ハ兄弟ナリ、其製作ノ風ミナ同流ニテ、綺縟
華麗ヲ主トス、伯林ハ維納ト相匹シ、波希米ハ薩撒ト相匹シ、「モラヒア」ハ「シレ
セン」ト相匹ス、然レモ塙國華侈ノ風ハ、到底一籌ヲ贏スカ如シ、故ニ其物品モ
亦奢靡ナリ、此國ハ舊キ名國ニテ、門閥ノ華胄多キヲ以テ、夙ニ此風ヲ浸淫セ
ル久シキニヨルナリ、故ニ佛以ノ兩國、器用ヲ同クスレモ、一ハ富ミ、一ハ貧ナ
リ、普塙ノ兩國工藝ヲ同クスレモ、一ハ強一ハ弱ナリ、國勢富強ハ民ノ精神ニ
カ、ハル工藝ノ美惡ハ、民ノ嗜好ニカ、ハル、白耳義、噠馬、瑞典ノ如キ、人目ヲ眩耀
スル物品ナキモ、富強ノ實ハ他ニ超セリ、

○匈牙利國ノ出品ニハ、華麗ノ物品少シ、羅紗毛布ノ類、皮革ノ種種ヲ出ス、頗ル
 良好ナリ、礦山ノ諸業ハ、最モ觀ルヘキモノ多シ、又、礦石類ノ内ニ「オルバー」ト
 云一種ノ水晶ヲ出ス、是ハ此國「シュフニー」ヨリ出ルモノニテ、世界ノ内、只此一
 个所ノ産ナリト云、地質學、及ヒ礦業ニカ、ル地圖器械モ詳密ナリ、銅鐵ノ鑄
 物ナトハ、出色ノ品ナルヘシ、此國ハ、奧國ト反シテ、人氣ナ水素朴ニ、工藝モ未
 開ナレハ、毛布家什ノ必需品ニモ、目ヲ矚スヘキモノ少シ、

○露西亞國ノ出品ハ、甚タ多キカ内ニモ、政治、學術、農礦ノ業ニカ、ル物品多ク、
 華麗ノ物ハ、概シテ佛、以、普、奧ノ美麗ニ及フ能ハズ、猶農産ニテ利益ヲ受ル部
 分タルヲ免レサレヒ、學術ノ進歩ヲ表スヘキモノ多シ、人身解剖ノ圖、或ハ之
 ヲ蠟細工ニシ、硫酸石炭^{ギブス}ニテ模造セル等、醫科ニカ、ル諸像アリ、寫真ノ術ニ
 巧ミニ、大小ノ彩影ヲ多ク列シ、地圖ノ取立ニモ一種ノ發明アリテ、是モ陳列
 タリ、其他理化、礦ノ學科ニカ、ル器械雛形、農學ニカ、ル種種ノ模造物アリ、
 ミナ檢覽スレハ學識ヲ長シ、裨益少カラズ、其衣食住ニカ、ル工産ハ、麻ノ質
 精良ニシテ、往往ニ絹絲ヲ欺ク、麻布モ亦堅韌ニシテ美ナリ、英ト相伯仲スヘ

シ、羅紗モ善良ナレヒ、其美ハ未タ英、佛、獨逸ノ産ニ及ハサルヘシ、聖彼得堡府
ノ陶ハ圓臺ノ卓、大花瓶、長サ三尺徑二尺四寸ノ平額面ニ、油繪ヲ焼付タル等、
隨分伯林ニオトラマ精品アリ、又磁製ノ剪綵花ナトハ、紙絹等ヲ以テ作リタ
ルニ彷彿タリ、名物孔雀石ノ細工ハ、此國ノ特品ニテ、大ハ花瓶水鉢ヲ造リ、小
ハ種種ノ粧飾具ヲ造リ、或ハ掘出シタルマヽニテ出シ、或ハ切テ板トナシ、薄
キヲ紙片ノ如キモアリ、其他大理石ノ細工ニテ、諸果ヲ造リタルハ、眞ヲ欺ク
工技ナリ、製鐵ヨリ出タル諸工ハ、此本廊ニモ、器械廨舍ニモ甚タ多シ、露國ノ
出品ヲミレハ、自然ニ注意著實ナル中ニ、華美ヲ含ミ、鬱勃トシテ振勵ノ氣象
アリ、歐羅巴ノ精華、今ハ己ニ爛漫ノ候ニテ、露國獨リ芳ヲ含ミテ、未タ開カザ
ルモノヽ如シ、將來永ク世界中ニ畏ルヘキ大國ナリ、

○噠馬國ノ列品ハ、甚タ少ク、且ツ人目ヲ矚スヘキモノナシ、「グリーインランド」ニ
出ス大理石、其他ノ大石材ナドハ、頗ル珍重スヘシ、匠工ノ鋼具、鎗鉋ノ類、頗ル
堅良ナリ、

○瑞典、那威ヨリモ出品少シ、曾テ「ストックホルム」ニアルキ、此國ノ人民、此展覽會

ニ於テ、甚タ注意ヲ加ヘサルヲ以テ、國王ヨリ勸勉シ、金ヲ出シ助力セルヲ以テ、頗ル出品ノ用意ヲ致スニ至レリト聞ケリ、蓋北方ノ諸國ハ、埃國ト隔絶シ、平生交易盛ナラサルヲ以テ、人民競ハサルナルヘシ、此國ヨリノ出品ニハ、名物ノ鑛類多シ、瑞典ノ鑛ハ其精良ナルヲ歐洲ニ最タリ、引火鑛ノ製作ハ、藥法ノ取合セニ發明アリ、且其材木ヲ此國特生ノ産ニテ製スルニヨリ、世ニ普ク利ヲシキタリ、此外ニ其材木ト藥液トヲ備ヘテ陳ス、其他冶鑛鑄鑛ノ器多シ、スカシ彫ノ陶器ヲ出ス、此國ノ陶器ハ、歐洲ニテ中等ニ屬ス

○希蠟國ヨリハ、古代ノ石像ヲ多ク出ス、鑛石、及ヒ諸石材ヲ陳子、木材ノ見本等アリ、工産ニ乏シ、此廊ヨリ以後ハ、列國ノ物品、ミナ歐羅巴諸國ト觀ヲ異ニス、歐人ニ於テハ反テ目ヲ屬スルモノ多シ、是工藝華麗ノ中ニ生長シ、耳目自ラ慣習トナリテ、他ノ異ナル物品ヲ愛スルハ、猶美衣食ニ飽キタルモノ、鹹辛苦澁ノ珍味ヲ賞スルカ如シ、東西洋交易ノ利ハ、此ニヨリテ生スル所ナリ、

○埃及「ローマニヤ」ノ兩國ハ、甚タ目ヲ屬セサリキ、波斯國ヨリ數物ヲ多ク出ス、支那ノ物品ハ、其優美ナルモノニアラス、七寶塗ノ蒔繪甚タ多シ、歐洲ノ人、ミ

ナ爭フテ之ヲ摸スレ_レ及ハスト云、土耳其國ノ出品甚タ多ケ_レ_レ、曾テ出色ノ物品ナシ、其競フ所ハ多キニアリテ、其精美ナルニ注意セサルカ如シ、何加利以西ノ諸國ハ、其列品ミナ開化ヲサル遠シ、

○我日本國ノ出品ハ、此會ニテ殊ニ衆人ヨリ聲譽ヲ得タリ、是其一ハ其歐洲ト趣向ヲ異ニシテ、物品ミナ彼邦人ノ眼ニ珍異ナルニヨル、其二ハ近傍ノ諸國ニ、ミナ出色ノ品少キニヨル、其三ハ近年日本ノ評判歐洲ニ高キニヨル、其内ニテ工產物ハ、陶器ノ譽_レ高シ、其質ノ堅牢ニシテ、製作ノ巨大ナルニヨル、ミ、火度ノ吟味、顏料ノ取合、畫法ノ研究等、ミナ門戸ヲモ窺フニ足ラス、絹帛ノ類モ、其絲質ノ美ナルノミ、織綜ノ法、多クハ不均ニシテ、染法ハ僅ニ植物ノ假色ニテナルヲ以テ、光澤ノ潤ヒナシ、漆器ハ、日本ノ特技ナレハ、評判高シ、銅器ノ工モ精美ヲ欠ケ_レ、七寶塗、鑲嵌細工ハ、大ニ賞美セラル、工技ナリ、畫樣ハ西洋ト別種ニテ、花鳥ノ如キハ、風致多シトテ贊美スレ_レ、人物ノ畫ニ至リテハ、或ハ俳優ノ粉飾ヲ摸シ、陋醜ノ面目、人ヲシテ背ニ汗セシム、寄木細工モ評判ナレ_レ、接合ノ際ニ術ヲ盡サス、漆ノ功ヲ恃ムノミ、歐洲ニテ此技工ヲナセ

ルヲ一見シテ、更ニ發明スル所アラハ、一ノ國產トナルヘシ、麥麥細工モ亦評判アレヒ、元來價アルモノトハ看認スシテ雜作シタル物ユヘ、早ク損スルヲ如何セン、染革ノ製作ハ、反テ劇賞ヲ受ケタリ、是或ハ歐人ノ未タ知ラサル秘蘊ヲ漏セルカ、紙ト麻桌トハ看官ノ目ヲ驚カセリ、紙ハ材料抄法、共ニ別法ナレハナリ、越後桌皮ノ白質ニシテ光輝ナル、西洋人之ヲミテ、絨絹ノ織物トナサンヲ思付タルモノアリト、楮皮モ亦大ニ貴重セラレタリ、油繪ノ如キハ曾テ歐洲ノ兒童ニモ及ハス、本色ノ書法、反テ價ヲ有セリ、

○本廊ノ觀畢リ、此ニ美術ノ展覽館ヲ略記セン、

美術展覽ハ、即チ書ト石像トノ展覽ナリ、此二藝ハ、西洋ニテ雅藝ノ一部ニテ、上等ノ士君子モ亦執心シ學フ、猶我邦ノ文人學士、書畫篆刻ヲ學フカ如シ、此展覽場ハ本廊ノ東ニ於テ、煉火石ヲ以テ建築シ、室内ノ裝置モ、格別清潔ニシテ、左右ノ園ニハ細艸ヲ植エ、水池ヲ甃シ、跳水ノ設ナトアリテ、風景ヲ裝フ、此技ニ執心ノ人ハ、此ニ來リテ摸寫ヲナシテモヨロシ、抑西洋ノ畫ニ數品アリ、鉛筆畫、銅筆畫、石板畫、綱板畫、油畫ノ五類ニテ、油繪最モ貴價ヲ有ス、○鉛筆

畫ハ假ノ畫圖ニテ、凡畫ヲ學フニハ是ヨリ學ヒ入ル、藏畫館ノ内ニ入テ、妙畫ノ圖ヲ寫シ取り、或ハ石像ノ形貌ヲ摸寫シ歸ルモノハ、鉛筆ヲ執テ寫スヘシ、故ニ名手ノ畫キシ鉛筆畫ハ、之ヲ保存シテ珍重スレトモ、此場ノ展覽ニハ之ヲミス、鋼筆畫ハ、文字用ノ鋼筆ヲ執テ畫ヲ寫セルモノニテ、是モ畫家ノ本領ニハアラス、故アリテ鋼筆ヲトリテ、略形ヲ畫キテ其位置ノ按排ヲ示スヘナトアリ、其筆力反テ神理アリ、力量ヲミルニ足ルヨリ、反テ此一流ノ畫ヲ玩フヘアリ、猶我邦ノ墨畫ニ比スヘシ、然レモ雜畫ノ一ナレハ、展覽ナトニハ出スヘ少シ、○石板畫ハ、千八百○二年、拜焉國人ノ發明ニテ、世ニ廣マリシヘ、三十五六年間ノヘナリ、現今日本ニモ多ク舶來シテ、市肆ナトニ販賣スルモ、多クハ石板畫ナリ、此畫ハ三種アリ、一ハ墨畫ナリ、一ハ水彩色トテ、薄ク彩色ヲナセルモノナリ、ミナ其價甚タ廉ニシテ、名人ノ妙畫ヲ蓄フヘ得ルユヘ、世ニ流布甚タ廣ケレハ、其圖取りヲミルマテニテ、畫手ノ筆力精神ニ至リテハ、板ニ上セテ印刷スヘカラス、是其美ナルモ價ナキ所ナリ、今一種油摺ノ石板畫アリ、是ハ石版畫ニ、油繪具ヲ以テ彩色セルモノニテ、宛トシテ油繪ニ彷彿

佛タリ、獨逸地方ニハ此畫甚タ流行ス、此繪ハ紙面ニ油ヲヒキ、光澤アルヲ以
 テ、扁額ヲ作ルニ、玻璃板ヲ蓋フヲ要セス、酷タ油繪ヲ欺ケル筆力ノ妙ナキヲ
 以テ賤價ニ屬ス、○銅板或ハ鋼板ニ刻スルモ、其針ヲ用フルニ、自然運筆ノ妙
 ヲ具スルヲ他ノ彫刻ニ異ナルナシ、鋼板畫ハ、獨逸人尤モ此技ニ長ス、是ハ硬
 堅ナル金類ニ刻スルユヘ、善ク精細ナル技倆ヲ達シ難シ、細點ノ大小ヲ以テ、
 陰陽ヲ現ハシ、近クミレハ點點組織ヲナセルモノ、遠ク離ルレハ景狀宛然ト
 シテ浮ミ出ル、此ヲ鋼板ノ法トセシニ、近年益其工技ヲス、メ、銅板ヨリハ更
 ニ一層緻密精美ノ畫ヲナスニ至レリ、當時更ニ種種ノ發明アリテ、寫眞ノ術
 ヲ以テ、藥水ニテ直ニ物ノ形貌ヲ銅板ニ刻スル術モ流行ス、○又一種ノ畫ア
 リ、白紙ノ面ヘ、至テ淡ナル墨ニテ、隅取リヲナシテ、陰陽ノ加減ニヨリ、紙上ニ
 自然ト人物ヲ隆起シ、遠ク望メハ、白石ニテ刻シタル像ヲオキタルカ如ク、人
 目ニ映射セシメル畫ナリ、荷蘭陀、ハンボルク早堡邊ノ地方ニテ、多ク之ヲミタリ、此邊ニ
 最モ行ハル畫ナルニヤ、○油繪ノ内ニ一アリ、一ハ古今名畫ノ寫シナリ、各國ノ
 都府ニ取建タル、寶庫畫閣ノ内ニハ、古今高名ノ畫ヲ、無數ニ貯藏シテ、券子ヲ

賣テ衆ニ觀ス、凡男女ノ畫ヲ善クスルモノ、其内ニ入リテ摸寫ヲナス、此寫シ
畫ハ、古來高名ナル畫ヲ、其圖ノ如ク摸寫ヲナシタルモノニテ、圖取按排ヨリ、
其形容情境、ミナ眞ニ異ナラサレハ、數萬金ニテ得難キ畫モ、直ニ各家ニ購得
ルヘシ、然レモ畫工ノ手ヲ異ニセルヲ以テ、筆力精神ヲ并セテ、寫取ルヘガラ
ス、且名手モ摸寫ニ臨ムルハ、其精神束縛セラレテ、平生ノ伎倆ヲ出ス能ハス、
反テ其自製ノ畫ニ劣ルモノナリ、此類ヲ臨寫ノ油繪トス、價稍賤シ、其一ハ眞
ニ其畫師ノ精神ヨリ打點シテ製セル油繪ナリ、元來歐洲ノ畫法ハ、全ク寫生
ヲ主トシ、眞景眞貌ヲ寫出シ、法ヲ天然ニトルモノニテ、山水風景ヲ寫スニモ、
虛構ノ圖取ヲナスコナシ、必ス其地ニ就テ、實景ヲ視テ、雲、霧、陰、晴、朝、暮、四季、雨、
雪ノ變化ヲ熟覽シ、其佳境ヲ撰ミ、心ニ得テ畫ニ顯ハス、是ヲ以テ其人ノ精神
活動シ、其地ノ佳境ト、畫家ノ氣韻ト、畫面ニ露レ、無限ノ意味アリ、又人ノ肉身
動物ノ形貌ヲ寫スニハ、其人物ノ骨格、風品、意態、精神、景況、一モ眞ヲ失ハサル
ヲ要ス、是名匠ノ苦心スル所ナリ、故ニ油繪ノ精妙ナルニ至テハ、一面數萬金
ヲ廉ナリトシ、其拙劣ナルニ至リテハ、同圖、同彩、同大ニテモ、百金ニ上ラスト

云、○故ニ西洋ノ油繪ヲ鑒識スルヲ甚タ難ク、此美術ノ展覽場ヲ回リテモ、之ヲ品評スルニ膚淺ノ見ヲ以テシ難シ、山水園林ノ景ヲミレハ、是某國某所ノ景ニテ、或ハ曉、或ハ雨後ノ景ナルヲ見定メ、其山狀、水態、草木榮枯ノ模様ヨリ、人物ノ精神、喜怒、靜燥ノ趣、雲色、天氣ニ至ルマテ、其眞ヲ失ハスシテ、更ニ其筆力飛舞活動ノ工致ヲ兼子、初メテ全シ、我邦ニテ支那ノ山貌ヲ畫ク法ヲ以テ、日本ノ山ヲ寫シ、薩摩ノ馬ニ、廣東ノ人ヲ騎セシメテモ、其筆力ヲ以テ稱セラルト同シカラス、曾テ謂フ、世界ノ上ハ、一碧ノ青天ヲ仰ケル、其雲色ハ國ニヨリテ同シカラス、何地ニモ山聳エ水流ルレル、山皴ハ各國ニ同シカラス、水色モ亦異ナリ、水色ノイ英國ノ高蘭及ヒ瑞士ニミユ況ヤ人物艸木ハ、地ニヨリテ氣稟ヲ異ニス、畫家ノ學問、博ク究メ厚ク察セサレハ、笑ヲ大方ニトルナリ、

此場内へ出品ノ油繪、其最モ多キハ、埃地利ト日耳曼ノ兩國ナリ、此兩國ノ畫風、ミナ同一派ニテ、多ク華麗ニシテ、筆ヲ用フル繁縟ナルニ長所アリ、之ニアシテ多カリシハ、佛朗西、以太利ノ兩國ナリ、此兩國ノ人最モ畫ニ長シ、其畫法モ相類スル内ニ、佛國ノ畫ハ、活潑ニテ落想奇拔ナリ、筆ヲ殺キテ筆外ニ意想

ヲ生シ、圖取ニ才思ヲミル、此國ヨリハ陶器ヲ并セテ、此場ニ出品ス、陶面ニ油
畫ヲ描キ、燒付ル術ニ秀ツ、是佛國「セーブル」ノ名技ニテ、一枚萬金ニ及フモノ
アリ、光澤玲瓏トシテ、別種ノ美觀ナリ、又油繪ノ内ニ芝居ノ圖ヲ出ス、全面ニ
ハ劇場ノ舞臺ヲ圖セルノミ、其前ニ一老夫アリ、帽ヲ取テ口上ヲ演スル狀ヲ
圖ス、其人活ルカ如ク、觀臺ヲ離レテ浮動シタルヲ、頓ニ之ヲミレハ、畫額ノ前
ニ、眞ニ老夫ノ立タルカト疑ヘリ、以太利人ハ筆熟シ工敏ニシテ、穩當沈著セ
ルニ妙アリ、能ク自然ノ精神ヲ寫出シテ、活動ス愈看テ愈味アリ、○英米ノ兩
國ヨリハ、出品甚タ多カラス、荷蘭陀ヨリハ頗ル出品アリ、殊ニ光線映射ノ法
ニ巧ミナリ、白耳義ハ油繪ノ名所ニテ、出品モ多ク、人目ヲ屬セシメルモノ少
カラス、白耳義ノ人ハ、氣象佛國ニ似タリ、其技藝モ亦相類ス、
石像ハ白大理石ヲ以テ、人物ノ肉身ヲ彫刻シ、少シモ彩色ヲ要セスシテ、精神
活動シ、直ニ其人ニ接スル思ヒヲナサシム、是其苦心ノ所ナリ、全ク畫法ト其
意致ヲ同クス、以太利人殊ニ此技ニ長ス、本廊ノ内ニ、其精技ノ品六七箇ヲ列
シタリシニ、此場ニモ猶藁包ニテ輸シ入レタルマ、ニ抛弄シ、陳列未タ整備

○此ヨリ北ニ回リ出レハ、器械ヲ陳列セル廐舎ニ至ル、其前ニ多惱河^{タナハ}ニ浮ヘル
蒸氣船離形ヲ出ス、廐舎ニ入レハ、最東ノ區ニ、露西亞ヨリノ出品アリ、農業器
械、水車、風車ノ輪軸、殊ニ夥多シ、前ナル庭ニハ大小ノ鐘ヲ出ス、其大ナルハ徑
七八尺ニ及フモノアリ、次ノ區ニハ、匈加利國ノ出品ナリ、此國ハ礦山ノ利ニ
富ミ、冶鐵ノ業盛ナル所ニテ、頗ル出品モ多ケレト、塙國ノ部ト混雜シテ、辨別
シ難カリキ、塙國ハ其次ニ引續キテ出品ス、其數最モ夥多シ、組絲器械、綜取器
械、大幅ノ「レース」ヲ織ル器械、及ヒ乘車、瀛車等アリ、中ニ人目ヲ驚カセシハ、印
刷器械ニテ、活字ノ植付ヨリ始マリテ、器械ノ内ニテ、遞ニエヲ傳ヘ、終ニハ新
聞紙トナリ、適宜ニ折リテ吐出スマテ、一器ノ運動ニテ辨スル、巧妙ナル器械
ヲ出シ、運動ヲナシテ示セリ、其次ハ日耳曼ヨリノ出品ニテ、農業器械モ頗ル
多ク、水灌キ器械ナト、種種ノ工ヲキハム、巴丁國ノ出品モ、普魯士ニ亞セリ、最
多キハ薩撒國ヨリ出セル器械ナリ、伯林ノ出品中ニ、「ハリンク社ヨリ出セル、
織物器械ナトハ、殊ニ巨大ナル部ニテ、巧妙ヲ覺ヘヌ」「エッセン」ノ「クロッフ民ガ出

セル千磅ノ大砲ハ、場外ニ別宇ヲ建テ、此中ニ出セリ、此會ニテ第一ノ巨砲ナリ、露國ノ大砲ハ、未タ出品ニ至ラサリシ、白耳義國モ製鐵ニ名高キ國ナレハ、國ノ割ニハ出品多シ、織棉ノ器械ヲ尤大ノ物トス、以太利出品ノ内ニハ、織物ノ器械多シ、「ヂャーコップリッテル社」ト題シタル大織機ヲ出シ、場中ニテ運動ヲナシ、織婦ヲシテ繰業セシメテ衆ニ示ス、佛國ノ出品中ニテ尤大ナルモノハ、紡織器械ト、材木製造ノ器械ナリ、英國ノ出品ハ、十分ニ至ラス、大抵諸郡ノ製造場ヨリ出セルモノニテ、材木製造ノ器ニ、利用ノモノ多カリシ、凡製鐵ノ盛ナル國國ハ、此場ニテ推知セラル、英國、佛國、白耳義、又奧地利國中ニ於テハ、匈牙利、波希米、維納、日耳曼中ニ於テハ、普國、薩撒國、巴丁國、其他ハ、露西亞國ヨリ、鐵具ヲ出セルヲ枚舉シ難シ、瑞典モ製鐵盛ナル國ナレトモ、甚タ少シ、何區ニ出品セルヤモ心付カサリシホトナリ、米國ハ別ニ一字ノ厩舎ヲ設ケ、未タ開場ニ及ハサリキ、○歐洲ノ工藝ニ秀テタルハ、元來其器械ノ利ナルニヨル、利器ヲ製スルハ、鐵治ノ業ヲ盛大ニスルニアリ、一根ノ椎ト、一基ノ金敷トノ前ニ坐シ、小橐龠ノ火ヲ煽シ、冶鐵ヲナスハ、僅ニ爪甲ノ勞ヲ補助スルニスキス、其

開化ノ度ヲ距ル甚タ遠シ、此場ヲ回覽スルニ、小ハ掘ニモミタス、大ハ數丈ハ專ニスルモ、各其利便ト妙工トヲ具シテ或ハ數十百人ノ力ヲ合セ、或ハ一指ノ力ヲ數十百ニ平分ス、其妙ハ運動ニアラサレハ知リ難シ、一瞥シテ過ルハ、空手ニシテ崑岡ヲ下ルノ思ヒテナセルナリ、

本廊ト器械場トノ間ニ於テ、東西ニ二字ノ解舍ヲ建テ、農業ノ展覽解舍アリ、東解ハ亦露國ヨリ起ル、露國ニハ大麻、亞麻、諸穀、木材、諸果物、諸酒、烟艸、漬果、蠶絲、蠟燭、木棉、羊毛等ヲ出シテ、一廊ニ充塞ス、壤地利國ノ出品中ニハ、泥炭、木皮、細工、果子、製造沙糖、海棉ノ出品ナド、露國ノナキ所ナリ、烟草、木棉ノ二種ヲミス、日耳曼ノ出品中ニテ、特別ニ心付キタルハ、稈穗ト「チッソー」穀、羅紗ヲホカ多シ、他ハ壤ト略同シ、

西ノ解舍ハ、以太利ヨリ起リ、佛國、英國ニ終ル、他ノ諸國ハ、分區碎小ニテ、回覽ニ違アラス、大抵各國ノ陳列スル諸品、略相同シ、其詳細ノ檢査ハ、一旦ノ及フ所ニアラス、以太利ニ烟草ヲ見當ラサルハ、一ノ疑欸ナリ、羅馬酒ト、麻、絹、棉、ノ三絲トニ富メリ、佛國ノ出品多キ中ニ「チヨコレート」ノ製造ハ、三會社ヨリ出品

アリ、曹達水ノ器械、及ヒ瓶、農耕ノ具等ヲ備ヘタリ、英國ノ種物ハ「ウレツチン邑」ト「キリストル、バレイス」及ヒ他ノ一所ヨリノ出品ニカハル、外ニ「ビスコイト」ノ製作、及ヒ農耕ノ器械ヲ備ヘテ出品セリ、

展覽ノ諸品ハ、略此ニ盡ク、此場内庭苑ノ景況ヲ略述スヘシ、
本廊ノ南方ナル庭苑ニ於テハ、其造構清潔ヲキハメ、草艸ニ樹茂シ、綠色陰森ナル内ニ、各國ヨリ旗亭茶店ヲ張り、各其國ノ風俗ニヨリ、店丁店婦ヲシテ、休憩ノ客ニ接待セシメ、種種ノ雅趣アリ、瑞典ヨリハ、其北部ノ屋造ニテ、其地ノ衣服ヲ著セタルハ、氷中ナラスシテ寒帶「エスキモース」ノ人家ヲ過ルナリ、南門ノ東ナル森林中ニハ、米利堅ヨリ黑人ノ居住ニ擬シ、大ナル「テント」ヲ張テ、黑人ニ酒茶ヲ賣ラシメルハ、炎熱ナラサルニ、熱帶ノ地ヲ遊フ思ヒヲナセリ、美術館ノ前ナル庭中ニ於テハ、波斯、埃及、及ヒ日本ヨリ市肆ヲ出ス、埃及ニテハ、其國古代ヨリノ建築法ニテ、王宮ノ模寫ヲ建テ、此頃マテハ、猶建築七分ノ成就ナリキ、埃及ノ建築法ハ、屋宇ヲ圓形ニ葺キ、結構ノ趣キ、歐羅巴ノ風ト同シカラス、其背後ニハ、日本ヨリ神宮ノ模寫ヲ取建テ、日本風ノ園池ヲ修メ、石

塔石橋ナトヲオキ、其前ニ檜杉ノ材ニテ、古京葺ノ廨舎ヲ建テ、市肆トナシテ、種種ノ小貨ヲ賣ル、其評判甚タ高ク、日本大工ノ技術ニ敏練ナルハ、填帝モ大ニ賞賚シ、杉材ハ歐洲人ノ始メテミルモノ、ミナ香木ト稱シテ、鉋屑ヲ乞フテ去ルモノ多シ、日日ニ其店ニツキテ、物ヲ買フモノ、蟻集シ、雜沓絶ヘス、此ニテ賣出シタルハ、絹帛ノ小切レ、團扇、扇子、漆器、陶器、銅器ナリシニ、尤モ多ク賣レタルハ、小切レト扇子ニテ、維納ノ人氣此場ニ入りテ、日本ノ物品ヲ買テ歸ラサレハ、人ニ對シテ緊要ノ珍ヲ遺却セル如キ思ヒヲナシ、競フテ群リ來リ、其^{ニヤ}鬧ヒ一方ナラス、他ノ三器之ニ比スレハ、價ヤ、高ク、賣レルモ多カラサレト、餘ノ列國ニ比スレハ、概シテ大繁昌ナリ、

波斯國ヨリモ、其國ノ建築ニヨリテ、一箇ノ大館ヲ取建テ、玻黎ヲ以テ窓壁ヲ粧飾シ、又一種ノ建築ナレト、其間架ノ法堅牢ナラスシテ、虛飾ニ驚シ、其側ヲスギルニ、玻黎ノ崩レ落テ、人ヲ傷ランヲ恐レシム、中ニ種種ノ物品、及ヒ其風俗ニヨリテ人ヲオキタレト、嘉尙スルニ足ラス、此三个國ノ出店ヲ、此場中ノ三奇ト謂ヒシモノナリ、

維納萬國博覽會ノ中堂



同苑内ニ建タル日本及ヒ埃及ノ家屋



第八十四卷 瑞士國ノ記

瑞士國英佛ニテハ「スイツルランド」ト云、獨逸ニテハ「シワイツ」ト云、其地ハ佛、
以、及ヒ獨逸三國間ニ、北緯四十五度五十分ヨリ、四十七度五十分ニ至リ、東經
五度五十五分ヨリ、十度三十分ニ至ルマテノ地位ニ於テ、山間ノ原野ヲ占メ、
一ノ合衆政治ヲ立ツ、東西長サ二百十六英里、南北廣サ百四十英里、總テ地積
一萬四千三百四十一方英里、一千八百七十二年ノ統計ニ、人口二百六十六萬
九千百四十七人アリ、○此國ハ古時羅馬ノ管轄ニ屬セシニ、其衰フニ及ヒ、日
耳曼ノ野民侵入シ、處處ニ部落ヲナシ、西南ニハ「ブルエンシヤン」及ヒ峨特ノ
族割據シ、紛紛統一セサリシヲ佛帝「チャールマン」征服シテ、封建ノ制ニイレシ
ヨリ、變シテ貴族分占ノ地トナレリ、今ニ此國ハ佛語、獨逸語、及ヒ以太利語ノ
三種ニ分レタルハ、此原由ニヨル、○其後填帝ノ祖ハ、此國ノ貴族ヨリ出タレ
ハ、獨逸人ノ部分ハ其管轄ニイリシニ、漸其抑制暴斂ニ苦ミ、一千三百〇七年
ニ「シワイツ」ユリ及ヒ「ユンテルワーデン」ノ三郡首唱トナリテ、兵ヲ擧ケ、填ノ

鎮臺官吏ヲ逐ヒ獨立シ、近郡次第ニ其盟約ニ加入シタリ、是其共和政治ノ濫觴ニテ、爾後漸ク八郡トナリ、填佛ヨリ遽ニ大兵ヲ以テ征壓スレヒ、國民強健死闘シテ屈スヘカラス、一千五百十三年ニ至テ、遂ニ十三郡ノ獨立ヲ公認シタリ、○然レヒ其政治タル、猶封建制ノ變則ニスキス、貴族權ヲトリ、僧侶中ニアリテ、上下ヲ煽惑シ、中ニモ「ヂズイトル教會」ノ凶毒ヲウケ、ルードル路得カ新教ヲ唱ヘ出セルヨリ、國內ニ教門ノ戰爭起リ、互ニ分裂シテ、干戈ヲツキ、慘惡ノ舉動ニ至リキ、今ニ至ルマテ、此國內ノ諸郡ハ、新舊教ノ爭ニ於テハ、互ニ水火相容レサルニ至ルトナン、佛帝拿破侖第一ノ起ルニ當リ、其并吞スル所トナリヌ一千八百〇三年ニ、更ニ六郡ヲ同盟ニ加ヘ、是ヨリ瑞士二十二「カントン」ノ盟約國ヲ立ルヲ得テ、東征南伐ノ先導兵ニ用ヒラレシニ、一千八百十五年維納ノ會議ニテ、舊ニ仍リ共和獨立ヲ公認セリ、○是ヨリ國會ノ法ヲ改革シタレヒ、諸郡互ニ相嫌疑スル情ハ未除カス、貴族黨ト、自由黨ト相軋リ、新教舊教ノ論、其際ニ投シテ起リ、猶各郡半獨立ノ狀ヲナセシニ、一千八百四十八年、「ヂズイトル教會」ノ黨ヲ放逐シ、貴族黨ノ權ヲ減衰シ、更ニ盟約政治ノ國憲ヲ改

定シテヨリ、國中綏和ニツキシモ、今僅ニ二十五年ノ星霜ヲ歴タルニスキサ
レハ、其中心政府ノ制ハ、粗定リタレト、各郡ノ憲法ヲ定メルコトハ、猶紛論アリ
テ、未タ協定ニ至ラス、「エリ」「オンドルウアルト」及ヒ「アッペンセル郡」ノ如キハ、別
ニ公會ヲ設ケス、二十歳以上ノ男子、郊外ニ露會シテ法ヲ立テ、郡ノ首宰ヲ撰
スル郡モアリ、

○瑞士二十二郡、今ハ分レテ二十五郡トナリ、之ヲ三大部ニ分ツ、東北部ハ日耳
曼語ヲ用ヒ、西北部ハ佛朗西語ヲ用ヒ、南部ハ以太利語ヲ用フ、

東北部、總幅員四千四百七十八方英里、人口百十五萬二千五百九十七人、元
ハ十二「カントン」ニ分レシニ、今更ニ分レテ十四「カントン」ノ治ヲナス、其郡
ノ尤モ小ナルハ、地積八十五方英里、若クハ生口一萬六千ニテ一郡治ヲナ
スモアリ、三四郡ハ、舊教ヲ墨守シテ、他教ノ人ヲ相容レサルモアリ、或ハ元
一郡ナリシヲ、今兩箇ニ分チシモアリ、皆其風俗民心ノ異ナルニヨリテ、分
治ヲナセルモノニテ、大小強弱ヲ平衡シ、定メタル制置ニハアラス、
西北部、總幅員五千百九十一方英里、人口百二十一萬六千百十九人、元ハ七

「カントン」ニ分レシヲ、今分レテ八郡トナル、其尤モ大ナルハ「ベルン郡」、二千五百六十一方英里ノ地ニ、五十萬四百六十五ノ生口ヲ有ス、其尤モ小ナルハ「セネーヴ」郡、九十四方英里ノ地ニスキサレモ、生口甚タ多ク、財貨融通シ「セネーヴ」府ハ、國中第一ノ都會タリ、後ニ詳ナリ此佛語ノ部ニハ、新教ノ郡多ク舊教ノ郡民モ偏固ナラス、

南部ハ、土曠ニ人稀ナリ、幅員四千六百七十二方英里、三「カントン」ニ分ル、人口三十〇萬八千二百七十二人アルノミ、大半ハ新教行ハル、

一千八百四十八年ノ協議ニテ「ベルン」府ヘ、中心ノ政府ヲ建置シ、其制簡易ニテ、歳入歳出五百萬、乃至五百五十萬弗ニスキス、大統領ハ、七官長ノ一人ニテ擔當シ、年俸二千四百弗、平生ハ旅館ニ寄寓スルノミ、今年ノ大統領ヲ「サレン」一〇ト云、○此國ノ政治ヲ協定スルヤ、唯三章ノ目的アルノミ、自國ノ權利ヲ達シ、他國ノ權利ヲ妨ケス、他國ノ妨ケヲ防ク、是ナリ、故ニ内ニハ文教ヲ盛ンニシテ、其自主ノ力ヲ暢達ス、教育ハ獨逸語ノ部分殊ニ盛ナリ、教育ノ決クシテ、民ニ禮アリ學アリ、生業ニ勉強スルヲ、此國ヲ最ト稱ス、有名ノ大國ヨリモ

亦此國ニ遊學シテ、大學校ニ入ルモノ絶ヘス。○其武ヲ張ルヤ、一旦隣邦ニ不
虞アレハ、中立ノ義ヲ堅クシテ一兵ヲシテ境ニ入ラシムルナシ、敵來レハ之
ヲ逐ヒ、又他國ノ權利ヲ重シシ、敵兵モ其國境ヲ出レハ、即止テ逐ハス、他國ノ
地ニ入りテ兵ヲ動カスヲセス。○全國ニ民兵ヲ置テ、常備兵ヲオカス、丁壯
二十歳ヨリ、三十歳マテ、民兵入籍ノ期トシ、少クモ人口百人中ヨリ三人ヲ徵
ス、當時ノ兵數ハ、八萬五千ニ及フ、三年ヲ休シ、三十四歳ヨリ四十歳マテヲ、豫
備民兵トス、百人中ヨリ一人半ヲ徵ス、今三萬五千餘ノ豫備兵員ナレトモ、自ラ
奮フテ豫備ニ加ハルモノアリテ、實數ハ五萬餘ニ及フ、四十一歳ヨリ四十四
歳マテヲ内備兵トス、此兵數モ六萬六千ノ員ニ及フ、其他ニ又内守ノ兵ト稱
スルモノアリテ、總兵ハ二十萬員ニ及フ、而テ兵費ハ、年ニ五十萬弗ニ上ラス
ト云、○外國侵入ノ防禦ハ、國中ミナ奮フテ死力ヲ盡ス、火ヲ防クカ如シ、家
家ニミナ兵ヲ講シ、一銃一戎衣ヲ備ヘサルナシ、殊ニ山地ノ戰ニ慣熟シ、嶮ヲ
越ヘ岨ニヨリテ、敵ト拒戰スルニ長シ、散兵ノ運動ヲツトム、隣國ヨリ來リ侵
スルハ、民ミナ兵トナリ、先ニスルニ壯丁ヲ以テシ、其年高キモ、四支猶健ナル

以上ハ、ミナ兵トナル、婦人ハ軍糧ヲ辨シ、創傷ヲ扶ケ、人人死ニ至ルモ、他ヨリ其權利ヲ屈セラル、ヲ耻ツ、故ニ其國小ナリト雖モ、大國ノ間ニ介シ、強兵ノ譽レ高ク、他國ヨリ敢テ之ヲ屈スルナシ、

○瑞士ノ地ハ、歐羅巴ノ中部、脊高ノ地ニ位シ、「アルプス」大山脈、此國ニ盤錯シテ地形甚タ高シ、其最低ノ地モ、海面ヨリ一千三百「フイート」ノ上ニアリ、西南ノ國境ニ聳ヘタル「モンブラン」山ハ、高サ一萬五千餘尺ニ及ヒ、以、佛、瑞、三國ノ界ニ蟠根シ、歐洲第一ノ高峯タリ、南方「モントロサ」山之ニ亞ス、其他「マテルホロン」「サンソタルト」「ナト」ノ高峰、枚舉シ難シ、諸山ノ支脈、互ニ根ヲ交ヘテ、中ニ小原野ヲ開ク、二十五郡ノ民ハ、ミナ、其域ヲ分ツテ住居ス、全國ニ大都府少ク、民普ク小邑村落ニ散居シ、山奥ニ達シテモ炊烟ヲミル、○湖水甚タ多シ、西境「デマ」ン湖即チ「セ子」東北境「ホーチン湖」即チ「コンス」ヲ首トシテ、「ニユーシャーテル湖」ズリッキ湖「ルゼル」湖等、大小星羅シタリ、河流是ヨリ起ル、中央「ユリ郡」ノ諸山ヲ、額ノ中脊トナス、其東「リトン」小湖ヨリ出ル水、實ニ「ホーチン湖」源トナリ、國ノ東北ヲ回リテ、諸湖ヨリ流ル、水ヲ并セ、來因河ノ源頭トナレリ、又ユリ郡ノ

西南谿ヲ下ル水ハ「ロラン河」ノ源トナリ「セチーヴ」湖ヲ經テ、佛國里昂ヨリ馬耳塞ノ西ニ至リ、地中海ニ入ル、其東南ノ溪流ハ、以太利ノ「コモ湖」ニ落チ「ホー河」ノ流レニ注ク、○山嶽ハ玉筍ヲ竝ヘ、九千「フイート」ノ上ニハ、四時ニ雪ヲ頂キ皎然タリ、河流清クシテ、湖水深ク、此國ノ水色ハ非常ニ綠色ヲナシ、江湖ミナ氣色ヲマシ、加フニ山ニ白雪ノ峰多キヲ以テ到ル處ニ、山ハ劍鋸ヲ磨キ、水ハ鴨綠ヲ漾シ、綠樹森蔚トシテ、峰巒重疊タリ、飛湍時ニ孔ヘ、瀑布乍チ下ル、山回リ谷開ケ、處處ニ勝景ノ村邑ヲ開キタレバ、歐洲各國ハ、此國ヲ賞美スル、桃花源ノ如シ、夏令ニ際スレハ、妻子ヲ携ヘ、明侶ヲカタラヒ、其名勝ヲ搜リヘ、塵氣ヲ避ク、國民之カ爲ニ利潤ヲ受ルヲ少カラズ、處處ノ山郷、湖村、ミナ旅館ノ設ケ、美ヲ盡シテ遊客ヲマツ、詳ナルハ後ノ山水ノ記ヲミルヘシ、○道路河道モ普ク手ヲ盡シタルヒ、四境ミナ山ナルヲ以テ、外國ヘ運漕ノ利ハ十分ナラズ、鐵道ノ建築ニ、甚タ力ヲ盡シ、一千八百七十二年マテ、一千四百六十六「ヤロメートル」ノ線路ヲ成就セリ、此内六十「キロ」ハ外國ノ築造ニテ、餘一千四百〇六「キロ」ノ資本ハ、約四億六千五百萬「フランク」ニテ、年年四千萬ノ利ヲ獲ル、其會

社十三社アリ、凡地積三十二方「キロメートル」居民千九百六十五人ニ鐵道一「キロメートル」ヲ有スルナリ、

○全國ノ土地ハ、百方里ニ平均シテ、二十ノ草野、十七ノ林叢、十一ノ耕田、二十ノ牧場、一ノ葡萄園、三十ノ河湖、丘壑等、不墾ノ地ニアタル、元來此國ハ土地ヲ私有セルモノ、各家ニ普ク、全國二百五十萬口ノ内、二百萬ハ土地ヲ所有セリ、一般ニ農業ヲ勉メ、農民及ヒ半農民ノ數、百十餘萬ニ及フ、故ニ此國ハ世ニ工藝ヲ以テ稱セラルレトモ、實ハ農耕ノ國ナリ、但其土地惡ク、穀物ニ適セサルニヨリ馬鈴薯ヲ耕シテ民食ヲ補ヒ、年年ニ日耳曼、以太利、奧國、佛國ヨリ輸入ノ穀物其價六千三四百萬「フランク」ニ上ル、山林ヲ繁茂シ材木ノ輸出頗ル多シ、○牧畜ノ業ハ、農耕ヨリ利大ナリ、牛九十九萬二千八百九十五頭、羊四十四萬五千四百頭、豚三十六萬三千五百四十六頭ヲ數フ、白耳義ノ次ニ位ス、乾酪ハ輸出品ノ重ナルモノニテ、其額モ價二千九百萬「フランク」ニ及フ、曾テ「ペロン郡」ノ鄙ニ彷徨セシキ、一ノ豪農ノ家ニヒキ、其窖中ノ乾酪ヲ示セリ、其人ノ話ニモ、乾酪ノ美ハ、此國ノ一大利ナルヲ謂ヘリ、又「ゼー・ヴァ湖」舟游ノ時ニ一村家

ニテ、葡萄酒藏ヲ示セシキ、同伴諸人ノ話ニ、瑞士全國ノ葡萄酒ハ、佛ノ「ボルドー」一府ノ高ニ及ハスト謂ヘリ、處處ノ山谿湖濱ニ、葡萄酒ヲミルヲ頗ル多シ、然レモ輸入ノ高ハ猶大ナリ、飲量ハ何國モ需用多キヲ察スヘシ、

○礦物ハ、石炭ヲ出スヲ年年一萬二千噸、頗ル輸出ノ數アリ、鐵ヲ出スヲ年年五千噸ニスキス、鐵炭ハ全國民ノ工技ニ供シテ、充分ナルヲ能ハス、年年ニ輸入シテ、其數ヲ足ラス、是モ國人ノ親話其他含銀ノ銅、錫、鉛、亞鉛、硫磺、花蕊石等ヲ出セシ、ミナ一國ノ利益ト稱スル數ニハ至ラス、

製作ノ業ハ、其技巧精美ナルヲ世ニ稱セラフテ、工業國ト目スルニ到ル、蓋此國山間ニ僻在シ、農利モ十分ナラス、運送モ不自由ナフハ、已ヲ得ス、細精ノ工技ト、緻密ノ事業トニ、注意セシ積成ニヨルナリ、中ニモ瑞士ノ袂オツチ時計ハ、世界ニ名譽ヲ專ニセルコト、皆人ノ知ル所ノ如シ、年年ニ製作スル數ハ、二十萬個ニ下ルヲナシ、一本ニ五十萬個トモセ子一ヴァ其七分ノ四ハ、金製ニテ、二ハ銀製ナリ、其價ハ一億「フランク」即五千萬弗ナリ一本ニハ九百萬弗トモ孰レカ是ナルヲ知ラス并セテ寶玉ノ細工ニ長ス、此細密ノ工ニ從事スル職人、三萬六千アリ、其他「ピアノ」「オールゴ

「ル」等ノ諸樂器、木雕ノ粧具ヲ出ス大抵「ゼーヴ」ヘルン^{（ニエー）}新シャートル「オリッキ」^{（ニエー）}樂器ノ名所「ローザン」等ノ地方ニテ、重ニ製作ヲナス。○紡織ノ工モ、亦高名ナリ「パト云」セル郡ノ絹組ハ、價七百萬弗ニ上リ、總テ絹絲、絹布ノ價ハ二億千五百萬「フランク」ニ上ル、棉花ヲ紡織スル器械數二百萬ニスキ、職人ノ數二万ニ越エ「ベロン」府ノ鄙及ヒ「スリッキ」府ニ、其大製造場ヲミタリ、棉絲ヲ日、佛、以、及ヒ奧國ニ出ス、價甚タ大ナリ、麻、及ヒ毛織モ、亦勉強スレド、是ハ自國ノ費用ニモ不足ナリ、其他麥稈、木片ノ編組ニモ長シタリ、砲銃ノ軍器、水輪、鐵碓等、器械ノ製モ、固ヨリ能セサルナシ

○此國ハ山水秀美ニテ、歐洲各國ノ人、ミナ遊衍ノ郷トナシテ、夏時ニハ游客層至シ、是ニヨリ物産ノ貿易ヲ成スヲ多キニヨリ、其輸出ノ統計、最モ精確ヲ欠ク、且ツ國體自由ニスキテ、其貿易ヲ記スルニ、三類ヲ分ツ、一ヲ畜產トス、二ヲ價ニ從テ課稅スル品トス、即チ必需品ニテ、薪、炭、車輪、農具ノ類ニ係ル、三ヲ稅品トス、一般ノ貿易品ナリ、一千八百七十一年ニ輸入ノ畜產、二十五萬、六千八百五十一頭ニテ、輸出ハ十二萬七千四百九十頭ナリ、同ク消費品ノ輸入ハ、一

億五千三百八十五萬五千六百六十四「フランク」其内

穀類 六千三百四十八萬〇二百九十一「フランク」

葡萄酒 二千百四十六萬七千三百四十〇「フランク」

咖啡 二千〇六十四萬一千九百四十〇「フランク」

砂糖 千八百〇八萬二千八百〇〇「フランク」

輸出ハ、四千二百十八萬七千六百九十二「フランク」ノ内、二千八百九十三萬ハ乾酪ノ價ナリト、○從價課稅品ノ内ニテ、重ナル輸入ハ、農具、貨車、鐵道、列車、其他商賈品ニテ、輸出ハ、材木、石炭ノニナリ、○此國ノ地ハ、山奥ノ内部ニ位シ、四面海ニ遠サカルニヨリ、其貿易ハ、惟四境ノ隣國ト直ニ貿易スルト、游客ニ賣與ヘル額ノ巨大ナルニヨル、其内佛國ヘノ輸出最大ニ、次ハ以國、次ハ日耳曼ニテ、塙國ノ貿易最モ微ナリ、輸入ハ、以國最大ニ、日耳曼ハ出入相當ル、佛、澳ヨリ輸入ノ數ハ、最モ少シト云、

電信ノ線路ハ、一萬千六百九十九「キロメートル」ニ及ヒ、毎年信書ノ平均ハ、七十九萬八千封ニテ、四萬餘「フランク」ノ利ヲ收メ、去ル七十二年ニハ、信書百四

十八萬ニ及ヒシトナリ、諸會社ヲ設立スルニハ從來各郡ニテ勝手ニ免許シタレトモ、五年以來ハ之ヲ止メ、英國ノ例ヲ用ヒタリ、全國ニ公立銀行七個社アリ、其他大小ノ銀行ハ、百五十社ニ及フ、其資本ハ三億「フランク」ニ及フ、又「セーピン」銀行ヲ「預金法」盛ニ施行シタルト云、

○國民ハ前ニ略記セル如ク、獨佛以ノ三人種ニシテ、獨逸人最モ多シ、佛人種トノ較ハ、三ト一トノ割ナリ、以太利、羅馬民種ハ、又佛人ト四分ノ一ノ割合ナリ、其言語ノ異モ、亦此ニ準ス、各郡ミナ政法ヲ設クル簡易ニシテ、國度ヲ省キテ民力ヲ鳩ム、故ニ此國ノ民ハ、ヨク財產ヲ平均シテ、貧疲ノ戸甚タ少シ、國中協和シ、他國ノ人ニ交接スル懇切ナルハ、純粹共和國ノ氣風ニ教育セラレタリト謂フヘシ、人ミナ邊幅ヲ修メス、禮儀ヲ簡ニシテ、眞率瀟灑ナリ、其學術教育ハ一般ニ行届キ、文明國ノ最上等ニ位ス、現今入學ノ童子ハ全國民口ノ百分ノ十七ニ及ヒ、小學ニ入ルモノ四十二萬人アリ、大學校ノ譽フハ歐洲ニ高シ中ニモ「ズリッキ」ノ大學校ハ歐洲ニ聞ヘテ名アル學校ナリ、○宗教ハ「プロテスタント」ヲ奉スルモノ十分ノ五ニスク、羅馬カドレイキ教ハ十分

ノ四ニシテ他教ノ民ハ一萬ニミダス

度量衡貨ハ佛ニ同シ、

六月十九日 晴午ヨリ陰リ夕ニ小雨

昨夜瀛車ハ壤國境ヲ出テ曉二時ニ一大驛ニ至ル蓋シ「ミ^{ユン}チ^{エン}府ナリ此ニ
テ一時間ヲ費シ漸クニ車ヲ發シ拜^{バイ}焉^{エロ}國ノ野ヲ走ル岡陵時ニ遶リ松林其間
ニ錯リ他ノ奇望ナシ九時ニ「ピースセンポーヘン驛ヲ過ク遠山屏風ノ如ク
高原ヲ環匝シ時ニ清川ノ流レ來ルヲミル野開ケ艸暢ヒ村家約略タリ十時
ニ「キ^{ユン}チ^{ヤス}驛ヲスキ山嶺益多シ十時半ニ「ケンフトン驛ニ至ル山勢ノ層複
ヤ、甚シ十一時ニ「イムメノスダット」ニ至ル此ハ山間ナル一村ニテ傍ニ小湖
陂ヲヒタス山ヤ、奇狀アリ是ヨリ地勢起リテ險峻ナルヲ覺フ十二時十五
分ニ「リンドー」ノ埠頭ニ至ル此ハ「ポーチン霖」ニ臨ミタル港ニテ人家八十餘
戸モアルヘシ湖岸ニ波止ヲ修築シテ前ニ石垣ヲ繞ラシ右ニ燈臺兀立シ左
ニ獅子ノ石像ヲ安ソシ湖ノ出入門トナス湖上ノ山ハ甚タ險奇ナラサレヒ
湖水豁開シ烟波縹緲タリ環湖ノ山ハ溫溫トシテ黛綠ヲナシ景色清シ

「ミューンチェン府ヨリ此マデ鐵道百六十英里

「リンドー」ヨリ、湖水ヲ渡ス小蒸氣船アリ、是ニ上リテ斜ニ湖水十六英里ヲ走リテ、瑞士國ノ「ローマンホール」ニ達ス、時期スキテ蒸氣車已ニ發セリ、已ヲ得スシテ、此驛舍ニ車ヲ待テ、休スルヲ數時ナリ、

「ホーチン湖ハ、英語ニテ「コンスタンチン湖ト云、瑞士東境ノ大湖ナリ、此湖ハ瑞士東南ノ諸流ヲ鍾メ、其北尾ハ河峽トナリ、「シャッホーセン郡ヲ流レ、日耳曼ニテ高名ナル來因河ノ上流トナル、環湖ミナ青山蜿蜒トシテ風景アレ、瑞士ニアリテ尙下等ノ景勝ニ屬ス、湖尾ニ「コンスタンチン府アリ、頗ル繁庶ナリト云、○五時半ニ「ズリッキ」往返ノ蒸氣車ニ上リテ發ス、

○「ローマンホール」ヨリ西ハ「チュルガー郡ノ境域ニテ、此郡ハ「プロテスタント教ヲ奉ス、其地形ハ、高平ノ原野ニテ、岡陵坡陀トシテ起伏ス、民耕鋤シテ田トナシ、麥ヲ種エ、中ニ果樹ヲ植エテ陰ヲナセリ、時ニ牧場モアリ、絶ヘテ曠地ナシ、麥苗ハ正ニ穗ヲ抽テ秀ントス、耕作ノ業ハ南日耳曼ニ比スレハ、更ニ精ナルヲ覺フ、農家ノ屋造ハ、兩檐ヲ出シテ壁ヲ庇覆ス、日本ノ屋造ニ似タリ、屋壁ハ

木材ヲ以テ、魚鱗ニ疊成ス、每家ニ避雷柱ヲ設ケサルナシ、瑞西ノ地方ハ雷多キ故ナリ、屋ヲ葺クニハ瓦ヲ用フ、其瓦ハ方形ナル、賴色ノ質ニテ、兩邊高シ、獨逸地方ノ製作ト異ニシテ、又一種ノ瓦形ナリ、途上ミナ道路修リ、白沙ヲ撒シ、皎潔ニシテ塵ヲト、メス、到ル處ニ目ヲ拭フ、「ハツチ驛ニテ泥炭ヲ出ス所アリ、六時ニ「ウインシュル驛ヲスキテ「チュル河ヲコユ、此河モ亦來因ニツ、グ一支源ナリ、

「ウインシュル驛ヨリ、半時間行ニテ「フランウンフエル驛ニ至ル、此ヨリ「ズリッキ郡ニ入ル、此郡モ亦新教ノ民ニテ、舊教ノ民ハ一萬餘ニスキス、此郡ニ入レハ、地勢昂起シ、左右ニ峯嶺アリ、甚タ高險ナラサレ、ト樹木森蔚トシテ、處處ニ村家ヲ起シ、時ニ溪流アリ、ミナ來因ノ源トナルモノナリ、「オ、レマン驛ヲスキ、洞道ヲ出レハ、一河ノ横フアリ、之ヲ「リムマン河ト云、「ズリッキ湖ノ下流ニテ、亦來因ニ落ツルト云、河傍ヨリ人家陸續トシテ、山脈ハ左右ニ雙扇ヲ開キ、奇色アリ、山間ニ一帯ノ原野ヲ開ク、此ニ「スリッキ府アリ、此驛ニテ馬車ニ上リ、府中ノ「パオルシチーホテル」ニ宿ヲナス、

「ローマンホール」ヨリ、此マテ鐵路七十三英里、境都維納ヨリ總程五百四十英里四分ノ一、

廿日

「ズリッキ郡」ハ、瑞士中ノ一大郡ニテ、全郡ノ人口二十八萬五千ニ及フ、此府ヲ首府トナス、人口五萬八千四百人アリ、瑞士蘭東方ノ名都ナリ、「ズリッキ湖」ノ南首ニ控ヘテ、市塵ヲ起ス、此府ニテ棉絲ヲ紡シ、棉布ヲ織リ、又絹帛ヲ織ル、瑞士ニテ紡織ノ名所ナリ、且鐵ヲ製作シ、紙ヲ抄シ、樂器ヲ造ル、凡製造ノ盛ナルヲ瑞士ニ於テ、西ハ「セネヴ」、東ハ「ズリッキ」トテ、高名ナル地ナリ、○此府ハ學校ノ名譽最モ高シ、瑞士ニ常備兵ナシ、此府ニハ兵學校アリテ、近郡ノ兵士ニ教フ、蓋シ常備ノ屯營ニ比スルト云、

小學校アリ、女學校アリ、府中ノ男女、冊ヲ挾ミ書ヲ捉ケテ、市街ヲ徘徊スルハ其文學ノ地ナルヲ知ラレタリ、○「ズリッキ郡」ニ於テハ、學區ヲ別ニ區分セス、大區ハ縣ニ同シ、總テ十一縣ヲ十一大區トナシ、小區ハ寺區即チ民區ニ同シ、總テ百六十二小區アリ、毎小區ニ學伍ヲ分チ、一伍ニ一小學ヲ建ツ、總テ三百六十六

瑞士「スリッ」府ノ大學校



同「スリッ」湖尾「リムマン」河岸



伍ニテ校數之ニ同シ、伍分ルレハ、學校モ亦分ル（瑞士ノ學制ハ他ノ諸小學ノ目的ハ、全郡ノ童兒ニ教育シ、貧富ヲ論セス、固有ノ智識ヲ充テ、人間交際ニ不足ナカラシメ、一ノ良民トナル、道藝ヲ授クルノミ。）其科目ハ十アリ、一ヲ神學、並ニ儀容學トス、神學ハ必ス僧徒ニ公布シ、其承諾ヲウク、（是ハ寺院ヲ掌ル官ニ請ヒ官ヨリナシ）儀容ハ、即チ我所謂ルシツケ賤方ナリ、（第六十九卷ヲ參考）二ハ語學、即チ獨逸語ヲ教フ、三ハ算術、四ハ物理學、五ハ瑞士ニカ、ル地理、並ニ歴史、六ハ唱歌、七ハ習字、八ハ畫圖、九ハ體操、十ハ女工、（是ハ固リ婦女ニ教フル所ニテ、縫繡、補綴、組織ノ法ヨリ、衣服ノ裁縫ニ至ル、而テ其術ノ敏捷ナルニ馳騁シ、奢靡ノ淫技ニ流ル、ハヲ防キ。）誘導スルヲ注意トス、每小學區ニ、必ス一ノ女工所ヲ設ケ、時ニハ校外ニア
ルモアリ、普通ノ小學ヲ日日學校トイフ、是ヨリ進ミタルヲ結尾學校トイフ、
又日日學校ヲ退キ、上等ノ學校ニ出席セサル學童ハ、每週ニ一日（多ク日一時曜日）
間、唱歌學校ニ上ル、此校ハ神ニ禮拜スルノ記念樂、及ヒ諸樂歌ヲ習熟セシム、
日日學校ヨリモ、此業ニ堪ヘル學生ハ、亦來學スルトナリ、○初等校ヲ退キ、更
ニ日日ノ教授ヲ受ント欲スルモノニハ、高等小學ヲ教ユ、此學區ハ、學縣、學區

ノ都合ニヨリテ設ク、全郡ニ六十餘アリ、此ニテハ、佛語、測量、實驗、地理、歷史、醫士ノ政體、農工商ニ關スル物理、武技演習ノ科ニ及フ、女子ハ、傍ニ女工學校ニ入り、女工ヲ學フ、○小學ノ上ニ中學、工學ヲ設ク、中學ハ古語ヲ教ヘ、專門學ノ基礎ヲナサシムル所ナリ、工學ハ、工商ノ二學ニテ、其上等ニ至テハ、萬國史、器械植物、物理、化學、商學、及ヒ英、佛、以語ヲ教ユ、又農學、畜醫學、師範學等アリ、
「ポルテ」ニク教導校ハ、府ノ東ニアリ、湖ヲ見晴シテ、風景佳絕ナリ、此ハ百工ノ藝術ヲ教導スル所ニテ、高名ナル學校ナリ、屋造甚タ宏大ニテ、中ニ諸術ノ器械ヲ具備シ、其教ヲ受クルモノ、或ハ日上シテ聞キ、或ハ寄留シテ學フ、工藝ヲ盛ンニスルニ肝要ナル設ケナリ、○大學校ハ其南ニアリ、亦頗ル宏大ナリ、醫學校ハ其東ニアリ、ミナ歐洲各國ヨリ來リ學フト云、

○一時四十分ニ、蒸氣車ヲ僞ヒテ「ズリツ」府ヲ發シテ東ス、政府ヨリ元日本公使「シーベル」氏ヲ接伴トシテ、此マテ來リ迎フ、是ヨリ「リムマル」河ニツヒ、二十分時間行ニテ、河流曲折ノ處ニ至ル、一村アリ、河ニ臨ミテ、街ヲナス、河水斜ニ湍ヲナシ、淙淙トシテ瀉キ落ツ、是ヨリ河ハ谷底數十歩ノ下ヲ流レ、山勢漸ニ迫

リ、前面ノ山ハ、牛脊ノ如クニ横フ、氣色益佳ナリ、十五分時ヲ走り、一洞ヲ出テ、「パテン驛ニ至ル、人家頗ル庶ニ、溪右ノ山ニ奇狀アリ、地益高ク、水岸益欹チ、流勢壯ニシテ湍驛ナリ、前山ハ翠屏風ヲ疊ミ、曲折スル幾回ナルヲ知ラス、ミナ樹アリ石ナシ、山容溫潤ニシテ、風景秀美ナリ、已ニシテ山乍チ豁開シ、河濱ノ野廣ク、西來ノ河アリ、浩浩トシテ流レ來ル、即「ア、ル河ニテ、ズリッキ」ヨリ來リシ「リムマン河モ、此ニテ會合シ、北ニ流レテサル、谷ハ門ヲナシ、下流ニアタリ山巒重重ニ複層シ、遙ニ雲烟縹緲ノ地ニ際セルハ、更ニ一勝致ヲ添タリ、○是ヨリ「ア、ル河ノ上流ニソフテ走ル」「ア、ル驛ニ至リ、山底ノ隧道ヲ出レハ、始メテ南方ノ峯巘、雪ヲ瑩クヲミル」「オルテン驛ハ一庶村ナリ、製鐵所アリ、人口頗ル盛ナリ、此處ハ鐵道四達ノ衝ニテ、北來ノ車ト合ス、因テ半時間ヲ休憩シテ發ス、時ニ三時四十五分ナリ、是ヨリ「アルボルク驛ヲスク、次卷ニ「ルゼルン府ヨリ「ベルン府ヘ歸ルル此ニテ「オルテン驛ノ車ヲ引キ來リテ合走セル所ナリ、是ヨリ「ア、ル河濱ノ平原ヲ走リ、「ミルゲンチュル驛ニ至ル、此ヨリ「ペロン郡ノ境域ニ入ル、河流驛疾ニテ、虹橋ハ數仞ヘ上ヲ亘リ、遠山ハ白ク、近峰ハ綠ナリ、此村ニテ河ト離ル、岡巒起伏シ、樹茂シ艸暢ニ

鐵路坦平ニシテ、車行穩カナリ、一洞ヲ出レハ、山仄チ橋聳ヘ、鐵路ヨリ數仞ノ岸下ニ、河水ノ驛流スルアリ、此河ヲ「エムメン」ト云、村ヲ「ホルドール」ト云、是ヨリ平原頗ル潤腴ナリ、五時半ニ岡原ノ相交錯シ、中ニ平野ヲ抱キ、一河ノ縈回シテ、谷底ヲ流ル、ニ逢フ、南方ノ雪峰ハ、奇狀百出シ、氣色清冷ナリ、頓ニ炎暑ヲ忘ル、カ如シ「ペロン驛」ニ達スレハ、馬車アリ迎ヘテ「ベルナホーフホテル」ニ宿ヲ定ム、

「スリッキ」ヨリ、鐵路距離八十七英里、

○「ペロン郡」ハ、地積二千五百六十一方英里、人口五十〇萬六千四百ニ及フ、瑞士第一ノ大郡ナリ、此郡ヨリ佛語ノ部ニイル、民ハ新教ヲ奉ス、首府ハ即チ「ペロン」ニテ、東經七度二十六分ニ位シ、人口三萬六千人、「ア、ル、河」巴字ヲナシテ流ル、岡角ノ上ニ市廛ヲ櫛比シテ起シ、兩橋アリ、以テ向岸ニ接連ス、地勢臺面ノ平ナルカ如シ、岡坡ヲ起昂シ、水ハ二百尺ノ下ヲ流レ去リ、崖岸ソヒエ、即チ峻險ヲ覺フ、四面ニ山ヲ環繞シ、南方最モ恢朗ナリ、平野ヲ隔テ、遙ニ群嶺ノ白玉ヲ瑩キ、鈎鉞ヲ磨シ、鋸齒ヲ亂シ、崔嵬相連ルヲ望ム、其最モ高キハ一萬四千尺

スイス
瑞士國ベロン府旅館ノ眺望



同市街



ニ及フ、窓櫺ミナ其峯容ヲ迎ヘ、眺望甚々爽美ナリ、

○此日午前ニ大統領ヘ政廳堂ニ於テ謁見ス、謁見式ニ詳カナリ

○タニ車ニ駕シテ市中ヲ回ル、此府ノ市街ハ、洒掃修潔ニテ、甃石ミナ備リ、街廣ク、兩側ノ市塵ニハ、虛廊ヲ設ケテ全ク人道ヲ覆フ、雨時ノ行歩ニ便ナリ、市中ノ諸貨、殆ト貳價ナシ、其製作ノ巧ハ、「ズリッキ」「ゼ子ヴァ」ニ稍讓レヒ亦備ル、特ニ樂器ニヨロシト云、○此ヨリ河橋ヲ渡リ、熊ヲ養フ石圈ヲミル、圈ハ地ヲ鑿ル丈餘ニテ、石ヲ疊ミテ垣トシ、甃石シテ中ヲ二部ニ分チ、四熊ヲ養フ、熊頗ル馴ル、「ペロン」ノ以テ名ヲ得タル所ナリ、

是ヨリ西南方ノ鄙ヲ回ル、老樹路ヲ挾ミ、山巒前ヲ匝リ、水清野淨ク、氣色甚々爽ナリ、水邊ニ一場アリ、製造場ヲ構ヘント、經營中ナリ、是ハ木棉ヲ織ル場ニテ、往年火災ニカハリ、近年之ヲ再建シ、「ア、ル」河ヲ引カント、一阜ヲ洞鑿シテ、阜ヲ隔テタル處ヨリ水ヲ注キカケ、七百馬力ノ水輪ヲ設ケタリ、瑞士ニ於テ、殊ニ大ナル製場ナリト云、瑞士ニ鐵充分ナラス、石炭モ不足ナリ、唯國中ニ急流ノ河多シ、瑞士人ハ其水力ヲ用ヒテ器械ヲ運ス、水輪ノ製ニ機工ヲ盡シ、能

ク巨大ノ力ヲ起サシメ、工省キテ巧ヲナス敏ナリ、天ヨリ國域ニ利益ヲ付シ
 タル、眞ニ窮リナシ、山ニ水アリ、海ニ風アリ、野ニ畜アリ、邑ニ炭アリ、ミナ人工
 ヲ助クベシ、但人ノ能ク思考シテ、用フルト否トニアルノミ、○東北ニ回り出
 テ、一ノ苑ニ至ル酒樓アリ、小學校ノ生徒、正ニ此ニテ操練ヲナセリ、樓ニ休ス
 レハ、樂隊樓ニ向ヒ、樂ヲ調スルヲ三閔、ミナ十二歳ヨリ、十四五歳マテノ童子
 ナリ、童兒ノ心ハ、純粹主一、唯教規ヲ守リテ、其業ヲ講スル中ニ、自ラ瑞士ノ本
 領タル、内ヲ保チ外ヲ防キ、其權利ヲ全クスルト、人ニ交際スル禮トヲ誘知セ
 ラレ、海外絶遠ノ使ニ向ヒ、此窳窳ノ音ヲ調ス、其協和シテ國ニ報フ、實ニ感悅
 ニ堪ヘサルナリ、瑞士ノ男子ハ、十一歳ヨリ短キ銃ヲ與ヘテ、學校ニ於テ兵ヲ
 兼習ハシ、其保國ノ心ヲ浸潜スル此ノ如シ、此其文武兼秀ツル所ナリ、

第八十五卷 瑞士蘭山水ノ記

歐羅巴洲ハ、其三分ノ二ハ平野ニテ、山脈ハ三分ノ一ニ亘ル、大抵南方ニ涌層セリ、瑞士蘭ハ、正ニ其山脈ノ脊ニアリテ、山水ノ秀麗ナルヲ、世界ニ高名ナリ、我一行已ニ「ベロン府ニ著シ、大統領ニ謁ス、接伴掛「シーベル氏言フ、當國ノ政府ハ、冗費ヲ汰スルヲ勉ム、使節ヲ享待スル、他國ノ豐侈ナルカ如キヲ得ス、只當國ノ佳山水ヲ以テ、其款待ヲ享ニアツヘシ、且南方ノ地ニ於テ、新ニ架成セル山路、仰高鐵路アリ、人民ミナ使節ト之ヲ落成センヲ望ム、請フ二日ノ間ヲ勞セヨ、衆ミナ悦ビ從フヲ願フ、」

六月二十二日 晴天

九時ヨリ、蒸氣車ニテ「ベロン驛ヲ發シ、東南ヲ走ル半時間ニテ「メンシンゲン村驛ニ達ス、村家數十戸アリ、家家ニ旗章ヲ懸シ、驛傍ニ天幕ヲ張り、茶果ヲ饗キ、頗ル人ノ群集スルヲミル、曰ク此村ニテ角力ヲナス所ナリ、其狀ハ我邦ノ相撲ニ同シ、或ハ裸シ、或ハ肉襦半ヲ著シテ、相角ストナリ、凡強兵ノ地ハ民ノ

遊○戲○モ○亦○力○技○ヲ○好○ム○、白○瑞○ノ○諸○國○ハ、角○力○的○射○ヲ○ナ○ス○ヲ○喜○フ、故○ニ○其○兵○隊○ヲ○ミ
 ル○ニ○強○健○非○常○ナ○リ○、○是○ヨ○リ○二○十○分○時○間○ヲ○走○リ○テ、山○角○ヲ○回○リ、河○ヲ○越○ユ、此○處
 ヨ○リ○河○水○ハ○淺○洲○ヲ○ナ○シ○テ○流○レ、舟○子○小○艇○ヲ○棹○シ○テ○上○ル○ヲ○ミ○ル、是○ア、ル○河○ノ
 上○源○「チ○ン」湖○ヨ○リ○流○レ○落○ル○口○ナ○リ、己○ニ○シ○テ「チ○ン」ノ○驛○ニ○著○ス、此○地○ハ○海○面○ヲ
 拔○ク○一○千○七○百○五○十○尺、生○口○四○千○五○百○口○ノ○大○村○タ○リ、兵○學○校○ヲ○設○ク、右○ノ○野○中
 ニ○廣○場○ヲ○ミ○ル、是○ハ○全○部○ノ○操○練○場○ニ○テ、年○ニ○一○回○ツ、衆○民○此○河○蹟○ニ○集○リ○テ、操
 練○ヲ○ナ○ス○所○ナ○リ○ト○云○フ、是○ヨ○リ○一○英○里○ヲ○走○リ、「チ○ン」湖○尾○ノ○埠○頭○ニ○達○ス、山○水
 ノ○奇○ハ○是○ヨ○リ○始○ル、「ベ○ロ○ン」ヨ○リ○距○離○二○十○一○英○里、

○蒸○氣○車○始○メ○テ○埠○頭○ニ○達○ス○ル○ト○キ、湖○上○ノ○郵○船○ハ○已○ニ○來○リ○待○ツ、車○ヲ○出○テ○船○ニ
 移○リ、翹○首○ス○レ○ハ、白○峯○翠○嶺○相○環○拱○シ○テ、一○鏡○ノ○湖○ヲ○開、此○日○朗○晴○ナ○レ○ハ、空○青○倒
 ニ○浸○シ、雲○日○共○ニ○清○ク、皆○奇○絶○ト○叫○ハ○サ○ル○ナ○シ、湖○尾○ノ○水○壯○ニ○シ○テ、色○ハ○鴨○綠○ヲ
 ナ○シ、兩○涯○ヲ○拍○テ○流○レ○落○ツ、船○ハ○其○岸○ヨ○リ○軋○ヲ○發○セ○リ、瑞○士○ノ○水○ハ、雪○水○ノ○融○セ
 ル○モ○ノ○ニ○テ、其○色○異○常○ニ○綠○ナ○ル○ヲ○以○テ、水○ニ○鑑○ミ○ル○白○峰○青○岑○モ、殊○ニ○品○美○ナ○リ、
 湖○上○ノ○山○ハ、峰○頂○突○兀○ト○シ○テ、險○奇○ヲ○爭○ヒ○兀○立○ス、近○キ○ハ○峻○險、遠○キ○ハ○巖○巖○タ○リ、

瑞士ノ「ベロ」郡チニ湖ノ津頭
即チ「アル」河上流



同チニ湖ノ景

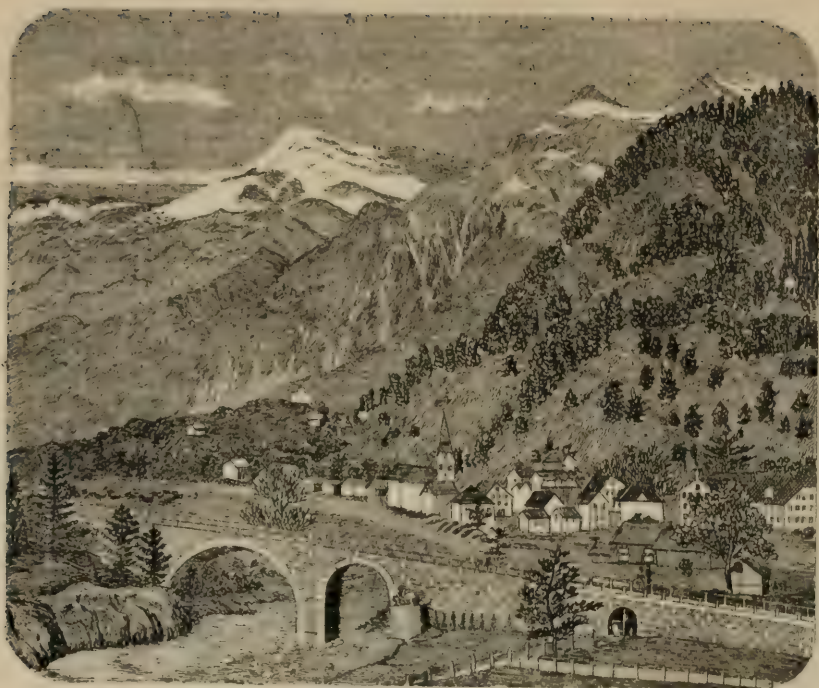


前ニ當ルヲ「子セ」ン山ト云、高サ七千二百八十尺、特ニ險怪ニテ、湖景ノ眉目タ
リ、右岸ノ「ストックホルム」山、相對シテ奇ヲ競フ、此兩峰ノ間ニ、湖水澹澹トシ
テタ、ヘ、三面ニ無數ノ巘嶽ハ、一一ニ名ヲ問フモ、應接遑アラス、南ニハ「ユリ
郡」ノ高嶽、雪白ノ尖ヲ出シ、傾クアリ、欹ツアリ、削ルカ如キアリ、頽レルカ如キ
アリ、遠峰ハ氷玉ヲ瑩キ、劍刃ヲ束子、近山ハ崔嵬巍峨トシテ、奇岩樹ヲ負テ聳
エ、嶄然兀然、濤崩レ浪立ツ、雪峰ノ最高ナルハ、「シヨングヒル」嶽ニテ、一萬三千
尺ニ及フ、湖水ハ長サ十一英里、幅廣キ所三英里、楕圓ノ形ニタ、ヘ、其底ノ深
キヲ數千尺ニ及フトナリ、○漁船輒ヲ發シ、湖ニ輾リ出レハ、湖開ケ山移リ、峰
容變化シ、右岸ノ平坡溫溫タリシモ、乍チ欹チテ奇狀ニ變シ、前峯ノ綿亘セル
ハ、漸ニ離レテ突兀ノ峯トナリ、雪峯乍チ隠ルレハ、劍嶽又出ル、湖ノ半腹ニ至
ルトキ、雪峯ハスベテ近山ノ背ニ隱レ、岸上ノ山山、ミナ奇岩屏風ノ如クニ横
ハリ、一時間ニテ「デルリンゲン」埠頭ニ達ス、○「デルリンゲン」ハ、湖ノ北岸ニア
リ、此ニ新ニ蒸氣車驛ヲ構フ、此處ノ蒸氣乘車ハ、遊客ヲ載スル爲メニ設ケタ
ルモノニテ、尋常ノ車ト異リ、英國倫敦ノ街車ノ如ク、二層ニ人ヲ載ス、下層ハ

全面皆玻黎窓ニシテ、氎毼ノ席暖カナリ、貴客婦女ハ此ニ坐ヲシム、探風搜奇ノ客ハ一面ノ玻黎モ亦勝致ノ妨ケナリトテ、上層ニ登ル、上層ハ上ニ蓋ナク四周ニ欄アリテ窓ナシ、尤モ眺望ニ宜シ、此車ニ上リテ、湖岸ヲ走リ、一大巨巖ノ横フニ逢フ、闐然トシテ巖腹ニ穿チ入り、暗中ヲ出レハ、棧橋縹渺トシテ、湖中ニ架スルアリ、右岸ノ石壁ハ削ルカ如ク、仄立ス、漁笛一咽シ、棧橋ヲユクハ、翼ヲ生シテ水上ヲ飛行スルカ如シ、約五英里ニテ「インテルラクゲン村ニ達ス」「チュン湖ノ勝ハ此ニ畢ル」

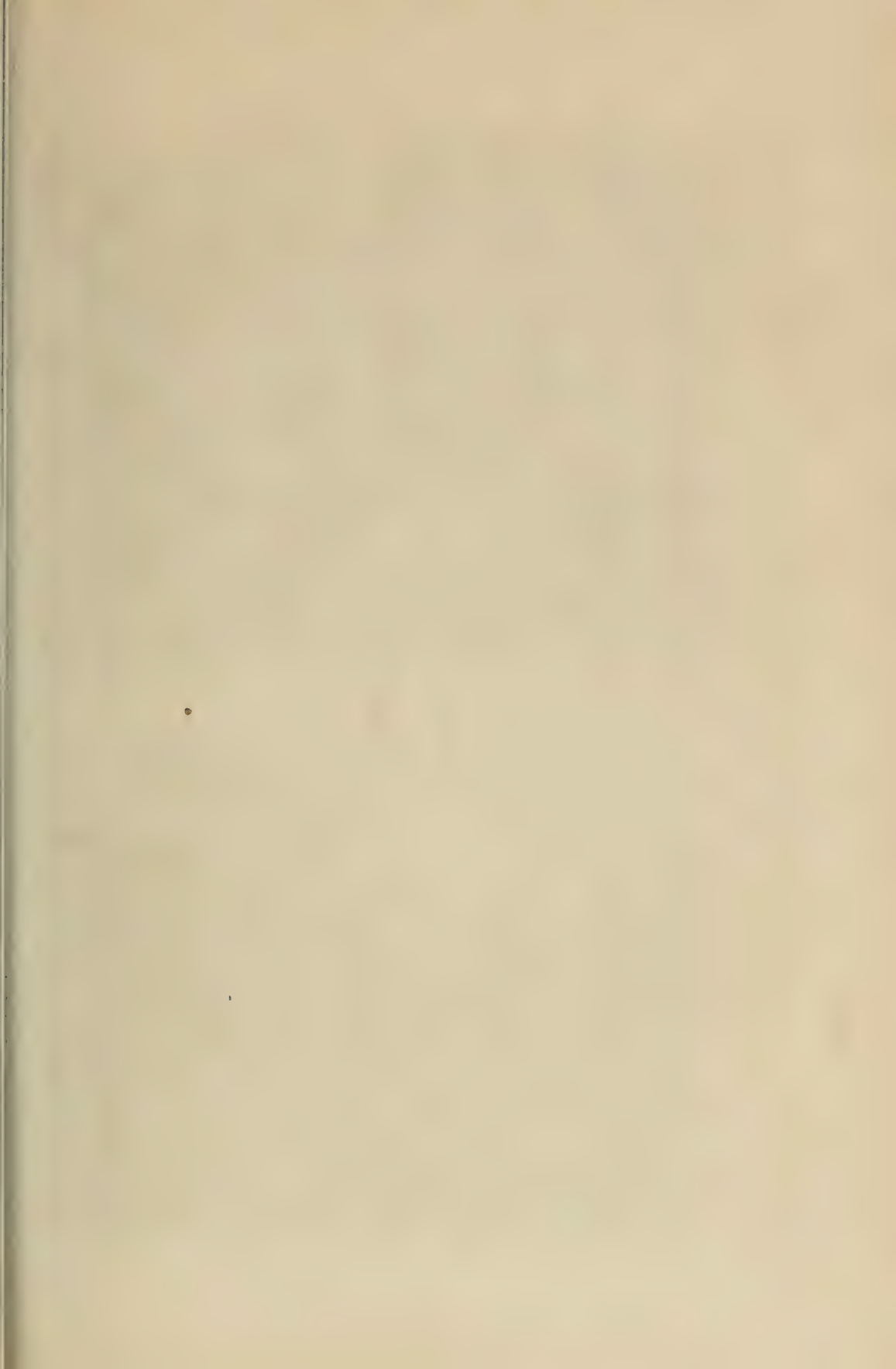
○「インテルラクゲン村ハ」「チュン湖首ト」「プリンズエル湖尾ト」ノ間ヲ隔テタル地峽ニテ、湖水ハ東西ニタヘ、山嶺ハ南北ニ聳エ、中ニ平野一面ヲ開ク、村北ニハ「プリンズエル湖尾ノ水、大河ヲナシテ」「チュン湖ニ流レ落ツ、村家ハ其河岸ニヨリテ街ヲナス、南ニハ「シヨングヒル嶽ノ豁ヨリ落ル、溪水合流シテ」「フリンズエル湖ニ入ル所ニテ、廣キ河積ヲ開ク、之ヲ「インテルラクゲン」ノ野トナス、野ニ眺望スレハ、左右ノ峯峰ミナ秀テ「シヨングヒル」ノ諸峯ハ、雲ヲ戴キ奇峻ヲ競ヒテ、綠樹森鬱、中ニ斑雪ヲ露シタル連嶺ノ缺ヨリ、白玉ヲ瑩キタル

瑞士ノ「ベロ」郡インテルラクケン村



同「アル」河峽「ウインテルセン」津頭





峯巔ヲ出スハ、晝圖ニ入ルヘシ、前湖後湖、ミナ遙ニ水ヲミス、只烟波ノ渺渺タルカ如キヲ望ム、朝陽ニ斜陽ニ共ニ風致アリ、人家ハ落落トシテ、路ヲ挾ミテ立ッ時ニ一ノ市街ヲナス、屋ノ造作モ、亦頗ル都雅ニテ、白壁皎然ナリ、中ニ美麗ノ旅館ヲ建テ、樹ヲ蔭シ、艸ヲ播シ、跳水ノ池アリ、清水ノ流レアリテ、北山ニ對ス、此日「ペロン」ノ暑ハ衣ニ汗ス、此地ノ清涼ハ、嵐氣衣ヲ侵シテ冷カナリ、此ニテ晝餐ヲ辨シ、休スルコト一時有半ナリ、

○旅館ヲ出テ車ニ上リ、「ブリンスエル湖尾ナル」「ウインテルセン」ノ岸ヨリ船ニ上ル、此ハ「ブリンスエル湖」ノ「チユン湖」ニ落ル河峽ニテ、水流壯ニ一碧澹然ナリ、瀨輪轉ヲ發シテ「ゲレーベン」ノ山角ヲ回レハ、此湖ノ勝ハ始マル、○此湖ハ長サ八英里、幅二英里四分ノ一、亦橢圓形ニテ東微北ニタ、ヘ、中ニハ島嶼モナク、炭角モナク、右左ノ山ニ雪峯ノ崔嵬タルモナシ、兩岸ノ峯峰、ミナ皺皺嶄然トシテ、厓巖ヲ並ヘ、綠樹參差トシテ、岩石ノ間ニ立ッハ、幾曲ノ翠屏風ヲ環スルヲ知ラス、湖首ニ及フ時、右ニ兩條ノ懸瀑並落ルアリ、「ギースホーフ」ノ瀑トテ有名ナル瀑布ナリ、此瀑ノ末ハ、欹岩ノ間ヲ分チ二百餘尺ノ上ヨリ、一瀉シ

テ湖ニ落ル船長ハ游客ノ爲メニ、氣船ヲ此瀑下ヘ近ク駛シ來リ、此ニテ瀧力ヲ緩ニスレハ、瀑ノ跳沫霧ヲナシテ船ニツヽキ、崖樹ハ潤ヲ含ミ、水珠ヲ數十歩外ニ飛灑スレハ、白日ニ嵐氣爲ニ寒シ、瀑ヲ離レ船ヲ進ムレハ、高峯斑雪ノ際ヨリ、一條ノ懸水アリ、溪ヲ傳ヘテ落チ、最下ノ長嶺ニ瀉注スルヲ望ム、宛トシテ白纒ヲ繰リカクルカ如シ、是則「ギースホープ」ノ懸流ナリ、飛龍直下三千尺、疑是銀河落九天、廬山香鑪峰ノ瀑ハ猶虛想ノミ、移シテ此「ギースホープ」ノ寫眞トナスヘシ、○此邊ノ峰ニ長綫ノ瀑三アリ、高嶂ノ間ニカハル、ミナ直下三千尺ニ及フ、前後ノ回瞻ミナ佳ナリ、此處ノ山山ハ、ミナ奇岩怪石ニテ、水ヲ生スルニヨシナシ、蓋シ後面ニ聳エタル、無數ノ高山、太古ノ雪ヲ戴キタルモノ、地溫ニヨリテ、下面ヨリ水ヲ融シテ、此懸流瀑布ノ源ヲ滴テナストナリ、瀑布ノ眺メ未タ盡キス、船ハ「トラチュ」ノ埠ニ著ス、時ニ三時ナリ、

○トラチュ村ハ大小十餘ノ人家アルノミ、此ニテ馬車ヲ僦ヒ、東北山峽ノ間ヲ走ル、此處ハ北ニ山嶂壁立シ、路ハ其腰ヲユク、俯瞰スレハ、「アハル河」ノ源流ハ、其下ヲ流レユキ、兩岸ニ一帶ノ平原ヲ開ク、山民ハ「アハル河」ニヨリテ運河ヲ修



瑞士ノフルン郡ブルニク山路ヨリアル運河タミル



同フルニク山中

メ○山○村○ノ○物○産○ヲ○漕○運○ス○岸○ニ○ツ○ヒ○曳○馬○ノ○路○ヲ○造○リ○甚○タ○規○正○ナ○ル○ヲ○見○ル○此○處○
ハ○一○箇○ノ○山○僻○ニ○テ○人○家○モ○疎○疎○ナ○レ○ヒ○漕○運○ノ○利○ハ○已○ニ○充○備○セ○ル○ヲ○如○此○シ○山○
峽○ノ○路○ハ○岩○巒○ノ○欹○チ○タル○側○ヲ○走○リ○其○岩○石○ノ○質○ハ○層○層○ニ○累○積○シ○紋○理○ヲ○露○ハ○
シ○亂○レ○テ○簟○紋○ニ○似○タル○アリ○整○ヒ○テ○甃○石○ニ○似○タル○アリ○或○ハ○簾○緯○ノ○如○ク○或○ハ○
波○浪○ノ○如○ク○石○紋○ノ○奇○變○ヲ○キ○ハ○ム○是○ヨ○リ○馬○ヲ○叱○リ○テ○山○路○ヲ○上○リ○サ○ル○左○ハ○嶂○
右○ハ○壑○路○ハ○羊○腸○ヲ○ナ○シ○テ○曲○折○シ○時○ニ○山○家○ア○リ○兩○三○四○五○ニ○村○ヲ○ナ○ス○其○屋○ハ○
木○ヲ○積○ミ○テ○壁○ト○ナ○シ○枝○ヲ○並○ヘ○テ○宇○ト○ナ○シ○其○屋○根○ニ○ハ○鎖○ス○ル○ニ○石○ヲ○以○テ○ス○
屋○造○ノ○稍○美○ナ○ル○モ○ノ○ハ○壁○ニ○板○ヲ○タ○ハ○ミ○鱗○紋○ヲ○ナ○シ○テ○飾○リ○ト○シ○庇○ア○リ○樓○ア○
リ○略○我○木○曾○山○峽○ノ○人○家○ニ○似○タ○リ○更○ニ○上○リ○サ○レ○ハ○路○益○危○ク○時○ニ○岩○石○ノ○欹○立○
セ○ル○側○ヲ○ス○ク○岩○石○庇○ノ○如○ク○ニ○突○出○シ○テ○其○下○ヲ○走○ル○右○顧○ス○レ○ハ○懸○崖○百○仞○人○
ヲ○シ○テ○惴○然○ト○シ○テ○怖○レ○シ○ム○危○ヲ○キ○ハ○メ○奇○ヲ○キ○ハ○メ○一○峰○ヲ○越○エ○テ○「ブ○ル○ニ○ッ
ク」ニ○達○ス、

「ブ○ル○ニ○ッ○ク」ハ○一○字○ノ○小○旅○館○ア○ル○ノ○ミ○「ト○ラ○チ○ユ」ヨ○リ○五○英○里○程○此○ニ○テ○馬○ニ○飲○カ
フ○此○ハ○山○嶺○疊○環○シ○浪○濤○ヲ○亂○ス○カ○如○ク○湖○水○ハ○已○ニ○山○脊○ニ○隱○ル○乃○瀑○布○ノ○觀○ア○

リ、左右ニ回瞻スレハ、瀑布ノ峯峯ニ懸ルヲ數ヘテ、八九箇ニ及ヘリ、此邊ニテ實ハ二十條ノ瀑布ヲミル所ナリト云、

○此山ヨリ「ルセルン郡」ニ入ル「ルセルン郡」ハ、地積五百八十八方英里、人口十三萬二千三百二十八アリ、其民皆羅馬カドレイキ教ヲ信ス、其境ニ入レハ、民俗乍チ一變ス、○「ナルニック」ヨリ山ヲ下ル、後面ノ雪嶺ハ己ニ隠レ、前面ニ乍チ雪嶺ノ嶄然タルヲ露ス、是ハ「ユリ郡」ノ「シャルコルン嶺」ニテ、奇峻削ルカ如ク、半面崩レルカ如シ、岩稜刃ヲナシテ、青空ニ立ツハ、眞ニ去レ天不_レ滿、天ノ勢アリ、絶嶺ノ天風ハ雪ヲ吹キ、夕陽ニ映シ、一望膚ニ粟ヲ生セシム、是ヨリ亂松ノ山路ヲ走リ下レハ、馬頂ノ鈴聲琅瑯トシテ、松籟ニ和シ、岑寂ヲ慰ス、瑞士ノ山ニ鳳尾松多シ、其幹ミナ直立ス、錯ユルニ落葉ノ樹ヲ以テス、秋色ノ景モ亦奇ナルヘシ、蘇格蘭ノ山ハ、此ヨリ鳳尾松ノ苗ヲ移シ栽エテ、此景ヲ摸セシモノナリ、

○山ヲ下レハ、一小湖アリ、「ルンケン」湖ト云、湖首ニ村アリ、其旅館ニテ茶ヲ喫ス、時ニ五時半ナリ、是ヨリ「ルンゲルン」ノ湖岸ヲ走リ去ル、山水ノ奇稍衰フ、只「シャルコルン」ノ危峯半空ニ巍巍トシテ、雪ヲ吹キ、夕陽ニ立ツヲミルノ

瑞士ノ「ルゼン」郡「ブルニク」山村



同「ルンゲルン」湖村



ミ、是ヨリ二箇ノ小湖ヲスク、此湖ノ水ハ、ミナ東北ニ流レ、「サルノン湖ニ注ク
「サルノン湖ハ、長サ四英里、湖岸ノ山容頗ルミルニ足レ、モ猶平凡ニ属ス、己ニ
シテ馬車ハ湖尾「サルノン」村ニ著シ、此ニ投宿ス、「ルンゲルン」ヨリ八英里、時己
ニ七時半ナリ、

此日舟車ノ程スヘテ五十六英里

○「サルノン村ハ、人口三千四百人、旅館ヲ「オバールデホーフ」ト云、一小旅館ナリ
此邊ノ小村、ミナ羅馬「ガドレイキ教ヲ墨守シ路傍ノ野ニ十字架ヲ建テ禮拜
シ、又村民ノ花果ヲ執テ、客ニ迫リ賣リ、錢ヲ丐スルアリ、○「サルノン」ハ、一大村
ニテ、人家モ亦美ナレ、モ木製ノ屋多ク、其製作奇異ニテ、頗ル我邦ノ結構ニ似
タリ、頗大ニ脚小ナリ、樓アリ、庇アリ、椽アリ、家家ニ藩籬ヲ匝シ、菜畦ヲ存ス、亦
我邦ト一般ノ野味アリ、家家ノ窓中ニ、讀書ノ簾ヲ聞ク、人ヲシテ武城ノ感ヲ
ナサシム、此夜旅館ニテ宴ヲ張ル、村民窓外ニ鼓樂シテ、使節ヲ祝シ、館ノ窓ニ
ハ、挑燈ヲ鈎懸ス、球形アリ、筒形アリ、是ハ木ヲ削リ骨トナシ、紙ヲ糊シテ皮ト
ナシ、製作セルモノニテ、我邦ノ挑燈ニ彷彿タリ、又石腦油ニ火ヲ點シテ、街上

ニ抛チ、村民其火傍ニ群リテ、祝聲ヲ發ス、皆遠來ノ貴客ヲ禮敬スル所ナリ、歐洲ノ人、遠客ヲ待ツニ欸和ナル、山村ノ僻ニ至ルマテ此ノ如シ、○此邊ノ人家ニ、獵衣ヲ著ケタル三人ノ像ヲ畫キシ、額面ヲカヘケタルヲ見ル、因テ此三人獵師ノ由縁ヲ問ヘハ、曰ク、是瑞士國ヲ開創シタル鼻祖ヲ畫クナリト、此歴史ハ己ニ總說ニモ畧說セル如ク、紀元一千三百〇七年ニ當リ、日耳曼帝「アルベルト」第一世、威權ヲ以テ國內ノ民ヲ抑壓シ、苛法重斂頻リニ加ハリ、瑞士ノ鎮臺、暴威ヲ以テ、諸郡ニ苛酷殘虐ノ所置ヲナシ、官吏ノ培植堪ヘルベカラス、民ミナ怨恨ヲ吞メルニヨリ、維廉テル「トイフ」壯士首唱トナリ、「シワイツ」ユリ「及ヒ」ユンテルワーデン「ノ」三郡ニテ義兵ヲ舉ケ、塙國ノ官吏ヲ逐ヒ、鎮臺ノ長官ヲ「テル」カ弓ニテ射殺シ、十五年ニ「モルカルデン」ニテ、塙國ノ兵ヲ破リシヨリ、瑞士ノ共和政治ハ起レリ、三郡ハミナ此邊一帯ノ地方ナレハ、殊ニ郡民共唱首ノ烈ヲ畫キ、三人獵師ノ圖ヲ家家ニ掲ケタルナリ、其中央ナル壯士、弓ヲ挾ミタルハ、維廉テル「ノ」像ナリ、歐洲各地、ミナ自主ヲ尙ヒ、其地ノ歴史ヲ記臆シテ、其志ヲ繼承スルニ厚キヲ、此類ナリ、「ルセル」府ニハ、獅子洞アリ、亦其武烈

ト愛國心トヲ示ス所ニテ、小童弱女モ、ミナ其邦俗ヲ記臆シ、嘖嘖人ニ説キテ、
世界第一ノ良俗美邦ナルヲ稱説ス、是其ヨク自立自主ヲトケル所ナリ、小學
校ニテ、歷史ヲ每人ニ授クル主意モ、亦先世ノ志ヲツキ、世世修美ニ赴キシ順
序ヲ、其腦漿ニ浸漬シ、愛國ノ心ヲ養フ所ニテ、東洋歷史ノ體裁ト大ニ異ナリ、
二十三日 晴晝ヨリ陰

黎明ニ、村寺ヨリ鐘ヲ鳴シテ、我一行ヲ祝ス、五時半猶味爽ナリ、ミナ茶ヲ喫シ
七時ニ馬車ニ上リ發ス、サルノン湖ノ尾ヨリ、一帶ノ平原アリ、サルノン湖水
ハ「キーキ」河トナリテ、其平原ヲ貫流シサル、左右ノ山モ亦凡ナラス、谿間ヨリ
河水ヲ送リテ、數條橫流シ、「キーキ」河ニ注ク、架スルニ木橋ヲ以テス、上ニハ字
ヲ掩フテ車ヲ通ス、大小七八條アリ、河底ミナ石ニテ、礫沙ヲ卷キ出シ、河大ニ
シテ水小ナリ、此邊ニモ亦花ヲ賣ル貧民多シ、羅馬カドレイキ教ノ陋俗ナリ
ト知ラレタリ、○走行スル、五英里ニテ、又湖灣ニ出ル、是「ルゼ」ル湖ノ一派
ニテ、アルブナチュル湖ト云モノナリ、湖上ノ山ハ、雪峯ヲ見サレヒ、遠峯ハ霞ヲ
拖キ、近巒ハ翠嵐ヲ帶ヒテ、湖水ニ掩映シ、湖岸ニハ岩山城壁ノ如クニ仄チ一、

面ニ松樹ヲ負テ山腹ニ至ル是ヨリ湖ノ北濱ヲ走リ「ウイルウアルトスダー山ノ
 黛螺ヲミル此邊ノ小村ヲエン子チオルソ」ト云此ニテ馬ニ飲カフ村後ニ一ノ
 峻嶺アリ「マツチオルソ」ト云嶺巍トシテ雲ヲ卷イテ立ッ此邊最奇ノ峯ナリ此ヨ
 リ湖ト離レ走ル一時間ナラスシテ「ルゼルン府ニ達ス」サルノンヨリスベ
 テ十七英里程ナリ昨日「トラチュ」ヨリ山間湖濱ヲユク一三十餘英里マイルミナ馬車
 ヲ驅リ平坦ノ路ヲ走リ曾テ艱蹇ヲシラス河道數條ミナ廣橋ヲ架セサルナ
 シ其道路ノ修マレルヲ察スヘシ

○「ルゼルン」ハ郡ノ首府ニテ人口一萬四千七百人「ウイルアルドスター湖ノ尾ニ
 ヨル市塵清潔ニシテ粉壁雪ノ如ク堂尖矗立シ湖光ニ掩映シ湖ヲ環スル山
 峯ミナ奇峻ニテ倒ニ水ニ鑑シ景色畫クカ如シ湖水ハ此西岸ニ至リ「レウス
 河トナリテ市中ヲ分ツテ流レサル一碧澹然ナリ此河ニ長橋ヲ架シ西岸ノ
 市街ト接連シ其北岸ニハ瀛車驛アリ虹影水ニ鑑ミ湖山ニ對ス其南岸ニハ
 大旅館棟ヲ並ヘテ立チ街前ニハ樹ヲウエ湖岸ノ一帯ハ人ヲ綠陰ノ下ニ歩
 セシム街路ニ鰲石ナケレモ坦平ナルヲ砥ノ如ク石ヲ砌ニシ沙ヲ撒ス清潔

瑞士ノルゼレン府ノ景



同
ウアルトスター湖山ノ景



拭フカ如シ、路ニ車馬ノ行少ク、人ミナ悠然トシテ、逍遙ヲ放ニス、此路ノ東衝ニ寺アリ、雙塔ヲ起シ、其ニ堂尖ヲ聳カス、雙耳ノ如シ、此邑ノ眉目タリ、○此日ハ其岸ナル「スイスホテル」ニ休シ、朝食ヲ辨ス、既ニノ大統領「サレソーロ氏」會計長官等ヲハシメ、中心政府ノ官員來リ、相伴ヒテ湖上ノ郵船ニ上ル、時二十時十分ナリ、船上ニハ樂隊アリ、樂ヲ奏シ、祝砲ヲ發スル、五聲ナリ、大統領ノ夫人氏モ亦船ニアリテ欸接ス、是ヨリ樂調窈窕トシテ、船ハ湖面ヲ輾リサル、水濶ニ山峻ナリ、時ニ一陳ノ細雨スキルニ逢フ、後湖ハ猶晴レ、迷霧飛雲アリテ峯峯ニカ、レリ、遠眺ノ清朗ヲ欠ケ、雲陰ノ變幻ニテ、湖上ノ奇景ヲ得タリ、○游船横ニ「ウイルデスター」湖ヲ駛行シ、東衝ナル「ウイツナウ」村ニ向フ、既ニシテ湖水ヤ、狹ク、右岸ノ山ヲ「ガルバー」山ト云、岩石斜ニ層累ヲナシ、樹アリ、艸アリ、右岸ノ山ヲ「ブルガン」山ト云、岩石横ニ層累シ、中ニ樹ヲ生シテ嶮奇アリ、前ニハ雲峰層層トシテ、頽ル、ガ如クニ相依ル、山水ノ狀、愈出テ、愈奇ニ、左瞻右顧スル、久クシテ、船ハ「ウイツナウ」ノ岸ニ達セリ、此ニテ又砲ヲ祝スル、五發ニテ上岸ス、

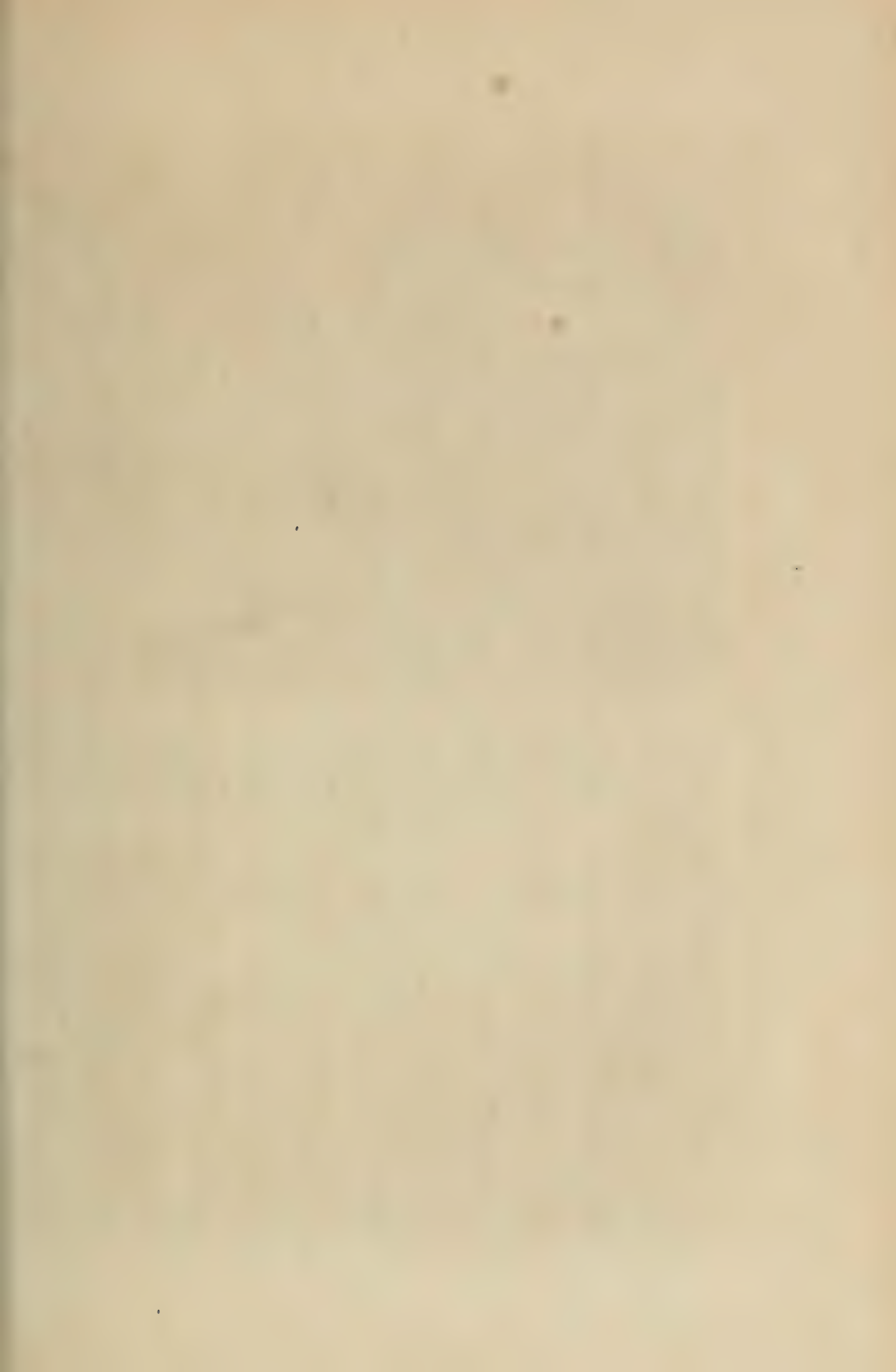
「ウツナウ」ノ埠頭ニハ、人家數十戸アリ、寺塔尖ヲ抽ンテ、頗ル美觀ナリ、此ニ「エ
 ルイッキ」ノ蒸氣車驛アリ、此處ノ鐵道、并ニ瀛車ハ、今度當國ニテ新ニ發明セル
 建築ニテ、山嶺ヲ上下スルモノナリ、本日ハ其落成ニカ、ハ、抑鐵道ノ開ケシ
 ヨリ、己ニ五十年ニ及フ、其利ハ米英諸國ニ徧シ、只其往來ハ、平路ニ限り、俯仰
 僅ニ七八度ノ斜ヲ走ルニスキス、岡陵山谷ニアヘハ、洞道ヲ穿チ、橋柱ヲ架シ、
 費ヲ糜スルヲ巨大ニテ、竟ニ山嶺ヲ上下シ去ルヲ得サルヲ以テ、往往之ニ
 妨ケラレ、便利ヲ失フヲ多シ、米利堅人、曾テ山ヲ登ルヘキ蒸氣車ヲ通セント、
 一種ノ鐵路ヲ架シタレト、其功ヲミス、瑞士人更ニ其工ヲ踵テ、多方ニ思慮ヲ
 コラシ、竟ニ此鐵道ヲ架シタリ、○此鐵道ハ三年前ヨリ創起シテ、金ヲ集メ、築
 造スルヲ一年ニテ落成セリ、此湖岸ヨリ「エルイッキ」ノ山頂マテハ、直立五千五
 百尺、是ニ長サ七「キロメートル」ノ鐵路ヲ架シ、其費二百五十萬「フランク」乘車
 ノ價總テ四十萬「フランク」ヲ用ヒタリ、其鐵軌ノ設ケハ、尋常ノ鐵路ノ如ク、雙
 軌ヲ設ケ、中央ニ又一條ノ鐵ヲシキ、是ニ齒格ヲ設ケ、其上ヲ輾ル蒸氣車ハ、前
 伏シテ後軒起ス、前ニ二箇ノ施齒輪アリ、後ニ一ノ施齒輪アリ、此齒輪ヲシテ、

瑞士國グイッナウ津頭汽車驛



同山ヲ上ル鐵道





中條ノ齒格ニ入リ、輾轉セシメ、以テ左右兩輪ノ力ヲタスクル所ナリ、阪路ノ急ナル所ハ、傾斜三十度ノ角ヲナスモ猶上下スヘシ、上リニハ推シ下リニハ輓ク、七「キロメートル」ヲ進行シ、一時半ニテ達ス、乗車ノ價一人ニ付テ七「フランク」ヲ收ム。○當處ノ勝景ハ、國中ニ奇絶スルヲ以テ、此ニ車路ヲ修メ、四方ノ游人ヲシテ、高峯ニ上リ、縱覽ヲ快クセシムル目的ナレハ、車ノ裝置モ、四面ミナ、玻璃ニテ、眺望ヲ快クセリ、此車ニ上リテ山路ヲ輾リ上レハ、湖水山峯ミナ、目下ニ落ツ、半腹ニ及フコロ、一ノ洞道ニ入ル、此ヲ出レハ、下ニ百尺ノ谷アリ、鐵橋ヲ以テ谷ヲ横絶シテ去ル、山岩壁ヲ削リ、樹木踈踈ニ生シ、前ニ懸泉アリ、下ニ湍流アリ、風景壯ナリ、○是ヨリ路ハ益仰キ、三十度ノ斜ニ及フ、此處ニ一舍アリテ、瀨車驛トス、此ヲ「ユンテルワーデン郡ト」「シワイツ郡ノ分界トス、兩郡ハ共ニ瑞西獨立主唱ノ郡ニテ、當國ノ中央ニ位シ、獨逸語ノ民ナリ、郡ミナ小ニ、二三百方英里、三四萬ノ民ニスキス、ミナ羅馬「カドレイキ」教ヲ奉ス、夫ヨリ更ニ一峰ヲ上リサリ、遂ニ「ケルバート」ノ嶺ニ達シ、「リギュルム、ホテル」ニ至リテ、宿ヲ定ム、○此峯頂ヨリ俯瞰スレハ、高峰ハ怒濤ノ如ク、低巒ハ跳波ノ如

ク南方ニ雪色玉ヲ抛ツカ如キハ「ユリ郡」ノ郡嶽ナリ西方ニ亂峯鋸齒ヲ立タルハ「ベルン郡」ノ諸山ナリ、其中ニ「ルセルン」ノ四湖ハ前ニアリ、「シュクケー湖」エゲリ湖「ロメル湖」ハ東ニアリ、「ロチヨン湖」セムバチ湖ハ西ニアリ、ミナ大鏡小鏡ヲ抛テ波濤ノ中ニ漂セタルカ如ク、其佳眺タル謂ン方ナシ、晴朗ノ日ニ更ニ遠望ヲ極ムレハ十五ノ湖水ヲミルトナリ、此日ハ飛雲相迷ヒテ遠望ニ宜シカラス、須臾ニシテ雲來リ峯ヲ包ミ、咫尺晦冥トナル、因テ遊覽ノ眼ヲ收メ、二時ヨリ旅館ニ入ル、○是ヨリ食堂ニ於テ、鐵路落成ノ宴會ヲ開ク、會食ノ男女百餘人、食享盛饌ヲキハメ、食間ニ「スピーチ」アリ、衆人ミナ器械師ノ偉業ヲ稱賛シ、此席ニテ褒賞ノ金杯ヲ與フ、四時ニ至リ徹宴シ、竟ニ此ニ宿ヲナス、

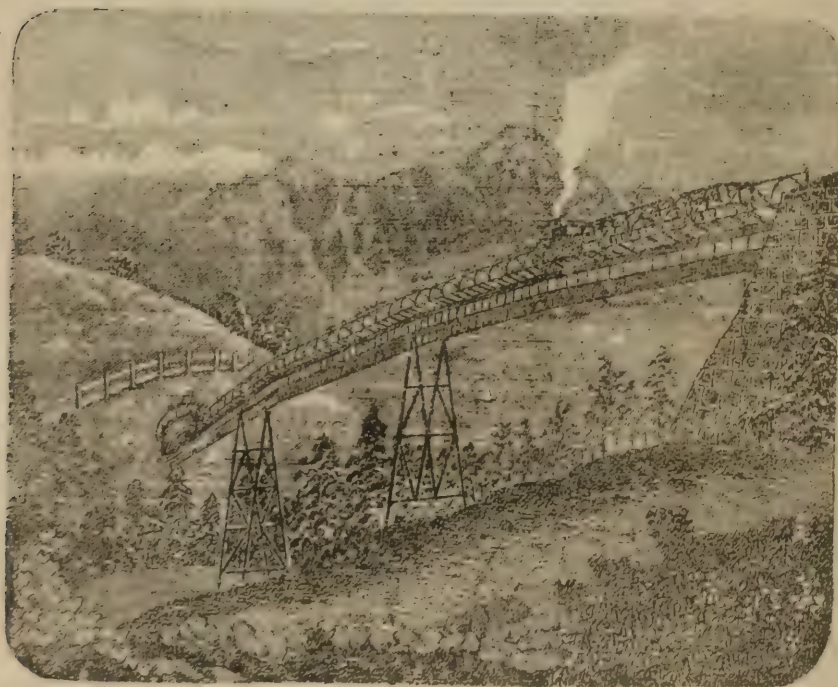
廿四日 晴陰午後晴

六時ヨリ、瀛車ニテ山ヲ下ル、此日雲陰山ヲ掩ヒ、瀛車雲中ヲ輾リ下ル、眺望ナシ、再ヒ湖ニ航シテ「ルユセルン」府ニ歸リテ「スイツルホテル」ニ至ル、大統領ヲハシメ、ミナ此ヨリ辭シテ「ベルン」府へ歸レリ、一行ハ「ホテル」ニ留リテ、此邑ノ遊覽ヲナス、

瑞士ノツィツナウ山頂ノ景



同山ヲ上ル鐵道ニ谷ヲ越スル處



午後ヨリ、天モ晴ヲ放ツ、近傍ヲ散歩シテ、公苑ノ勝ヲミテ、湖上峻嶺ノ勝ヲナ
ガメ、是ヨリ小艇ヲ棹シテ、又旅館ニ歸ル、旅館ノ背ナル所ニ、獅子洞アリ、是ハ
一千七百九十八年ニ、佛帝拿破侖第一世、瑞士ヲ伐シトキ、瑞士人其兵ト拒戰
シ、此郡ノ民殊ニ苦戰ヲトケタレト、衆寡ノ勢較セス、遂ニ之ニ屈服シ「レマン
コ」ノ戰野ヘ、拿破侖ノ兵ヲ先導セシハ、歐洲ニ聞ヘル美事ニテ、其強兵ノ實效
ハ、諸國ニ傳ヘテ稱譽セリ、其後佛帝敗レ、瑞士國ヲ復シ、因テ此處ノ巨岩ヲ削
リテ、獅子戈ニ貫カレテ斃レ、猶干楯ヲ執ヘテ死セントスル狀ヲ雕刻シ、瑞士
人ハ身斃レテモ、國ノ干城トナルヲ忘レサルノ意ヲ表ス、歷史上ニテ名ア
ル故事ナリト云、

○四時五十分ヨリ「ルゼルン」府ノ驛ヨリ、蒸氣車ニ上リテ發ス、是ヨリ一洞ヲ出
レハ「レウス河」ニ從ヒ走ル、是ハ「ルゼルン」湖水ノ落チ流ル、所ニテ、河水鴨綠
ヲタタヘテ、流勢甚タ壯ナリ、益進メハ地益平カニ、山峯ノ奇ト遠サカル、土人
ミナ耕鋤ヲ勤メテ、餘地ナシ、十英里ニテ「ゼムバチ」湖ニ至ル、○此湖ハ甚タ大
ナラス、低巒岸ヲ圍ミ、佳勝乏シ、對岸ニ「ゼムバチ」村アリテ、屋壁堂尖、皎然トシ

テ水ニ鑑ミルヲ見ルノミ、是ヨリ湖濱ノ平澤ヲスク、六時五十分ニ「ズオヒン
 ケン村驛ニ達ス、此村ニ麻布ヲ野ニ張テ、油膠ヲ塗り、雨衣ノ布ヲ作ルヲミル、
 七時十分ニ「アルボルク驛ニ至ル」○「アルボルク」ハ即チ「ズリツキ」ヨリ來時ニ
 スキタル驛ニテ、左ニ一ノ岩岡アリテ、城ノ如クニ環リ、之ヲ洞剗シテ、鐵路ヲ
 開ク、此驛ニ休憩スレハ、同車ノ人銃ヲ負ヒ來リ、我一行ニ示シ、且二三發ヲ試
 ミ、其利ヲ示セリ、是ヲ「ベトリ―銃ト名ツク、當國ニテ發明シタル、後裝十連發
 銃ナリ、現今瑞士ノ軍用ニハ、此銃ヲ用フ、又別ニ一銃ヲ示ス、是ハ英ノ發明ニ
 テ「マチ―子銃ト云、後裝銃ナリ、皆當國ノ「ソーレン邑ニ於テ製作スルトナリ、
 此驛ニテ「ズリツキ」往來ノ氣車至ルヲ待チテ發車ス、是ヨリ以後ノ途上ハ、最初
 「ズリツキ」ヨリ「ベルン」ニ赴ケルニ同シ、八時二十分ニ「ベルン」ノ旅館ニ歸ル

二十日 陰

夜近街ノ「ホテル」ニ於テ、大統領ヨリ享宴アリ、各國ノ公使領事ミナ會ス、食饌ノ設ケ甚タ豐美ヲキハメ、會間ニ樂ヲ奏シ、食後ニハ庭中ニ涼ヲ納テ談話ヲナス、庭上ニ瑞士ノ挑灯前卷「サル」ニ詳ナリヲ點シ、享應甚タ盛美ヲツクセリ、

二十六日 晴

二十七日 晴

九時ヨリ「プロフエツソル」シアフテル氏ノ案内ニテ、府ノ小學校ニ至ル、四層ノ宏館ナリ、四五歳ノ小兒モ、此ニ入リテ、運筆、閲數等ヲ教フ、通例ハ七八歳ヨリ十三四歳マテ、此ニ入リテ、文、語、書、畫、數、史、地、及ヒ物理ノ八科ヲ學ヒ、并テ唱歌ヲ教フ、運動ノキ、婦人ニモ、步操、編伍、開展ノ技ヲ習ハサシム、教師ハ婦人多シ、大抵四十人ニ一教師ヲ與フ、等級漸進ムニ從ヒテ、生徒ノ數ヲ減ス、授クル所ノ歴史ハ、只瑞士ノ史ヲ教フ、語學ハ佛語ヲ學フ、西北部ハ佛語、地理モ瑞士國

ノ地理ヲ重ニ教ヘ、外國ハ其關係アル國ヲ主トシテ、大略ヲシラシメ、遠國ニモ略ホ及スノミ、書ハ圖引ノ規則、方圓ヲ書クヲ慣熟シテ、物象ニ及フ、是モ一般ニ教フルトナリ、然レモ諸科ハミナ之ヲ強ヒテ學ハシムルニ非ス、人ノ自由ニ任スレモ皆人生ノ必要トスル所ナレハ、生徒ノ父母モ悉皆習ヒ學ハンヲ願フ、曾テ某科ハ學フヲ要セスト請フモノハナシト云ナリ、

八科ノ學ハ國民ノ國民タルニ於テ、一モ缺クベカラサルモノナリ、且唱歌ハ人ノ咏懷ノ蓄念ヲ發シ、心性ヲ和暢ス、喩ヘハ鳥哢禽囀ノ自然ニ發シテ、自ラ慰ムカ如ク、有聲ノ族ハ必スナカルヘカラサルモノタリ、歐米各國ノ學校、何地モ唱歌ヲ教ヘサルナシ、殊ニ婦人ノ心ヲ柔順婉孌ニ誘スルニハ、唱歌ノ効ニアルヲ以テ、尤モ此科ヲ勉メシム、其文教ニ關係スル輕カラス、東洋ノ古時、禮樂ヲ重シタルモ、其注意此ニ同シ、東西ノ民、其人情ニ殊異アラサルヲ證スヘシ、抑小學ノ教ハ、男女貴賤、貧富、何ノ職業ヲ問ハス、ミナ之ヲ知ラサレハ人トナルヘカラス、其國人ト爲ヘカラサル、緊要的切ナル藝ヲ授クル所ナリ、故ニ瑞典ニテハ曰ク、小學ノ教フル所ハ、勉メテ平易切

實ヲ要ス、聊高尙深奥ナルヲニ涉レハ、童生ヲ成賊シ、厭弄ノ心ヲ生セシム
ト、瑞士ニテハ曰ク、之ヲ強ヒザレト、人人ミナ教ヘンヲ望ム、夫レ平易切
實ノヲヲ擇ミテ教ヘ、人人ヲシテ學ハサル惟恐レシム、是普通教育ノ要訣
ナリト謂ヘシ、顧フニ東洋ノ學ハ、道德政治ヨリ出テ、只修身ノ一科ニヨリ
推充シ、無形ノ理學、高尙ノ文藝ヲ玩フ、日用生理ノヲニ至テハ、猥俗ナリト
テ、曾テ慮リ及サス、故ニ美風善行モ、一般ノ人民ニ及ハス、婦人ハ、深閨ノ内
ニ幽閉セラレ、人生ノ快樂ヲウクルヲ得ス、農工商ハ、猥俗ノ生理ニ暇ナケ
レハ、人倫ノ道ヲキクヲ得ス、全國民文盲域中ニ於テ、士君子ノミ、其志ヲ高
尙ニスルモ、其切實ノ財產生理ニ疎ナレハ、貧窶ニヨリテ其本領ヲ失フモ
ノ、比比ミナ是ナリ、西洋ハ之ニ反ス、其所謂ル學ハ、皆人ノ財產生理ニ困難
ナク、國民ノ義務ヲツクスニ欠乏ナキヲ、學知スルヲ本トナシ、有形ノ理
學ヲ務メ、營生計理ノ實事ヲ講ス、故ニ修身ノ理ハ、反テ僧徒ニ賴ル、文學全
國ニ普キモ、猶未來ニ冥福ヲ俟求ス、然リ而シテ其生理ヲ熟究スルニヨリ、禮
節ヲシリ、野蠻ノ行ヲ脫スルニ至リタリ、是東西ノ學、其趨向ノ異ナル所以

夫ヨリ、私建ノ義校ニ至ル、此ニハ有産ノ子弟多ク來リ學ヒ、教フル所モ稍高
尙ニ至ル、

○夫ヨリ博物館ニ至ル、此館ノ規模ハ大ナラサレ、諸物ハ略備レリ、一千八百
六十八年、當國「ユリ郡」ノ山中ヨリ掘出シタル、鼠水晶ヲ結晶ノマヽニテ陳列
セリ、水晶ノ柱七箇叢成シ、一ノ大礫ヲナシタルモノナリ、其傍ニ鑿取タル狀
ヲ圖シ張ル、此圖ヲミルニ、山腹ノ岩石ヲ深ク穿チテ、掘出セルモノナリ、當國
ノ出產中ニテ殊ニ目ヲ矚スル尤物トス、

○書庫アリ、此ニ八萬冊ヲ藏ス、來リ借覽スルモノハ、券子ヲ與ヘテ、入ラシム、外
國人ハ、使節公使ヨリノ券子ニテ入ルヘシ、此内ニ日本ノ地理ヲ討索セシ、圖
入ノ書二冊ト、圖二帖トアリ、討索頗ル密ナリ、西洋人ノ地理ニ用心ノ厚キヲ
ミルヘシ、夫レ瑞士國ハ、山間ノ小國ニテ、遠海ノ航海ニハ、甚タ切要ナラサレ
、猶其萬國ノ情ヲ講求スルニ、精密ナルヲ此ノ如シ、必スモ米、英、佛、ノ人ニテ
遠方ノ地理ヲ討索スルニ非サルナリ、往年日本ニ派遣セラレタル「ハンベル

瑞士ノノライ堡府

本ルグ



同「シヨ」山村ノ古城



ト氏ノ集メタル、日本紀行ノ如キ、中ニ謬誤モ少カラサレトモ、其業ハ勉メタリ
ト謂フヘシ、當時「バンベルト氏其誤リアルヲ知リ、此回我一行ヘ懇属シ、我歴
史ノ拔萃ヲナシテ與ヘンヲ乞ヘリ、

二十八日 晴

二十九日 晴

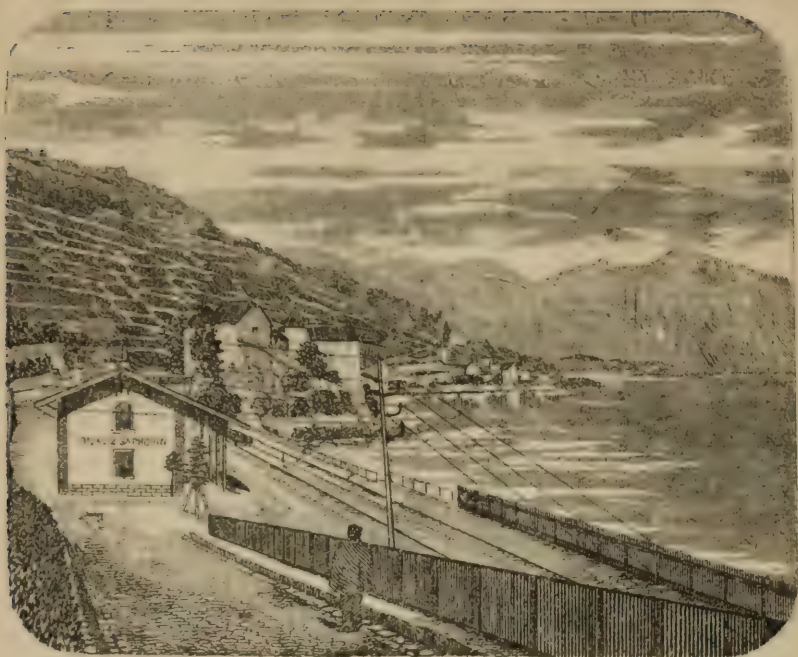
朝十時四十分「ベルン」ノ驛ヨリ、瀟車ヲ發シ西ニ走ル、地勢坦恢ナラス、陵阜相
錯リ、樹夭ニ艸茂セル阪路ヲ走ル、二十分時間ニテ一川ニアフ、是ヨリ岩石ノ
坂ヲ走リ「リントーラン」驛ヲスキ、一隧道ヲ出レハ、亂嶂相錯リ、地形崢嶸タリ
隧ヲ穿ツ、兩三度ニ及フ、此邊ニモ泥炭ヲ堀ル所アリ、是ヨリ岡陵散漫シ、平
野ヲ開キ、南方ニ雪嶽ノ鋸齒ヲ削リ、峰劍ヲ磨シテ立ツヲミル、十一時半ニ「フ
ライホルク」ニ至ル、

「フライホルク」ハ、當郡ノ首府ニテ、全郡ノ地積五百六十七方英里、人口十一萬、
首府ノ人口一萬餘、「サロン」河ハ、府中ヲ曲折シ流レ、深ク數仞ノ地底ヲユク、飛
橋ヲ其峽上ニ架ス、長サ三百「メートル」ニ及フ、市塵ハ岡ヲ埋メテ、高低一ナラ

ス寺塔參差トシテ、巉岩ノ際ニ起リ、或ハ古城ノ傾仄シ聳ユルアリ、此邊ノ一都會ニテ、風景ノ美ナルヲ「ベルン」ニアスヘシ、○是ヨリ進行スル半時間ニテ「フコッヘー」ヲ過ク、此ハ山上ニ村ヲナス、峯峰劍ヲ束スル如ク、東方ニ羅列ス、亦佳景ナリ、已ニシテ一長隧ニ入り、五分時間ヲ費シテ出レハ、東北ノ眺望ハ隱レ、西方ノ山巒又ミルヘシ、「サンデネスツ」ヲスキテ、松林森々ノ峽路ヲ走リ一時十分ニ「ヴェヴェス、ダット」ノ山驛ニ至ル、南方ニハ高峰濤ヲ崩シ、雪峰其間ヨリ頭角ヲ露シ、斬然天ヲ照スヲミル、即チ「ゼ子ーヴァ湖」首ノ山ニテ、其雪白ナルハ「チヤンプロン」ノ山ナリ、

○是ヨリ一隧ヲメクリ出レハ「レマン湖」(一名「ゼ子ーバ湖」)水豁然トシテ前ニ開ケ「ヴェヴェー」邑ノ人家、皎然トシテ湖岸ニ連リ、蒸氣車ハ山腹ヲ走ル、前後ノ峰容、水ニ鑑シ霞ヲ拖キ、ミナ俊逸ノ姿アリ、眞ニ快絶ノ景ナリ、此邊湖岸ノ地ハミナ葡萄ヲウユ、凡葡萄ハ平地ニ宜シカラス、其根ハ水ヲ忌ム、故ニ傾斜ノ坡ニ於テ種ユ、溪谷河墳ノ地ノ如キハ殊ニ其土宜ニカハルト云、二時十分前ニ「ローサン」府ノ驛ニ至リ、馬車ニ駕シテ「ホテルワイシ」ニ休シ、晝食ヲ辨ス、「ローサン」

瑞士國「ゼー」湖岸「左」邑



同「ローザン」府ノ旅館



ノコハ後
ニ記ス ○五時五分ニ「ローサン」ヨリ湖上ノ郵船ニ上リ「ゼ子ーハ府」ニ赴ク
此邊ハ湖水ノ尤モ廣キ所ニテ兩岸相距ル、七英里ニスク「ローセン」ノ向岸
ヲ「エヒヤン」村ト云此ハ佛國ノ部分ニテ溫泉アリト云此岸ニ一停シ岸ニツ
ヒ駛行シ「チヨン」ノ埠頭ニ至ル此モ亦佛國領ナリ此邊ヨリ湖首ノ奇峰ミナ隠
レテ兩岸ノ山容ミナ平溫ナリ湖光豁ニ水面澹トシテ霞ヲ皺メ山烟縹紗ト
シテ夕日ニ映ス是ヨリ斜ニ湖水ヲ横截シ七時五分ニ「ニヨン」ノ岸ニ至ル此邊
ヨリ南ニ一ノ雪峰ヲ露ハス皎然トシテ玉ヲ瑩シ劍ヲ磨シ岸巒ノ間ニミユ
ル是毎ニ記述セル「アルプス」ノ絶巔モンブラン山巔ニシテ其根ハ佛以瑞ノ
三國ニ蟠屈シ歐洲第一ノ高嶽ナリ直立一萬五千九百尺我富嶽ヨリ高キコ
一千五百尺以上ニ及フ是ヨリ「コフベツト」ニ一停シ八時ニ「ゼ子ーウ」府ニ達
シ「ホテル、デベルギユス」ニ宿ス、

三十日 陰

「ゼ子ーウ」郡ハ地積元ヤ、大ナリシニ佛國ヨリ削ラレ今ハ僅ニ九十四方英
里人口九萬三千アルノミ當府ハ瑞府第一ノ都會ニテ時辰儀ノ名所ナリレ

マン湖ノ尾ナル河口ニヨリテ、市街ヲ開ク、是此湖ノ一ニ「セチーヴ」湖ト稱スル所以ナリ、其地北緯四十四度二十四分、東經八度五十四分ニ位シ、人口四萬七千アリ、外國ノ寄留人ヲ并セ數フレハ、六萬八千口ニ及フト云、前ハ湖水ニヒカヘ、左右ニ峰巒層複シ、中ニ大河ヲ抱キ、「モンフラン山」雪色ヲ輝カシテ湖上ニ立ツ、風景目ヲ拭フ、市廛宏壯ニテ、街路修り清淨ナリ、市民客ヲ待ツニ和ニ業ヲ務ムルニ精シク、遠人ノ來寓スルモク歸ルヲ忘ルト云、

○朝駕シテ「サンヒヤル寺」ニ至ル、此寺ハ一千百年代ニ建テタル古寺ニテ、此地ノ「丟克ローン」ノ屍ヲ葬ル、此郡ハ元佛國ノ領分ニテ、此公家領國ナリシ、一千六百三十八年ニ薨シタリ「セチーヴ」郡ハ元羅馬カドレーキ教ノ地ナリ、此寺ノ高名ナリシハ、路得ノ新教ノ起リシト「デヨン、カルピン」ト云、高僧、此地ニ來リテ其教旨ヲ弘メ、説教ヲナセル所ナリ、寺宇ハ、石造ニテ高大ナラス、

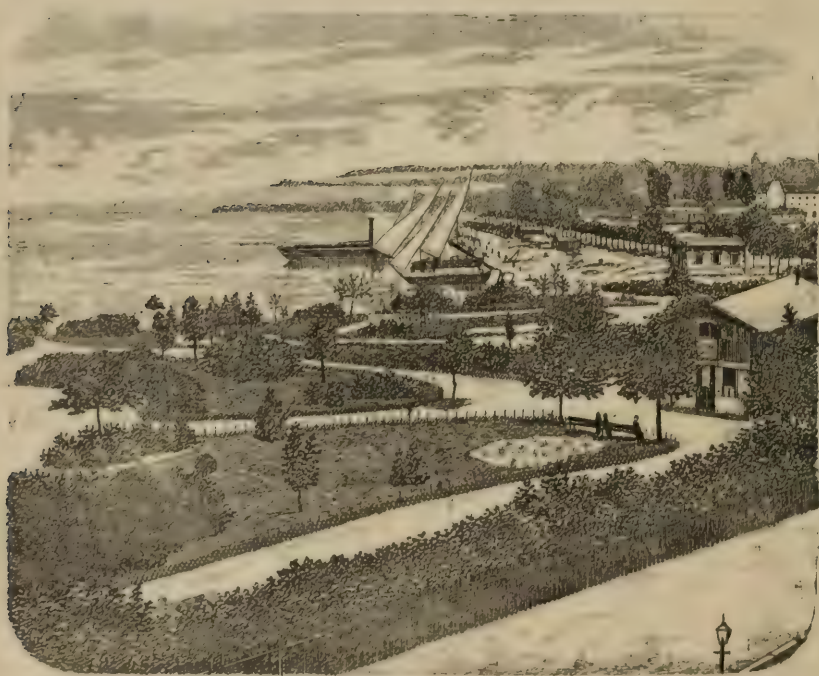
○夫ヨリ博物館ニ至ル、畫ノ展覽場ナリ、背ニ草木園アリ、録スヘキヲナシ、

○歸路ニ「セネーヴ」府ノ上水ヲ揚ル機關場ヲミル、是ハ「レマン湖」尾ノ河口ヲ中截シ、其河中ニ場屋ヲ建テ水車ヲ仕設セリ、元ハ二箇ノ水輪ヲ以テ水ヲ揚ケ

瑞士國「セー」グ湖尾ノ景



同湖岸ノ游苑



シニ其力弱キヲ以テ近年ノ發明ニヨリ臥輪ヲ仕掛ケ其一輪ノ力ニテ百五十馬力ヲ生セシメ水力ト空氣トノ相壓迫スル力ヲ以テ水力ヲ鑪管中ニ上セ一分時間ニ七百「リットル」量ノ水ヲ大鑪管ノ中ニ催入セシメテ市中ニ送ル其勢ヒ高サ八百尺ノ上ニ噴騰セシムヘシ舊設置ノ車輪ヲ存シテ臥輪ノ力ヲ補ハシム此機關ノ功タル甚タ工思ヲ用ヒテ仕掛モ亦大ナリ西洋ニテ日需ノ飲食ニ於テハ一般ニ利便ヲハカリ良美ヲ究ムルニ費力ヲ惜マサルヲ此ノ如シ

七月一日

十時ヨリ「パテック・ヒリップス」氏ノ執時儀製造場ニ至ル「パテック・ヒリップス」氏ハ露西亞人ニテ此ニ移住ス「セ予バノ南濱ヲシメ長橋ノ衝頭ナル塵ニアリ塵内及ヒ外ニ於テ外トハ工人家々ニテ作り持來ルナリ」日日三千ノ職人ヲイレテ製造ヲナス○時儀ノ器械ヲ造ルニハミナ分業アリ輪工ハ輪ノミヲ作ル輪ニヨリ又業ヲ分ツテ一人只一箇ノ器什ニ從事スルナリ凡時計ハ精密ノ細工ナレハ其製作ノ器械微ニ鈍鈍ヲ生スレハ即チ器ヲナサス故ニ製作ノ器械モ精良

ヲ務メ、今ハ器械ヲ一度仕掛クレハ、八千枚ヲ製作スルニタヘル器械ヲ用フルニ至リ、大ニ工力ヲ減セリ、中ニモ抄時セコンドヲ閱スル齒輪ハ、元ハ一抄時ニ二齒ナリシヲ増シテ三齒ヲ刻ミ、全輪ニ百八十ノ齒ヲ切ル器械トナセシニ、近來ハ更ニ増シテ、四齒ヲ刻ムニ至リ、現今ニハ更ニ六齒ヲ刻ミ、總テ一輪ニ三百六十ノ齒ヲ刻ム器械ヲ備ヘタリ、如此キ精密ノ器械ナレトモ、一度仕掛ケテ運動ヲナサシムレハ、八十枚ノ輪ヲキルマテ、微差ヲ生セスト云、大低一度ニハ一枚ヲ合テ刻ヲナ○時候ノ寒暖ニヨリテ、輪ニ漲縮ヲナシ、遲速ノ差ヲ生スルヲ平均スル爲メ、眞鍮ト鉄トノ合裝ヲナス、眞鍮ハ冷ニ漲シ、暖ニ縮ム、鉄ハ之ニ反ス、故ニ鉄輪ヲ刳リ、中ニ眞鍮ヲ嵌シ以テ輪トナス、寒暖ノ變ニテ縮漲ナシ、○場中ニテ細工ヲナスモノ、皆隻眼ニ凸鏡ヲ嵌シテ、微細ヲ照看ス、工成レハ査驗ノ局アリ、精細ニ吟味ヲナシテ受取ル、施工尤モ明ヲ要スルヲ以テ、窓格ハ總玻璃ナリ、場内ニテ政治ノ談ト、宗門ノ談トヲ禁止ス、此兩件ノ談ハ互ニ口論喧嘩トナリ易キヲ以テナリ、○時儀已ニ成レハ、大約價七百「フランク」以上ノモノハ寒溫ノ變ニテモ差ヲ生セサルヲ試驗ス、其法ハ、氷中ニオクヲ二十四時、再ヒ

之ヲ百二十度ノ溫ヲ蓄ヘタル箱ノ中ニオクヲ二十四時共ニ微差生セサル
後ニテ、眞ノ成就トスルナリ、

午後ヨリ某氏ノ別莊ニ至ル、

二日 晴 薄霧アリ

午後ヨリ、湖ノ南岸ナル村ヲ回ル、

三日 晴

近郊ノ山ニ登リテ遊覽ス、

四日 陰

五日 晴

午後ニ府ノ南鄙ヲ回リ、博士某氏ノ宅ニ至ル、此人ハ積年牢獄ノ建築ヲ精考
シ近年各國ノ牢屋圖ヲ集メ、其得失ヲ論明セル、一部ノ書ヲ著セリ、其書ヲ以
テ贈レリ、其後同道シテ、當府ノ牢屋ニ至ル、一千八百年ノ初メニ建テタルモ
ノニテ、頗ル結構備リタレト、當今ニテハ十分ナラストテ、近時ニ改築ノ仕組
ヲナセリトナン、此牢ニ室ヲ設クル三百ニ及フ、現ニ罪人七十六人ヲイルル

大低ミナ外國ノ寄留人ニテ佛人殊ニ多シト云、

六日 陰

七日 晴

八日 晴

當府ノ會計掛「シヨウウエル氏」ノ案内ニテ當「ゼ子ーヴ」郡ノ政廳ニ至ル、此郡ハ僅ニ九十四方英里、九萬三千二百三十九ノ人口ヲ管轄スレモ、政廳ノ設ケハ其大ナルヲ却テ「ベルン」ノ大政府ニスク、古キ建築ナリ、蓋シ元佛領ニテ郡ノ領地大ナリシモノ故ニヨルナラシ、當郡ノ地近世ニ佛朗西ヨリ裂カレテ十二此ヨリ五六英里ノ西ニアリタリト云然レモ「サンピ」此ニ「シヨウウエル氏」ノ演話ナル寺ニ兵克ノ墓アレハ此地ノ都府タルヲモ久シ、○當郡ハ七人ノ「コンセ」ニヨリテ、當一郡ノ治體、其大略ヲ開キタルヲ述ヘン、

イデター官評議アリテ郡治ヲ分掌ス、二十五郡大抵ミナ同郡民ノ入札ニテ、二年ニ一交ス、其分課ハ、第一ニ軍務掛、第二ニ度支商法掛、第三ニ租稅掛、第四ニ司法取締掛、第五ニ教育掛、第六ニ郡務掛、此掛ニテ法教癩院、上下水道ノヲヲ兼轄ス、第七ニ工藝掛ナリ、此外別ニ統領ヲオカス、抽籤ノ選舉ニ當ル後ニ、相

協議シ其内ヨリ所長ヲ以テ各七課ヲ分掌シ課目一定スレハ其課ノ百事ミ
ナ委任シテ全權タリ七人ノ内ヨリ申合セテ一人ノ統領ヲ勸ム必モ某課ヲ
勸ムル人ニテ統領トナスト一定ノ則ハナシ歐洲都邑ニ共和政治ヲ設ケタ
コンフイデレーションノ「ゼ子ヴァ」ノ地ヲ四十五「コンミン」ニ分ツ二「コンミン」ニ
治體ハ如此キモノカ「ゼ子ヴァ」ノ地ヲ四十五「コンミン」ニ分ツ二「コンミン」ニ
長官アリ猶我庄屋ノ如シ以テ其治務ヲ辨ス郡務掛リ「コンセーデター」ハ其
總庄屋ノ場ヲ務ム凡ソ「コンセーデター」ノ給料ハ年年五千「フランク」大抵富
有ノ人ヨリ推舉セラル此舉ニ當ルハ其義務ト名譽トニカハル固リ給俸ノ
多少ヲ論セサルナリ然レモ已ニ之ニ責任ヲ付ス其俸ハナカルヘカラス因
テ此額ノ給ヲ受取ラシム○立法官ヲ「ゲランド、カウンス」ト云人民ノ撰舉ニ
テ百十人ヲ舉ケ之ニ充ツ此議員ハ給料ナシ毎年集會ノ期ハ二ヶ月程ニテ
閉局ス其間ハ一日ニ六「フランク」ノ給金ヲ與フルノミ○裁判官ハ一定ノ員
ナシ立法ノ議員百十人ヨリ公舉ス裁判官ヲ政府ヨリ撰ムハ立君政治ノ體
和政治ノ體ナリ故ニ立君ニテハ政治ナリ人民即チ立法官ニテ公舉スルハ共
兩權トイヒ共和ニテハ三權トイフ其員ハ事ノ有無ニ關係ス大抵重ナル
裁判役ハ三人ニテ其他全局ノ官員ハ二十四人ヨリ三十人ニ至ル其給料ハ

年ニ四千「フランク」ヨリ、五千「フランク」ニ至ル、外ニ商法裁判役九人アリ、常ニハオカス、其事起レハ之ヲ開ク、一度ニ三人ニテ立會ヒ聽ク、九人三度ニ交代ス、全ク給料ナシ、○瑞士二十五郡、ミナ一ノ憲法ノ下ニテ治ヲ開ク、各郡ノ憲法ハ、當時選定中ナリ

此日評議官ノ各寮、及ヒ評議官ノ議堂、立法官ノ議堂ヲ回覽ス、各局ミナ官員

カウシニユル

ヲ設クル、簡易ヲキハム、事務ノ繁劇ナルニアタリ、書記官足ラサレハ、往來ノ人ヲ執ラヘテ、書寫ナドヲ頼ムヲアリ、必シモ無用ノ人ヲ多クシテ、人ノ勉強ヲ妨ケス、一員ノ遊怠無事ナルモノアレハ、他ノ吏員ニマテ、其情習ヲ傳染スルモノト謂ヘリ、○郡務掛ノ局ニ婚姻ヲ公認スル室アリ、正面ニ大案ヲオキ、其上ニ婚姻ノ法規ヲ書シタル簿冊ト婚主、署名ノ簿冊ヲ載セ、其前左右ニ三四榻ツ、相對シテオク、凡婚姻スルモノハ其新夫婦、及ヒ雙方父母親戚、証人ノタメ附添來リ、此ニテ其結婚ノヲ届ク、郡務掛リ、即チ夫婦ノ義務等ヲ演シ、案上ノ規則ヲ熟覽セシメ、承諾ノ上ニテ、名簿ニ署名ヲナサシム、是婚姻ヲ公認スル所ニテ、爾后政府ヨリ保護ヲウクル權ヲ生ス、○一室ニ去年ノ秋、英

米兩國「アラバマ」船ノ論難ヲ中裁セシ席アリ、往年米國南北戰爭ノ片、英國ヨリ陰ニ南部ヲタスケ、軍艦ヲ派シテ海上ニ米ノアラバマ艦等ヲ打碎キシヲアリ、靜謐ノ後ニ其事ヲ糾明シ、今ノ米國大統領ヨリ、其償金トシテ四千五百五十萬弗ヲ英ニ請求シタリ、英國ハ其額ヲ不當ナリトシ、是ヨリ疑議トナリ、我一行ノ米ニアル比ハ、兩國間難ノ最中ニテ、一時ハ兩國戰爭ヲ構ヘントスル勢ニモ至リシニ、遂ニ中ヨリ勸解ヲナシ、以太利^{アラ}伯爾^{シル}西及ヒ瑞士ノ三國ヨリ委員ヲ派シ、此廳内ニテ、米英二國ノ委員ト會同相議シ、其疑議ヲ審廳セリ、室ノ中央ニ、米英委員ノ榻ヲ列シ、又三國ノ委員中ヨリ、假リニ問官ノ如ク、首座ニ居テ之ヲ聽ク、衆員ハ兩側ノ榻ニ列席シ、中座ノ問答ヲ詳聽シ、旁支ノ論ヲ裁シ、無證ノ說ヲ省キ、務テ本領ヲ貫キ、竟ニ贖額三千萬弗ヲ節シ去テ、英國ヨリ一千五百五十萬弗ヲ出シテ、兩國互ニ和妥スルヲニ決シ、去年西曆八月十三日ニ局ヲ終レリ、其案ト榻子ト、其時ノマヽニテ之ヲ存セリ、廳前ニ武庫アリ、古來ノ甲冑、刀戟、旗幟ヲ蓄フ、ミナ一千七百年前佛國ノ領地ニテアリシトキノモノナリ、

九日 晴

日本政府ヨリ、急ニ歸國スヘキ電信來リ、葡萄牙國行ヲ中止シ、歸裝ヲナス、十日 晴

府中ヨリ享應ニテ、湖上ニ蒸氣船ヲ艤シ、樂ヲ奏シ、旅館ノ前岸ヨリ、輪轆ヲ發シ、「レマン湖ニ航遊ス、府中ノ官吏商豪、船ヲ共ニスルモノ三四十名、或ハ樂伎ヲ以テ加入スルモアリ、主客ミナ舳板上ニ榻ヲ雜陳シ、風景ヲ攪シ、談論笑話ヲ只意ノ適スル所ナリ、船室ニハ茶酒果ヲ供シ、飲ヘシ、喫スヘシ、船尾ニハ、樂聲劉亮トシテ、風ニ飄リ、湖ニ響キ、飄飄乎トシテ羽化登仙ノ思ヒアリ、「モンブラン山ハ氷雪ヲ瑩キ、「ニヨン邑ノ水波ハ、霞ヲ帶ヒ、夏山ノ綠色靄如ナリ、「チョン津ヲスキテ、嶽雪ヲ饒スレハ、前湖ノ山勢、峻巍ヲ競ヒテ舟ヲ迎ヘ、「ロンサン」ノ烟華ハ、縹緲トシテ蜃樓ノ如シ、「ヴェヴェ」ノ古城下ヲ回り、終ニ湖首「シャルポー」ノ岸ニ達ス、「シャルポー」ノ南ニハ、「コオン河ノ「レマン湖ニ注入スル所ニテ、河水ノ來ル處ハ、山嶽開キテ、一帶ノ平野ヲナス、河水浩汗ニテ、其河蹟ヲ洗ヒ、淙溜トシテ湖灣ニ瀉入ス、泡沫湖ニ漂ヒ水モ亦渾ル、河ノ兩側ハ、郡山ミナ峻巍ナリ、亂

瀉ヲ崩スカ如クニ聳起シ、東方ニハ遙ニ遠峯ノ峻ナルヲ露スハ、此湖首ノ勝
景ナリ、「ロオン河ハ、瑞士ノ中部ユリ郡ヨリ源ヲ發シ、諸溪ノ水ヲ集メテ、此ニ
テ湖ニ注キ、又湖尾ヨリ佛國里昂府^{リヨン}ヘ流レ出テ、南方地中海ニツ、ク、一ノ大
河ナリ、○「シャルポー」ハ、一小村ニテ、山腰ニ旅館アリ、「ホテルピロン」ト名ク、「セ子
ーバ」ノ諸君ヨリ、此ニ享宴ヲ張ル、食饌豐美ニシテ、酒モ亦清冽ナリ、食後ニ「ス
ピーチ」アリ、宴罷ミ、庭園ニ露坐シテ涼ヲ納ル、瑞士ノ人ハ共和ノ治ニ長生シ
一視同仁ノ襟懷アリ、眞率洒落トシテ、心ニ城府ヲ設ケス、此日會食スルモノ
多クハ、府中ノ豪傑ニテ、英名ヲ歐洲ニ得タルモノ、時ニハ談論政治ニ及ヒ、或
ハ經濟ニ及フアリ、興歡ヲキハメ、夕陽ニ至リ、旅館ヲ辭シテ山ヲ下ル、湖岸ニ
テ村家ノ一有姓アリ、懇ニ其家ニ延キテ、家釀ノ葡萄酒製造ヲ一見セン、トヲ
望ム、因テ其家ニ入ルニ、窖中ニ十餘大桶ヲ藏セルノミ、同伴ノ人曰ク、歐洲ノ
都鄙ニ、舟車ノ便ヲキハメタレト、村翁野老ハ、終身多ク其地ノ首府ヲミス、都
府ノ製造ノ盛ナルヲ知ルモノ希ナリ、家ニ七八桶ノ葡萄酒ヲ釀スレハ、自ラ其
富ニ誇ル、野人ノ朴魯ハ、毎ニ此ニ類スルト一笑セリ、田舎ノ光景ヲ此ニテモ

察スヘシ、此湖濱一帯、ミナ葡萄ニ宜シ、「ローザン」「セーバー」ニ醸造場多シ、然レ
 此之ヲ佛國「ボルドー」ニ比スレハ、泰山ノ丘垤ノミ、瑞士全國ニ醸造セル葡萄
 酒ヲ合セテ、佛國「ボルドー」一府ノ釀造ニ敵スヘシト、是モ船中ニテ某氏ノ話
 ナリ、○船ニ上ルトキ、夕陽ハ正ニ湖西ニ沈マントス、是ヨリ船ヲ發シテ歸航
 ス、「ヴェヴェー」下ヲスキルキ、夕陽己ニ没シ、「ローザン」ニ及ヘハ、燈花爛トシテ、嘆
 色湖ヲ拂フ「ニヨン」ニテ月出テ「セーバー」ニ至レハ、府中ヨリ岸上ニ烟花ヲ舉
 ケテ待ツ、此夜月色清朗ニシテ、水天一色ナリ、船ニハ樂聲空ニ響キ、岸上ニハ
 五彩ノ烟火、星亂レテ龍鬬シ、兩岸ニ市人蟻集シ、我輩ノ上岸ヲ祝スル聲ハシ
 ハラク靜マラス、前後ノ遊宴中ニテ、此行殊ニ眞率愉快ナルヲ覺ヘタリ

十一日 陰

十二日 雨

「ローザン」府ヨリ招宴アルヲ以テ、蒸氣車ニテ彼地ニ至ル、此ハ「ウオー郡」ノ首
 府ニテ、人口二萬六千、南ハ湖ニ望ミテ風景奇絶ノ地ナリ、此日會食ノモノ七
 八十人、大宴ナリ、食畢リ「スピーチ」アリ、觀ヲ盡シテ歸ル、

瑞士セーウ湖岸「エヒヤン村」



同「チヨシ村」





十三日 附

十四日 陰夜雨

夜「セ子ーヴ」ウオー「ニューシャーテル」三郡ノ官吏商豪十餘人ヲ招キ、ホテルニ於テ享宴ヲ開ク、食間ニ樂ヲ奏シ、食後ニ「ホテル」へ前ナル湖上ノ島ニ烟花アヲケ、夜十二時ニ徹ス、

十五日 晴

タ四時二十分ニ「セ子ーヴ」ヲ發ス、元日本ニ差出セル使節「ニューシャーテル」郡ノ「ハンベルト」氏、瑞士著以來「ベルン」ニ來リ款待シ、又昨日ノ宴ニ來リ、遂ニ宿シテ、此日車ヲ同シクシテ送り來ル、其友愛ノ摯ナル、禮敬ノ厚キ、情誼掬スヘシ、○「セ子ーヴ」ヲ發スレハ、四圍ミナ山巒ニテ、中ニ平原ヲ包ミ、鎭路ハ「ロオン河」ニ沿ヒ下ル、瑞蘭ノ境ハ、地勢險ニシテ、鎭路迂回ヲキハメ、「ロオン河」ト相周旋シテ去ル、己ニシテ雨ノ洞道ヲ出レハ、佛ノ國境トナル、此邊ノ山勢ハ、益險巍ヲ重子、乍チ長洞ニ入ル、十二分時間ヲ走リテ出ツ、此邊ニ砲臺ヲ設ケテ、險ヲ扼シ、形勢甚タ壯ナリ、洞ヲ出レハ驛アリ、「ルボン」ト云、佛國ヨリ抽稅關ヲ

設ク、

十五日 晴

瑞士ノ「ゼーヴ」府ヲ發シ「ルボン」驛ニ至ル、時ニ五時半ナリ、此ニテ一休シ、旅客抽税ノ査驗スルヲ待ツテ發ス、河邊リ山灰チ、鑛道ハ山峽ノ間ヲ回リ、隧道ヲ出入スルヲ三回ナレ、山勢ハ尙其險ヲ改メス、「ロオン」河ハ十餘尺ノ下ヲ吼ヘテ驛流ス、山ハミナ赭色ノ岩ニテ、土ヲ戴キ、樹ヲ負フ、峰峰ミナ甚タ高カラサレ、皸裂亂立シテ奇觀アリ、山原アル處ニ、村民葡萄園ヲ作ル、耕鋤ノ地此深山ノ奥ニ及フヲミレハ、佛朗西國農業ノ普ク及ヒタルヲ察スヘシ、七時ニ山開キテ原野トナル、此ヲ「カンベリ」村ト云、此ニ製鑛所アリ、石炭末ニ「テール」ヲ和シ、炭團ヲ造リテ山堆ス、繁華ナル村ナリ、巴黎ト里昂トノ鑛軌ハ、此ニテ分歧ス、是ヨリ平野相連リ、天モ亦暮レヌ、夜ニ入リテ里昂府ニ達シ「ホテル・デ・リヨン」ニ宿ス、

此日ノ行程 未詳

朝ハンベルト氏別ヲ告ケテ歸リサル、

里昂府ハ佛國ノ大都會ニテ、北緯四十五度四十四分、東經四度五十分ニ位シ、人口三十二萬三千九百五十四人アリ、佛國中ニテ、巴黎ノ外ハ此都ノ盛ニ及フ所ナシ、絹織ノ名所ナリ、地勢ハ山脈ノ餘ヲウケテ、西北ニハ岡陵起伏シ、東南ニハ平野曠然タリ、ソオン河ノロオン河ニ會合スル地角ヲ占メ、兩河ノ間ヲ府中ノ尤モ稠密ナル區トス、街上ノ家屋ミナ宏大ニテ、傑閣雄樓相連リ、石造聖壁ハ、皜然トシテ六七層ノ高キニ及ヒ、檐ニハ石像ヲ建テ、窓ニハ藻欄ヲ施シ、金光爛然トシテ日ニ輝ク、路ニハ石ヲ甃セサル地ナク、處處ニ廣苑ヲ存シ、樹ヲ植エテ森然蔚然ナリ、綠陰正ニ展ヒ、嵐翠夏ヲ遮ル、府中ノ民、夕ニハ共下ニ盤游ス、夜ハ瓦斯燈ヲ點シ、燦トシテ星ノ如シ、河西ニ岡阜アリ、上ニ寺アリ、金ノ馬利像ヲ建ツ、此ヨリ東南ヲ一眺スレハ、府中ノ景、ミナ睫ノ間ニ落ツ、岡前ニ「ソオン」河流ル、數條ノ橋ヲツヰリテ往來ヲ利ス、北方ニハ地勢隆起シ、此ニ織戸多シ、東方ノ野ハ、河ヲ隔テ、連リ、瑞士ノ境ニ達ス、此ヲ里昂府ノ大

形トス。○抑養蠶ノ業ハ己ニ以太利「パドワ」府第四編第七ニテモ略述セル如ク歐洲ニテハ羅馬ノ時代ヨリ濫觴シタリ、桑樹ハ寒帶ニ近キ地ニハ生セス、歐洲ニテモ南部溫暖ノ野ニハ能ク生育スルヲ以テ、後代ニ南方ノ地ヲ有セ、ル國國ハミナ此業ヲ興シタレト以國及ヒ佛國ノ蠶絲ハ最モ聲譽ヲ得タリ、佛朗西ニテ此業ヲ興シタルヲハ佛王路易第十一世ノ時ヨリ以太利國ヨリ傳ヘタリ、此王ハ蠶絲織絹ノ業世ニ必需ノ產物ナルヲ觀察シ、力ヲ用ヒテ之ヲ盛大ニセシヲ謀リ、種種ニ法ヲ設ケ、其業ヲ保護セシハ、一千五百年ノ初メノコニテ、其後一千五百年代ニ以太利國內亂アリテ、人民離散ノ際、國王「フランス」第一世其機ニ乘シ、織絹ノ秘訣ヲ佛國ニトラント、以國「ゼノア」府ノ名工ヲ呼入テ、此里昂リヨン府ニ於テ、織絹業ヲ盛ンニ起セシヲ、當地繁昌ノ根源トハナリヌ、里昂人ハ器用ニシテ思慮アリ、ヨク此業ニ沈潛シ、織絹ノ業ヨリ、植桑養蠶ノコニマテ、次第ニ其術ヲ廣メテ、佛國ノ蠶絲織絹ハ以太利ニ劣ラヌ、伎倆トナリ、兩國ニテ其利益ヲ專ラニセシニ、千六百十五年ノ比ニ、宗教ヲ禁令ニヨリ、里昂ノ職人又諸方ニ逃亡セシニ、諸國ハ常ニ佛國ヨリ、此利孔

ヲ得テ、吾國ヲ利セント思ヒシ最中ニテ又、其機ニ乘シテ佛ノ職工ヲ呼入レ、是ヨリ英國、獨逸及ヒ瑞士ナトニモ、織絹ノ法ヲ廣ムルヲトナリ、里昂ノ製造所ハ、一時衰隤セシニ、一千七百年ノ季ニ至リ、再ヒ振起シ、其後モ盛衰遞ニアリ、一千八百年ノ比マテハ、此業ヲナスモノ二萬戸許ニテ、佛全國ニ二千五百萬「キロカラム」ノ繭ヲ産セリ然ニ千八百五十四五年ノ比ヨリ、蠶病ノ流行ニテ、大ニ傷害ヲウケ、六十九年ノ比ニハ、全國八百萬「キロカラム」ニ足ラサル產出トナリヌ、是ニヨリテ里昂ノ紡績家ハ、織細ノ絲ヲ紡シ、靡薄ナル帛ヲ織ルヲ務メ、絹帛ノ價ハ、大ニ沸騰シテ、求メ得ルニ容易ナラス、此時ニ際會シ、支那ノ生絲、日本ノ蠶種紙ヲ輸入シ、絹帛ノ紡績ヲ再盛ニスルニ至レリ、今ハ里昂全府ニテ此業ヲナスモノ十二萬戸ニ近ク、頻年益ス盛隆ノ運ニ赴ケリ、我一行ノ經過セル頃、此府ニ蠶絲稅ノ「」ニ付テ、議事起リ、府ノ議院ニ於テ、其統計ヲ擧ケタル新聞ニヨルニ、毎年平均ノ數ヲ擧レハ、里昂ニテ織リ出ス所ノ絹帛、原價四億八千萬「フランク」之ニ用フル所ノ生絲ハ、染房ノ書キ出シニヨリテ查驗スルニ、スヘテ二百二十萬「キロカラム」ヲ染ム「サンジョー」モノニテハ、

十萬キログラムヲ染ム合テ三百萬キログラム其内二十萬ハ染絲ノマヽニ
テ獨逸瑞士露西亞諸國ヘ輸出ス残り二百九十萬ヲ絹帛ニ織リナス、一「キロ
グラム」ノ染絲ヲ百〇五「フランク」ノ價ニ平均スレハ總價三億「フランク」是ヲ
染絲ノ總數トス其他職工ノ利潤素麻棉毛等スヘテ織帛ニカヽム原價四億
八千萬「フランク」トス此内ヨリ三億ノ染絲ヲ引キ又素絲諸絲ノ價八千萬ヲ
引キ残りヲ織房ノ利潤トス其較百分ノ三十ヨリ三十五ニ當ル又八千萬ノ
内ヨリ一千二百萬「フランク」ハ毛絲棉絲麻布ノ價トス四千五百萬「フランク」
ハ素絲ヲ織リ錯ヘル分トス一千四百萬ハ帳帳ノ地ヲ織ルハ八百乃至千萬「フ
ランク」分ハ白地ヲ織ルト云、

歐洲ニハ近代蠶病ノ流行ニテ其業大ニ衰ヘ絹帛ノ價沸騰セルニヨリ支
那ノ湖絲日本ノ蠶種ヲ格段ナル價ニテ買入レ其衰運ヲ取續キシニ方今
ニ至リ蠶病ヲ除キ繭絲ノ產出又舊ニ復スノミナラス更ニ盛大ニ赴カン
トスル勢ナレハ日本支那ノ生絲蠶卵ハ年年ニ其價ヲ平均シテ廉價ニ赴
カン必然ニテ一千八百六十一年ニハ以國ノ絲一「キログラム」ニ付六十

「フランク」ニ低下セルモノ、六十八年ニハ百十「フランク」ニ上リ、本年ハ下テ九十「フランク」ニ至リシニテモ知ラレタリ、日本ノ養蠶家ハ、未タ蠶病ノ慘禍ヲウケサレハ、歐洲人ノ正ニ辛苦經驗セル禍ハ、猶夢中ニ附シ却テ過去シ、高價ノ福ヲ永永ニ豫算スルモノハ、ミナリ、是將來ノタメニ、甚タ憂フヘキノ事ナラスヤ、此ニ蠶病ノ大概ヲ説キ、其講求ノ端トナサントス、凡蠶病ニ五種アリ、ミナ我邦ノ養蠶家ニモ、數見ル所ナリ、其一ハ、蠶ノ皮上ニ小斑ヲ顯ハシ、殊ニ尾尖、足、及ヒ頸ニ多ク、疲憊シテ食氣ナク、生長ノ順序不正トナリ、死シテ乾蠶トナル、是ハ傳絲病ナルニヨリ、蛾ヲ撿シテ、其種ヲ存セサルヘシ、第二ハ、前病ニ似テ、斑點ヲ顯ハサス、終ニ乾死スルモノナリ、第三ハ、末期ニ至リ、俄ニ死シ、其死蟲ハ粉ヲ發ス、此粉ニ毒アリ、草木ニツキテ、再ヒ萌芽スルモノナリ、第四ハ、三眠四眠ノ後ニ、全身腫レ、黃色ニ變シ、皮破レ、乳漿ヲ流シ、他ノ蟲ヲ汚ス、第五ハ、俗ニ腐リト唱フルモノニテ、多ク繭ヲ作ルニ臨ンテ腐爛シ、黑色ニ變シ、惡臭ヲ發スルモノナリ、或ハ全ク死セス、蛾トナリテ生スルモアリ、其蛾ハ必ス羽少ク、黑色ヲ帶ヒ、根ニハ黑色ヲ現ス、其

蛾ノ産セル卵ハ此病ヲ傳絲シ而テ他ニ傳染シ易シ甚タ恐ルヘキモノナリ此病蟲ハ初眠ヨリ生長不順ニテ死セントスル前ニハ全身柔輦トナリ頭腫レ尾縮少ス此五病ヲ防クニハ最初種ヲ貯フ以前ニ精ク吟味ヲナスヘシ是ハ已ニ「ロンバルヂー」ノ記ニ詳述シタリ、

四時ヨリ駕シテ生絲改會所ニ至ル諸方ヨリ輸入スル絹絲ハミナ此ニ查驗シテ後ニ府中ニ飛灑ス一布袋ノ絲ヲ掛ケ改メ重サ五十「キロカラム」アルヲ度トス次ニ其袋中ヨリ十把ノ絲ヲトリ出シテ上層ナル改メ所ニ送ル○此ニテ每把ヲ掛ケ改メ蒸氣仕掛ノ管中ニ秤衡ヲ設ケ其上ニオケハ絲ハ蒸氣ノ溫ニテ水分燥キ其重サノ減スル若干ナルヲ改メ元何匁ノ内ヨリ減何分何厘ナルヲ書シテ別寮ニ送ル此ニテ其長サヲ查驗ス是ハ繰車ヘ定尺ノ繻木ニカケテ其把ヲ解キテ更ニ繰車ニ上セテ驗スルナリ夫ヨリ絲ノ成立ハ幾絲ノ合ヒタルモノニテヨリヲカケタル幾許ナルヲ查驗スル器械アリ之ニカケテ查驗ス大抵一絲ハ五絲ニテ成リタルモノハミナリキ○生絲ヲ十二番以下ノ細絲ニ製スルハ其術容易ナラス繭ノ良否ヲ揀ミ練熟ノ紡手

ヲシテ精良ノ製方ヲ用ヒ、火度ヲ強クシ、充分ニ韌彈ノ性ヲ發セシムルヲ甚
 タ難シト云、抑歐洲ニテ織細ナル生絲ヲ用ヒテ、織帛ヲナスハ、蠶病ノ流行ニ
 ヨリ、產絲ノ數減シ、其價非常ニ騰貴セルヲ以テ、務メテ帛ノ重量ヲ減シテ、用
 ニ充テンヲ計リシニヨル、近年歐洲ノ養蠶、更ニ盛大ニ赴キ、其價モ漸ニ平
 均ニ赴キタレハ、織細ノ絲ニテ織タル帛ハ、靡薄ニシテ、耐久セサレハ必ス之
 ヲ厭ヒ、尋常ノ絲ニテ織タル帛ヲ好ムニ至ルヘシ、且近年絹帛ノ質靡薄ニシ
 テ、耐久ニ乏シク、價甚タ貴キヲ以テ、毛布ヲ織ル家ニテハ、良好光澤ノ細毛ニ
 テ、絹ヲ欺ク帛ヲ織出サンヲ務メ、今ハ益ス其目的ヲ達セントスルニ至ル
 トナリ、然則絹ヲ織ル家ニテハ、必ス之ニ抗スヘキ思考ヲナシテ、更ニ其製絲
 組織ノ方ヲ改ヅモ、亦疑ヒヲイレズ、爾來歐洲ニテ、絹絲ノ需用ハ、未タ必ス
 シモ十二番以下ノ織絲ノミヲ用ヒサルニ至ルヘシ

○夫ヨリ仰高ノ鏡路ニテ、北方ノ岡ヲ上ル、此ハ岡ヲ回ルノ不便ヲサケ、岡上ニ
 蒸氣車ヲスエ、斜仄ニ二條ノ鏡路ヲシキ、綱纜ヲ以テ車ヲ引キアケル仕掛ケ
 ヲナセルナリ、其綱首尾相接シ、車ノ一方下ルルハ、一方ヨリハ上リ來ル、

○夫ヨリ織絹ノ房ニ至ル、里昂ノ府中ニ織房多シ、家家ノ樓ニ梭ヲ飛スノ聲アリ。此房ハ其一ニテ、綾文アル天鵝絨ヲ織レリ、一千四百ノ絲管ヲ列シテ機下ニアリ、織機綜絲ノ次叙ニツレ抽テ、織經ノ間ニ入り、花紋ヲ綵ス、職工ハ手ヲ以テ織ル、五彩ヲ備ヘタル絨ハ、一日ニ四分一「メートル」ヲ織ル、其價二「メートル」ニテ百「フランク」、綾紋ニ二三色ヲ用ヒタルハ六十乃至七十「フランク」ナリ、簡易ナル絨ハ、日ニ一「メートル」ヲ織リナス、職工ノ給金ハ一日ニ三「フランク」ヨリ五「フランク」ニ至ル、五「フランク」ヲ受ル上工ハ甚タ稀ナリ。○綜絲ハ「ジャール」仕掛ニテアヤトル、是ハ一千八百年ノ比ニ、當地ノ人「ジャール」氏ノ發明ニシテ、今ハ諸織布ニ花紋ヲ織リ出スニ皆其法ヲ用ヒ、各國ニモ傳ヘタリ、已ニ第一編波士敦府ノ記ニ出ツ、織機ヲ運スルニ一時ハ器械ノ力ヲカリテ織タレ、入費浩大ニシテ、又織リ損シ少カラス、此ヲ平均シテ較スルニ得ル處失フ處ヲ補ハサルヲ以テ、今ハ一般ニ廢シテ用ヒス、只織機ノ製ニ工ヲ施セルノミ、當府ニテ織リ出ス所ノ帛布三分ノ一ハ内國ニ用ヒ、三分ノ二ハ外國ニ輸シ出タス。

○夫ヨリ染絲場ニ至ル此ハ「ロオン河測ニアリ」一大場ニテ専ラ黒染スル所ナ
 リ、初メ溫湯ニ藥水ヲ加ヘテ練リ、光澤ヲ生セシハ、此時ニ佛國（以國ノ絲ハ、百
 分ニ二十五ノ重サヲ減ス、日本ノ絲ハ、百分ニ十五ヲ減スルニ過キスト云、以
 テ日本絲ハ質ノ最良ナルヲ徵スルニ足ルナリ、○夫ヨリ印度ニ産スル「カシ
 ユー」ノ實ヲ煎セル汁ニテ染ム、最初ニハ黃色ヲナス、其後之ヲ染メル二十回
 ニテ純黒ヲナストナリ、黒ヲ染メルニ又醋酸鍍モ用フ、凡絲ノ染法ハ、其染汁
 ノ熟シテ、染メタル後ニ、素絲ノ比ヨリ重量ヲ増ス、少キヲ上トスルト云○
 染メ了リテ後ニ、蒸氣ヲ加ヘ、鍍箱ノ内ニテ輪轉ノ仕掛ニテ熨斗シ、更ニ光澤
 ヲ生セシム、此場ニ職人ヲイル、九百乃至千人ナリ、其給料ハ四「フランク」ヨ
 リ四「フランク」半ニ至ル、

十七日 晴

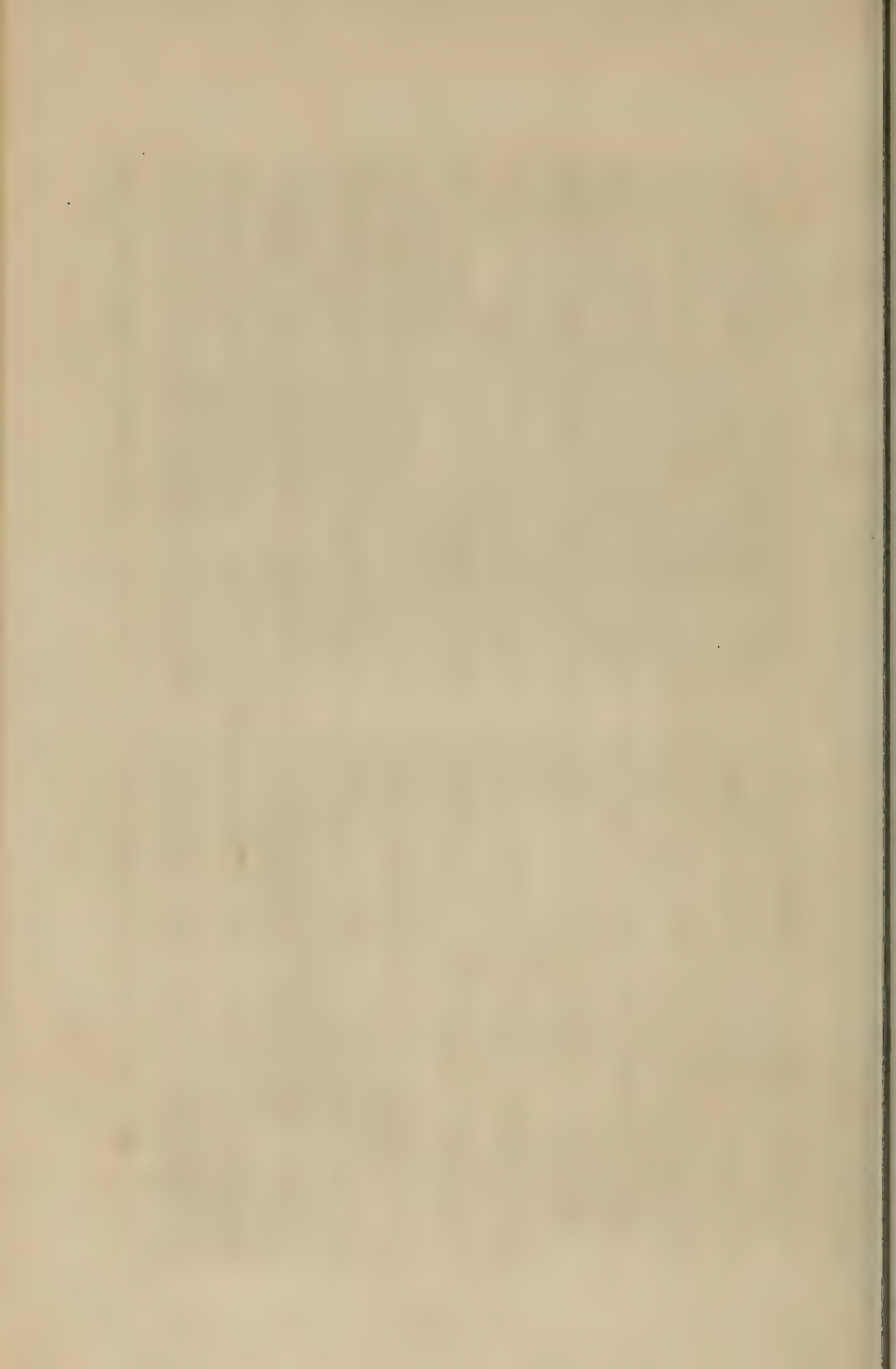
夜十一時ニ、里昂府ヲ發シ、蒸氣事ニ上リテ、馬耳塞府ニ赴ク、鍍道ハ「ロオン河
 流」ニソヒテ南走ス、一路平野ニテ、夜中ナレハミル所ナシ、
 里昂ヨリ以南馬耳塞ノ海岸ニ至ル、テ、土地ハ、山脈ノ連亘ニヨリ、高低多ケ

レ此山ノ半腹ニ至ルマデ開墾スヘシ、平野モ亦爽塏ニテ肥沃ナリ、地中海ノ岸ニ於テハ、赭土ヲミル、頗ル枯燥ノ態ヲ現セリ、其樹藝ノ宜ハ、桑園最モ土ニ應ス、亦葡萄園ニモ宜シ、葡萄ハ西南ノ州及ヒ東南ノ州ヲ名産トス、無花果、橄欖、大棗等、熱帶ニ近キ土産繁茂ス、此邊ノ地方ヘ、桑園ヲ培育セシハ、已ニ久シキヲニテ、一千八百六十年ノ頃ニハ、五萬四千町ノ多キニ及ヒシニ、前ニモ毎ニイヒシ、蠶病流行ヨリ、大ニ減少シタリ、是ニヨリ「バステール氏」農業事務宰相ヨリ、蠶病豫防法ノ經驗ヲ命セラレテ、竟ニ其法ヲ發明セシヨリ、蠶業再起リ、七十一年、普佛ノ戰ニ敗レテ、莫大ノ償金ヲ普ニ出シ、政府ノ貧困イハン方ナシ、當時政府ニテ、理財富國ノ方法ニ於テ、桑蠶ノ業ヲ回復シ、更ニ盛隆ニ至ラシメルハ、其目的ノ一タリ、當時桑園ノ培育、養蠶ノ研究正ニ盛ナレハ、他日必ス觀ヲ改ムルニ至ルヘシ、其次ハ橄欖ノ利モ、此邊地方ノ一宏益ナリト云、

十八日 晴

朝六時^{マルセル}馬爾塞府ニ著シ、「ガランドホテル」「デルーヴィイ」ニ宿ヲ定ム、此府ハ北緯四十三度十七分、東經五度二十五分、巴黎ヨリ三度〇五分ノ地ニ當ルナリ、人口三十〇萬〇百三

十一人、佛國第三ノ都會ニシテ、地中海ヨリ南洋東洋ヘ交易往還ノ咽喉ナリ、
 ○此府ノ市街、建築ノ莊麗、街路ノ修潔ナル、里昂ニ一籌ヲ輸セ_レモ、亦巴黎ノ餘
 韻アリ、其繁華ノ衢ハ、層樓ヲ起ス、六七階ニシテ、窓ヲ開ク、廣敞ナリ、皆鏡ノ藻
 欄ヲ安_ンス、鑄刻甚タ精輕ナリ、廣厦大館ハ、中央ニ、甍石ノ方庭ヲ開キ、店頭ヨ
 リ門庭ヲ通シテ入_ラシム、各行ノ肆ハ、ミナ玲瓏タル玻窓内ニ、各貨ヲ攤ス、貨
 物ハ較劣ル、街上ノ路ハ、大低ミナ石角ヲ疊甍ス、車過_レハ鏗然タリ、兩側ヲ砌
 シテ人歩ノ路トス、甍石漆灰、ミナ牢固ナリ、旅館前ノ一衢ハ、當港ノ衢ニアリ、
 尤モ廣敞ニテ、屋造大ニ、行人稠キ區ナリ、此路ニ廣路アリ、兩側ニ列植ス、翠樾
 路ヲ蔭シ、日輝ヲサヘ、ヘテ、淙淙タリ、此ニ露肆ヲ出シ、古衣、骨董ヲヒサク、總テ
 此港ノ商店ハ、價ヲ眩スル甚シカラサレトモ、精美ノ品ニ乏シ、歐洲ヨリ歸ル
 モノハ、衰颯ヲ覺フヲ免_レサレトモ、亞細亞ヨリ、新ニ至ルモノ、皆其繁華ニ驚
 カサルナシ、之ヲ要スルニ、此港ハ歐洲ノ埠頭ニ於テ第一タルヲハ、人口船數
 ヲ較シテ知ルヘシ、獨逸_{ハムボルク}、旱堡ノ盛ナルモ、遂ニ及フ能ハス、然_レモ巴黎ノ大都
 アリテ、進出ノ貨ハ、皆細シテ去リ、細シテ過ルヲ免_レサレハ、其市肆ノ美ハ、旱



佛朗西國馬耳塞府「プレト苑」
マルセイユ



同燈明臺



堡ニ或ハ一籌ヲ讓ルヘシ、○此海濱一帶ノ地、ミナ沙漠ノ餘勢ヲウケ、赭山赤野多ク、土壤赤クシテ浮壚ナリ、故ニ街上風起レハ、甃石ノ上ニ、浮埃ヲ起ス。寸餘ニテ、行人ヲ昧ス、府ノ鄙ニ至レハ、殊ニ甚シ、土ニ潤膏乏シ、土民マタヨク之ヲ耕種シ、樹鬱ニ艸茂スルヲ致ス、徃徃ニ果園多シ、果樹丈餘ニシテ、叢ヲナス、甚タ肥美ナラス、鋤痕ナキ所ハ、艸モ生セサルヲ見レハ、其枯瘠シルヘシ、此府ハ佛國ノ大都會ナレハ、博物館、博古館、畫樓、病院、學校、貧院等アリ、書庫ニハ五萬冊ヲ藏シ、羅馬教ノ寺二十五宇アリ、又常備兵屯營ノ一タリ、新至ノ人ハ、采訪ニ遑アラサル所ナリトス、今略シテ之ヲ觀サリキ、○府ノ南ニ當リ、一帶ノ遊息場アリ、「ルプレド」ト云、長サ一英里餘、磬折ノ廣路ヲ開キ、四條ニ行樹ヲウエ、約八九步ニ一株、井井トシテ法アリ、中道ヲ廣クシテ車走ノ路トス、直クシテ髮ノ如シ、樹樹ミナ丈餘ノ處ヨリ枝ヲ分チ、鬱葱タリ、其杪頭ハ各互相交リ、青天ヲ蓋フ、綠葉ヲ以テ洞道ヲ造ルカ如シ、而テ其内ノ風ハ秋ナラスシテ常ニ冷カナリ、路窮リテ廣苑アリ、茂草ヲ砌トシテ花卉ヲウエ、方圓ニ徑ヲ開キ、錯ヘ樹ユルニ木ヲ以テス、花爛漫トシテ芳ヲ吹キ、涼風タメニ薰ス、左ニ小

阜アリ、一ノ宮殿アリ、甚タ大ナヲサレトモ、亦五層ノ石屋ナリ、是ハ元佛王ノ
離宮ナリシニ、今ハ廢シ、其黒什具ヲ列シテ博物館トナシ、遊人ニ示ス、凡ソ歐
古城廢官ミナ其村邑ヨリ之カ費ヲ損シテ時ヲ以テ是ヨリ西ニスレハ、海岸
修治シ酒掃シ其罷什ヲツラ子テ敢テ毀ツコナシ
ニ出ツ、前山ハ青靄ヲ抱キ、後山ハ赤岩ヲ欹テ、灣頭ノ眺メ甚タ敞ナリ、海岸一
帶ミナ石垣ヲ疊ミ、截然トシテ數英里ニ連リ、坦途ハ其上ヲ廻ル、地ニ片石ナ
ク、車走ニ聲ナシ、山岡ハ路傍ヨリ起ル、ミナ黃赤色ノ輭巖ニテ、以テ海灣ノ山
嶂ニ接ス、其谷ヲ崩シ共石ヲ取テ、處處市屋ヲ起ス、屋壁ミナ山ト一色ナリ、以
テ赤野ノ光景ヲ飾ル、此海灣ハ、府ノ納涼地ナリ、岸頭ニ遊車數十輛アリ、馬ヲ
浴セシメ、并テ又海水浴ヲナス、

十九日 晴天風起リ黃埃目ヲ眯ス

馬爾塞ノ埠頭ヲ廻ル此府ノ埠頭ハ、海灣ノ東岸ヨリ、北岸ノ角ヲ占メテ起ル
船廠數所アリ、小船直ニ市街ノ前ニ至リテ繫碇シ、叢然トシテ檣林ヲ植ユ、大
船ハ較北ナル大廠マテ至ル、浮橋ヲ以テ波止ヲ修メ、潮ニ從ヒ高低自在ナリ
廨舍ヲ以テ其貨物ヲ括シ、燈臺アリテ岬ヲ標シ、砲臺アリテ其難ニ備フ、○此

佛國馬耳塞港



同海岸



港ニ輸入スル所ノ貨物ハ、砂糖（未タ精製セサルモノ）、咖啡、穀物、麻、棉、羊毛、絹絲、木材、獸肉、
皂莢、檳榔、藍青等ノ顔料、及ヒ香料、此等ヲ以テ眼目トス、向岸亞弗利加（アルゼナ）ノ阿爾
及ヨリ佛國ニ輸送スル貨物ハ、此ヲ出入ノ口トナス、其他露土（エジヤ）、以（マ）東亞細亞（アイナ）溫
帶ノ天產、ミナ此ニ聚ル、佛國ノ民之ヲ化治シ、百貨トナシテ、又輸シ出ス、輸出
ノ貨ハ、絹帛ヲ第一トス、其他白糖、麻布、棉布、毛布、油、石鹼、香水、葡萄酒、火酒等ナ
リ、○佛ノ東洋郵便會社船ハ、此埠頭ヨリ起程シテ、支那ノ香港、上海ニ至ル、二
週毎ニ一發シ、四十九日ニテ達ス、橫濱ニ赴クモノハ、香港ニ上岸シテ船ヲカ
ニ、上等客ハ人コトニ二千七百「フランク」、每室二名ヲイル、次等ハ千七百「フ
ランク」、每室ニ四名ヲイル、此回ニ發スル船ヲ「アウア號ト云、

第八十八卷

西班牙^{スバニヤ}及葡萄牙^{ポルトガル}國ノ略記

曩ニ佛國ノ使事畢リ、赴ク所ヲ議スルニ、時嚴冬ニ際シタレハ、南方温暖ノ國、西班牙、葡萄牙ヲ歷聘シテ、後ニ白蘭諸國ノ途ニ就カントセシニ、二月十一日ニ、西班牙王「アフチオ位」ヲ辭シ、國人ハ共和政府ニ變革シタルヲ公告シ、佛國モ未タ之ヲ公認セサル云々ノ報知ニヨリ、遂ニ東方白耳義へ發行セリ、此已ヲ得サルノ事情ニヨリ、西班牙國ヲ回歷シ、親シク其人民ノ生理ヲ實檢スルヲ得ス、歸途ニ佛國へ出テ、「ポルドウ府」ヨリ、葡萄牙ニ航セントセシニ、瑞士ニ至リ、日本ヨリノ電報ヲ得テ、遽ニ歸航ニツキタレハ、又其回覽ヲ得ス、因テ兩國ノ景況ヲ聞知セル所ヲ集メ、此ニ大略ヲ記述シオクベシ

○西班牙王國ハ、西班牙半島中ニ、西岸一帯ノ葡萄牙國ヲ除キタル部分ヲイフ
○西班牙半島トハ、歐羅巴洲ノ極西ニ於テ、西及ヒ南ハ、壓瀾洋ニ向ヒ、東ハ地中海ニヒタサレ、東南ニ「ギブラルタル岬」ヲ以テ、亞弗利加ト海門一峽ヲ隔テ、北ハ東半面「ピリニース」山脈ヲ以テ、佛國ト土壤ヲ分ツ、西半面ハ「ピスケー」

灣即佛國「ボル
ト」ノ海

ニ向ヒ、略方形ヲナシタル半島ニテ、北緯三十六度ヨリ、四十三

度四十五分ニ至リ、英ヨリ、東經二度二十分、西經九度三十二分ノ間

合テ十度
五十二分

ノ經

ニ位シ、總地積總テ二十二萬七千四百二十方英里ノ内ニ於テ、十九萬五

千九百十四方英里ヲ西班牙國トス、○其葡萄牙ト分レタル原由ハ頗ル久シ、

昔時羅馬ノ衰ヘシ頃ニ、歐洲ニ民種選徙ノ變アリ、此半島ニハ「ヴィスゴット」

種ト名クルモノ徙來リテ、土地ヲ分占シ、封建ノ勢トナリシニ、後回教ノ起リ

シ時、亞剌伯ノ回徒、亞弗利加ヨリ、海峽ヲコエテ侵入シ、南東諸部ハ、其席卷ニ

歸シ、「ヴィスゴット」ノ諸侯ハ、内部ノ險ニヨリテ之ニ抗シ、是ヨリ諸國分等セ

シ、數百年、強弱相并セ、後四ヶ國ノ分立トナレリ、「ビスケー」海灣ニ「ナパール

國アリ、壓瀾洋ノ東岸

即チ西部

ニ、葡萄牙國アリ、「ピリニース」山南ニ「アラゴン」國アリ、

中部ニ於テ「カストル」國アリ、而テ東南部ハ、回徒ニ沈淪セリ、「カストル」國最モ強

大ナリ、一千百年ノ比ニハ、葡萄牙ト合併シテ、回徒ヲ驅除シ、ヤ、南部ヲ恢復

セシニ、千四百七十九年ニ至リ、「カストル」國ノ女王「イサベラ」ト「アラゴン

國王飛地南ト

婚姻シ、兩國合併シ、又回徒ヲ逐ヒ、「ナパール」國ヲ滅シ、三國一統

ノ國治ヲナシ此賜始メテ西班牙ノ名ヲ稱シ葡萄牙ノミ引分レタリ○女王
「イサベラ」ノ聰慧英斷ニヨリコロンブス閣龍ヲシテ亞米利加洲地ヲ發見セシメタルハ
千古ノ美談ニテ此代ニ地中海諸島及ヒ以太利諸部ヲ領シ海外ニハ亞米利
加ノ智利チリ伯露ペリユー墨メキ是科及ヒ「ラブラダ」等ノ地ヲ所屬シ富強ヲ極メ其孫「チャ
レス第一世ハ即チ日耳曼帝「チャールス」第五世ニテ兩國ニ兼王トナリ佛國
ノ東北部ヨリ白耳義荷蘭佗ノ地ヲ并有シ以太利ノ大半ヲ領シ海外ニ属地
ヲ廣メ佛人ノ剛勇ナルモ一敗シ王ヲ生擒セラルニ至リ又「プロテスタント
教ヲ征壓シ其強盛比ナカリシモ晩年佛ニ敗ラレ壞都モ土耳其ノ侵掠ヲウ
ケ終ニ太子非立ヒリツニ位ヲ遜レタリ此ハ正ニ一千五百年代ニテ當時國內
ノ人口ハ二千二百萬ニ及ヒ此國最盛ノ時タリ世ニ西班牙國內ニハ太陽ノ
沒スルヲナシト誇リタリシ○非立王ニ至リ羅馬カトレイキ教ヲ墨守シテ
他教ヲ仇視シ回教ノ餘民國內ニ蔓延セルヲ除カント教法改革ノ嚴令ヲ下
シ僧侶ニ司法權ヲ假シ裁判所ヲ設ケテ異教ヲ驅逐シ回教ノ民ミナ家ヲ挈
シテ亞非利加ニ流徙シ失業困難シ地中海ハ一時盜賊ノ窩トナリ國內ニテ

其徒ヲ禁殺戮死セルモノ三十萬人ニ及ヒタリ、又荷蘭佗人ハ「プロテスタツ
 教」ニ歸向セルヲ、釐正セントテ、苛禁ヲ下セシヨリ、荷蘭七部ミナ共和政治ヲ
 立テ叛キ、英國ト合併シテ、西班牙ノ兵ヲ拒ミ、一千五百八十七年ニ、海軍ニテ
 英ヲ伐テ、大ニ敗レ、是ニテ荷蘭ノ地ヲ失ヒ、民口頓ニ凋喪セルノミナラス、海
 外ノ屬地モ、此役ニヨリ英荷ヨリ襲取ラレ、利益商賈ノ口壅カリ、國ノ疲衰遽
 ニ至リ、失業ノ民甚タ多ク、加フルニ水災^{シキ}荐リニ至リ、海外ノ屬地モ叛キ、變故
 相繼ギ、是ヨリ後ハ王位^ニ繼^ニ統^ニノ禍根ヲ孕^ミ、益衰運ヲ馴致シ、一千七百年ノ初
 メハ全國ノ人口僅ニ五百萬ニスキサルニ至リシ○爾來國內ニ朋黨分立シ
 政令一ナリ難ク、法教ノ苛禁ニテ、人民ヲ束縛シ、殘虐數加リ、王位往往ニ絶ヘ
 其爭ヒ休ム間ナク、下民ハ僻陋癩惰ニテ、教僧ニ迷溺シ、國運ノ振フ期ニ進ム
 ニ由ナケレト、一千八百年ノ比ニ至リテハ、人口ハヤ、繁息シテ、己ニ一千萬
 ニ上リシニ、一千八百六十八年ノ統計ニ至リテハ、一千六百七十三萬二千〇
 五十二人ヲ數ヘタリ、○本年二月十二日ニ「アマチオ王」ノ位ヲ辭スル文ニ曰
 予ハ西班牙ノ王冕ヲ戴クヲ榮トセサルニアラス、西班牙人ノ勇敢剛毅ヲ以

テ國中和協シテ、侮ヲ外國ニ禦クニ力ヲ盡スニ於テハ、予ハ其先キヲ率ヒルヲ悦樂トセント欲ス。然ルニ之ヲ内國ノ兄弟ニ移シテ、訌爭底止スル所ヲシラサレハ、其君トナルモ亦難カラスヤ、今ヨリ永永子孫此王位ヲ辭スト、嗚呼國人ノ勇敢ニシテ、外國ト競勵スル意念ナク、徒ニ之ヲ内亂ニ用ヒテ、自ラ衰殘ニ陷ルハ、世界ニ獨リ西班牙ノミナランヤ、世ノ此國ノ事情ヲキクモノ、亦自ラ省ス所ヲ知ベシ、

○西班牙内地ノ土人ハ「元」セルチツク種、及ヒ「イベリヤン種ナリ、二千年前ニ非^フ尼^ニ西^シ人(隊商ヲクミ、地中海岸ニ行賈彷徨セシト、此國ノ東及ヒ南部ニ植民シ、加爾達額ノ所轄ニ歸シ、紀元ノ頃ニハ羅馬ノ版圖ニイレリ、故ニ線[○]舟[○]航[○]海[○]ヲ業[○]トシ、貿易生[○]埵[○]スルヲハ、此國[○]人[○]ノ所長[○]ニカ[○]ハ[○]ル、爾後[○]「ウイスゴット」(蓋シ佛人ト同類異派)ノ族類蔓延シ、剛毅果敢ノ性ヲ帶ヒテ、驚悍粗豪ノ人ヲ生ス、亦善ク之ヲ用ヒハ、佛國ノ流亞タルヲ得ヘシ、然ルニ回部ニ攪亂セラレ、更ニ燥暴ノ性ヲ加ヘ、歐洲ニ於テ一種ノ殘忍殺伐ノ場ヲナシタリ、○此國ノ人種ハ、如此ク厖雜ニテ、加フルニ山脈交錯シ、區區ニ域ヲナシタレハ、其性情、風俗、言語、

各異ニシテ、一ナラサレ^ル、大抵膽氣粗豪ニテ、險ヲ冒シ顧ミス、報復ノ念強ク、
 平居ニハ音樂舞蹈ヲ好ミ、容與自得シ、生産作業ヲ疎嬾ニシ、勉ムルヲ屑トセ
 ス、午睡ヲ好ミ盤餅傲情ス、故ニ下等ノ民ハ大抵ミナ貧窶ニシテ、農作ニテ生
 ヲ倫ムニスキス、故ニ節儉ヲ常トナシ、一杯ノ酒、一顆ノ果ヲウレハ、亦他ノ求
 メナシ、村邑ハ多ク蘆簣^{ヨシス}ヲ覆フテ、其内ニスム、此人民ヘ加フルニ、數百年殘虐
 苛酷ノ政ヲ以テシタレハ、其怨禍ヲ國中ニ結ヒタルモノ、種種一ナラス、綢繆
 蟠結ノ餘ニ破裂シテ、朋黨トナリ、端ヲ繼統ニ開キ、結フニ自由論ヲ以テシ、積
 年ノ後ハ益治スヘカラス、歐洲ノ學士之ヲ老病ニ譬ヘタリ、機關盡ク衰ヘ、一
 部ヲ治スレハ、一部又病ムト云云、○今度國亂ノ由テ生スル所以ハ、甚タ久シ
 一千七百年ノ初メニ、此國ノ王統絶ヘ、墮ノ皇子ト佛ノ皇孫ト位ヲ爭ヒ、兩國
 ノ大戦争トナリ、竟ニ白耳義及ヒ以太利ノ領地ヲ墮國ヨリ取ラレ、佛王ノ孫
 非立第五ノ即位トナリシヨリ、國內ニ朋黨ノ爭ヒ、繼統ノ論ハ、其端ヲ發セリ、
 其後千八百年ノ初、^{フエニナ}「ドン、カルロス王ニ飛地南及ヒ「ドン、カルロス」ノ二王子アリ、
 王ハ太子飛地南ト不和ニテ「カルロス」ヲ鍾愛ス、佛帝拿破侖第一世ハ、此輩

ニ乗シ、西班牙ヲ破リテ王ヲ擒ニシ、自ラ其兄ヲ立テ王トナセリ、國人死力ヲ盡シ之ヲ拒ミ、戰フヲ數度ナリシニ、拿破倫ハ「ワートルロー」ノ戰敗ヨリ、瀕納ノ會議ニテ、飛地南ハ王位ヲ復スルヲ得タレ、國內ニ朋黨ノ相軋ルヲハ依然ニテ、後屬地ノ叛亂ニヨリ、内地ノ紛擾モ從テ起リ、國勢ノ振フヘキ期ニ至ラス。○飛地南又子ナシ、晩年ニ「キリスチナ」后第六ヲ納レテ、一女「イサベラ」ヲ生ム、西班牙ノ國憲ハ、女王ヲ立ルヲ得ス、因テ王弟「ドンカルロス」王位ヲ希望セシニ、キリスチナ后、姿色絶美ニテ、王ノ寵幸厚ク、因テ王ニ慝恩シ、經營百端ニテ、竟ニ一千八百三十三年ニ、飛地南王ノ旨ニテ、女王ヲ立ル新例ヲ創メ、王位ハ三歳ナル「イサベラ」ニ續カシムヘキヲ令シ、程ナク王ハ崩シタリ。○「イサベラ」即位ノ後ハ、母后キリスチナ「政ヲ攝シタリ」(ドン、カルロス)ハ、女王ヲ立ルヲ「キリスチナ」ノ所爲ニ出タルヲ以テ、其陰事ヲ許キ、不服ノ徒ヲ率ヒ、王位ヲ爭ヒ、六年間ノ戰爭ヲナシタレ、英佛二國、女王ヲ援ケテ「カルロス」黨ヲ破リ、「カルロス」佛京ニイリ、一千八百三十九年ニ恨ヲ吞テ死スル、其子「カルロス」ヘ必ス西班牙ノ王位ヲ復スヘキヲ遺言セリ、然ルニ子「カルロス」モ、一千

八百六十一年ニ又死シ、遺言ヲ其子ニ命セシニ、此人ハ疎嬾ニテ、父兄ノ志ニ似ス、其子ノ「ドンカルロス」材武ニシテ、父祖ノ志ヲ繼キ必ス西班牙ノ王位ヲ復セント、其機會ヲ窺フタリ、○女王「イサベラ」ハ既ニ王位ヲ固クシタレト、母后ノ行事不修ニヨリ、人望ヲ失ヒ、國議安カラス、女王甫テ十四ノ年、從兄「ドンサンフランシスコ」ニ婚シ、此人ノ力ニヨリ、ヤ、小康ヲ致シタレト、「キリスチナ」太后輒スレハ國政ニ干涉シテ、人心ヲ失ヒ、一千八百五十四年ニ至リ、暴徒起リ、「キリスチナ」后逐ハレテ外國ニ遁逃シ、因テ議院破裂シ、朋黨鼎沸シ、加フニ屬地ノ叛亂ニテ、數軍兵ヲ用フルニヨリ、一千八百六十六年ニ至リ、内亂沸起シ、女王ハ位ヲ太子ニ讓ルヲ報シ、佛國ニ留テ歸ラス、國人因テ假政府ヲ立テ、王位ヲ協議セシニ、共和黨、自由黨、激黨紛紛ト起リ、「ドンカルロス」ハ其機ヲ得テ、王位ヲ爭ハントヲ謀リタリ、○京城ノ王臺ハ投票ニヨリ、以國「センア那^{ガユーク}」ガユークヲ迎ヘタレト、辭シテ受ス、翌年再投票シ、普魯士國ノ貴族「ホーヘンツルン

ン

侯ヲ迎ヘタリ、佛帝拿破侖第三世大ニ怒リ、如此キハ是陰ニ先代「チャールス」第五ノ故事ノ如ク、西班牙、日耳曼一トナリ、佛國ノ名譽ヲ汚辱スルナリ

トテ、普王ニ不遜ノ書ヲ贈リシヨリ、終ニ普佛大戰爭ヲ開クニ至レリ。「ホー
ヘンツルレン侯モ、辭シテ受ケス、三度ノ投票ニテ、以國ノ王子「アマチオ」ヲ迎
ヘ、千八百七十一年一月ニ國都ニ入城シ、國政ニ勤勞シ、一時人望アリタレヒ、
黨派ノ分爭ハ、依然トシテ協和ニ至ラス、詮方ツキテ、本年二月十一日ニ、決然
位ヲ辭シ、政府ハ共和黨トナリタレヒ、激黨ハ猶之ヲ因循トシ、王黨ハ承服セ
ス、「ドン・カルロス」ハ、此機ニ乘シ兵ヲ舉ント謀リ、國中四分五裂シ、電信ヲ絶チ、
鐵道ヲ毀チ、人民ミナ劍銃ノ中ニ陷リタリ、此後内亂二年ニ連リ、「ドン・カルロ
ス黨卒ニ折ケ各國ヨリ共和政治
ヲ看認ム。○一千八百年以後ハ、歐洲各國開化ノ度ヲス、メ、富庶繁華ニ變化セシ
ニ、此國獨リ内亂ニ沈淪シ、曾テ進歩ニツカス、歐洲人ノ耐忍澀嗇ナル榮利ニ
於テハ、弄ルヲ敢テセサル性質ナルニ、國王ノ富ト榮トヲ舉テ、辭スルモノ五
人ニ至ル、其國情ノ難キヲ亦以テ知ルベシ、

○西班牙國ハ、地勢高隆ニシテ、内部ヨリ海濱ニ接シ、連山起伏シ、東西ニ綿亘ス、
其佛國ト分界スルヲ「ピリニース山脈トス、佛國ヘハ傾坡ヲナセヒ、西班牙ニ
向ヒテハ、峭崖壁立シ、巉岩千尺、屏風ヲ立タルカ如シ、舊「アラゴン國」ノ野ハ、其

山陽ニ開ク。此山脈東ニ連リ、「カンダブリアン山脈トナリ」、「ビスケー灣ノ濱ニ、
 背脊ヲ分チ、^マ「ナパール國ノ野ヲ開ク。此ヨリ南ハ、「カスチリヤン山脈綿亘
 シ、^マ「カステル國ノ野ヲ開キ、中央ニ馬德里ノ京城アリ、其南ニハ「シールラト
 レット山脈、更ニ南ニ「シールラモレナ」極南ニ「シールラ子ヴタ」ノ山脈綿亘シ、
 全國數條ニ分レ、中ニ高燥ノ原ヲ開キ、其最モ高キハ、地ヲ拔ク二千五百尺上
 ニ平地ヲナスニ至ル、全國ヲ四十九州ニ分ツ、舊時ノ分區之ヲ十二部トナス、
 全國中ニ、現今五萬口以上ノ都會ハ、十ヶ所アリ、京城馬德里府ヲ最首トス、
 馬德里府ハ、「^マ「ニューカステル部ノ一州ニテ、國ノ中心ニ位シ、「マノンサナル
 ス河ノ上流、海岸ヨリ二百英里ノ奥ニアリ、海平ヲ拔クコ二千二百尺、京城ノ
 周回ハ八英里、^{マイル}北緯四十〇度廿四分、西經三度四十一分ニ位シ、^{即全}全府州ノ人
 口ハ、一千八百六十八年ニ、四十七萬六千七百八十五人アリ、此府ハ元「カストル
 國ノ都ニテ、一統ノ後、非立第二世ノ時ニ定メテ國都トセリ、「マノンンサルス河
 ハ乾涸ノ流レニテ、水利ノ便ニ乏シ、地味ハ、甚タ瘠薄ニテ、樹木ヲ生スルコ稀
 疎ナリ、舊部ノ街路ハ、狹隘不規則ナレヒ、周圍ノ新野ハ、廣濶規正ニテ修繕モ

亦壯美ナリ、中部ヨリ外郭ノ東門ニ達スル大道ハ殊ニ佳麗ヲ極メ、兩側ニハ
大厦宏館檐ヲ竝ヘ、道上ニハ兩條ノ行樹^{ナミキ}ヲ植エ、所所ニ小苑ヲ設ケ、跳水池ヲ
作り、府内ノ勝區トナシ、夏日ノ夕ハ全府民ノ納涼場トナリ、群集甚々鬧ナリ、
○外郭ハ楕圓形ニ高堡ヲ回シ、十有五門ヲ開シ、王宮ハ白石ヲ以テ疊積シ、四
面四百七十尺ノ方形ニ、百餘尺ノ高サニ築キアケ、歐洲ニ名高キ建築ナリ、此
ノ雛形ハ英國倫敦ノ大書庫、藏書館、武庫、ミナ著名ニ属ス、「ピラソレテオ」^{地名}ニ
水晶宮内ニ模寫アリ、天文臺アリ、「エスクリアル」^{地名}ハ此府ヲサルニ二十六英里、非立第二世カ建立
セル菩提寺アリ、一千二百萬弗ニテ造營セリ、莊麗華嚴ヲ極メ、歐洲ニ其比ヲ
ミサル大寺ナリ、○學校ハ府内ニ甚々多シ、「サンヘルナンソト」「サンアントレ」學
校ノ外ハ、男女自由ニ入學ヲ許スモノ三ヶ所ニテ、學童四千ニ及フ、此外幼稚
學校、大學校、商人學校、商法學校、算術、醫術ノ諸學ミナ備ハル、其他諸官衙、運上
所、飛脚會社等、美觀頗ル多シト云、○此府ニテ製造ノ品ハ、陶器、穀物、金、銀、紋綾、
紐釦、鐵器械、車輛、麥酒、抄紙、珠玉ノ妝具、奇翫、奢靡ノ品等ナリ、新聞會社四十六
ヶ所アリ、近年鐵道ノ起リシヨリ、海岸ヘノ運漕便利ヲ得テ、頗ル繁昌ニ赴ク

勢ニナレリ、

馬德里ニ亞スル都會ハ、「バルセロナ港ナリ、此ハ「ピリニース」山脈ノ南ニ於テ、地中海ニヒカタル平地ニテ、「カクロニヤ部」ノ一州ニカヘル、西班牙第一ノ良港ニテ、佛國ノ馬耳塞ト相竝ヒ、互ニ往來ノ郵船アリ、氣候溫和ニテ、土地豐饒ナリ、山ニ依リ海ニ臨ミ、物産甚タ旺盛ナリ、府中ノ人口二十五萬二千人、「ピリニース」ノ礦物ハ此ニ輸送ス、羅紗ノ製作高名ナリ、其海上貿易ノ最ナルモノハ、葡萄酒、火酒、橄欖油、及ヒ果物等ナリ、○「セビール府」ハ第三ノ都會ニテ、南部「モジナ」「子ヴァタ」兩山ノ間ナル原野ニ於テ、「クワダキビル河」ニヨル、河水ノ壓瀾洋ヘ注入ノ口ヨリ、五十英里ノ上流ニアリ、「アングダルシヤ部」ノ一州ニカヘル、府内ノ人口十五萬二千、卷烟草、及ヒ大砲ノ製造盛ナリ、下流ノ海口「カシズ府」ハ、人口七萬二千、壓瀾海ノ要港ニテ、二千年前フェニチ非尼西人ノ創起セル地ナリ、往時西國ノ米利加洲ニ屬地ヲ有セシハ、極メテ繁盛ノ都會ナリシニ、屬地ノ減スルニ從ヒ、凋弊シタレト、今ニ「ヤユヴ」「ボルトリコ」ノ砂糖、烟草ハ、此ニ輸送シ、酒類ノ輸出盛ナリ、「サブラルタル岬」ハ、其東ニアリ、一千七百年代ノ初メ、

佛境兩國ト斷統ノ戰爭ニヨリ此地ヲ英國ヨリ領セラレ今ニ英國ヨリ砲臺ヲ嚴ニシ海軍ヲ盛ンニシテ地中海ノ門戸ヲ扼ス此岬ヨリ亞弗利加ノ地トハ僅ニ二十英里ノ峽海ニスキス○此外「バレンシヤ」ハ京城ノ下游ニオク「マラカ」ハ「ヂブラルタル」ノ東ニヒカヘ皆地中海濱ニ於テ二三ノ名港十萬口以上ニスキル都會アリ、

○此國ノ河道ハ數條ニ分レ西及ヒ北ニ流レテ壓瀾海ニ注クモノト南及ヒ東ニ流レテ地中海ニ注クモノト互ニ通流ヲ絶ツ天然河漕ノ利ニ乏シ「マンソサナルス河」ハ「馬德里府」ヨリ「バレンシヤ港」ニ注ケル水利ニ乏シ東北ニ於テ「エプロ河」ハ「アラゴン地方」ヲ漕シ西北ニ於テ「ドロー河」及ヒ「タキウス河」ハ「葡萄牙ノ海港」ニツク南部ニ於テ「クアダルキビル河」セビル府及ヒ「カシス港」ニ注クハ國中第一ノ運漕線ナリ「西班牙ノ盛時」ニアタリ運河ヲ設ケテ水漕ヲ便利セシ線ハ頗ル著名ナリ第一ニ「イプロ河」ノ右ニ於テ「インベリヤル運河」ヲ設ケ「アラゴン地方」ノ物產ヲ融通シタルヲ第一トシテ「カステル運河」「マシザナルス」「モルシヤ」「モルバセツト」「ギユテダラマ」等ノ運河アリ○道路ノ不

修ナルヲハ實ニ甚タシ、京城馬德里ノ周圍ノミ修美ナル快道ヲ造リ、車輛相
 穀擊スルモ此ヲ距リテ他ノ州郡ニ至レハ一モ善キ通路アルナシ、人民ミナ
 車輪ノ利ヲモ知ラズ、國中賣買物ノ運送ハ驢馬ノ背ニ負載シテ、燕惡ナル蹊
 徑ヲスク、宛然タル混濛ノ世ヲ一夢ニテワタレルカ如シトナリ、○鐵道ハ一
 千八百六十九年マテニ三千三百八十英里ヲ建築シ、外ニ造營中ニカ、ルモ
 ノ其三分ノ一二及フ、大抵私立會社ヘ、政府ヨリ百分六ノ利ヲ保任シテ、建築
 セルモノニテ、其工作ハ外國人ヲ雇ヒテナシタルモノ多シ、

○此國ハ歐洲ノ極南ニ位シ、亞弗利加ト一衣帶水ヲ隔テタレハ、南方ノ諸州ハ
 氣候殆ト亞弗利加ニ近シ、夏ハ炎熱ニテ旱魃甚タシク、冬ハ嚴寒ナシ、内部ニ
 イレハ地位高燥ニ、三面ノ海ニテ風氣ヲ和盪シ、稍通暢ヲ得ル、地中海岸(即東
 部)ニ於テハ、周年英國ノ春溫ニ同シキ氣候ナリ、西北ビスケー灣ノ海濱ニ於
 テハ霧深シ、之ヲ水分ニナシテ算計セシニ年ニ其量二十五乃至三十五寸ニ
 ニ至ル、ヒルハオ地方ナドハ百寸ニ越ルト云、國都馬德里ニ於テ、寒暑ノ平均
 夏ハ七十六度四、冬ハ四十三一度ナリ、夜中ニ霜繁ケレハ翌日必ス雨ヲ醸ス、寒

暑表驟ニ四十度以上ニ升ル盛夏ノ極熱ハ九十度ヲ越ル少カラス又風難多シ南方亞弗利加ヨリ來ルヲ「ソラノ」ト名ツク忽チ溫熱ノ空氣ヲ送ル西北ヨリ來ルヲ「カレコ」ト名ツク遽ニ寒冽ナル空氣ヲ送り人物ノ膚ニ感シテ甚タ嚴烈ナリ故ニ氣候ノ驟變異常ニテ健康ヲ保ツニ宜シカラスト云

○此國ノ南部「シイルラモンナ」シイルラ子ヴァタ兩山脈ノ間ハ豐饒ナル沃野アリ南方地中海ノ濱ニハ水平ト殆ト同線ナル平行ノ澤地アリ野菜果物ニ宜シ其果物ノ碩美ナルハ南方熱帶國ノ所產ニ劣ラス此邊一帶ノ地方ハ非^ズニ西人^子ノ植民地ニテ其豐饒衍沃ナルヲ歐洲第一トイフモ過甚トセサレト人民ノ懶惰ニテ耕耨ノ業ヲ勉メス心思頑陋ニテ宗教ノ壓制ニ甘ンシ其生理ノ疲弊ヲ極メタルヲハ外見ヨリモ内實ハ更ニ甚シキ貧窶ニ陷ル近年政府モヤ、農業ノ勸勵スルヲニ著意シタレト人心不和ニテ内亂相繼ギ政令搖動ナキヲ能ハサレハ良法ニ改正スルニ由ナシ○全國ノ田園六十七萬七千五百二十箇ニテ全國百分ノ五十四ハ定墾地トス地主二十七萬三千七百六十人耕夫四十○萬三千七百六十人農業ヨリ生スル產物ニ最大ナル利益

ヲシメタルハ、葡萄酒、及ヒ銘酒類ナリ、重ニ南部、及ヒ東部ノ州州ヨリ出ル、南方「マラカ」「カント」ノ兩都會ハ、葡萄酒ノ名所ナリ、東方「バレンシア」府ニハ、葡萄酒ニテ種種ノ銘酒ヲ製ス、「ヘンカル」酒ノ如キハ、其色味ヲ良美ニスルタメ、「ジロン」テ酒ヲ調和スルトナリ、蠶桑絹絲ノ業ハ、歐洲ニテ第二等ニ位ス、年年佛國ニ向ヒ賣出ス、近年政府ヨリ更ニ其利ヲ盛ンニ興サント盡カス、果物ノ美ハ、歐洲第一ナリ、橄欖油、及ヒ「キルク」樹皮ノ塞子モ、其利巨ナリ、其他甘艸、チツソウ、羅紗ヲボカスニ資等ヲ出ス、棉花、砂糖、烟艸モ内地ニ産ス、特ニ西印度、及ヒ呂宋ヨリ輸入スルノミナラス、穀物ヲ産スルヲモ、固リ土宜適セサルニアラス、唯其民ノ農事ニ荒ムニヨリ、其品種美ナラス、民食ニモ不足ニテ、年年反テ外國ノ輸入ヲ仰クニ至ルナリ、○牧畜ノ業ハ、一千八百七十年ノ記載ニヨルニ、牛百八十六萬九千七百七十八頭、羊二千二百〇五萬四千九百六十七頭、豚百六十〇萬八千二百〇三頭、其他ハ未タ詳カナラス、西北部ノ諸州ハ、特ニ牧畜ニ利アリ、健馬ヲ産スルト云、

○礦業モ農業ト同シク、盛大ニ至ラサレト、近年ヤ、此ニ從事シテ、頗ル進歩シ

タリト稱ス、然レ其出產巨大ニテ、世ニ輕重ヲナス礦物ヲ開採スルニハ至
ラサルナリ、「ピリニース山脈」ヨリ、西方ツ、キタル連山、及ヒ「シール」ヲモレン
ナ山脈ニ於テ、近年開發シタル礦坑多シ、「ピリニース」ニ於テノ採礦ハ此國ノ
礦業ノ最モ久シキ場所ニテ、銅、鐵、及ヒ鉛ヲ出ス、「バルセル」ヲ府ニテ、英、佛ヘノ
貿易品ノ一ニオル、英國ヘ輸送スル鉛モ、價五六百萬弗ニオル、近年此國ニ發
見シタル、一種ノ鐵ハ、日耳曼「シロップ」砲ノ製造ニ、主要ノ品ニテ、同氏ハ因テ大
利ヲ得タリ、「カシダ」ヲリアン、及ヒ「マンヨルカ」ノ兩山脈ニ、良質ノ石炭ヲ得タ
リ、錫、亞鉛、砒石ハ所ニ產ス、「セヴル」府ノ「アダル」運河地方ニ銀ヲ出ス、「エルト
バ」「セヴル」ニ於テ岩鹽ヲ出、東及ヒ南部ノ海岸ニテ煮ル食鹽、バリルヲ鹽ヲ合
セテ、輸出品中ノ一部ニオル、「アルマデン」山ニ水銀ヲ產スルヲ、古ヨリ人ニ知
ラレ、亦輸出品ノ一部ヲシメタリ、亦種種ノ寶石ヲ藏ス、此國人ハ未タ礦坑ヲ
深ク鑿入ルヲヲシラス、己ニ採得タル寶石モ、近代ハ漸漸ニ盡キテ、衰態ヲア
ラハセリ、

製作ノ業モ亦微ナリ、「セヴル」府ニ於テ、卷烟艸ノ製作最モ高名ナリ、此國ノ屬

地「キユヴァ」及ヒ「マニラ」呂宋ニテ、烟艸、蔗糖ヲ出ス。夥多シ「キユヴァ」ノ砂糖「マ

ニラ」ノ烟艸ハ世界ニ聞ヘタル名産ナリ、陶器ハ、京城及ヒ「レオン」府ニ於テ製

作ス、京城ノ近在「トレト」ニテ、劍ヲ打立ツル、其堅銳ナルヲ歐洲ニ譽高シ「コル

ーバ」前ニモ出スニ於テ、艸ノ細工「カタロニヤ」州ノ木棉、及ヒ絹ノ紡織「ヒスケー」州

ノ製鐵場ハ、著名ノ一ニテ、其他火藥、大砲、小銃、造船、及ヒ玻璃ノ工作等ハ、其著
シキ部分ニオル、

貿易ノ業ハ、其國形三面海ニテ、良港ニ乏シカラス、國人古ヨリ操舟航海ニ達

シタレハ、歐米各國ト盛大ナル貿易ヲ開クニ、甚タ難キ事情モナカルベキニ、

今ニ至ルマテ、國人尙漠然トシテ、晏眠ヲ貪リ、之ヲ興スニ注意薄ク、生意甚タ

凋喪ナリシニ、近年漸ク此ニ注意ヲ生シ、通商ノ業ヲ開カンヲ謀ルニ、猶其

端緒ニツカス、又現時ノ國亂ニ沈ミタリ、但去年十月ニ會計事務長官ヨリ、國

債ノ利息ヨリ、三分ノ二ヲ現金拂ニシテ、殘額ハ三朱利ノ証書ヲ作り、五割引

ニテ發行スヘキヲ陳告セシハ、外國ノ債主、之ヲ承諾シタリ、是ハ此國ノ會

計五年ノ後ニ至レハ、再ヒ充分ニ償却スル目的アルヲ信スルニヨルト云、○

一千八百六十七年ヨリ、七十一年マテ、平均ノ輸出價ハ六千萬弗、輸入價ハ九千五百萬弗、其輸出ノ重ナルハ、葡萄酒、火酒、毛織物、果物、鉛、銀、水銀鹽、皮革、「キルク樹皮」「フリー虫」「スパニーフ」顏料、絹絲等ニテ、其三分ノ一ハ、葡萄酒ナリ、重ニ英國ニ送ル、輸入ノ重ナルハ、麻棉ノ絲及ヒ布石炭等ニテ、重ニ佛國ヨリス、商船ハ一千八百六十四年ニ二萬〇四百八十七艘ヲ有シ、其噸數四千四百萬噸ナリ

○此國教育ノ大概ハ、千八百六十一年ノ記載ニ、全國ニ小學校ノ數二萬二千〇六十箇所ニテ、生徒ノ總數百〇四萬六千五百五十八人、即チ全人口ノ五十分ノ一ニ當ル、歐洲下劣ノ地位ナリ、中學校ハ五十八箇所ニテ、此教師ハ百五十七人ナリ、大學校ハ十二箇所ニ及フ、「サアマレカ」「バレンシヤ」「サラエサ」「バレット」「ナドニア」ルヲ、重ナル大校トス、○敎門ハ、古時回徒ノ蔓延ニテ、國內ニ數百年ノ血ヲ流シ、竟ニ驅除シテ、全國ヲ羅馬カトレイキ敎ニ導キ、嚴法ヲ以テ他敎ヲ拒ミタレト、信敎ノ自由ハ、遂ニ防クヲ能ハス、一千八百六十六年ニ女王「イサベラ」位ヲ退キシヨリ、全ク信敎自由ノ域トナリタリ、此國ニ敎門ノ惡弊ヲ甚シクウケタルヲ、實ニ見ルニ忍ヒスト云、第一ニ政府ハ、寺僧ノ權ニ

壓セラレ、其抑制ヲ脱スルヲ得ス、百度ノ改夏ミナ其型肘スル所トナル、次ハ國民ミナ僧徒ニ迷溺セラレ、其疎懶ノ性ヲ養成シ、寺院ノ前ニハ乞丐羣ヲナシ、施人ヨリ錢ヲ與フレハ直ニ振向ヒテ神ニ報謝シ、其半ヲ賽錢箱ニイレ、自ラ其半ヲ受クルノミ、施人ヘハ一辭ノ謝ヲ述ヘルナシト、此ニテ當國ノ貧ニシテ僧侶ノ跋扈ヲシルヘシ、

葡萄牙國

○葡萄牙王國ハ西班牙半島ノ西海岸ニ地積約半島六分一ヲ領シ、一千年代ヨリ一國ヲナシタリ、其幅員三萬七千九百六十九方里、人口ハ一千八百七十年ニ四百三十六萬二千〇十一人アリ、全半島六分一ノ地ニ五分一ノ人口且此國ハ小ナリト雖モ、一千四百年代ノ季ヨリ航海鑿地ノ業ヲ競ヒ「バスコーデーカーマ」始メテ喜望峯ヲ回り、印度ノ航路ヲ開キシハ、西班牙ノ閩龍カ、亞米利加ヲ發見シタルト、共ニ千古ノ美談タリ、爾後各洲ニ植民地ヲ廣ク有シタレト、百年以前ヨリ往往ニ叛キ獨立シ、或ハ英國ヨリ收メラレ、屬地減少シタレト、猶喜望峯地方ニ於テ「ケープヴェルト」羣島ヲ有シテ、南亞米利加交易ノ要衝ヲシメ、又亞弗

利加ニ於テ「モサンヒ」ク「アンゴーラ」「ペンキューラ」等ノ廣土ヲ領シ、印度ノ「ゴア」支那阿馮港^{カウ}及ヒ南洋ノ池間島ノ如キハ「ミナ要地ニカ、ル、全屬地ノ大サハ本國ニ二十倍シ、人口殆ト本國ニ匹スヘシ、此國ハ回部侵入ノ亂ニヨリ、半島内ニ各國分裂セシキ、四ヶ國ノ一ナリ、一千〇九十五年「ホルエンシー」家ノ顯理王ヲ鼻祖トス、一時「カステル」國ト合併セシ「モアレヒ」、一千四百年間西班牙建國ノ時ヨリ此國ノミ獨リ分立ヲ全クシ、外國王子ヨリ王位ヲ踐シメサル憲法ヲ傳ヘシニ、一千五百七十九年ニ不幸ニシテ王位相當ノ系統タヘ、西班牙王非立第二世ハ、葡萄牙王家ノ裔ナルヲ以テ強テ「ラメゾー」ノ會議ヲナシ、憲法ヲ破リ、廢并ノ王トナリ、是ヨリ西葡合併スルヲ六十年ナリシニ、葡人ハ西ノ貪殘ナル政ニ堪ユルヲ能ハス、一千六百四十年、遂ニ守土ノ官ヲ逐ヒ、兵ヲ舉テ叛キ、故王統「チオアン」第四世ヲ擁立シ、國ヲ分テリ、是ヲ「ブラガンサ」家ト稱シ、西班牙王ト姻婭ヲ連子タリシニ、五十年前、女王馬利第二世、獨逸「コーボルク」公ト婚シテヨリ「チョードニック」諸侯^{獨逸}種人ニ入リ、以後傳フルヲ二世、今王ヲ路易第一世トイフ、○此國ノ政治ハ四權

ヲ分ツ。曰ク立法、曰ク行法、曰ク司法、曰ク酌量、酌量トハ前ノ三權ニツキ、之ヲ酌酌取捨スル權ニテ、即チ王權ニ屬ス。立法院ハ上下ノ二ヲ分ツ、上院ニハ貴族及ヒ有爵ノ人ニテ、王ヨリ終身命セラル、中ニ二千五百弗以上ノ歲入アリ、大學校ノ免許ヲ得タル貴族ハ世襲ニテ出席スルモノアリ、下院ニハ全國ノ良民中ニ、百十弗以上ノ歲入アルモノヨリ撰擧ス、毎四年ニ選舉シ、毎年三ヶ月開院ス、軍事租稅ノ艸案ハ、下院ニテ起草ス、王ハ立法案ヲ一回批却スル後ニ、再ヒ議協シタル法ハ、制止スルノ權ナシ、行法官ハ、海陸軍、内外務、司法、土木、會計ノ七省ヲ分チ、属地ハ海軍省ニテ支配シ、王權ニテ其長官ヲ命ス、國ノ大事ハ、内閣大臣十六人ニ顧問ス、此内三人ハ終身命セラレタル大臣アリト云。

○地勢ハ、西班牙國ト山嶺ヲ脊ニシ、西ニ向ヒテ傾斜セリ、河ノ通流自在ニテ、運河溝渠等ノ設ケヲ要セス、鐵路ハ政府ヨリ扶助シテ架成ス、一千八百七十二年マテニ落成シタル、總長ハ七百八十二「キロメートル」ニ及ヘリ、○氣候ハ、一般ニ健康ニ宜シ、爽塏ノ地方ハ、殊ニ快暢ナリ、寒暑ノ平均ハ里斯奔^{リスベン}ニ於テ、六十一度三ナリ、^冬五十二度^夏七十八度^四、西海岸ニハ雨甚タ多シ、秋季最モ甚シ、「コイブラ

地方ヨリ「マフ」邊マテハ、歐陸ノ最モ雨多キ地ニテ、周年ニ雨積ノ平均百十八寸ニモ及フ、南方ノ諸州ハ最モ溫暖ニテ、雪ヲミルコト甚タ稀ナリ、○全國ニ五萬口以上ノ都會ハ唯ニアリ、首都里斯奔^{リスベン}ト「オポルト」ト是ナリ、里斯奔府ハ「タギユス河」ノ壓瀾洋ヘ注ク口ニ於テ、其北岸ヲシメ高キニヨリ海ニムカヒ、風景畫ノ如ク、其屋宇ノ美、繁榮ノ象、是ヲ小倫敦ト稱ス、而テ其景ノ佳麗ナルハ、倫敦ノ及ハサル所タリ、其地北緯三十八度四十二分、西經九度八分ニ位シ、東西ハ三英里半、南北ハ一英里乃至一英里半、河流ニソヒテ半月形ヲナス、三ノ坡間ニ填塞シ、人口二十七萬五千アリ、舊廓ノ市街ハ狹隘不規則ニテ觀ニヨカラス、一千七百五十〇年、大地震ニテ打崩サレテ、其後ニ築キシ區ハ、街路井井トシ法アリ、且修潔ニテ、樓閣ミナ壯美ナリ、北尾ニ寺院、學校、劇場、藥園、病院等、多ク聚リ、壯麗ノ街アリ、南尾ニ海軍武庫、運上所等アリ、爽快ナル廣苑ヲ修メタリ、其最モ奇ナルハ、府中用水ノ樋管ナリト云、火器、火藥、織絹、製陶、抄紙、金玉ノ粧具、及ヒ石鹼等ノ製作場大ナリ、里斯奔ニ次テハ「オポルト」府ヲ盛ナリトス、人口九萬ニ及フ埠頭ナリ、次ヲ「セチエバル港」トス、

○此國ハ、各國ヨリ良法善政ヲ參取シ、國民專ラ貿易工藝ヲ勉勵スレハ、元來工藝ニテ立ル國ニハアラス、其土地肥腴ニシテ、國利ノ主要ハ、農牧ノ天産ニアレハナリ。然レモ農産物中ニ於テ、出產猶甚タ少シ、穀類ノ如キハ、輸出少シク度ヲ過レハ、國民ノ食ヲ欠乏スルヲ免レス、唯葡萄ハ其質碩美ニテ、產出最も多ク、固リ内國ノ用ヒ盡ム所ニアラス、之ニ次テハ生畜ノ輸出ヲ大ナリトス、以上葡人^{ルポ}ノ説、畜牧ノ比較ハ、瑞士ノ次ニ位セリ、葡萄酒ノ輸出ニ至テハ、全輸出價三分ノ二ニスキ、一時甚タ盛ナリシニ、一千八百五十三年ヨリ、葡萄蔓ニ病ヲ生シ、逐年ニ増長シ、因テ其量減少シタリト稱スルモ、一千八百七十年ニ輸出ノ價ハ、一千萬弗ニ及ヒタリ、此外ノ輸出物ハ「ヤルク樹皮、橄欖油、檸檬橙^{レモン、シシ、シナ}、硫銅、鐵硫、羊毛、象牙等アリ、○礦業ノ景況及ヒ產出、ミナ西班牙ト同一ニテ、高價ノ品ヲ出セモ、多量ナラス、鐵ヲ最トス、石炭ハ「オポルト」「ヒュアルコス」ノ兩地ニ出ツ、大理石^{マール}及ヒ鹽ノ利大ナリ、「アンチモニー」「錫、鉛」モ出タレモ、今ハ絶ヘテ出ス、畢竟礦事ニ於テハ、猶不注意ノ國ニ屬ス、

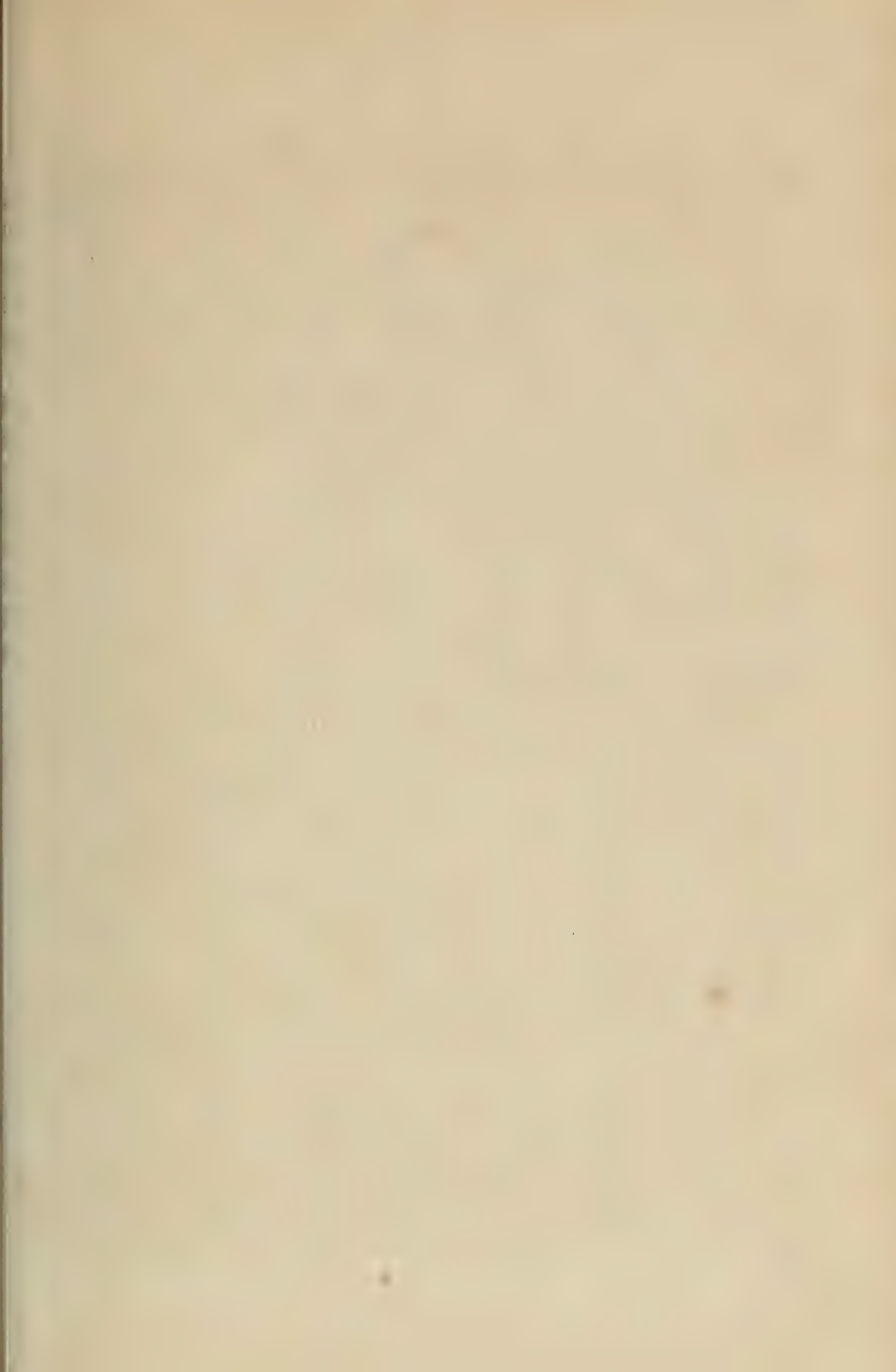
工商ノ二業ハ、甚タ盛大ナリトハセサレモ、亦頗ル勉勵スル所ニカ、ル羊毛

ノ紡織ハ「コヒル」ハ府ニ於テ盛ナリ、亞細亞、亞弗利加、^{アラビヤ}伯爾西、及ヒ西班牙屬地ヨリ、生絲ヲ輸入シ、絹織ヲナス、其利毛織ニ亞ス、其他縫工ハ、殊ニ精巧ヲ稱セラル、里斯奔府ニ大ナル製造會社ヲ興セリ、○此國ハ屬地ノ叛立ヨリ、利孔ヲ減縮シ、貿易大ニ衰ヘ、方今ニ專ラ通商スル國ハ英ニアリ、重ナルモノハ、葡萄酒ノ輸出ト、棉、毛布、及ヒ鐵材ノ輸入トニアリ、其他輸入品ノ重ナルモノハ、伯爾西ヨリ、穀物、稻米、鹽藏物、砂糖、咖啡、及ヒ絹絲ヲ輸入シ、北海ノ貿易ニテ、麻、亞麻、及ヒ他ノ雜貨ヲ輸入ス、^{輸出}出品ハ、產物一條ニ詳ナリ、一千八百七十年ノ輸入高ハ、二百五十三億四千二百二十四萬四千三百「ライス」、^一「ライス」ハ我○錢一厘一二五ニ輸
出高ハ、二百〇二億九千三百四十五萬七千「ライス」ナリ、^{即チ}百萬圓強、^一商船ノ數
ハ、一千八百七十二年ニ、現在ノ商船八百十三艘ニテ、其容積八萬八千五百十噸ナリ、

○國民ハ、西班牙ト同シク、元ハ羅甸人ノ苗裔ニカ、ル、其國語モ此ヨリ變化シ、
羅甸「カリシヤ」ノ兩語ヲ混シ、漸クニ訛シテ、葡萄牙一種ノ國語ヲナシ、「マデリヤ」「アゾール羣島」及ヒ伯爾西國ニ行ハル、其音ハ西班牙語ヨリモ、咽喉音少ク

強濁ニシテ聞クニアシ、且字書ニ載セ難キ鄙俚ノ謬多キハ、亞弗利加ヨリ
 入リタル「バルバリー」語ノ訛ナリト云、○國教ハ、古ヘ「オウス人ヨリ誘化セラ
 レ」プロテスタント教モ少シク行ハレタレト、全國概シテ、羅馬カドレイキ教
 ナリ、一千八百三十四年ノ五月ニ寺院ヲ毀テ、所有物ヲ官沒シテ、國債償却ニ
 供シタル、果斷ノ令ヨリ、方今ハ僅ニ修道院ヲ保存セルノミニテ、住僧ミナ貧
 ニ、堂宇ハ頽壞シ、下等ノ僧ハ僅ニ教育ヲ受ルノミニテ、殆ト農工民ハ齊シ、信
 向ハ固リ自由ナレト、プロテスタント教ヲ奉スルモノハ、外國人ニ多シ、兩大
 府ニ禮拜堂アルノミ、○學校モ寺院ノ管轄ヲ離レテ、内務省ニテ教育ヲ管掌
 ス、三十年來ハ、父母ニ強迫ノ令ヲ行ヒタレト、實際ニ行ハル、ヲ難ク、一千八
 百六十一年ニ、公立學校一千七百八十八所、學生七萬九千百七十二人アリ、人
 口三十六人ニ、一人ノ割ナリ、葡西ノ兩國ハ、唯露國及ヒ羅馬領ヲ除クノ外ハ
 歐洲ニテ教育ノ劣レル國ナリ、中ニモ西國ハ、普通教育コソ偏カラサレト、大
 學校ハヤ、盛ナリ、葡國ハ大小學ヲ并セテ徵ナリ、大學校ハ、只「コレンプラ」ニ
 一箇所アルノミ、

○兩國ノ度量衡貨幣ハ「現地ヲ踐マサレハ」此ニ略ス、



歐羅巴洲ト亞細亞洲ノ東部トハ古來殆ト相往來セサル別域タリシヲ其人種風俗ノ習慣ニテ察セラル習慣ハ邦國ノ分ルハ元素ニテ政治ノ同異ハ此ニ起源セリ我カ道德政治ノ習ヲ以テ彼ノ保護政治ノ民ヲミルニ假令ヘ理趣ハ一二歸スルカ如キモ其人民ノ氣尙ハ迥ニ主要ヲ異ニス今瀛器發明ノ勢力ニテ懸殊ノ邦國互ニ相親和スル運ヲ開キタレハ彼我ノ政俗ヲ觀察スルモノ最モ深ク此ニ熟考スヘシ此ニ歐洲各國ノ政俗ヲ略論セン

○歐洲列國中ニ己ニ日本ト交際貿易ヲ締約セルハ十四箇國アリ未タ之ヲ締約セサルハ只二國アリ土耳其トルキ希臘ギリキ是ナリ合セテ十六箇國ニテ全歐羅巴ノ洲土ヲ分占シタリ此數國ヲ詳カニ分別スレハ更ニ數十ニ分カル之ヲ類別スレハ九類ニ合ス其政俗ヲ論スルニハ其大別小別ヲ知ラサルベカラス

露西亞 六箇ノ邦國ヲ合セテナル

露西亞 ポーランド

波蘭 フィンラン

芬蘭 カサン

加匿 アスタラカン

阿斯達拉罕 コーカシウス

噠馬 同族三種ニ分レ各一國ヲナス、

瑞典 芬蘭ハ此國ノ分レテ露ニ入タルナリ 那威 噠馬

獨逸 三種ノ聯邦ニ分ル、

北方獨逸ハ 普魯士 薩撒 梅格稜堡等ナリ

南方獨逸ハ 巴威里 パ、リヤ 瓦敦堡 ウルテンボルグ 巴丁等ナリ

墺國獨逸ハ 墺地利 ボヘミヤ 波希米 ボヘミヤ モラヒヤ等ナリ

匈加利 此ハ匈奴ノ移民ニテ別ニ一國ヲナス 土耳其 此ハ匈奴ノ移民ニテ別ニ一國ヲナス

土耳其 數國ノ上ニ帝タリ

土耳其 ローマニヤ 塞耐維 セルゲイ 埃及 イチナト 此ハ亞弗利 ギリキ 希臘獨立ヲ

以太利 當今始メテ統一シタレト猶聯邦ノ餘習ヲ存ス、

サルヂニヤ 那不兒 羅馬 ロンバルチー 威尼斯 ウエニース

瑞士 佛以獨ノ三部ニ分ル

佛國 一千七百年末ヨリ全ク一統ニ歸セリ、

英國 四箇國ノ聯邦ナリ

蘭國 二箇國ニ分ル

白耳義 荷蘭陀

西班牙 四箇國ナリシニ、四百年來ハ二箇國ニ合ス、

西班牙 葡萄牙

地球上ニ邦國ノ分レル原由ハ、山海ノ域ヲ限ルト、族類ノ種ヲ異ニスルト、兩
ノ管係ニアリ、山海ノ管係ハ、各國ノ成形ヲ見テ、自然ニ明カナルヘシ、一帯ノ
海峽ニテ、英、佛ヲ限リ、一脈ノ山嶺ニテ、佛、西ノ分ル等是ナリ、歐洲人ノ説ニ、支
那ハ山脈散漫シテ、天然ニ混同ノ勢アルヲ以テ、各國分ル、モ又合ス、而テ附
隣ノ各國ハ、天然ノ境界、大小ヲ懸殊シ、強弱ノ平衡ヲ失フニヨリ、自ラ屈伏
ヲ甘シ、競勵心ヲ起スニ由ナシ、歐洲ハ之ニ反シ、山脈縱橫ニ、海灣曲折シ、各
民各境ヲ畫リ、相滋息シ、常ニ強弱相制シ、互ニ自主シテ、競勵ノ精神ヲ旺ニシ
タルハ、現今ノ國勢ニ軌リ上リシ所以ナリト、○左ハサリナカラ、此天然ノ境
界モ、人事ニヨリテ變化スルモノナリ、是人種ノ成國ニ管係アル所以ナリ、東

洋ノ人民ハ其種族ノ異ニテハ成國ノ原由ヲナス力ナキカ如シ之ヲ上古ニ
 遡リ論スレハ支那ノ伏羲神農カ齊魯陳宋ノ野ヨリ起リシモ舟楫ノ發明ニ
 因テ燕趙人種ノ黃帝ヨリ河ヲ越エテ混一セラレ再分ル、機會ヲ生セス近
 代ニ下リテモ閩越人種ハ別種ヲ以テ殊異セラルレモ亦分立スル機會ヲミ
 ス故ニ人種ノ論ハ東洋ニ於テハ讀者ノ注意ニ脫漏シタリ歐洲ノ政俗ヲ論
 スルニ於テハ此ニ多少ノ管係アルモノナリ

○歐洲ノ人種ヲ概稱シ白人種又高加索人種トイヒ亞細亞洲ノ人種ヲ黃人
 種又蒙古利奄人種トイフ此兩人種ノ性情ヲ夷考スルニ白種ハ情慾ノ念熾
 シニ宗教ニ熱中シ自ラ制抑スル力乏シ略言スレハ慾深キ人種ナリ黃種ハ
 情慾ノ念薄ク性情ヲ矯揉スルニ強シ略言スレハ慾少キ人種ナリ故ニ政治
 ノ主意モ相反シ西洋ニハ保護ノ政治ヲナシ東洋ハ道德ノ政治ヲナス大體
 如此クニ反シタレハ百般ミナ其趣キヲ異ニセリ○歐洲ノ人種論ニイフ東
 亞細亞即チ支那ノ人種ハ匈奴土耳其及人種ヨリハ高等ニテ夙ニ政理ヲ講
 究シ道德ヲ重シ野蠻ノ域ヲ脱シタルヲ甚タ早く農ヲ務メ工ニ敏ニ開化

著シク君主ハ能ク仁慈ノ政ヲ行フ風アリ、但其法理ト道理ト相混スル故ニ
家族交際ノ道ヲ以テ、君民交際ノ本理トナスニ至リ、民ニ廉耻ノ風乏シク、自
主ノ權絶ヘテ興ルヲナシト云云、此所謂ル廉耻乏シキトハ、蓋シ支那日本モ
スノ上等民ハ、高尚ノ道義ヲ務メ、下等ノ民ハ、貧弱ニテ、只上ニ依頼シ、生活ヲ
倫ミ、曾テ耻ルヲナク、自主獨立ノ氣象、自ラ一般ニ乏シキヲ指シタル言ナリ
歐洲人ハ此ニ反シ、上下共ニ自己ノ情慾ヲ遂ケ、快美ノ生活ヲナスノ一念、甚
タ盛ナルヨリ、一ノ自主ノ權ヲ主張シ、總テノ事理ヲ此ヨリ發源シタレハ、其
財利嗜欲ニ澀齷ニテ、戀戀離スニ忍ヒサルヲ、亦我ヨリイヘハ廉耻ノ風ニ乏
シト指言スヘキヲ多シ、西洋ノ政治ハ、此人種ニ適シタル法理ナレハ、人種ノ
團結、婚姻ノ忌避、言語風俗ノ異、宗門ノ信向ハ、最モ政治ノ貴重スル所ニテ、瑣
小ノ民ニモ、敢テ之ヲ矯揉セシメサルヲ仁政トシ、自由ノ理トス、東洋ノ變風
移俗ハ西洋ノ暴政苛法ニ屬ス、他モ此類ナリ、
高加索コウカサレン奄人種ハ、白膚、黃髮、深目、碧睛ヲ普通トスレハ、内部ニ入テ、細別ヲ目睹
スレハ、種種一ナラス、之ヲ大別シ三類トナス、一ヲ「チョードニク」種トス、所謂

ル日耳曼人種ナリ、歐洲ノ中部北部ニ蔓衍ス、日、奧、蘭、白英、瑞、那、噠及ヒ瑞士東
 方ノ民ニテ、長太平正、骨格前ニ舉ル所ニ合ス、二ヲ羅馬人種トス、南部西部ニ
 蔓衍ス、佛、以、西、葡及ヒ瑞士西部ノ民ニテ、多ク黒髮、黒睛、膚色ハ銅色ヲ帶ヒ、軀
 幹長大ナラサルモノモ多シ、三ヲ「スラヴ」オニツク種トス、東部ニ蔓衍ス、露、波、蘭、土
 ノ北部、羅馬、尼、塞、爾、維等、希臘ノ民及ヒ澳國ニ散在ス、波、希、米「ボヘミヤ」モラヒヤ人はナリ、此種
 ノ民ハ多ク開化ニ鈍シ、其他土耳其、匈、加利及ヒ露國ノ南ニハ、蒙古、奄人種ヲ
 錯ユ、日耳曼人種ハ最モ歐洲ニ勢力ヲ得タリ、凡日、奧ノ王公ヨリ、露、瑞、那、噠、蘭
白英、葡、希臘、塞爾維等、ミナ「チヨード」ニツク家族ニテ、瓜、瓠ヲ連子、貴族門地ハ此種
 ニ多シ、佛、西以ノ三國ハ、猶羅、匈族ナリ、「スラボ」ニツク種ニテ、國君ノ位地ヲシメ
 タルハ、梅格、梭堡一國アルノミ、○人種ノ互ニ其族類ヲ繁息シ、其風俗ノ團結
 ヲ全クスルヲ民種ノ權トイフ、歐洲政治、自由ノ理ニ於テ、甚タ貴重スル要領
 タリ、各國内ニ州郡ノ分レハ、多ク此ニ原由ス、其種族ノ百殊ヲナシタルハ、一
 種ニ數類ヲ分ツ、英ニ英、威、蘇、愛ノ別アリ、奧ノ各州、各種ノ民アルニテ察スヘ
 シ、其内ニテ、王公ノ同族ニカ、ル種ハ、概シテ重要ノ位地ヲ占ルモノナリ、但

シ、荷國王家ノ「チヨードニツク」ニ移リ、露國ノ貴族ニ、日耳曼種多キカ如キハ、一般ノ民ニ比スレハ少數ニテ、本國多數ノ民ニ當ル能ハス、墺普ニ「スラヴ」ニヤ種ノ民アル等、ミナ次ノ位地ヲトリテ、國ノ協一ヲ競成スルニ力ヲナス、畢竟白種ノ民ハ、性情熾シニテ、矯揉スル力ニ乏シキニヨリ、其適性ノ治ヲナサハレハ、康安ヲ保チ難シ、支那ノ如キモ、古代ニハ民種互ニ分レ、國ヲナシ、性氏家族ノ辨モアリタリ、秦夷、徐夷ノ東方ニ團結シ、荆、舒、吳、越ノ南方ニ地ヲシメ、陸渾、首陽ノ戎ハ、京畿附近ノ地ニマテ、雜居シタレ、年ヲ經ルニ從ヒ、痕跡ヲ政治上ニ減シタルハ、變化シテ其風ニ矯揉セラレタルナリ、歐洲ト大ニ其情實ヲ異ニス、○人種ノ異ニヨリテ、婚姻言語、信教ノ三權ヲ生ス、ミナ政治ニ於テ緊要ノ項タリ、

○種俗ノ變化ハ、婚姻ヨリシテ生ス、歐洲ニ民種ノ權ヲ重ゾスレハ、婚姻ノ權ヲ重スルモ、自然ノ理ナリ、古代ニ當リテハ、各種ノ民、ミナ異族相娶ラサル法ヲ約束シタルヲ甚タ嚴酷ナリシモ、世ヲ逐フテ改良シ、羅馬以後ハ、漸漸ニ寬裕ニ赴ケリ、然レモ「チヨードニツク」人ハ、殊ニ此情熾シニテ、己ニ佛王ノ支配ニ從ヒ

シキモ其情念ヨリ佛以人ヲモ煽動シ「クロイス家ヲ顛覆シ」「ペヒン王ヲ立ル
 ニ至リ佛日遂ニ分裂シタリ如此ノ日耳曼人ハ門地ヲ重シシ同族團結スル
 意念強キ故ニ婚姻ニ忌避多ク從テ相續贈遺ノ事ニ於テ殊ニ保管ノ法ヲ周
 密ニ論ス他ノ人種ハ較^ヤ此情ニ薄キニ畢竟東洋ヨリシテ論スレハ魯衛ノ兄
 弟ナリ○婚姻ノ因ヨリ國ニ大管係ヲ生スルハ各國ノ分合ニテ知ルヘシ西
 班牙四箇國ノ分立ヲ合シテ西葡ノ二トナシタルハ「カストル國女王ト」「アラ
 エン國王ト」婚シタルニヨル後西王非立^{ヒリツア}第二ハ系統ニヨリテ葡國マテモ合
 一シタリ日耳曼ノ「チャールレス第五世ハ婚姻ノ縁ニヨリ匈加利西班牙ヲ合
 併セリ荷蘭王維廉ハ英女王馬利ニ婚シテ英蘭合シ英蘇ノ合併モ系統ニヨ
 ル露國彼得帝ハ其女ヲ日耳曼「ポールスタイン公ニ嫁シ露國帝系ハ「チヨード
 ニック家族トナリ近年葡國女王モ「日耳曼「コー堡公ニ嫁シ「チヨードニック家族ト
 ナレリ一千七百年ノ初メ佛墺西ノ大戰爭モ其起源ハ「チヨードニック人ト羅馬
 人トノ門地爭ヒニスキス全國ノ分合サヘ婚姻ヨリ起源シテ多少ノ生靈ヲ
 糜爛ス況ヤ州郡縣邑ノ團結ニ於テ婚姻ノ權ヲ保守スルハ怪ムニ足ラサル

ナリ。○故ニ各國ノ政體ヲ定ムルモ、亦婚姻ノ權ヨリ、種種ノ異ヲ生ス。日耳曼
ニテ「ベルソナール、ユニオン」ノ政治トイフハ、君主ノ系統ニヨリ、其一國或ハ一
部ヲ他ニ合併スルモノナリ。今荷蘭ニ「レキセン堡」ヲ合併セルカ如シ。此ハ君
主ノ系統改マレハ復分ル。噠馬ノ王統改マリ「ポールスタイン」「シレーラワイ
ヒ兩國ノ引分レニツキ、普、噠ノ戰トナリタル是ナリ、之ニ反シテ合併ノ約束、
國民ノ協議ニナリテ、一君ヲ奉スルハ「レアルエニオン」ノ政治トイフ。瑞典、那
威ノ合併、及ヒ墳地利、匈加利ノ合併是ナリ、一國內ニ於テモ、各邦相分レテ、面
面ニ政治ヲナシ、大體ノミ全國ノ規一ニ從フハ、歐洲郡縣ノ性質ニテ、中ニモ
土耳其ノ各國ハ、自ラ獨立ノ體ヲ有シ、露國ノ各省ハ各自ノ治ヲナス、日耳曼
ノ聯邦ハ「元」「ヘルケルレクト、リケブント」ノ政體トテ、各邦各自ニ外交ヲナシ
タリシヲ、一千八百六十五年ヨリ、普國王盟長トナリ、各國各自ノ政ヲナセ、
外交ハ合同ニテナス。トニ定メタリ。是ヲ「フンデスタット」ノ治トイフ。墳國ノ各
州ハ、君主ヲ奉セサルマテニテ、其情形ハ、日耳曼聯邦ニ異ナラス、之ヲ類推ス
レハ、普國ノ州縣モ亦然リ、又英國ノ州縣モ然リ、米國ノ如キモ、一國トハイヘ

ト内實ニテハ三十七ノ共和國合併ノ治ヲナシタルナリ、之ヲ英語ニテ「ユニ
 ナイテットステイト」トイフ、即チ「フンデフダット」ニ同シ、○州縣ノ下ニ「村邑」ヲナ
 スハ「一箇ノ無形人ニテ、家族財産ニ的切ナル管係ハ、最モ此ニアレハ、君主國
 内ニモ、共和ノ州郡アリ、共和ノ州郡ニテ、君主ノ領地領民アリ、猶太教ノ徒ニ
 至リテハ、各村邑内ニモ、別ニ婚姻ヲ通セス、一種ノ族類ヲナシタリ、

○言語ハ、民種ノ離合ニ管係アル甚タ、大ナリ、曾テ羅馬、日耳曼ニテ、言語ニ抑制
 法ヲ設ケシコアリ、甚シキ虐政トナシ、爾後ハ同語ノ民ヲ同一ノ人ト看シ、
 各種ミナ自己ノ語ヲ用フル、自由ヲ有セシメ、政法ニテ之ヲ妨クルヲ得サル
 ハ、歐洲政治ノ普通法トナレリ、然レモ全國一般ニ關スルコニハ、必ス一語ヲ
 定ム、英ノ巴力門^{バイレムント}ニハ、英倫語ヲ用ヒ、佛ノ大政府ニハ、佛語ヲ用ヒ、市街ノ招牌^{カシベン}
 記號等^{メシルン}ミナ佛文ヲ用フ、白國政府ハ、佛語ヲ主用ス、一國ニテ三語ヲ併用スル
 ハ、瑞士ノミナリ、○總テ歐洲中ニ行ハル、各種ノ言語ヲ大別スレハ、二類ニ
 分ル、甲ハ印度及ヒ歐羅比^{ヨーロッパ}奄語トス、乙ハ芬奴^{フィン}及ヒ韃靼^{タタリヤン}里奄語トス、甲ハ高加
 索^{シエン}奄人種ニ屬シ、乙ハ蒙古奄人種ニ屬ス、甲種ノ語ハ、四支ニ分レタリ、西部ニ

行ハル、ヲ「セルチック」語トス北及ヒ西北ニ行ハル、ヲ「チョードニック」語トス、前
部ニ行ハル、ヲ希臘、羅、匈語トス、中及ヒ東部ニ行ハル、ヲ「スラヴオニック」語ト
ス、前ノ人種大別ヲ見合セ、總テ此語ニ屬スル種類ハ別レテ五十三種アリ、乙類ノ語ハ、亞
細亞語ニ屬スルモノニテ、露國ノ南ヨリ、匈加利、及ヒ土耳其ニ行ハレ、此語ノ
繁キヲハ、百五十種ニモ及フモノナリ、塙國ニハ、各種ノ民雜居シテ、其語ノ殊
異ハ、七十餘種ニ分レテ、甚タ混雜ナリトイフ、○抑々假音文字ニテ、意ヲ標ス
スル國ハ、言語聲音ノ異ニ於テ、千差萬別ヲ分チ、言語ニ緊要ノ管係アリ、其甚
シキハ、村ヲ隔テ、互ニ言語不通ナルニ至ル、故ニ歐洲ニテ、言語ノ權ヲ貴重
スルノミナラス、語學ヲ重ンシ、小學校ノ根本トス、(ゲラマル)スクールハ、文典
學ノ義ナリ、此切要ナル語學ヲ、東洋ハ、今ニ至ルマテ注意セサリシハ、其國內
ニ言語ノ殊異ナキニ因ルニハ、アラス、全ク象形文字ノ功驗トイフヘシ、象形文
字ハ、一事一物ニ字ヲ與ヘタルニヨリ、言語聲音ニ同異アルモ、文ニテ情ヲ達
スルニ足ル、故ニ支那ノ政治ハ、名ヲ正スヲ重ンヌ、明王起レハ、字書ヲ編修シ
文字ヲ歸一シ、同文ノ政治ヲ注意ス、古代ニアリテ、周篆、秦篆、漢ノ尉律、今ニア

リテハ、清ノ字典是ナリ、西洋ノ言語ヲ自由ニスルト、全ク相反セルモ、此ノ由ニヨル、○世界中ノ言語ニテ、最モ多人ニ用ヒラル、ハ支那語ナリ、即チ支那文字最モ廣キ地方ニ用ヒラル、ハ英倫語ナリ、凡ソ日本ヨリ歐ニ航シ、弗、豪ニ航シ、米ニ航スルニ、肝要ノ衝地ニハ英ノ埠頭ミアリテ英語行ハル、佛語ハ之ニ次クモノニテ、最モ歐洲ノ貴族ニ用ヒラル、歐洲ノ貴人ハ「チヨードニク」家族ニテ、佛語ヲトルモノト謂フテ可ナリ、日耳曼語モ廣シ、文學上ニ最モ貴重セラル、西班牙語モ、米、弗及ヒ細ノ舊屬地ニ蔓衍シテ廣シ、以太利語モ頗ル廣ク行ハル、此五語ヲ歐羅巴奄語中ノ著シキモノトス、

○同種ノ民ヨリ更ニ分レテ、新民種ヲ生シタルハ、居住地ト、言語トノ別ニ關係スルノミニアラス、信教ノ管係甚タ大ナリ、宗教ノ信仰ニヨリ、古時ニ新民種ノ團結セシ例ハ甚タ多シ、今ニ至リテモ、猶其餘習ハ消滅セス、故ニ信教ノ權ハ、言語ニ比似スルモノナリ、露國ハ希臘教ヲ固守シテ、移籍ノ民ニハ、唯一代ノ自由ヲ許スニスギス、瑞、那、噠ノ三國「ルーザー」教ヲ固守シ、今政法上ニ自由ヲ許スモ、僅ニ苛禁ヲ除キテ交際ノ妨ケヲ少クセルノミ、瑞士ノ二十六郡互

ニ教派ヲ分ツテ相憎嫉シ、獨逸人種ハ多分ニ新教ヲ奉シ、羅馬人種、多分ハ舊教ヲ奉シ、埃國及ヒ南獨逸モ舊教ニ傾キ、治平ノ破レ、常ニ兩教ノ抗抵ヨリ生ス、土耳其ノ回教ニ熱心スル、歐洲ニ厭弄セラル、所ニテ、其國境ヲ分保スルモ、亦此教ノ勢力ニヨル、○抑西洋人種ハ、資性元惡ナリ、慾情ノ熾ナル如ク、求福ノ情モ亦熾ナリ、宗教ノ旨趣ハ、其情ヲ導クヲ主トシテ立言セルモノニテ、全ク東洋性善ノ教ト相反スルノミナラス、又釋氏善根ノ說ニモ反ス、歐洲人民ノ此教ニ信依スルニ及ンテハ、熱心ニ之ヲ固守スルヲ、財利ヲ保持スルト異ナルナシ、其他教ヲ排斥スルノ心ハ、亦領地ヲ廣ムルト異ナルナシ、是以テ宗教ノ力ハ、同族ノ團結、或ハ會社ノ協同ヲ牢固ニシ、自ラ國郡ニ、無形ノ境界ヲ築ケリ、各國ノ君相ハ之ヲ器械トナシ、以テ國勢ヲ熾ニスル、人氣ヲ鼓舞ス、古教猶分レテ耶蘇教トナリ、耶蘇教ハ又分レテ羅馬教、希臘教、及ヒ「プロテスタント」教トナリ、並ニ南獨逸以而テ歐洲人民ノ外ハ、又默馬麥教ヲ奉シ、互ニ相敵視シ、今ニ至ルマテ、皆ヲ裂キ、相憎嫉スルノ念ハ、曾テ消滅スルナシ、歐洲各國各郡ノ相分レ、相對峙スルハ、常ニ其管係ヲ有スルヲ、甚々切要ナリ、是

東洋ノ柔善ナル佛教ノ域ニ、道德政治ノ化ヲウケ、生長スルモノ、竟ニ思想シ能ハサル所ナリ。○歐洲羅馬ノ衰ヘニアタリ、一時文明ノ否塞セルヲ、羅馬教ノ力ニヨリ、其熾慾相屠ルノ惡俗ヲ化シ、各國ノ君民、熱心信向セシヨリ、此教ノ師長タルモノ、無限ノ威望ヲ生シ、帝王モ身ヲ下シテ卑事シ、因テ自己ノ權勢ヲ保續セリ。是ニヨリ自然ニ教宗ノ權威ハ、各帝王ヲ總ヘタル泰皇ノ如クニナリ、國政上ニモ其權威ヲ加フニ至レリ。其後羅馬教ハ、東派西派ニ分レテ東派ノ希臘教ハ、専ラ東部ノ各國ニ行ハレ、西派ノ羅馬教ハ、西部ニ行ハレシニ歲ヲ經テ、教徒ノ弊習百出シ、人民ノ慾情ヲ奪フテ、侵漁抑制ヲ極メシニヨリ、一千四百年ノ末ヨリ、薩撒國ノ高僧「ルーザー」プロテスタント教ヲ開キ、宣教自由ノ說ヲ唱ヘテ、人民ノ自由ヲ欲スル心頭ヘ注瀉シタルニヨリ、獨逸人民、先ツ靡然トシテ之ニ歸向シ、多少ノ爭亂ヲ歷テ、羅馬教ハ南部ノ國國ニ行ハレ、新教ハ北部ノ國ニ行ハレ、歐洲各地ニ此三教ヲ鼎峙スルニハ至レリ。○歐洲内ニ行ハル、教派、甚タ繁多ナレトモ、之ヲ概スルニ二種五類ニ歸ス。二種トハ「ペーデン教」即チ佛教「キリスタン教」ナリ、其區別ハ、民種ノ分界ト相合ス。『ペー

一デン教ハ、蒙古奄人種ニ行ハレ「キリスト教ハ高加索奄人種ニ行ハル」土耳其人ハ、此兩種ノ間ナル一族ニテ、即チ「ペーデン」ト「キリスト」ヲ混合セル、回教行ハル、即チ^{モバメツト}歐馬麥教ナリ、「キリスト教ハ、高加索奄人民ニ適中セル教ニテ、其類三ニ分レ、「チヨードニツク人種ハ、プロテスタント教ヲ奉シ」「セルテツク」及ヒ希臘羅旬語ノ人種ハ、羅馬教ヲ奉シ」「スラボニツク人種ハ、希臘教ヲ奉ス、成國ノ人種ニ管係シ人種ニヨリテ言語ヲ分チ言語ニヨリテ宗教ヲ異ニスル、皆政俗ノ區ニシテ分ル、原由ナリ、

○曾テ之ヲ佛國博士「プロック氏」ニキク、政治ノ體ハ、其異ナルヲ猶國ノ異ナルト同シ、設シ政法同一ナラシメハ、國モ亦必ス分立セス、政治家ハ、只其最モ異ナルモノヲ分別シ、立君ト共和トノ二體ニ分ツノミト、至論ナリトイフヘシ、世ニ政體ヲ説クモノ、或ハ分テ立君^{モナル}貴顯政治^{アリスト共和}レボフ^{ノ三}ニ分チ、或ハ壓制^{テスボ}專治^{エプソ}立憲^{コンステチュ}聯合^{ユ一ナ}盟約^{コンフイ}ニ及ヒ「デモクラシー」等ノ各體ヲ分テ、愈出愈繁ナレヒ、壓制ト專治トハ、君主ノ氣象ニテモ分レ、聯合ト盟約ハ、立法ノ簡詳ニテモ岐シ、畢竟國民ノ起原、習

慣ノ異ニヨルノミ同シク立君政ナリ「チョードニック」ノ北種ニハ選舉王ヲ立ツ、
 英、白、蘭、噠、瑞、那、是ナリ、而シテ六國ノ政體ミナ異ナリ、又南種ニハ貴族ノ權強シ、
 日、墺ノ聯邦是ナリ、而シテ其各邦ノ政體各異ナリ、大都府ニ於テハ共和ニテ治
 ヲナスニ至ル、共和國ハ民主ノ邦邦聯合ス、其大形ヲイヘハ立君聯邦ト異ナ
 ルナシ、其異ヨリシテイヘハ瑞士ノ二十五郡ミナ其政體ヲ同クセス、米國ハ
 殊ニ然リ、日耳曼ノ聯邦ハ墺國ノ聯邦ト異ナリ、瑞、那ノ聯合ハ英、蘇、愛ノ聯合
 ト異ナリ、露國ハ一統スルカ如キモ、波蘭、芬蘭ノ自主ハ土國ニ羅馬尼、塞爾維
 ノ分立セルニ似タリ、更ニ之ヲ細分スレハ高加索、加區、阿斯達拉干モミナ分立
 ニ似タリ、益之ヲ究ムレハ各國ノ州縣モミナ聯合州ト異ナル所ハ殆ト希ナ
 リ、○歐洲ノ政治ヲ總ヘテ之ヲ論スルニ全ク東洋ノ政治ト別種ナリ、歐洲人
 ノ性稟ニハ盡ク會社團結ノ氣風ヲ具有ス、是全ク東洋人種ニナキ所タリ、故
 ニ歐洲ノ政俗ハ細ニ分析スルニ大ハ一國ノ政體ヨリ、州ト分レ、縣ト分レ、郡
 ト分レテ、小ハ村邑ノ分割ニ歸スルマテ、盡ク會社ノ性質ニテ結品ス、之ヲ推
 究スレハ一家族ノ產ヲ立ルモ亦會社ノ性質ヲ帶ヒサルハナシ、會社ノ連結

ハ、歐洲人徹頭徹底ノ風氣ニテ、主長ヲ公舉スルヨリ、共和治ヲ生シ、之ヲ世襲
ニスルヨリ、君主治ヲ立ル、其體面ハ大ニ異ナルモ、會社ノ性質ト、大同小異ニ
スキス、主長ヲ定メ、行政ノ權ヲ託シ、社中ヨリ公舉シ、議會ヲ開キテ、法則ノ本
ヲ握ルハ、上下一般ノ風尙ナリ、主長ニ力量大ナレハ、全社ミナ其制ヲ甘ンシ
社員ニ人物多ケレハ、主長ヲ制抑スル力モ強シ、因テ專治トナリ、同治トナリ
共和トナル、亦體面ハ大ニ異ナルモ、其性質ハ大同小異ニスキス、此等ノ異同
ハ、畢竟人民ノ習慣ヨリ生スルモノニテ、習慣ニ從ヒ治メテ、矯揉抑制セサル
ハ、歐洲政治ノ大要ナリ、故ニ佛ノ帝國、乍チ變シテ共和トナルヘク、英ノ同治
モ、州郡ニハ貴顯政治ノ風ヲ存シ、日耳曼ノ專制モ、其法規ヨリ論スレハ、反テ
寛裕ニ參政ノ權ヲ許シ與ヘタリ、米ノ共和モ、其法則ヨリイヘハ、發論ノ自由
ハ、狹小ナリ、梅格稜堡^{メグレンボルグ}ノ民ハ、同治ノ政ヲ立ル力ナク、露國ノ民ハ、選權ヲ有シ
議政スルノ智識ニ達セス、然レヒミナ其政治ノ歸宿スル所ハ、會社ノ結習ニ
出サルハナシ、○歐洲ノ政法ハ、其髓腦ハ、生命ト財產トヲ保護スルニ歸著ス、
東洋ニ於テモ、漢高祖カ殺人者死、傷人及盜抵罪トイフ、三章ノ律ハ、後世衆法

ノ基トハナリタレモ、政要ハ此ニアラス、道德教化ヲ先トナシ、刑名ノ事ハヲ
 トナリ、君主ハ節儉仁恩ヲ務メ、人民ハ寡欲報效ヲ務メ、上下相親依シ、太平未
 保テリ、故ニ利欲ノ論ハ、最モ人ノ耻ツル所ニテ、此ヲ名ケテ廉耻ノ風ト謂ナ
 リ、歐洲ハ然ラス、上下一意ニ、快美ノ生活ヲ遂ルヲ主意トナシテ、相互ニ生理
 ヲ務メ、其勤勞ノ力ニテ、十分ニ此主意ヲ遂ケタルヲ、榮譽トナス、無氣力ニテ
 人ニ依附シ、生活ヲナスヲ耻ツ、此ヲ名ケテ廉耻ノ風トイフ、人民ノ風氣、其反
 對セルヲ此ノ如シ、故ニ歐洲ノ律法ニテハ、人ノ勤勞ヨリ生セシ財産ハ、其許
 諾ヲウケスシテ、一毫モ他ヨリ取ルヲ得ス、之ヲ犯セルヲ盜トス、此一條ハ衆
 法ノ要臬トナリタリ、固リ其公理ハ、天地ヲ亘リ、不拔ノ法ナレモ、元ハ其人種
 ノ慾情熾ナル性質ヨリ、協定セル法項ニテ、政論上ニ於テ、終古財産ノ訌爭ハ
 己ムトナシ、凡ソ財産ヲ分チ、新租ヲ加ヘ、生業ニ妨ケアル等ノ法ヲ新定スル
 非ハ、民ハ死力ヲ出シテ抗論ス、其相互ヒノ交際ニ於テモ亦然リ、其初メニ爭
 フ甚タ強シ、故ニ法定ルノ後ハ、之ヲ守ルヲモ亦固シ、政府ヨリ法ニヨリテ徵
 スル税、君主ヨリ法ニヨリテ自奉スル額、假令ヘ過分ナルモ、敢テ其權ヲ自放

シテ他ニ與ルヲ仁德トスルナシ、財主ノ收ムル利子、地主ノ收ムル地料モ一
旦公約ノ後ハ政府ヨリ必ス收納セシメテ、其約ヲ保護ス、此ミナ政俗上ニ最
モ緊要ノ事ニシテ、其現實ノ情ヲ東洋ヨリミレハ君主ハミナ暴斂ノ君ニテ、
人民ハ薄情ニ欲ヲ達スルモノトイフモ誣ヒサルナリ、○歐洲一般ミナ利慾
ノ競争ニ生活シタルヲ右ニ論スルカ如シ、政俗ノ精神ヲ論スレハ、意必固我
ノ四ニ歸ス、所謂ル自主ノ理トハ、私利ヲ營求スル一意ニテ、此意ヲ立テ生業
ニ勉勵シ、十分ニ遂ンコトヲ必ス、此ヲ固執シテ、敢テ渝薄セサルモノホト、高等
ノ人物ナリ、故ニ議會ヲ立ルモ會社ヲ協定スルモ、國ヲナシ政ヲナスモ只此
四ヲ成就スル所ニシテ、亦東洋ノ風習トハ反對ナリ、歐洲ニテ政治ノ要ヲ論
スル、必ス曰「ヂヨスチス」ト「ソサイチー」トニアリト「ヂヨスチスト」ハ權義ヲ明確ニス
ル謂ニテ「ソサイチー」ハ社會ノ親睦ナリ、之ヲ極言スレハ「義ト仁トノ二字ニ
歸スレト」仁義ハ道德上ヨリ立言セルモノニテ「ソサイチー」「ヂヨスチス」ハ「財產
ヲ保ツヨリ立言シタル故ニ、其意味ハ反テ表裏ス、歐洲ノ政俗ヲ觀察スルニ
ハ、常ニ此要ヲ失ハサルヲ、緊切ナル心得ナリ、

第九十卷 歐羅巴洲地理及ヒ運漕總論

歐洲ノ地勢ハ、平野多ク山嶺少キヲ、北亞米利加洲ニモマサレリトハ言ヘ、
我一行ノ米國ヲスキシハ、其山嶺アル部分少カリシヲ以テ、反テ歐洲ノ地ハ、
險巍ナルヲ覺ヘタリ、歐洲ノ山脈一ナラス、多クハ小山脈ニ屬ス「ピリニース
山脈ノ佛西兩國ヲ界シ」「スカンデナヴィヤン山脈ノ瑞典那威ヲ界シ」「バルカン
山脈ノ塙土兩國ヲ界セルカ如キハ、其稍著キモノナリ、全洲ノ形勢ニ關係ス
ル大山脈ハ「アルプス」ノ一脈ナリ、此山脈ノ最モ薄層ヲ極メタルハ、佛、以、及ヒ
瑞士ノ境ニテ「白峯」^{「モンブラン」}トナリテ、一萬五千餘尺ノ上ニ抽テ、其脈ヲ東南北
ニ走ラス、其東走ノ脈ハ、最モ長ク綿亘シ、瑞士ノ中脊ヲ分チ、塙國ニ紛錯シ「エ
ルス」^{「波希米」}ト「カルペシヤン」^{「匈牙利」}トノ山脈トナリ、露國ニ盡キ、實ニ歐洲ノ
中原ヲ中斷シ、南北ヲ限レリ、其北走ノ脈ハ、參差一ナラス、西ハ「オーゲシェン」
山脈トナリ、佛國ト獨逸トノ界線ヲナシ「メツヅ」スタラス堡ヲ隘塞ヨリ、白耳義
ニ至リ盡ク、稍東ノ脈ハ、大陰林^{「バ」}國丁及ヒ來^{「ライ」}因^{「イ」}谿^{「イン」}トナリ「アルサス、ロルライン

部^{バグ}巴丁ノ諸國ヲナセリ、又其東ナル脈ハ^{ウルダン}瓦敦堡、巴^バ威里^{リヤ}國ノ原野ヲ抱キテ埃^ア塞^{セン}ノ諸州縣ニ綿亘ス、最東ノ脈ヲ「エルス」ノ山脈トス、薩^ボ撒^{ヘミヤ}波希米、及ヒ「モラヒヤ」ノ野ヲ開ケリ、其南走ノ脈ハ、以國、佛國ノ界脈ヲナシ、地中海濱ヲ回リ、再ヒ「アペニエン」山脈トナリ、以國ノ脊梁ヲ分チ、細^シ細^シ里^リ島ニ湧層ス、歐洲ノ山嶺多シト雖モ、其綱領ハ此ニスキス、

歐洲ノ平野ハ北部、東部ニ多シ、佛國ノ中北部ヨリ白、蘭、普、噠、波、蘭ノ舊地ヲスキ、露西亞ノ大半ハ、總テ平衍ノ野ニテ、其總地積二百五十萬方英里ハ、濶然タル平地ニテ成レリ、之ヲ名ケテ歐洲大央野ト稱ス、約全洲三分ノ二ヲ含メリ、露國ノ廣大ナルモ、大抵平地砥ノ如ク、直ニ烏^{ウラル}拉ノ山脈ニ接スルマテ、山岡ヲミス、我一行ノ其國ヲ駛行スルニ、大陽ヲ地平線ニ迎ヘテ、地平線ニ餞セリ、米國ノ漠野モ、此平坦ニハ及ハサリキ、「アルプス」山脈ノ南ニ於テハ、地中海、及ヒ「アトリヤチック」海ノ間ニ「ロンバルチー」ノ平野アリ、「サルヂニヤ」「ロンバルチー」及ヒ「プエニエシヤ」ノ三國ヲ含ム、「エルス」「カルペシヤン」兩山ノ間ニ、匈加利ノ野アリ、其他西班牙ハ「ピリニース」山南ニ、高原ヲ開キ、英國ハ海島ナレト、英倫ノ一部

ハ、略平野ニテナリタリ、其他山脈ノ中央ニ位セル、薩撒、波希米、巴威里、瓦敦堡
及ヒ「モラヒヤ」ノ如キ、ミナ高原ヲシメル、五六千、乃至一萬方英里ノ平地ハ、
處處ニ多ク、其山脈ノ綿亘セル所モ、人蹟ヲ絶ニハ至ラサルナリ、

○國ニ平野多キ、必モ貴フニ足ラス、山嶺多キ必モ賤ムベカラス、露國ノ平野、大
半ハ廢地ニテ、芬蘭^{ヒンランド}、瑞那ノ山礫硝ナルモ、林木礦物ニ富ム、蘭國ノ濕野ハ、反テ
需材ノ欠乏ヲ困ミ、獨逸ノ平野ハ生意反テ疎ニシテ、薩撒、波希米、瑞士等ハ、山
中ニアリテ、富庶他ニ超越セリ、佛國ノ如キハ、山海田林ミナ備レヒ、其地ヲ經
過スルニ、北海ノ平野ハ瘠薄ニシテ、南海ノ平原モ亦枯燥セリ、中央ノ諸州ニ、
山原相錯リ、反テ其富沃ヲミル、夫山ハ湧起シテ、林木ヲ生シ、礦物ヲ藏ス、谿河
ハ流レテ河ニツ、ク常ニ其殘剩ノ膏澤ヲ海ニ輸ス、是天然ノ富ハ、山ニアル
ナリ、海濱河口ニ船舶集リ、行旅至ル、其運輸ノ餘ヲ、山原ニ漕上ス、是人爲ノ富
ハ海ニアルナリ、○天然山水ノ利ニヨリテ、人智ヲ用フヘキ、曾テ限界アル
ナシ、人多ケレハ天ニ勝ツ、故ニ國土瘠薄ナルモ、民勉ムレハ富ミ、豐沃ナルモ、
民情レハ貧ナリ、海岸ノ民ハ貿易ヲ重ニシ、山間ノ民ハ工産ヲ勉ム、ミナ天然

ノ利ニヨルモノナリ、人智ノ開ケルニ從ヒ、工藝ハ海岸ノ地ニ及フ、而シテ山國
 ノ工産モ、亦從テ益盛ナリ、是人力ノ天ニ勝ツモノニシテ、世ノ利源ハ、混混無
 盡藏ナリト謂フヘシ、英、白、蘭ハミナ海濱ニ工藝ヲ競ヒ、薩、波、瑞ハ亦山谿
 ニ工藏ヲ競フテ、互ニ相昌フ、高卑ノ地勢ニ從ヒ、民業ノ景況ヲ概論スルニ、海
 岸ノ國郡ニテ務ムル產物ハ、海上ノ貿易ニ利アリ、是ヲ取テ陸ヲ搬シ、河ヲ遡
 リテ内地ニ送ル、山間ノ國郡ニテ務ムル產物ハ、陸路ノ貿易ニ利アリ、是ヲ執
 リテ河ヲ下シ、市場ニ集リテ海港ニ滙輸ス、故ニ海岸ノ工場ヲ見ルニ、重量大
 ニシテ、價格賤シキモノ多シ、木棉、蠶布、鐵器、船舶ノ類是ナリ、山中ノ工場ニハ、
 輕靡ニシテ、價格貴キモノヲ出ス、錦、繡、玉、石、時辰儀、顏料ノ類是ナリ、露國、匈國
 ノ如キハ、野廣ク土沃ナレトモ、人智未タ開ケス、猶野耕海漁ヲ以テ國產トナシ、
 是ヲ工藝ノ國ヘ輸送シテ、製作ノ元品、食料ノ不足ヲ足ラス、工藝ノ國ハ、其元
 品ヲ化治シ、他ノ諸國ヘ送リテ、利用ヲ阜ニスオ、ヒ、所謂ル糠食樵遷、有無化居シテ、
 烝民乃立チ、竟ニ富強ヲ致セル所ナリ

○歐洲ノ河ハ「アルプス」ノ大山脈、洲ノ南北ヲ橫絕シ、半島ノ處ハ、地形狹キニ因

テ他ノ大洲ニ比スレハ長流少シ、東方露西亞ノ境內ニ、大河多シ、「ヴォルゴ」河ハ、二千二百英里ヲ流ル、歐洲第一ノ長流ナレト、露國ニ出テ、露國ニ盡ク、其中部ノ漕運ハ此河ニヨル、猶米國ニ密河アルカ如シ、次ハ「ウラル」河、露ノ東境ヲ流ル、一千八百英里ニテ裏海ニツ、ク「テ子ヘル」河ハ、露ノ西境ヲ流ル、一千二百英里ニテ黑海ニ注ク、露國ノ南境、沃野千里、烏拉山ノ礦産、カラミヤノ農産、北部ノ陰林、ミナ此三河ヲ漕スレト、其利ハ一國ニ及フノミ、故ニ外國ニ著レ、ス、歐洲ニテ著名ノ河ハ多、腦河ナリ、獨逸ノ巴丁國ト、瑞士國トノ境ヨリ出テ、巴威里國ト拜焉、奧國ヲスキ、匈國ノ大野ヲ斜ニ貫通シ、「パルカン」山脈ヲ分ツテ、土耳其國ニ至リ、黑海ニツ、ク、總テ一千六百三十英里、維納及ヒ「ペスチュ」ノ大都府ハ、此河ニヨリ穀物百貨ヲ運送ス、「アルプス」山東南ノ水ハ、此ニ合流ス、歐洲ニ利潤ヲアタヘルコト、此河ヲ最一トス、其汎濫スルニ當リテハ、奧、匈、土ノ三國、尤モ其害ヲウク、歐洲水利ヲ談スルモノハ、此河ヲ説クコト、猶支那ノ黃河ニ比スヘシ、其次ハ來因河ナリ、瑞士國西南ノ山谿ヨリ流レ、「ポーチン」湖ニタヘ、夫ヨリ南獨逸ノ瓦敦堡國ヨリ、來因ノ諸郡ヲスキ、荷蘭陀ニ至リ、數派トナ

リテ北海ニイルロツトルダム鹿特坦ハ其支流ノ口ニアリ、總テ九百六十英里、獨逸西方ノ

諸國ハ此河漕ノ利ヲ仰ク、其次ハ以太利ノ「ボー」河ナリ、瑞士ノ南境ヨリ出テ、

「ロンバルヂー」ノ大野ヲ横過シテ、「アトリヤチック」海ニ注ク、其長サ三百四十英

里ニスキス、填ノ「サイベ」河ハ「チロリー」州ノ山ヨリ出テ、填ノ南境ヲ流レテ、土

耳其ニ注ク、五百四十英里、亦一大流ナリ、其他各國ニテ、眼目ノ河ハ、佛ノ「セイ

ン」河ハ、巴黎ヲ流レ、獨逸ノ「スプレー」河ハ、伯林ヲ經テ、ハムボルク早堡港ニ注キ、マイン米因ノ河

ハ、フランキボルト西佛蘭克弗ヨリ、來因河ニ合シ、獨逸山中ノ遭運ヲ通シ、「オデル」河ハ「ブレス

ロウ」ヨリ、「シレセン」州ノ漕運ヲ通ス、蘭白ニ於テハ「スケルト」河ノ「アンウエ」港

ニ注クアリ、佛ニハ「レイン」「ロオン」ノ兩河アリ、マルセイユ馬耳塞及ビ「ボルドー」ニ注ク、ミ

ナ我經歷中ニ於テ、著明ナル河道ニ屬ス、○湖水ノ利ハ、米國ノ如ク、巨大ナル

湖多カラサルハ、洲土ノ狹縮ナルニヨル、裏海ハ鹹水ヲ湛ヘ、水面積十六萬方

英里ニ及フ、世界湖水ノ首タリ、其次ハ露西亞ノ北境「ラドカ」湖ヲ大トス、水面

積六千三百三十〇方英里、聖彼得堡ハ其下流ニヨル、「オノガ」湖ハ水面積三千

二百三十〇方英里、瑞典ノ「ウエンル」湖ハ二千百三十方英里、露ノ「ペイブス」湖ハ

百三十九方英里、（記ニ出ツ）此等ヲ以テ大湖トス、其他小湖ハ甚々多シ、露西亞、瑞典ノ地ニ湖水ノ散布セルヲ百ヲ以テ數フハシ、偏北ノ地ニシテ、山荒レ人曠ニ、景況岑寂ナレハ、人ノ採訪スルモノモスクナシ、瑞士一國湖水多シ、「ポーチン」ズリッキ「セチーヴァ」ルゼルン湖等ヲ首トシテ、大小森羅セルヲ散星ノ如ク、嶺嶂錯出シ、雪ヲ戴キ翠ヲ積ミ、歐洲ニテ風景ノ地タリ、以太利ノ北境瑞士ニ近キ地ニモ亦名湖アリ、英國ノ蘇格蘭ニ小湖多ク、風景頗ル佳ニ、勝概ヲ瑞士ニ比ス、瑞典ノ湖水ハ世ニ著シカラサレトモ、我一行ノ經過ニテ、矚目スル所ヲ以テスレハ、他國ノ諸湖トハ、其赴キヲ異ニセリ、平巒環峙シテ、湖底マテ堅キ岩石ヲ以テナル、故ニ其水甚々淨シ、路下河ノ水ノ如キハ、其淨美ナルヲ世界ニ希ナリト稱ス、露國ハ之ニ反シテ、澤鹵多ク、湖水鹹ヲ含ミテ用ニ堪ヘス、地モ平坦ナレハ、絶テ風景モナシ、其他北獨逸ノ梅格稜堡國、（ボヘミア）波希米ニ小湖アリ、撒星ノ如シ、之ヲ總ルニ、歐洲ノ地勢ハ狹長ニテ、河流海灣ニ乏シカラサレハ、湖水ヲ以テ運漕ヲ補フヲ要セス、只水源ヲタヘ、風景ヲ粧ヒ、或ハ河魚ヲ養フテ、國民ノ利益ヲ與ヘルノミ、

○凡ソ大地ノ勢ハ、必ス中高クシテ、四邊ヘ下ル、山脈之カ脊トナリ、草木鳥獸、及ヒ寶藏コヽニ興ル、其傾斜ハ坡ヲナシ、原ヲナシ、益下テ平野トナリ、濕澤トナリ、牧スヘク耕稼スヘシ、產物コヽニ繁シ、其コレヲ搬運シテ、利ヲ衆庶ヘ普均セシムルニ、天然ノ利ハ、自ラ備ハル、試ミニ見ヨ、懸崖ノ山ハ、上ルニ難シ、故ニ重キヲ下スニ力ヲ減ス、傾坡ノ阪ハ、斜面ノ力ヲ存シ、紆餘シテ物ヲ高キニ上スヘシ、一崖一坡ニ、物ヲ上下スルノ利ハ、備ハレリ、溪壑ノ滴リハ、河ヲナシ、低ヲ逐フテ下リ、以テ土膏ヲ潤シ、其餘ハ集リテ、漕運ノ利ヲ與フ、國利ヲ興スモノハ、善ク此ニ注意ヲ加ヘ、天工ニ代リテ、其利ヲ享ルノ道ヲ求メハ、勝テ用フルニタヘサルモノアラン、○歐洲各國ノ文明ニ進ミシハ、國民ノ利益ヲ謀ルニ、競勵奮勉セシ積成ニテ、天然山水ノ利ヲ開キシ功ハ、最モ觀光中ニ、曠目スヘキ所多シ、抑海濱ノ地ハ、其利海ニアリ、山隩ノ地ハ、其利陸ニアリ、陸路ノ物產ヲ海濱ニ送り、海上ノ貿易ハ、之ヲ陸路ニ搬運ス、陸路海路ハ、歐洲貿易ヲ說クノ大別ニテ、其相依相待テ、昌盛ヲナスハ、猶形影ノ如シ、英、佛、蘭等ハ、海上貿易ニ利アル國ナリ、其力ヲ展ヘテ五洲ニ航路ヲ開キ、最モ海外ニ名ヲ知ラレ

タレ^レ其輸シ去ル所ノ物品ハ之ヲ陸路貿易ノ地ニ送ルヲ主眼トス而テ其輸シ出ス所ノ物品ハミナ陸路ヲ漕シテ海港ニ集リタルモノニアラサルハナシ陸路ノ貿易ハ其關係ハ甚タ山河ノ形勢ニ照映スルモノナリ此ニ歐洲陸路貿易ノ要地ヲ略述セン○佛國巴黎ハ歐洲陸路貿易ノ大市場ナリ其市場ニ集ル物貨ハ或ハ海路ヨリ河道ヲ遡リ或ハ河道ヲ下リ鐵路ニ綴リ來ル佛ノ東北隣ナル白耳義ハ四戰ノ野ナリ平時ニハ物貨四達ノ衝トナル巴黎ノ盛衰ハ其照映ヲ最モ此ニ著ス「ブロッセルス」リツチ及ヒ「アンウエルフ」河港ハ因テ繁昌ヲナシ荷蘭海上ノ貿易因テ盛ナリ日耳曼ノ野ハ其東ニ開ク海濱ヨリ山隴ニ至ルマテ無慮五百英里ニ下ラス巴丁瓦敦堡^{ベデンツルデンホルク}及ヒ瑞士ノ北地ヨリ來因河ヲ漕下シテケルン府ニ聚リ白蘭ニ綴ル其西ニアリテハ「スタラス堡」府ハ「アルサス」ロルライン州ノ中心ニテ亦一大都會ナリ佛獨陸路ノ貿易ハ此兩都府ヲ衝地トナス其東ニアリテハ巴威里ノ原野ニ天產工藝多シ^{メイン}米因河ヲ漕下シ佛蘭克弗府ニ聚リテ來因河ニ入ル「ノレン堡」ノ^{ニック}棗穗慕尼克府ノ穀物麻銅ハ此ニヨリ運搬ス「ケルン」ハ第五十六卷佛蘭克弗ハ第七十瑞士ハ一卷ノ^{レン堡}慕尼克ハ第七十二卷ニ出

「アルプス山脈ノ中脊ニ位シ最モ海ニ遠カル故ニ其民ミナ工ニ興レリ、東部ノ物産ハ「巴威里」及ヒ「境ト」交易シ、北部ハ「南獨逸」ヨリ來因ヲ下ル「スリッ」府ハ其要都タリ、中部ヨリ西部ハ「佛國ニ吐納シ」「ゼー」ー「ヴァー」ペロン府ハ其要都タリ、○日耳曼、境地利ハ「アルプス」ノ東支ナル「エルス」山脈ヲ以テ脊ヲ分チ、中央部ノ大國タリ、貴族雲ノ如シ、華侈驕奢ヲ競ヒ、伯林、維納、兩府ノ繁華ハ「巴黎ニ亞ス」、伯林府ハ「スプレー」河ヲ漕下シテ「エルプ」河ニ會シ、旱堡港ニ注輸シ、北方ノ大埠頭ヲ生ス「エルプ」河ノ上游ハ「薩撒」ニテ「ドレ」ステン府ハ又一都會ナリ、薩撒ノ西原ニ「公侯」ノ國十餘集リ「ウエルセル」河ヲ漕シ「不來梅港」ニ注輸ス、是獨逸、東方陸路貿易ノ主眼ナリ、並ニ第七十、七十一卷ニ出、伯林ノ東ニアリテハ「シレセン」州ノ物産ヲ「ブレ」ス「ロウ」府ニ集メテ「オテル」河ヲ漕下シテ「ステッ」チン港ハ「昌」フ其境國ニアリテハ「維納」府ヨリ「鐵路」ヲツヘリ「アトリヤ」チック海ノ「トリ」エスト港ヨリ貨物ヲ吐納シ、多瑙河ヲ漕シ、上游ハ「瑞士」「巴威里」ニ交通シ、下游ハ「匈牙利」及ヒ「土耳其」ト貿易ス、匈ノ「ペス」チュ府ハ穀物ノ大市場トナレリ、維納ノ北ニハ「波希米」及ヒ「モラ」ヒヤノ「大野」開ケ「ブリ」ュン府ノ繁華ハ「山」ヲ分ツテ「ドレ」ステント

相○競○ヒ○伯○林○府○ニ○綴○ル○而○テ○「プ○ラ○ー○ゲ○府○」ノ○モ○ラ○ヒ○ヤ○「ブ○レ○ス○ロ○ウ○」ニ○於○ル○モ○亦○然○
リ○並○ニ○第○五○十○是○ニ○テ○歐○洲○ノ○中○央○部○ニ○陸○路○貿○易○ノ○脈○絡○ヲ○知○ル○ヘ○シ○
南○ハ○以○大○利○ナ○リ○以○國○ノ○半○島○ハ○海○路○貿○易○ノ○地○ナ○レ○ヒ○南○方○ノ○人○氣○ハ○甚○タ○振○ハ○
ス○北○部○ノ○地○ハ○沃○野○千○里○ニ○テ○米○蘭○府○ハ○其○中○心○都○會○タ○リ○「ア○ル○プ○ス○山○」ヲ○越○エ○テ○
佛○ノ○里○昂○府○ニ○交○易○シ○東○ハ○「ポ○ー○河○」ヲ○漕○シ○テ○「ア○ト○リ○ヤ○チ○ク○海○」ニ○注○輸○ス○
東○ハ○波○蘭○舊○國○ニ○テ○露○領○ワ○ル○ツ○「ハ○境○普○兩○國○ト○貿○易○ノ○中○樞○ト○ナ○リ○南○ハ○「オ○ド○
ス○サ○ー」及○ヒ○「ギ○チ○子○フ」ノ○兩○都○會○ア○リ○テ○黑○海○及○ヒ○多○腦○河○口○ノ○貿○易○ニ○綴○ル○
科○府○ハ○露○國○ノ○中○央○都○府○ニ○テ○又○北○西○ニ○向○ヒ○「ホ○ル○チ○ク○海○」ニ○貿○易○ヲ○ナ○ス○
南○ノ○陸○路○貿○易○ハ○此○等○ヲ○要○領○ト○ス○ル○ヘ○シ○
ニ○貿○易○ヲ○廣○ク○シ○地○ニ○ハ○車○河○ニ○ハ○舟○以○テ○船○舶○ヲ○洋○海○ニ○差○派○シ○西○米○東○細○ヲ○回○
リ○左○右○ニ○視○テ○利○ヲ○謀○ル○我○日○本○ノ○遼○遠○ナ○ル○モ○其○產○物○ハ○數○月○ヲ○出○ス○シ○テ○
ノ○市○場○ニ○上○ル○ヘ○シ○其○要○津○ヲ○問○ヘ○ハ○日○ク○倫○敦○日○ク○馬○耳○塞○佛○日○ク○奄○特○坦○
早○堡○其○他○ハ○寥○寥○ト○シ○テ○聞○フ○希○ナ○リ○今○各○國○ノ○實○際○ヲ○經○過○シ○テ○其○貨○物○ノ○何○
處○ニ○著○落○ス○ル○ヤ○ヲ○訪○ヘ○ハ○諸○港○津○ハ○一○時○ノ○驛○站○ニ○ス○キ○ス○シ○テ○盡○ク○各○國○陸○路○

貿易ノ要都ヘ分派シ、山陬僻隅ニモ、東西洋ノ物産ヲ仰キテ、盛ンニ生意ヲ起セルハ、比比ミナ然リ、故ニ世界產物ノ流通スル狀ハ、海路ヲ經テ、要港ニ上リ、逆流シテ、陸地各處ノ工場ニ上リ、其貨物ハ、再ヒ陸地ノ要都ヨリ、海港ニ注輸ス、百川ノ流入スルカ如ク、動脈ノ注射スルカ如シ、而テ海港ノ百貨ハ、倒流ヲ生シテ、各地ニ向フハ、潮ノ進ムカ如ク、靜脈ノ歸射スルカ如シ、今ヨリ生意ヲス、メ、國益ヲ興スニハ、世界ノ地理形勢ヲ深ク觀察セサルヘカラス、即チ此ニ舉ル所ノ各地ハ、其最モ主要ノ都會ナリ、

○此ニ海港ノ要津ヲ略述セン、抑歐洲ノ外部ハ、^{ウラル}烏拉^{コーカシユス}及ヒ高加索山ヲ除ク外ハ、皆海ニ浸サル、故ニ港灣多シ、黑海ノ湖ハ、露國ノ南部ヲヒタシ、土耳其ニ向ヒ、多^{ダニア}腦河注入ス、露土及ヒ^{コンスタンチン}府ニ至リ、マルモ峽トナリ、地中海ニ通ス、^{コンスタンチン}府ハ、此邊ノ一大市場タリ、地中海ノ潮ハ、^{エスト}埃^{ニエシヤ}及ヒ希臘ヲヒタシ、北ニ折入シテ、アトリヤチック海ヲ開キ、其衝頭ニ「トリ^{ニエシヤ}威尼斯」以ノ兩港アリ、古時ハ此海ニテ、歐弗細ノ貿易ヲ盛ンニセシニ、後世ニ中衰シ、近年英、以ノ兩國更ニ此海ヲ興サント、威尼斯ニ郵船會社ヲ

興セリ、東洋ヨリ歐洲中南部ノ交通ニ於テハ、此ヲ要衝トナス。○以國ノ西岸ヨリ、南岸ヲ回り、一ノ灣海ヲ開ク、細細里ノ「エチナ港」ハ、其東ヨリ入ル門戸トナリ、那不兒熱那^{ナヤアル}及ヒ「パレルモ」^{ビノワ}細細里^シ以國ノ埠頭トス、是ヨリ「サルヂニヤ」^ナカルシカ兩島ノ峽ヲ經テ、西ニ出テ佛西兩國ノ海岸開ク、佛國馬耳塞港アリ地中海第一ノ埠頭ナリ、凡ソ佛國ノ貿易ハ、此ヲ以テ百貨ヲ吐納スル門戸トナス、其車ニ「ナント運河」アリ、地峽ヲ漕シテ「ビスケ」灣ニ出ルヘシ、西班牙ノ西岸ニ於テハ「バルセロナ港」第一トナス、地中海ノ貿易ハ、最モ此ヲ要衝トナス。○英國ノ航路ハ、紅海ヨリ埃及ノ「アレキサントル府」ヲ經テ、地中海ニ出テ、細細里ノ南ヲ駛シ「マルタ峽」ヨリ、西班牙ノ「デブラルタル峽」ヲスキ、壓瀾洋ニ出テ、南洋喜望峯ヲ回り來ル、船ト共ニ白國ノ「サウザンフトン港」ニ注輸ス、壓瀾海ノ東岸ニ於テハ、佛ノ「ボルドウ」葡ノ里斯奔及ヒ西ノ「カシス」ヲ要港トナス。○英佛ノ兩國ハ、英吉利^{チヤン}子ルニ分割セラル、英國ノ「ドーヴァル」ト佛國ノ「カレイ」トハ、此岔海ノ最モ窄キ處ニ、對岸ヲナシテ、兩國ノ往來常ニ源源タヘス、實ニ歐洲人ノ英國ヘ往來スル大路トモ謂ヘシ、其西方ニアタリ、佛ノハ

「ベル」英ノ「ポールツモーツ」ハ、兩國互ニ海軍ヲ輝カシテ抗峙ス、北岔海ノ東ヲ
 北海トス、白國ニ「アントウェル」港アリ、歐洲四達ノ要港ニテ、佛帝拿破侖第一世
 カ修營セル、歐陸ノ要港ナリ、其東ハ蘭ノ鹿特坦及ヒ内海「シンデルシー」ニ入
 リテ奄特坦府アリ、蘭國ノ大貿易場ナリ、其東ハ旱堡及ヒ不來梅港ヲ、日耳曼
 西境ノ要港トス、○「連國」ノ半島ニテ、北海ヲ限リ、那威ノ「キリスチヤン」瑞典ノ
 「エーデ堡」連馬ノ「コッペンハーゲン」ト、鼎峙相貿易ス、是ヨリ「ホルチック」ノ内海ヲ
 開キ「リュベツク」「ステツチン」「コーニンクス堡」ハ、日耳曼北部ノ要港ナリ、其北ニハ
 露國ノ東海ニ「リガー」港、芬蘭灣ニ聖彼得堡港及ヒ瑞典「ストックホルム」ノ諸
 港アリ、春冬ニ閉テ、夏秋ニ通ス、○其他那威ノ西ト、露西亞ノ北ハ、冰洋ニ接シ、
 人民寥寥ニシテ、良港ニ乏シケレ、^ニ漁利アリ、湖流氣候ノ都合ニヨリテ大ニ
 利益ヲ獲ルヲ多シトナリ、
 ○道路ハ、元來人ノ相往來ヲ利スルノミノ主要ニアラス、地上ニ生セル百物ミ
 ナ此線ヲユキテ、價アル地ニ就カシムル爲メナリ、運搬ハ、必モ靈智アル人ノ
 全力ヲ要セス、荷モ自己ニテ動力ヲ起スニ堪ヘタルモノハ、皆其任ニアタラ

シムヘシ、是ミナ理ノ知リ易キモノナリ、故ニ野蠻モ亦馬、牛、駱駝ニ路線ヲア
タヘテ、運搬ヲナサシムルヲ知レリ、靈智ノ進ムニ從ヒ、其力ヲ省キテ、其任ヲ
重クスルヲ務メサルヘカラス、歐洲ノ人ハ、荷擔セス、歐州ノ馬ハ負載セス
而テ百物ノ路線ヲ運行スルヲハ、十倍ス、是其故ヲ知ラサルヘカラス、歐洲
ノ人ハ、其荷擔ノ力ヲ以テ、道路ノ修繕ニ用ヒテ、其馬ノ負載ニカヘルニ、車輪
ノ力ヲ以テスレハナリ、車輪ヲ以テ、平滑ノ路ヲ輾ラシムレハ、方一ニシテ重
ヲ運スルハ十倍ス、更ニ其省力ノ方ヲ思ヒ、鐵軌ヲシキ、路線ヲ堅滑ナラシメ、
方向一定スレハ、氣ノ漲力モ亦運搬ノ任ニ代ル、蒸氣車是ナリ、其費少カラン
ヲ欲スルニハ、下キニ就ク水力ヲ用ヒ、舟ヲ造リ、其自重ヲ失ハシメ、風力ヨ
催シテ、重物ヲ運搬スヘシ、河漕是ナリ、○道路ノ民業ニ切要ナルハ、人ニ動靜
脈アルニ譬フヘシ、脈管全身ニ周密交錯シ、滋養ヲ輸造スルニヨリ、其健全ヲ
壯ニセリ、少シモ澁滯スル部分アレハ、必ス疾痛ヲ生シ、終ニ全身ノ健康ヲ疲
ラスモノナリ、故ニ歐洲各國、ミナ道路ノ開修ニ力ヲ盡シ、其續成ニ因テ、全地
ノ物産ミナ融通シテ、地ニ遺利少ク、物ニ價ヲ得サルナク、以テ今日ノ富強ヲ

漸致セリ、其國ヲスキ、道路ノ修否ヲミレハ、國政ノ盛衰ト、民業ノ勤惰ト、直ニ知ルヘキモノナリ、

道路ニ二アリ、陸路、水路、是ナリ、○陸路ヲ開修スルハ、車ヲ行ルヲ目的トス、其要ハ堅滑ニスルニアリ、水路ヲ疏通スルハ、舟ヲ行ルヲ目的トス、其要ハ安穩ニスルニアリ、歐洲各國、ミナ工業事務省アリテ、全國公益ノ建築營繕ヲ掌リ、其下ニ造營師、及ヒ監工部アリ、各地ニ分派シテ、其事業ヲ擔任ス、地方ニテ、陸水路ヲ開カンコトヲ謀ルキハ、其造營師ニ謀リ、工事及ヒ經費ヲ周密ニ見積ラシメ、州會議ニテ、其經費ヲ商議シ、而テ後ニ其旨ヲ揭示シ、其地ノ請負人ニ、見込書ヲ封書ニテ入札セシメタルヲ、造營師ノ見込ニ較ヘテ、其見込ノ周密ニテ、費額適當ナルモノヘ、甚タ多キモ甚タ少キモ皆適當トセス、委任シテ爲サシム、○又會社ヲ募リテ興サシム工事モアリ、是ハ必ス其運送ニツキ、利益ヲ收ムルヘキモノニテ、即チ運河、鑛道ノ類ニ於テス、之ニ兩種アリ、一ハ其路線便要ニテ、有益ノ地ハ、人ミナ其業ヲ興スヲ欲スルニヨリ、成業ノ後ニハ、利益ヲ分配スル方法ニテ、株手形ヲ作り、會社ノ釀金ヲ募ル、之ヲ「アクション」ト謂フ、一ハ其路線ハ十

分ノ便要トセス其有利ヲ必シ難キハ官ヨリ利益ヲ補助スルヲ約ス成業
ノ後ニ利益百分ノ五ニ充タサルハ官ヨリ之ヲ補ヒ其數ニ充ツ又はヨリ
贏利アルハ其過分ヲ官ト分配スル約ナリ之ヲ「ヨブリガシヨン」ト云若夫
邊僻ノ陬ニ達スル路線ナレハ官ヨリ其建築ヲナサヘルヲ得ス是等ノ爲メ
兼テ要劇ノ運送利益ヲ積ミオキテ其費用ニ充テ相補フナリ但シ官建ト民
建トノ別ハ國ニヨリテ同シカラス事已ニ各國ノ總論ニ陳說シタリ
陸路ニ國道州道邑道私道ノ別アリ都府ヨリ都府ニ達シ全國ノ大往還ニカ
ルヲ國道トス國道ハ大政府ヨリ公工ヲ起シテ全國公益ノ大脈絡ヲ通ス
是ニ於テ州ヨリ州ニ達スル路線ヲ開キテ之ニ綴ル是ヲ州道トス州道ハ州
ノ會議ニテ之ヲ開修シ其經費モ其地方ヨリ出ルモノナリ兩道交錯シ而テ
後ニ邑ヨリ邑ニ至ル路ヲ開ク之ヲ邑道トス邑道ハ邑會議ニテ之ヲ開修シ
其經費モ邑ノ釐金ニテナス若シ不足スルハ政府ニ請フテ邑稅ヲ課スル
ヲモアリ其利益一部ノ地方ニ出ス二三ノ地主ニテ工ヲ興スニ足リ或ハ一
人ノ所有地ヨリ邑道ヘ綴ルノ路ヲ開クハ之ヲ私道トス其情願ニヨリ年期

ヲ以テ、路錢ヲ通行人ヨリ收ルヲモアリ、歐洲ノ野ヲスキルニ、露國、瑞典ヲ除クノ外ハ、道路ノ修繕ニテ、且、坦澗ナル、到ル處ニ目ヲ拭フ、農夫田ニ赴クモ、馬車ヲ驅リ、手車ヲ推シテ、其路ヲユク、輪轍野ニミツ、一人ノ荷擔スルモノナシ、車輪省力ノ利ハ、人々ミナ之ヲ知リ、更ニ力ヲ省キ、時ヲ省クノ方ヲ思ヒテ、鐵路ノ建築モ、年年ニ増加具備スルニハ至レリ、陸路ノ修美ナル、如此ナレハ、水路ノ運漕ハ、並昌ヘテ衰ヘス、蓋シ陸路ノ車ハ、力ト時ト費トヲ省ク十分ナラス、鐵路ノ快ナルモ、費ヲ省カサルニヨリ、此便益ヲ計ルハ、水路ノ運漕ニシクハナシ、河水ノ穩流ナルハ、漕舟ヲヤルヘシト雖モ、晴ニ涸レ雨ニ漲ルヲ以テ、其漕線必ス長カリ難シ、因テ之ヲ分水シテ、運河ヲ堀ル、運河ノ利ハ、鐵路ト互ニ得失アルモノニテ、今ニモ並ヒ昌ヘタリ、其開浚ノ業モ、亦、鐵路ト同シク、或ハ政府ヨリ公工ヲ起スアリ、或ハ會社ニテ成スモアリ、

○馬ヲ車ニ服シ、水風ニ舟ヲ托スルハ、物力ヲ役シ、人力ヲ省ク端ナリ、而テ、瀛力電力ヲ用フルノ發明ヲ啓ク、瀛力電力ノ時ヲ省キ、力ヲ省クモ、亦費ヲ省カサレハ、其效ナシ、故ニ物力ヲ用フルノ方ハ、其用法ニヨリテ、各其宜アルヲ、猶馬

車運舟ノ漚車ト互ニ用ヲナスカ如シ故ニ蒸氣器械ノ發明アルモ水風ノ用ハ並ニ盛ナリ漚船海ヲ走レ風帆船ハ益増加ス米國ノ石炭ニ富ルモ製造場ハ務メテ河水ニヨリ水輪ヲ運ス地ニ高低アレハ堅輪ヲ仕掛ケ平地ナレハ臥輪ヲ仕掛ケ其力猶足ラサレハ蒸氣ヲ以テ水力ヲ催ス英國ニ蒸氣器ノ多キモ亦風力ヲ用フルヲ廢セス風車ノ扇ハ處處ニ翻ヘル白蘭獨逸噠馬ノ野ハ到ル處ノ村樹間ニ風車閃閃トシテ水ヲ揚ケ穀ヲ磨ス瑞士國ノ如キハ務メテ水車ノ器械ヲ用フ是其地形ニ高下多ク水力ヲ生シ易キニ因テナリ只石炭價賤ク且水力不足ナルカ若クハ大力ヲ要スル工作ニハ漚器ヲ要スルノミ露國ニ石炭少シ水輪ニテ軍是モ歐米人ノ水利ヲ用フル要項ニカ艦ノ材ヲ造ルコトヲ記セリ是モ歐米人ノ水利ヲ用フル要項ニカカル○運漕ト水輪トノ外ニ水ノ利潤ハ土地ヲ浸漬シテ諸元素ヲ溶化シ動物植物ニ滋養消化ヲアタヘル是ナリ歐洲ニ水田アル國ハ以太利「ポー」河濱一部ノ地及ヒ土耳其希臘等ニテ他ハミナ乾田ナリ米國密河谷ノ平地ハ沃壤ト稱ス然レモ河流ハ二十英里ニ一小河四五十英里ニ一大河アルノミ此河流ノ水ハ暗ニ土中ヲ行キテ全野ニ潤澤ヲアタフ其諸麥黍稷有莢纖維質等

ノ植物、ミナ豐熟ス、必モ灌漑ヲ勞セス、歐洲各國ミナ然リ、歐洲ノ農業行届キタル國ニテハ、田間ニ溝ヲ堀リタルアリ、瑞士國ノ鄙ナトハ、溝渠甚タ委曲ナリ、所謂ル溝洫制ノ意ニテ、其目的トスル所ハ、水ヲ引落シ、暗ニ地底ヲ潤サシムルナリ、此景況ヲ熟視スレハ、東洋中ニモ、支那ノ中部、及ヒ我日本ノ民、稻米ヲ一般ノ常食トナシ、水田ヲ貴重スルノ弊害ハ、實ニ大ナルヲ知ナリ、如何トナレハ、水田ヲ多ク有スレハ、土壤ニ水ヲ含ムノ力盡キ、地中常ニ水流動シ、一雨來レハ、河水暴漲ニ易シ、一ナリ、水蒸氣過量ニシテ、含窒素、及ヒ腐敗水ノ濕氣、地面ニ蒸散シ、自然ニ國ノ健康ヲ害ス、二ナリ、平時ニ當リ、河水乾涸シテ、運漕ノ大利ヲ失ヒ、水田ノ產物モ、亦價ヲ生スルヲ得ス、而テ雨日ニハ暴漲シ、民害ヲナシヤスシ、三ナリ、農民ミナ水田ノ灌漑ヲ爭フニヨリ、運河ヲ開キ、水力ヲ設置スル等、貴重ナル工業ノ途ヲ塞ク四ナリ、田地ヲ細小ニ區畫シ、利用ノ器ヲ運用スルヲ妨ケ、自然ト無用ノ勞役ヲ要ス、五ナリ、水田ノ所獲ハ、多量ナルモノナリ、之ニ加ルニ一般水穀ヲ貴重ス、故ニ反テ高價ニシテ、乾田ヨリ所獲ニ勞シテ收メル穀物ハ、反テ價ヲ減シ、利益少キヲ以テ、一般ノ民、水田トナ

スニ堪サル原野ニハ、耕作ヲ務ムルモノ少シ、是全國ノ利益ヲ失フコト少ナ
ラス、我日本ノ關東及ヒ山間ノ原野ニ廢地多キハ、是ニヨルナリ、水田ノ業ハ、
歐洲ニテハ土宜ニアラサルノミナラス、假令土宜ナルモ、人民ハ其不利多キ
ヲ以テ、務メサルベシ、東洋ニ於テモ、今ヨリ務メテ、水力ヲ養ヒ、水田ヲ減シ、民
ノ乾田ヲ耕作スルヲ務ムヘシ、夫內國人ノ稻米ヲ要スルハ、外國人ノ麥ヲ要
スルニ同シ、米麥ノ二ハ共ニ價格相下ラサルノミナラス、外國ニ於テハ、麥ノ
價格ハ、常ニ稻米ニ超過ス、今ヨリ外國ノ良種ヲ採納シテ、乾田ノ利ヲ民ニシ
ラシムレハ、假令水田ヲ變シテ乾田トナスヲ要セサルモ、乾田トナスヘキ、無
數ノ曠野ハ、ミナ鋤犁ニ就カン、

第九十一卷　歐羅巴洲氣候及農業總論

○歐洲ノ氣候ハ、緯度ノ割ニテ論スルニ、他ノ諸洲ヨリ甚々溫和ナリ、西班牙、以太利、土耳其、及ヒ露西亞ノ南部ニ於テハ、氣候物産、粗熱帶國ニ近シ、露國聖彼得堡ハ、六十度ニ近キ高度ニ位スレトモ、夏季ノ熱ハ、英國ヨリ甚々シ、那威國ノ地ハ、七十度ノ交マテ耕作ヲナスヘシ、是等ヲ我北海道ノ寒熱ニ比スレハ、差異モ亦甚シ、○地球上ニ氣候ノ差異ヲナスハ、其原因數條アリ、第一ハ其地ノ緯度、赤道ヨリノ距離遠近ニヨル、是レヲ綱領トスレトモ、只コレノミ準トスレハ、大ニ謬ルヘシ、○第二ハ、其地ノ位置、大洋ニ向ヘル位地、如何ニヨルナリ、位地大洋ニ面シタルハ、海面ニテ熱帶ノ空氣ハ盪滌サレ、其炎熱ヲ失ヒ、溫和ナル海水ヲ含ミテ、風吹キ來ル故ニ、其感動ニヨリテ、氣候常ニ和ス、南洋諸島ノ如キ熱帶ニ位ス地モ、炎熱較輕キヲウルハ、此理ニヨル、歐洲ハ、西南壓潤洋ニ面シ、恒風ハ必ス洋面ヲスキ、西風、西南風ナルヲ以テ、洲ノ地ハ其溫度ニ感觸セリ、○第三ハ、潮流ニヨル、潮流トハ、西洋ニテ之ヲ「スーレーム」ト名ク、大洋ノ

潮ハ、ミナ中ニ河道アリ、方向ヲ定メテ、常ニ流ル、陸地ノ河ノ如シ、大流支派アリ、日本ニテ所謂ル黒瀬河ナルモノ、即チ太平洋ノ大流潮ナリ、壓瀾海ノ大流潮ハ、米ノ墨^{メキシコ}是哥灣ヨリ、炎熱ヲ得テ合衆國ノ海岸ニ沿ヒ北流シ、折レテ東北ニ向ヒ、大西洋ヲ横截シ、歐洲ノ西岸ニ觸レ、西南ニ分流シ、一ハ英國ノ岸ニ達シ、一ハ地中海ニ向フ、此温潮ノ感動ニテ、氣候平和ナルヲ得ル、故ニ英蘇ノ一島ハ、正ニ我北海道ノ北、樺太ト緯度ヲ同クスレヒ、氣候ノ差異ハ、懸絶ス、我北海道ニハ、氷洋ヨリ寒潮流レ來リテ、英國ト正ニ相反スルヲ以テナリ、○第四ハ格別ナル氣候ノ地ニ接連スル位置ニヨル、露西亞ノ平野ハ、直ニ亞剌伯ノ沙漠ニ接連スルヲ以テ、其炎熱ノ空氣ヲ、故障ナク露國ニ送り來リテ、夏令ノ熱ハ、六十度以北ノ地ニマテ、達ス、佛、以、土、及ヒ西班牙ノ南境ハ、亞弗利加ノ沙漠ニ控帶スルヲ以テ、其暑熱ハ、反テ我邦ヨリ甚シ、此炎熱ノ氣ハ、海面ヲ度リ、其滌盪ヲ經サルハ、甚ハ動植物ニ害アリ、西班牙ノ南境ハ、因テ不毛ノ土アリ、○第五ハ近傍ナル大山脈ノ位置ニヨリ、埃國ノ如キハ、南ニ山脈ヲ隔テ、亞弗利加ノ熱ヲ遮リ、日耳曼、及ヒ瑞士ニハ、「アルプス」ノ山、其南ヲ綿亘スルヲ

以テ、亞刺伯、亞弗利加ノ炎皛ハ、露境ニ流ル、モ獨逸ニ感觸少々、佛國、西班牙國ハ、山脈南北ヲ亘ルヲ多キヲ以テ、獨逸ノ東西ニ綿亘セル山ヲ遮蔽スルヨリ、溫熱ニ感スルヲ強キカ如シ、○第六ハ地ノ水平ヲ抽ツル高低ニヨル、山上ハ氣薄ク、水平ニハ氣厚シ、瑞士ノ地ハ、山上ノ高原ナルヲ以テ、歐洲ノ爽涼場タリ、西班牙ノ地ハ、亞弗利加ニ甚タ切近ナレト、高原多キヲ以テ、内部ノ炎熱ヲ減セリ、○第七ハ地勢ノ傾斜スル方向ニヨルナリ、此等ノ關係ニテ、氣候ノ變化スルヲ實ニ著シ、露國ノ雪解ルキニハ、普魯士ノ溫和、忽變シテ降雪トナリ、露國ノ海氷解ルキニハ、瑞典ノ地ニ寒氣遽ニ増ス、噫馬ノ飛雪方ニ絶ルキ、獨逸諸國ハ初テ花發キ、葉展ルノ候ナリ、然ルニ鐵路一タヒ「アルプス山ヲ越エテ、南面傾斜ノ諸國ニ至レハ、暑氣肌ニ熱シテ、烈日赫々タリ、○氣候ハ一端ヲ以テ論スヘカラサル如此シ、我邦ノ史ニ、六月ノ雪ナドヲ記シテ大異トス、今ニシテ之ヲ考フレハ、細白里及ヒ氷洋ノ空氣ニ衝動ヲ起シ、北風ニテ凜冽ノ氣ヲ送レハ、盛夏ニ雪ヲ降スモ、異トスルニ足ラス、南海ハ雪少ク、北越ハ常ニ大雪ス、其距離僅ニ百里ニ滿タサレト、如此クニ異ナルハ、冷潮溫潮ノ流ヲ異

ニシ、山嶺ノ脊背ヲ異ニシ、南方ノ大洋ニヒカヘルト、北方ノ細白里ニヒカヘル、此等ニ因テ然ルノミ、氣候ハ、國國ニヨリテ變化不測ナルモノナリ、地理家ヨリ各地ニツキテ、研究試驗ヲトケルハ、經濟ノ要タリ

○歐洲ノ經濟說ニ於テ、民業ヲ三種ニ分ツ、化形ナリ、變形ナリ、變位ナリ、○化形トハ、物ノ形質ヲ造化力ニヨリテ變化サセルヲ謂フ、土地墾培ノ力ニ因テ、種子ヲ艸木ノ花實ニ化シ、秣草ヲ牛羊ニアタヘテ、乳酪肉毛ニ化シ、穀果ノ液ヲ醱酵ニセシメテ、酒ニ化スルカ如シ、農作ノ事ハ、正ニ此業ニ適當ス、○變形ノ化形ニ異ナルハ、造化力ニヨルト、人工ニヨルトノ別アリ、化形ヨリ生セル物質ヲ製作シテ種種ノ形ニ變スルノ謂ニテ、鐵塊ノ機械ニ變シ、纖維草ノ布絲ニ變スルカ如シ、百工製作ノコハ、正ニ此業ニ適當ス、○變位トハ、物品ノ位地ヲ變スルナリ、化形、變形ニヨリテ、生成セル物品ヲ、其供給ノ位地ヨリ、運搬シ、需用ノアル位地マテ輸送シ、至當ノ價ヲ生セシムルノ謂ニテ、^{アラシユ}伯爾西國ノ棉花ヲ、英國ノ港ヘ輸シ、^{人エンチユストル}漫識特ノ紡織場ニアタヘ、其漫識特ニテ、變形セシ棉絲ヲ、荷蘭ノ織房ニ送り、木棉トナリテ、又瓜哇人ノ衣料トナスカ如シ、商賈ハ正

ニ此業ニ適當ス○凡人民ノ生理ハ此三業中ニ包マル而テ其本トナルハ化形ニアリ化形ノ業ニ於テハ殊ニ氣候ノ關係甚タ切要ナリ、

歐洲ノ土地ハ概シテ日本ニ比スレハ沃野ニアラス只國民ノ勉強力ニテ產出ノ高ヲ多クセリ地氣北ニ偏シタレハ溫煖ヲ好ム植物ハ生育セサル處多ケレト西班牙葡萄牙ハ緯度ヲ以テスレハ我日本ニ同シケレト亞弗利加炎熱ノ回射ニヨリテ熱帶國ノ土產ヲ生殖ス總テアルプス山南ノ諸國ハ稍豐沃ナリ我一行ノ以太利ニ至シテハ盛夏ノ初メニテ往處ニ雜草ノ繁茂セルヲ見レハ我日本ノ景況ヲ想像シタリ歸國ノ後ニ間田荒野ニ青草人ヲ埋ムルヲ見テ以國モ亦我邦ノ沃壤ニ劣ルヲ甚タ遠キヲ信スルニ至レリ故ニ日本ノ土地ヲ引テ歐洲ノ沃瘠ヲ比較シ難シ大抵土地力ノ差等ハ一ハ「ヘクタール」我一町ニ付七「ヘクトリットル」乃至十「ヘクトリットル」ノ穀ヲ獲ル品位ナリ近代農業術ノ進步ニテ倍蓰ノ收穀ヲナスニ至リ近年以國ニテ查考セル各國農功ノ收獲ヲ表列スレハ

一「ヘクター」
ルニ付テ

以國 十「ヘクトリットル」即チ反別六
斗ノ作得

米國 十一「ヘクトリットル」

以國ノ民ハ情ニ、米國ノ民ハ濶大ノ地ヲ耕スニヨル、

佛國 十八「ヘクトリットル」即チ反別一石二斗

獨逸 十九乃至二十「ヘクトリットル」即チ反別一石一斗

蘭、白、及ヒ撒遜國 二十六「ヘクトリットル」即チ反別一石六斗

英國 二十六乃至三十「ヘクトリットル」即チ反別一石八斗

英國ノ地、尤モ耕野ニ適セス、惟農業ヲ精勉スルニヨリ、此過量ノ收ヲナスニ至ル、獨逸ノ野モ、佛國ヨリヤ、劣ル、佛國上等ノ收獲ハ、獨逸ニ及ハサレ、凡、全國ヲ概スレハ、獨逸ニ超越スルト云、

耕種ノ異ニヨリテ、其收量モ一ナラス、各其土ニ適セル所ニツキ耕作シ、小麥、玉蜀黍、十六ヲ收ムレハ、大麥ハ二十、燕麥ハ二十五ナリト
佛國ノ比較

○土地ヲ耕種シ、化形品ノ收獲ヲナスハ、固ヨリ穀物ニ止ラサルヲ今ニシテ而後ニ知ラサレ、凡、日本ノ風俗ハ、只穀ノミヲ重ンシ、國ノ貧富モ穀ヲ收量スル多寡ニテ較スルニ至ル、是工商未タ興ラス、生意ノ未開ナルニ因ルナリ、穀物

ハ、人民一般ノ生活ヲ保續スルニ、切要ナル食用品ナレハ、歐洲ニテモ之ヲ耕稼スルヲ怠ルニハアラス、又貿易上ニ於テモ、穀ノ需用ハ、甚タ莫大ナルヲ明瞭ナレトモ、地利ヲ盡スノ目的ニ於テモ、必モ穀ヲ耕スニハ止ラス、只最モ利多キモノヲ耕スニアリ、故ニ農産ノ種類ハ、一ニシテ足ラス、歐洲ノ農業ヲ論スルニ、先ツ辯セサルベカラス、今此ニ農産ノ種別ヲ論述セソ、

其一ヲ穀物トス、○穀物ハ通常食用品ト稱スレトモ、貿易上ニ於テハ、製造元品ノ一部タリ、蓋シ之ヲ人畜ノ食トナスモ、即チ營業力ヲ生スル元品ノ功ヲナス、○猶石炭ヲ燒キ、汽器ニカヲ生セシメ、若干馬ノ力ニ代レルト異ナル所ナシ之ニ加フルニ、其需用ハ食用ニ止ラス、○澱粉ハ紡織ノ業ニ需用シ、漿液ハ醸造ノ元トナル、之ヲ製作元品ト謂フ、最モ宜シトス、○穀物ノ種類甚タ多シ、小麥ヲ第一ノ貴要ナル穀トナス、麪包ハ小麥ノ花粉ヲ主用ス、大麥及ヒ裸麥ハ、之ニ次ク、麥酒ノ釀造ハ、大麥ヲ主用ス、麥ハ粘土ニ宜シク、砂壤ニアシ、過寒ノ地ニハ、豐登スル少シ、十月前後ニ、佛國ニテハ十月十一月マテニ、時ヲ好時節トスルトナリ、二三尺ノ畝ヲ作リテ、時キ、其秀熟ハ氣候ニヨリ一ナラス、佛ノ南部ニテハ、七月上旬、中央ハ

下旬、北部ハ八月ヨリ九月ニ至リ、蘇格蘭ニテハ雪中ニ刈ル、中年ニハ「ヘク
 タール」二十五「ヘクトリットル」佛國ニテヲ收ム、豐作ハ之ニ倍ス、非常ノ豐作ニハ「五
 十」ヘクトリットルニ及フ、反別八斗ノ平均ヨリ一石六斗及ヒ三石ニモ至ル「ヘクトリットル」
 六斗ノ價ハ、平均四弗トス、麥稈ハ地主ニ屬スル法ナリ、故ニ倍地人ハ之ヲ入
 額所得ノ内ニ數フ、得サルト云、他ノ藁モ亦然リ○燕麥ノ耕作モ亦盛ナリ、此穀
 ハ爾雅ノ雀麥是ナリ、又鈴薯トモイフ、古詩ニ道傍燕麥、何曾可食トアルニヨ
 レハ、支那ニテハ、食用法ヲ發明セサリシナリ、此物ハ麥ニ比スレハ、刈期早ク
 收量大ニ、常作ニテ一町二十五「ヘクトリットル」ヲ收ム、露瑞那ノ野ニハ、重ニ之
 ヲ耕種ス、「ヘクトリットル」ノ價二弗有半ニス、キス、佛國ニテハ其耕作年年ニ減
 シ、今ハ僅ニ存スルノミナリト、○玉蜀黍ハ、米國ニテ發見セル貴要ノ穀物ト
 稱ス、人畜ノ食料トナシ、利益多シ、英國ニ此穀ヲ輸入スル量甚タ大ナリ、佛國
 ノ中部、及ヒ日耳曼ニ於テモ耕作ス、北部ニハ全ク登熟セス、此穀ハ意ヲ加ヘ
 テ培養スレハ、一町ニ六十「ヘクトリットル」モ收穫スヘシ、此收量ハ前ニ舉ケタル比較ニ數倍ス、存異
 其價ハ燕麥ニ比ス、○馬鈴薯モ、米國ニテ發見セシ貴要ノ食ニテ、其滋養ノ功

ハ、麥ニモスコ、歐洲ニ耕作セルヲハ百年以還ナリ、今ハ王公貴人ノ食案ヨリ、
賤民ノ常食マテ、盛シニ行ハル、之ヲ植ルハ四月ヲ好時節トス、小ナルハ其儘
ニウエ、大ナルハ三四ニ割リテウエ、豐年ニハ一町ニ付四百「ヘクトリットル」ヲ
收メ、中年ニハ三百「ヘクトリットル」ヲ收ム、一「ヘクトリットル」ノ價八十「セント」ヲ
中價トス、此物至其ノ澱粉ヲ含ム、故ニ、薯糊ノ製造ニ費用多シ、又適宜ノ糖分
アリテ、火酒ヲ製スルニ宜シ、○以上ノ六種ヲ穀物中ノ主タルモノトス、此他
土地ノ模様ト、輪耕ノ繰合ニ於テ、頗ル多ク耕作スルハ、豌豆、蠶豆、重ニ畜牧、蕎
麥、黍、粟、甘藷等ヲ種ヘ、又牧草ヲ蒔キテ、地力ヲ變換ス、凡此等ノ穀ハ、多ク牧畜
ノ飼料ト、製作醸造ニ用ヒ、民食トナス數ハ僅カナリ、稻ハ熱國ノ土宜ニテ、其
價廉ニシテ、滋養ノ功アルニヨリ、英國ニテハ、近年輸入ノ數ヲマセリ、其價ハ
大抵燕麥ニ比スルト云、其最上ナルハ、豌豆、菜蔬ノ如ク、貴人ノ食案ニモ上レ
ヒ、其費ス所ハ僅少ナリ、

其二ヲ貿易品トス、○貿易品トハ、穀物ノ外ニ、一種ノ食用品ニテ、歐洲各國、其
貿易ニツキテ、別段ニ稅ヲ課スル、快美ノ飲食物ナリ、砂糖、煙草、茶、咖啡ノ類ナ

リ、此數ノモノ、皆歐洲ノ土宜ニアラス、煙草ハ亞墨利加洲「トバコ島」ノ印甸人
 カ喫セルヨリ、世ニ弘マレリ、歐洲ニ於テ、蘭、白ノ野マテ、之ヲ耕種スレト、露ノ
 南部ヨリ、以太利、壤地利ノ地ニ多ク繁植ス、最北部ニハ耕植スル少シ、一町ノ
 收量ハ、千「キロカラム」ヨリ、千四百「キロ」ニ至ル、兩米洲、及ヒ東印度等ヨリ、輸入
 スル高夥多シ、之ヲ嗜ムハ、獨、蘭二箇國ヲ最トス、貿易ノ部ニ詳ナリ、○砂糖ハ、元甘蔗ヨ
 リ製ス、煖地ノ產物ナリ、百年前ニ、普魯士ニテ一種赤色ノ蕪菁ヲ種テ、其液ヨ
 リ砂糖ヲ製スルヲ發明シ、其後佛國拿破侖第一世ノ時、鎖港ヲ令シ、佛人砂
 糖ノ需用欠乏セルニヨリ、蕪菁糖ノ耕作製造ヲオコシ、是ヨリ益歐洲ニ行ハ
 レ、今ハ獨、佛、壤、露ヨリ白國マテ、此業ヲ開ケリ、甜紅蕪菁ハ、四五月ノ交ニ、八九
 寸ノ畝ヲ作り蒔付レハ、十五日ニテ發芽シ、一町ニ堆糞六萬「キロカラム」ヲ培
 養シ、豐年ニハ、一町ニ五萬「キロカラム」ノ蕪菁ヲ收ム、其價千「キロ」ニ付テ、四
 圓内外ナリ、是ニテ九十乃至百「キロ」ノ砂糖ヲ得ルヘシ、其絞リ滓ハ、菓ニ切交
 セ、牧畜ニ秣ス、此菜ヲ耕作スル村ハ、甚タ富饒ナリ、○茶ハ印度「ヒマラヤ山
 陽」ヨリ、東北ノ溫地ニ生ス、咖啡ハ、熱帶國ノ產ニテ、其ニ歐洲ニハ生殖セス、

其三ヲ釀造品トス。○釀造品トハ貿易品ヨリ姑ク此目的ニ供スルヲ分ツチニ
名目ヲ立ツ。凡ソ釀造ノ目的ニテ耕作スル農産ハ、葎穗、葡萄ノニアリ、其他草
木ノ果實ニ適宜ノ糖分、乳酸澀酸ヲ含ムモノハ、ミナ釀造品トナスヘシ。林檎、
覆盆子、甘藷ノ類是ナリ。○葎穗ハ、蔓草ニテ、四五月ノ交ニ下種ス。我白耳義ヲ
スキシハ、二月末ナリシニ、此草ヲ扶ケル木竿ヲ田中ニ運フヲミタリ、六月瑞
西ニ於テハ、蔓ヲ延ヘテ木竿ニ上リタルヲミル。此草ハ秋ニ至リ、黃色ノ花ヲ
開ク。葎葩聚付シ、中ニ香分油質ヲ含ム、麥液ノ醱酵ヲタスケ、苦味ヲアトフモ
ノナリ。一町ノ收量ハ、約千四百五十「キログラム」英國ノ南部、獨逸、墺、匈、露、及ヒ
白國ニ耕種ス。全歐地ノ産スル所ハ、一億「キログラム」及フ。○葡萄ノ重ナル利
益モ酒造ニアリ。酒造ノ葡萄ト、乾葡萄ヲ製スルト、生果トハ、種ヲ異ニス。酸味
少ク、糖漿多キハ、酒造ニ適ス。糖分ハ化シテ「アルコール」トナルモノナレハ
ナリ。此蔓生木ハ、平地ニモ植ユヘシ。然レモ平地ノ土宜ニハ、穀物ヲ適當トス。
故ニ大抵水濱谿谷ノ地ニウユ、嚴冬ト炎暑ト兼備リタル氣候ニヨロシ。北陰
ノ傾坡ヲ除クノ外、東西南日光ノ透ル地ハミナ宜シ。其苗ハ三年以上ノ枝ヲ

挿木ス、實ヲ蒔テウエス、畦^{ウヰ}ヲ作り、「メートル」ヲ隔テウエツケ、二年間ハ隨意
 ニ延シ、二年枝ヲ一尺許ツ、殘シ剪リオケハ、三年目ニ、其枝ヨリ實ヲ結フヘ
 キ新芽ヲ生スルナリ、圃地ニハ糞培ヲ過用スルト、臭氣アル糞培トヲ忌ム、九
 十月ノ交ニ實ノ熟シタル^ル圃中ニ製酒假場ヲ設ケ、多人ヲ雇ヒ、缺ニテ摘取
 ル、佛國ニテ「ワンダンジュ」トイフ、我國ノ茶摘ニ比ス、之ヲ籠ニテ假場ニ運シ、桶
 ニイレテ赤脚ニテ踏潰シ其漿ヲトリ、第一ノ酒ヲ釀シ、次ニ器械ニテ榨取シ、
 第二ノ酒ヲ釀ス、^{下等ノ}酒ナリ、凡實百斤ニツキ、七十五乃至八十二斤ノ漿ヲウルモ
 ノナリ、一町ノ收實ニテハ、酒九樽^{二百五十リツ}トウル、^{トル}入ノ樽ヲウル、「ポルドー」府ニ於テ、並酒
 一樽ノ中價ハ百「フランク」、上酒千五百乃至二千「フランク」ニモ上ル、通常一
 町歩ニ付、純益金五百「フランク」ニ及フ、平地ニ麥ヲ耕作スルヨリ利益甚タ多
 シ、「シャンパン」酒ハ、葡萄酒ニ砂糖ヲ加ヘ、瓶ニイレ嚴塞シ畜ヘオケハ、糖ノ醇化
 ニヨリ、炭酸ヲ排斥シ、瓶中ニ鬱スルニヨリ、發泡ノ酒ヲナスナリ、林檎モ、葡萄
 ニ代ヘテ「シャンパン」ヲ製スル元品トナル、「ブランテイ」酒ハ、葡萄酒ヲ蒸溜シ
 テ製ス、覆盆子モ酒造スルニ適ス、希臘國ハ、此果ノ名所ニテ、年ニ英國ヘ輸出

スル分モ價八百萬弗ニ及フ、是ニテ其利ノ大ナルヲ察スヘシ、○凡果漿ヲ桶ニモリ、放置スレハ醱酵シ、二三週間ニテ澄液ニ鎮靜ス、即チ第一釀ナリ、故ニ葡萄酒ノ釀法ハ其發明容易ニテ、西洋ニ於テ、古キ世ヨリ行ハレ、葡萄ハ、中亞細亞以西ノ美果ニテ、魏文帝カ、南方ノ龍眼荔枝^レ不及西土葡萄ト謂シニヨクハ、其西域交易ノ品タル久シ、唐詩ニ葡萄美酒夜光盃トアルヲミレハ、玻璃ニテ此酒ヲ飲ムハ、漠南ノ諸國ニ通シテ行ハレタル風義ナリ、

其四ヲ紡織品トス、○農產物中ニ、廣キ利益ヲ有セシモノハ穀物酒類ノ外、此目的ニ供スルモノヨリ大ナルハナシ、其品ハ棉花、大麻、亞麻、其他纖維植物ノ

^{タミモノニ}

組スヘシ、又紙ヲ製スヘキモ、此部類ニテ論スヘシ、棉花ハ、土耳其、及ヒ露國ノ

南部ニ產スレト、重ニ米國南部、及ヒ東西印度ヨリ輸入スルヲ用フ、印度ノ短

毛球ノ種ハ、米ノ長毛球ノ種ニハ劣ル、豪斯多刺利ニテ、一種眞珠色ノ棉アリ、

尤モ上品タリ、○大麻ハ、堅韌ニテ水ニタユルヲ以テ價アリ、歐洲ニハ多ク生

セス、露國ノ南部、及ヒ埃國ニ頗ル產出アリ、以太利ノ大麻ハ、良質ニテ價貴シ

佛國ニ於テモ亦耕種ス、此物ハ佛國ニ於テハ、蠶水ヲ受ル地ニ於テ、猛質ノ蠶

増ヲ施シ、五月ニ蒔テ、八月ニ刈ル、一町ニ付テ六百「キロガラム」ヲ得ル、價百弗
 以上ノ利ナリ、英國ハ印度ニ於テ、此物ノ耕種ヲ開キ、年年ニ盛大ナリ、○亞麻
 ハ、英ニテ「フラックス」ト名ク、其皮ヲ「リンデソ」ト云、纖維小ニシテ、紡績ニ易ケレ
 凡、大麻ニ比スレハ堅韌ナラス、此物ハ野地山上ヲ厭ハス、頗ル寒冷ナル地ニ
 モ生殖ス、露國ニ於テ、最モ多ク產出ス、白國「スケルト」河濱ノ野モ名產ナリ、其
 他ノ諸國ニモ、皆耕種ス、曾テ瑞士ニテ圃中ニ生殖セル麻ヲミテ、其名ヲトヘ
 ハ「フラックス」ナリト答ヘタリ、其狀大麻ニ異ナラス、凡一町ニ付テ五百五十「キ
 ロガラム」ヲ收ムルト云、^{アルセリヤ}亞爾及印度ニテ、耕種盛ナリ、近年麻ノ一種「イチビ」ヲ
 荷是ナリ、^西坂西ニ紡織スルヲ開キ、是モ年年ニ需用ヲ廣メタリト云、○西班牙
 牙ニ生スル「イスパルト」草ハ、抄紙ニ適スルヲ英人ノ發見セシヨリ、近年其
 耕植廣マリ、英國ヘ多ク輸入ス、又麥稈ヲトリ、亞硫薰白ノ法ヲ行ヒ、夏帽ヲ組
 ム、以太利ノ名產ナリ、佛國ノ產ヲ英國ニ輸入スル高モ少ナラス、英國ニモ之
 ヲ製作スルヲ務ム、其他ノ諸國ニ、麥稈組辯ノ地ハ一ナラス、又麥稈ニテ紙
 ヲ抄スヘシ、雜用ノ料トナル、我邦ノ楮雁皮ノ如キモ、其產出ノ高大ナラハ、一

ノ貿易品トナルヘシ、此他ノ織緯草モ亦然リ、

其五ヲ製作ノ補助品トス、○紡織ノ業盛ナルニ從ヒ、之カ染色煤助ニ用フル、農産ノ利モ亦從テ大ナリ、葛粉ノ類、凡澱粉ノ糊トナルヘキモノモ、多シ此目的ニヨリテ、耕種製作ヲナス、茜藍、紅花「バステル」「エート」等ノ植物ヲウエ、獨逸、佛國其利ヲウクルヲ多シ、中ニモ、藍靛ハ煖國ノ産ニテ、東西印度、呂宋等ヨリ、輸入ノ高甚タ大ナリ、英國ニ消費スル高最モ多シ、印度ヨリ「カシュー」ノ實ヲ輸入シ、黒染ヲナスト云、豈ニ檳榔、皂莢ノ類カ、西班牙ノ「チスソウ」欸ハ、羅紗ノ毛ヲ起ス要需品ナリ、

其六ヲ榨油ノ品トス、○油ヲ榨取スヘキ農産ハ、芥菜ヲ最トナス、歐洲ニテ芥菜ヲ一週年ノ菜ト謂フ、五月ニ蒔キ、七月ニ假植シ、九月ニ尺五寸ノ畦ニ植エ、翌年四月ニ熟ス、大抵一町ノ收量、二十乃至四十「ヘクトリットル」ノ實ヲ得ル、「ヘクトリットル」ノ價二十五「フランク」、獨逸ノ北部マテ、之ヲ耕作シタル田ヲミル多シ、此油ハ第一ニ燈ニ燒ク、次ニ器械ヲ滑ニス、歐洲ニ器械ノ數増加スルニ從ヒ其消費モ亦從テ巨大ナリ、罌粟^{ケシ}、胡麻モ、亦油ヲ榨スルニ供ス、亞麻仁ノ

油ハ、乾燥ノ性アリテ、髹工ニ必要ナリ、棉實ノ油モ、亦利益大ナリ、其油餅ハ牧畜ニ餌シテ、甚タ良ナリト云。

其七ヲ秣草トス、○秣草ノ種類ハ一ナラス、凡實ヲ結フニタヘサル土地ニモ秣草ハ蕃滋スルヘシ、又田圃輪種ノ繰合ニテ、一度ハ必ス秣草ヲウエテ、土膏ヲ換暢スルヲ要ス、此外ニ紅蕪菁、蘿蔔等ヲモ餌料トナスヘシ、玉蜀黍、甘藷モ亦飼養ニ供スヘシ、一町ノ地ヨリ、秣草二噸ヨリ、三噸ヲ收ムルヘシト云。

其八ヲ蠶桑ノ業トス、○歐洲ニ於テハ、南部ノ利ニテ、佛、以、兩國ノ蠶絲ハ、世界ニ名高シ、露國、土國及ヒ西、葡、ニモヤ、産シ、南方獨逸ノ山原マテ、桑ヲウエタルヲミタリ、

其九ヲ菜蔬トス、○此物品ハ遠距離ノ貿易ニタヘサルヲ以テ、毎ニ農利ノ計較ニ漏レタレ、各都邑ノ近傍ニテハ、大ナル利益ヲ生スルヲ、日本ト異ナルナシ、又醃藏ノ法モ、次第ニ開ケテ、貿易上ニ一箇ノ利益トナルニ至リ、近年ニハ大器械ヲ以テ、保藏ヲナストナリ、

○此九種ノ農産ハ、年年ニ種エテ、年年ニ收穫スルモノノミナリ、又農業部分中

ニ於テ、一大科ヲ開キタルハ、山林ノ樹藝培養ナリ、略其種類ヲ區別スレハ、○
一ヲ果園トス、林檎、橄欖、橙、桃、杏、栗、梨ノ類、或ハ日需ノ食ニ供シ、或ハ釀造ニ供
シ、或ハ油ヲ搾取シ、或ハ糖醋等ニテ醃蓄ス、○二ヲ矮林トス、萌芽力ノ強キ木
ヲウエ、其幹ヲ切テ株ヲ存シ、萌蘖ノ枝ヲ刈取ル、日本ノ榛、櫟ノ林是ナリ、桑、（案）
楮モ、亦此類ニ属ス、（歐洲ニ楮
案ナシ）水岸ニ楊樹ヲウエ、其枝ニテ炭ヲ製シ、硝藥ヲ調
製ス、○三ヲ花木トス、西洋ノ俗、甚タ花ヲ愛ス、折テ瓶ニ挿ム、花ヲ贈ルヲ盛禮
トス、一雙瓶ニテ數百弗ノ價ニ及フアリ、又盆ニ栽ユ、歐洲都府ノ市街ニハ、窓
眼ニ盆栽ヲオキ、叢叢トシテ清氣ヲトル、婦人ハ生花ヲ帽ニ挿ミ、裝飾トナス
薔薇、及ヒ椿花ハ、殊ニ貴重、スル花タリ、曾テ噠國ニテ宴會ニ於テ、一ノ貴婦人
問フ、日本ニ野生ノ椿花アリトハ信ナリヤト、同席ノ噠國人、日本ニ來リシ人、
其信ナルヲ答フ、衆婦人怪愕シテ、ミナ其芳美ノ國ナルヲ羨慕セリ、蓋シ一朶
ノ花モ、數圓ノ價アルモノナレハナリ、故ニ都府ノ花木ヲ業トスルモノ、全玻
璃ノ屋ヲツクリテ草木ノ花ヲ培養スルハ、啻ニ公園ノ草花ノミナラサルナ
リ、○四ヲ中林トス、是ハ萌蘖力ノ強キ木ヲウエ、其幹ヲ存シ、年年ニ枝條ヲ刈

リ本幹ハ長大ナル後ニ切テ材木ニ用フ、佛、白、獨ノ野ニ此種ノ林ヲシバシバ見タリ、○五ヲ廣葉樹木トス、普通ノ山林ハ、ミナ此種類ニカ、ル、又庭園街路ニ行樹ヲウエテ、其清陰ヲ養ヒ、大氣ヲ清クス、此用ニ供スル廣葉樹ハ、其枝葉美ニシテ、繁茂シ易キ、夏木ヲ適用トス、白楊、榆、槭、「ホブラ」「ホースチエストナツト」ニ櫟ニ似タルヲ主用ス、日本ノ樹木ニ此用ニ合スル良木多シ、銀杏最モ賞美セラル樹ナリ、○六ヲ針葉樹トス、松、檜ノ類ニテ、萌蘖力少ク、劈裂シ易ク、種種ノ材用ニ供シテ、便利ナルモノナリ、

凡樹木ノ利ハ、皆人ノ知ル所ナレド、西洋人ノ目的トスル所ハ、未タ日本ニテ知ラサル所アリ、樹木ヲ炭ニ製シ焚クハ、日本ノ風習ナリ、西洋ニテハ、木炭ヲ製造シ之ヲ、重ニ製鐵ニ供ス、鋼ヲ煉ル炭ヲ燒クキ其液ヲ收メテ、「テール」ト木醋トヲ收ム、其枝葉ヲ燒テ「ポッターズ」ヲトル、瑞典、那威ニ、石炭少ク、樹木多シ、其木炭ヲ雜用スル高甚タ大ナレハ、炭ノ製法モ亦粗雜ナリ、露國ニ樹林多シ、故ニ「ポッターズ」ヲトリテ輸出ス、歐洲ニテ「ポッターズ」ハ、露米兩國ヨリ輸入スルナリ、櫟、栗ノ類ハ、其皮ヲ剝キ木澀ヲトル、所謂「タンニン」ニテ、染房革製ニ必要ノモノ

ナリ、佛獨ニテ薪材ヲミルニ、一モ皮ノ存スルモノナシ、木炭ヲ製スルニモ、皮ヲ去リタルヲ用フルニヨリ、炭質美ナリ、又針葉樹ニハ其脂多キモノヲ擇ミテ、瀝青テールヲトル、凡山林ノ利ハ、耕稼ト相依テ、其ニ國ニ大益ヲ生スルモノナルヲ以テ、近年全歐地ニ、山林ノ政ハ、益周密ニツキ、官私ノ林、ミナ法則嚴ニシテ、斬伐ヲ節ニスルト云、

○牧畜ノ業ハ、歐洲ノ農民甚タ嫺熟シタル術ニテ、各國ミナ繁息シ、牛羊野ニ被ラサルハナシ、中ニモ牧場ノ盛ナルハ、歐陸ニ於テハ、匈加利、露國ヲ第一ト稱スレ、牒逸ノ牧畜モ、亦高名ナリ、蘭國ノ牛牧ヲ務ムル、春夏ノ際ニハ、滿野ミナ牟鳴ヲ滿ツ、英國牧地ノ廣サハ、全國三分ノ一ニス、其他噠ノ如ク、白ノ如ク、瑞那ノ如ク、或ハ良馬ヲ産シ、或ハ乾酪ニ美ナリ、遞ニ優劣ヲ其間ニオキ易カラス、○肉食ノ盛ナルハ、英國其魁ニテ、年年一億萬頭ノ牛ヲ屠ルニテ察セラレタリ、英國ノ職人ハ肉ヲ食フ、佛ハ蕃薯ニテ足ル、是兩國生活ノ殊ナル所ニテ、他ノ各國ハ、大抵佛ニ比スヘシ、全歐地ニ平均シ、居民一人ニ、二十「キログラム」ノ肉ヲ食セシニ、近二十年來ハ殆ト一倍セリ、其求需ノ盛ナルニヨリ、各

國益競テ牧業ニ盡カスルトイフ○西洋人ハ力挽荷擔スルモノナシ、車輪馬力ニヨリテ運搬ス、軍營ニハ騎兵ヲ壯ニシ、力田ハ二馬一耜ニ服ス、馬騾ノ用甚タ夥シク、都邑ノ間ニ馬數殆ト人數ト平均スルカト疑フニ至ル、○牛ハ牡牛ヲ豎ニシ其陰ヲ拔クト馬ニ代用スルモノアレヒ、牝牛ノ利最モ大ナリ、其乳ヲ搾リ、其犢ヲトリ、其乳ヲ以テ乳酪、乾酪ヲ製シ、而後ニ其肉ヲ食ヒ、其皮ヲ硝製シ、生血、骨角ミナ種種ノ工産トナル、乾酪ノ製造ノ如キハ、都鄙ミナ之ヲナス、我邦ノ鹽藏蘿蔔ニ比スヘシ、○羊ハ其毛ヲ摘ム、紡織品中ニテ棉花ニ亞スル盛大ナル需用品ナリ、全歐ニ産スル毛ハ六億磅ニ及フ、豕ハ鹽薰シテ「ハム」ヲ製ス、亦宏益ナリ、鵞鴨「トルキー」鳥等ノ畜及ヒ卵ノ利益モ亦盛ナリ、農家ハ必ス牧ヲ兼ス、一般ノ風氣ナリ、又蜜蜂ヲ養フトモ此類ニテ論スヘシ、

海濱ニハ漁業ヲ務ム、蘭國ノ漁舟ハ日日ニ英國ノ港ヲ出入セサルナシ、那威ノ漁業最モ盛ナリ、瑞典、獨逸ハ北海ニ漁シ、露國ハ黑海ニソフテ漁ス、佛國三面海ニ、漁業ミナ盛ナリ、又南方ノ海島ニ牡蠣ヲ養フ、英國最モ肉食盛ンニ、貧民ハ魚肉ヲ食フニヨリ、加那他ノ鮭魚ヲ輸入シテ、之ヲ饒足スルニ至ル、○陸

地ニハ、江河沼池ニ魚ヲ養フ、近年獨逸、墺國、及ヒ露國ニ於テハ魚ヲ沼中ニ養ヒ、其卵ヲ孵化シテ、魚兒ヲ成育スルヲ草木ヲ養フカ如シ、世運ノ開クルニ從ヒ、食用品ノ需用ヲ増スト、人口ノ増殖ニ數倍ス、實ニ意料ノ外ニ出ル、蓋下等ノ民ハ、中等ノ民ニ數十倍ス、其生理ノ進ムニ從ヒ、其需用食物ノマスヲモ、其數之ニ應スレハナリ、

○凡耕作、樹藝、畜牧ノ三業ハ、相待テ利益ヲ全クスルモノニテ、歐洲ノ農家ハ、家ニ牧畜シ、野ヲ耕シテ、畔ニ樹ス、如此ク周密ナル着手ヲナセル村ハ、必ス農業ノ進ミタル地ニアラサルハナシ、佛獨白、如シ歐洲ノ民ハ、人ノ糞尿ヲステ、之ヲ肥培ニ用フルヲセス、從來其土膏ヲ養フ料ハ、堆糞ヲ製スルニアリ、堆糞ハ牧畜ノ薪草、溝泥、惡水、禾稼ノ殘株、廢葉、穢草、スベテ動植食飲ノ餘、棄ヘキモノヲ堆積シ、濕土ヲ和シテ、鬱敗セシメ、其爛熟セルヲ以テ、田野ニ埋肥シ、或ハ撒布スルナリ、堆糞ニテ、食料不足ナルハ、糞商ヨリ買入ル、販賣ノ肥料ニ、最モ貴要ナルハ、骨粉、及ヒ燒骨灰ナリ、米ノ秘露國ヨリ輸入ノ雀糞ハ、殊ニ第一ノ肥料タリ、獨逸ニ於テハ、磷酸石灰、及ヒ「ポッターズ」鹽等ヲ掘出シ、英國及ヒ他ノ一

地ニハ古代ノ獸屍ヲ掘出シ此等ヲ以テ種種ノ製糞場アリ、歐洲ノ地味アシシ、糞培ヲ用フル量ヲ聞クニ、日本ノ普通ニ五六倍ス、○糞商ノ詐偽ヲ防クタメ、會社ヨリ試験場ヲ設ケ、其調合ヲ分拆究査ス、農民ノ糞培ヲ買ハント欲スルハ、其商ニ分析驗査スルヲ約シ、此試験場ニ出シテ、檢査ヲウケ、佛國ニテ此場ヲ「ラボラトワール」ト名ケ、市中處處ニアリ、地方政府ヨリ保護ヲナシ近年ニテハ、農民ヨリ出ス手數料ニテ、其費ヲ辨スルニ足ルト云、然レモ商賈ノ奇利ヲ射ル、骨粉ノ類ニ、甚シキ賈物ヲ交ヘ、往往ニ之カタメ、農戶ヲ傾倒スルモノアリ、歐洲ノ民ハ、糞培ヲ牧畜ニ資リ、之ヲ堆糞ニテ用フルノミナリシニ農業ノ進歩ニテ、人糞人尿ヲ用フルヲ近年各國ニテ行ハルルニ至レリ、日本ハ之ニ反シ、人糞人尿ト、漁物海草ヲ主用シ、未タ堆糞、骨粉、製調肥料ニ注意セズ、亦糞商ノ取締モナシ、全國己墾ノ田圃ハ、全地積十分ノ一ニスキス、今ヨリ一層ノ農功ヲ進歩セシメ、生地ヲ熟地トナスニハ、糞培ヲ饒足スル方ハ肝要ノ一ナルヘシ、

○歐洲ニテ近代ニ農功ノヨク進歩ヲナセシハ、勸農會社ノ誘掖ニヨルモノ、實

ニ其根基タリ、勸農會社ノ起リシヲ百年前ヨリノニテ、有地ノ農家、耕夫、相協同集會シ、耕牧ノ良法、種子ノ換接、器械ノ精良等、利益ヲ弘メ、且耕丁ノ勉勵スルモノヘ、褒獎スルヲヲ申合セシニ、實效ノ著シカリシヲ以テ、漸漸ニ世ニ弘マリタリ、○獨逸ハ、勸農ノニ就テ、最モ歐洲中ニ超越ス、州郡ニ於テ勸農社ノ流行盛ンニ、互ニ銳意不撓ノ努力ヲナシタル効驗ハ、近今マテ、農業ニ於テ著シキ進步ヲ現シタリ、今其會社ノ數ハ、一千九百四十七アリ、社員ハ數十萬ニ及ヒ、七十年來續續ト増加シ、從テ農學校ノ建立モ増加シタリ、農社ト農學トハ、互ニ親密ナル管係アルモノニテ、官立ノ學校ニテモ、私立農社ノ調査支配ヲウケシメ、又社員ノ見込ニテ、學校ノ改正ヲモナスヲ普通ナリ、○佛國ニ於テモ、勸農會社盛ナリ、一千八百二十年代マテハ、大小ノ結社二百十二ナリシカ、今ハ殆ト千社ニ及ヒ、一州内ニ數箇所ヲ設ケタルモアリ、大抵政府ノ管照ヲ仰カスシテ、設立シ、入社ノモノハ、朋友ノ紹介ニテ意ヲ達シ、一人ニ一箇年ノ出金ハ、二十乃至三十「フランク」ニスキス、月月二回集會シ、懇切ニ農事ヲ談シ、各自作得ノ豐歉ヲ比較シ、互ニ相勉勵シ、新聞、或ハ小票「ビルタン」ヲ發ス、社

中ニテ國益ニ肝要ナル發明効驗アレハ政府ヨリ褒賞スルヲアリ此ニ巴黎
サントラル農社ノ大略ヲキクニ社中四十八名アリ六局ヲ分ツ第一局ニハ
老農第二局ニハ老牧家及ヒ獸醫第三局ニハ農業經濟家法律家博識者第四
局ニハ引水或ハ農具等ニカヘル器械學者第五局ニハ樹藝家第六局ニハ農
業必用ノ理化動植物家ヲ舉用ス此等ノ人ヲ撰舉シテ其局員トナシ集會ハ
每週ニ一度ニテ議員ハ每會ニ五「フランク」ヲ與フノミ他ノ會社モ此ニ例シ
テ小異同アルニスキス英國ニハ一ノ大勸農社アリ有地ノ貴族及ヒ豪農ノ
協立ニテ議員ハ給金ナキノミナラス反テ出金シテ社益ヲ隆ニストナリ此
ノ諸國モ勸農ノ事ハ各地ノ便宜ニテ種種ニ周
備シ行ハルヘシ姑ク此三國ヲ舉テ例スルノミ

○歐洲ニテモ久シク農業ヲ一賤職トナシ士人ハ之ヲ考究スルヲナカリシ封
建ノ世ニアタリ貴族ハ皆土地ヲ領有シ耕夫ニ穀果ヲ作ラシメ牧夫ニ家畜
ヲ養ハセシメ之ヲ釀造シ羅賣シ其利ヲ受タルヲ以テ佛國ニテハ貴族ヲ農
家ト稱セシトナシ英國ニ牧利ノ遽ニ興リシキ地主其田ヲ小作民ヨリ引揚
ケ爭フテ牧野トナセシニヨリ農戶ミナ職業ヲ失ヒ處處ニ一揆紛擾連リシ

是ミナ農業ヲ賤民ニ委シ、地主ハ其作益ニ衣食シタル狀情ニテ、我日本ト異
 ナラサルヲシル。○歐洲ハ、商業ヲ重スル國ニテ、農業ノ注意ハ、自然ニ第二ト
 ナシタルヲ免レス。佛ノ博士「テーラレ」氏曰、農ハ諸業ノ大本ナリ、例ヘハ商人
 アリト雖モ、其賣買スル物品ナケレハ、業ヲ施ス所ナシ、其物品ヲ化生スルハ、
 農ニアラサレハ能ハス、故ニ國ヲ興サント欲セハ、此ニ注意シ、農ヲ勸奨スル
 道ヲ盡スヲ至急ノ務メトス云云、如此ク商ノ重キヲ借テ、農ノ重キヲ證ス、猶
 日本ニテ商ノ重キヲ證スルニ、必ス農ニ關係ノ切ナルヲ論スルト一般ナリ
 歐洲ニテ農業ニ、學士ノ注意ヲ加ヘシハ、僅ニ百年以來ノコナリ。○一千七百
 七十一年、佛國ノ執政「ベルタン」氏ノ盡力ニテ、「コンピエーギユ」名ニ、創メテ農學
 校ヲ立タリ、是ヲ開端トシ、有志ノ士、豪農ニ説テ、「グリキヨン」名ニ、理論實驗兩備
 ノ農學校ヲ興シ、一時ハ無益不當ノ誹謗モ多カリシモ、現功ヲ以テ、其論ヲ消
 滅シ、今ハ歐洲各國ニ、農社、農學、盛ンニ行ハルルニ至リシモ、唱始ノ功ハ、全ク
 佛國ノ名譽トナレリ、抑農業ニ耕夫アルハ、工業ニ職人アルカ如シ、其事ヲ基
 美ニスルニハ、之ヲ率ヒルモノ理術並ニ深カラサルベカラス、殊ニ農ハ化力

ヲ賛成スル業ナレハ、廣ク數派ノ學術ニ關涉シ、其講究スヘキ理致深遠ニテ作業ハ反テ龐大簡捷ニ利アレハナリ、歐洲各國ノ開明ニ於テ、農業ハ殊ニ不十分ナリ、其進歩ノ功ヲ著ハセシハ、僅ニ二十年間ノ事ナリト云、

農業ノ設ケ種種アリ、獨逸ニ於テハ、終年開校スル農業小學校アリ、只冬季農隙ノミ開校スルモアリ、夜間ニ農業ノ講義ヲ授クル夜學校アリ、又長年ノモノ夜分ニ集會シ、會議スル場アリ、拜焉國ニハ、農業ノ書庫三百八十三箇所アリ、或ハ就テ學ヒ、或ハ借覽ス、瓦敦堡一國、民口僅ニ百八十萬ヲ有スルモ、農業小學百七十八、夜學校六百九十七、夜會所百六十四ニ及ヒ、生徒二萬、夜會ニ集ルモノ殆ト一萬人アリト云、佛國ニテ「フヘルムエコール」ト云ハ、農家ヲ以テ學校トナスノ謂ニテ、即チ耕作法ヲ實地ニ教授スル小學校ナリ、十六歳以上ノ農丁ニ賃錢ヲアタヘ、教員之ニ充分ノ教ヲ施シテ、耕作ヲナサシム、四十年前ヨリノ創立ニテ、現今四十二箇所ニ及ヒ、大ニ農業ノ進歩ニ功績アルモノナリ、又春秋冬ノ三期ニ、官ヨリ教師ヲ出シ、農事ヲ教授スルヲ、農業州學校トイフ、今十一校アリ、○農業學校ハ、獨逸ニ於テ百八十四アリ、其内八箇所ハ、大

學校ノ權ヲ有シ、次十三箇所ハ、十二人ノ博士アルモノ、其次七十一箇所ハ、中學校ニテ、他ハ暗溝、灌水、培養法等、實業ノ學校ニテ、又種園、養樹ノ大中學、三十箇所アリ、塙國ニ於テモ、農學ノ注意厚シ、佛國ニハ、只三箇所ノ農業大學校アリ、其致則ハ、ヌオリツク理論ト、ブラチツク實驗トノ二ヲ分ツ、理論ニ於テハ、田野經濟、動物、植物、草、窮理、(大氣、礦物、地質)、化學、山林農作、土工ノ器械學、農律、會計法等、ナリ、實驗ニ於テハ、秋ハ糞培下種、冬ハ堆糞ヲ作り、春ハ樹藝ノ收穫、夏ハ穀物ノ收穫、又倉廩、廩櫃ヲ見回り、乾酪製造、羊毛剪取ヲ習ハシ、或ハ器械ノ回轉、分析ノ試驗ヲナサシム、○農學ヲ進メ、ヌオリツク理論並完カラシムルニハ、試驗場ヲ設ク、獨逸ハ最モ農ヲ重ンス、全國ニ二十五箇所ノ試驗場アリ、佛國ニハ、只三箇所アリ、其目的ハ、動植物ノ性質、天候、地味ノ關係ニツキ、學校ニテ理上ヲ研窮、發見セシム、水土肥料ノ分析、及ヒ用法ヲ實地ニ試驗シテ、其結果ヲ衆ニ報シテ弘ムルニアリ、英國ニ於テハ、勸農社ニ於テ試驗研究ヲ遂ケ、毎年二卷ノ新聞ヲ發行ス、歐洲ノ農業新聞中ニ於テ、殊ニ緊要ナルモノナリト云、

○農業ノ進歩ヲ、鼓舞誘導スルニハ、農業博覽會ノ設ケ甚タ實效アリ、佛國ニテ

之ヲ「コンクール」ト名ク、千八百四十九年ニ始メテ此會ヲ設ケシニ、其利益ノ
 意外ニ著シカリシヲ以テ、全國ヲ十五區^{レシヨ}ニ分チ、約五州ヲ每區ニ年年一度此
 會ヲ行フ、而シテ每區中ハ五州循環ニ行フコトヘ、五年ニ一度ツ、各州ニ行ハル、
 ナリ、此時ニハ老農ヲ撰シ、諸人ノ耕牧地ヲ檢査シ、各家ノ帳簿ヲ閱シ、其記載
 ト實地ト符シ、其勉業拔群ノモノアレハ、州知事ヨリ農商事務局ニ申シテ、褒
 賞ヲ與フ、凡農具培糞ヲ發明シ、或ハ收穫ヲ豐多ニシ、或ハ外國ヨリ良品佳種
 ヲ得テ能ク種藝セル等、又牧夫、耕丁、耕婢ノ勉業拔群ナルモノ等、夫夫ニ賞ヲ
 與フ、時ニハ全國ノ博覽會ヲ行フ、又區中ノ農民、其農產ヲ持集マルコト、一州内
 ノ農社ニテ持集ルコトアリ、歐洲各國ニ於テモ、此ニ似タル農業博覽會ハ、皆舉
 行セサル國ハナシ、即英國「レッチンク」邑ニテ、現ニ實歴セル博覽會ニテ、察スル
 ニ足ル、

第九十二卷 歐羅巴洲工業總論

○歐羅巴洲ハ天然ニ薄福ノ土地ナリ、人民ノ活計ハ農耕ノミニ依頼セス、必ス
牧畜ニテ補足スルモ、地表ヨリ獲ル動植物ノミニテハ、活計ヲ満足ナラシム
ル能ハス、因テ熾慾ノ人種ヲ生シ、地中ノ物產ヲ搜索シ、礦業ノ利ヲ興シ、益百
物ヲ具ヘ、利用厚生ノ方ヲ廣メ、其勞動ヲ助ケ、物ニ廢材餘利ナカラシメント、
拮据經營セシハ、元天然薄福ノ致ス所ナリ、凡ソ天然ノ利ハ、必ス人巧ヲ經テ、
實益ヲ發ス、天產ニ人工ヲ加ヘテ、其形ヲ變化セルヲ工產トイフ、物產ヲ供給
ノ地ヨリ取テ、需用ノ地ニ變位スルヲ商業ト謂フ、此兩業ヲ媒介スルニ切要
ノ品ハ、地中ノ礦利ヲ以テ首トナスヘシ、

化學術ニ於テ發見セル、世界天產物、造構ノ元素ハ七十餘種アル内ニ、其十ノ
八九ハ地中ノ礦物ニ含ミタリ、是天ヨリ、自然ニ工業資用品ヲ與ヘシモノト、
謂フヘシ、凡ソ世ニ多量ニシテ、採獲ニ易キ產物ハ、人民ニ利益ヲ與フルモノモ、
亦廣シ空氣、水、火ハ無限ノ利益ヲ與ヘ、畦鑿ハ泥土ヲナシ、灰酸^{アンモニア}安摩尼ヲ構和

シテ、植物ヲ造ル器械トナル、是皆人人其功用ノ中ニ生育セリ、之ニ亞スル利益ノ物、地中ニ伏藏セル亦夥多シ、此ニ石炭ヲ以テ論緒ヲ始メン、

○今礦物ノ種類中ニ於テ、利益ノ最モ廣大ナルハ、石炭ヲ以テ第一トス、此物ハ地中ニ伏脈極メテ多ク、歐洲ニテモ、大小ノ諸國ニ、些少ナリトモ產出セサル國トテハナシ、荷蘭、噠馬、甚タ些少ナリ、是價賤シキ、焚材ニテ生熟ノ度ハ薪ニ三倍ス、是其功用ハ、寡料ナル火ヲ得テ、國民ノ營業力ヲ増加スルニアリ、貿易シテ利益ヲ求ムル目的ノ品ニアラス、故ニ遠キ運搬ヲ省キ、務メテ内地ニ費用シ、以テ他ノ物品ニ價ヲ増サシムル用ニ供給ス、故ニ其礦山ノ近傍ニ於テ、利用ヲ興スハ、石炭ヲ需用スルノ主眼ナリ、露國內地ノ如キハ、炭脈ヲ廣ク有シタレトモ、實用ニハ英國ヨリ輸入ス、佛國ノ炭脈十分ナラス、佛人ノ營業ハ、石炭ヲ用フルヲ、英ノ夥多シキカ如クナラス、是ミナ其價ヲ實益ニ比シ、利ヲミサルニ因ル、○英國ニ石炭ヲ出スヲ、甚タ夥多シ、一千八百七十一年、歐洲全地ニ石炭ヲ掘出セル全高ハ、一億九千百七十四萬噸ニ及ヒシニ、英國ノ石炭ハ、其内ノ一億千七百萬噸ヲシム、而シテ其一億萬噸ハ、全ク自國ニ焚潰シ、器械紡

織ノ利トナリテ輸出シタリ、之ニ次ク國ハ普魯士ニテ、三千五百萬噸ヲ出セリ、此兩國ノ產ヲ除ケハ、四千萬噸ニスキス、白耳義、佛國ニテ、二千六百萬噸ヲ出シ、日耳曼、奧國ニテ、一千二百萬噸ヲ出ス、其他ハ僅少ノ高ニスキス、故ニ英普及ヒ白國ヨリ、有餘ヲ輸送シテ、之ヲ補足セリ、全歐地ニ消費スル石炭ハ一噸ニ付二弗平均トナシテ、三億八千萬弗ノ火熱ヲ用フ、其水、火ヲ需メテ、工作ヲ盛ンニスルノ實ヲ證スレハ、盛ナリト謂フベシ、○遠海ヲ經テ、石炭ヲ運送スルハ、最己ムヲ得サルニ出ルモノナリ、英國ノ石炭ハ、往往南洋東洋ニ輸送スルヲミル、是ハ蓋シ、瀛船、瀛器等重大ナルモノハ、石炭ノ火力ニ非サレハ、運轉ヲナス能ハス、堅好ノ金石ハ、上好ノ石炭ニ非サレハ、熔煉ヲナス能ハス、軍艦、商船ヲ遠洋ニ航スル、冶金、製鐵ヲ荒域ニ興スカ如キハ、必ス遠路ヲ越エテモ、石炭ヲ需用セサレハ、其業ハ廢スヘシ、故ニ船舶ノ下荷トナシ、遠地ニ積來リ、其地ノ物產ヲ低價ニテ積去レハ、其缺乏ヲ補フノ計算ハ立ツ、畢竟好ンテ爲ス所ニアラサレハ、其數ハ僅少ニスキス、○石炭ニ種種アリ、其質堅緻ニテ光アリ、熱力甚大ナルヲ上好ノ石炭トス、鎔鐵ニハ必ス此品ヲ需用ス、油脂ヲ

含ムコ少ク、火ニ化シテ灰ヲ殘ス少キヲ上品トシ、灰多キヲ劣品トス、油膏多キヲ油煤ト名ク、窖燬ヲ經タルヲ「コーク」ト名ク、其價ハ倍ス、以テ煉金ニ用フ、而シテ其窖燬ノ殘溜物ヨリ、瀝青^{テール}、石炭油、アニリン酸^{染色粉}、礬沙等ヲトリ、其飛去ル炭酸水素氣ハ、發火ノ用ヲナス、所謂ル石炭ガス」是ナリ、歐洲ノ製鐵場ハ「コーク」ヲ用フルコト莫大ナルニヨリ、之ヲ窖燬スル竈ヲ設ケ、而テ殘溜物ヲ收メ、其「ガス」ヲ燒キテ、金鐵ヲ熔燬スルヲ常トス、又石炭ノ一種「リグナイト」トイフハ、未化成ノ質ニテ、中ニ植物土石ヲ混シ、生熱甚タ力ナク、灰ヲ餘ス甚タ多シ、大抵地皮ノ外面ヨリ掘出スモノハ、皆此種ニカ、ハル、埃國瑞典ハ、此炭ヲ出スニスキス、故ニ製鐵ノ業ニ困難ナリ、民間ノ焚材ニハ、別ニ泥炭アリ、歐洲ノ陸地面處處ニ之アリ、

○石炭ニ次テ利益廣ク、且相待テ用ヲナス礦物ハ、鐵鑛ナリ、此物ノ大用ハ、當時歐洲ニ於テ、國ノ開化ヲ證スルニ之ヲ費ス多寡ヲ以テスルニ至ル、一千八百七十一年ニ、全歐地ニ、鐵ヲ產出セル高ハ、一千二百萬噸ニスク、其内英國ニ產出セル高ハ、其半數ニ超過セリ、佛、普二國ハ之ニ次ク、國土ノ割ニハ、白耳義ノ

產鐵ヲ莫大ナリトス、瑞典ノ鐵ハ、白國ノ半ハニスキサレ、良好質ヲ出ス、
匈二國ハ、產出猶少シ、噠馬、荷蘭、及ヒ瑞士ニハ、產出僅少ナレ、外國ヨリ輸入
シ、之ヲ需用スル高ハ高等ニオル、抑百工ノ事ハ、鐵ノ力ニヨルモノナリ、故ニ
曰、工欲善其事、必先利其器、ト、器械ハ鐵ニテ製スルモノ、其大部分ヲ包ミタリ、
昔シ管仲ハ鐵利ニヨリテ、齊ヲ霸タラシメ、輕重篇ニ其緊要ナルヲ論セリ、
史記ノ貨殖傳ニ、鐵冶ヲ以テ富ヲ興セル數氏ヲ記ス、此時ニアタリ、鐵ノ利用
甚タ微ナリシモ、猶且然リ、今歐洲ニ、器械ヲ盛ノニシ、工藝ヲ興シ、舟車運搬シ、
遠洋ヲ渡リ、物品ヲ貿易スルハ、鐵ノ利用、之ヲ媒介セルニアラサルハナシ、此
業ノ首タル國ハ英國ナリ、英國百年前マテハ、年二十萬噸ノ鐵ヲ採用スルニ
過キサリシニ、四十年前ニ至リ、五十萬噸ニ及ヒ、今ハ更ニ之ニ六倍スルニ至
レリ、近年各國、製鐵ヲ競ヒ、產出ノ數ヲ増加スレ、其消費ノ増加モ、亦從テ超
過ス、英國ノ倫敦府ハ、鐵ノ大市場ナリ、三年前マテハ、市場ノ價格一噸ニ付、十
三四弗ニスキサリキ、我一行ノ英國ニアル比ハ、沸騰シテ三十弗ニ至レリ、因
テ各國協議シ、巨大ナル製造ニ鐵ヲ資用スル濫ヲ防カントスルト謂フ、其後

價モ稍減セリ全歐地ノ鐵ヲ噸ニ三十弗ノ價ニテ算スレハ三億六千萬弗ニ及フ盛ナリト謂フベシ○工業起ラサル國ハ外國ニ鐵器械ヲ仰ク工業盛ナル國ハ未製半製ノ鐵ヲ輸入ス必ス之ヲ自國ニトリ自國ニ製シテ自國ニ用フル國ハ甚タ小シ米國ハ英ニ次キテ產鐵ノ國ナリ一千七百七十二年ニ英國ヨリ鐵材ヲ輸入セシ高ハ價二億二千五百萬弗英國へ輸出セル高ハ僅ニ九十五萬弗ニスキス日耳曼ハ歐洲產鐵ノ國ナリ其輸出ノ製未製鐵ハ三十四萬六千噸ニテ輸入ノ高ハ殆ト之ニ三倍ス鐵ハ國民ノ營業力ヲ増加スルモノナリ○國ニ鐵鑛アリテ之ヲ開採セサルハ固リ非ナリ之ヲ外國ヨリ輸入スルヲ憚リテ自國ノ營業力ヲ廢スルモ亦非ナリ

○炭鐵ノ用國民ノ營業ヲ増加セシメテ工業ヲ助クル功ハ甚タ莫大ナリ其内ニ於テ國ノ利益ヲ生スルニ最モ重ナル工業ハ紡織ヲ第一トスルヘシ蓋シ衣服布巾ノ用ハ年々ノ消費、鬻物ニ次クヲ以テナリ紡織ノ品價ヲ論スレハ絹ヲ最上トス需用ノ廣キヲ論スレハ棉ヲ第一トス國ノ利益ハ一品ノ價貴キ品ヨリハ需用ノ廣キ品ニアリ英國人カ多量ノ炭鐵ヲ消費シ國利ヲ興ス

大目的ハ、棉花ノ紡織ヲ首トセリ、次ニ英、佛兩國ノ毛織ヲミルニ、他ノ工品ニ倍加ス、此ニ全歐洲棉花、羊毛、麻、絹ノ紡織ヲ略述セン、○棉花ノ紡織品ハ、其需用ノ廣キ、殆ト全世界ニ遍シ、米人ハ之ヲ耕作シ、英人ハ之ヲ紡織ス、他ノ國國モ棉花ノ耕作ト紡織トヲ競ヘ、米、英ノ利ハ、年年ニ増加ス、英人ハ、米國、及ヒ米洲諸國、兩印度等ヨリ、棉花ヲ輸入スル高ハ、價六億餘萬弗ニ上リ、其内ヨリ紡織シテ、外國ヘ輸出スル價ハ、一千八百七十一年ニ、三億六千四百弗ヲ得タリ、然シテ、歐陸製作貿易ノ盛ナル、佛、日、蘭、白、ミナ棉花ノ紡織ヲ務メサルハナシ、佛國ヘ輸入ノ棉花價八千萬弗ニ下ラス、而シテ又英ヨリ輸入ノ棉布ハ、殆ト百萬弗ニ及ヒ、英ヘ輸入ノ高ハ、其半ニオルノミ、日耳曼ニ於テハ、自國ノ穀物ヲ以テ、英ノ棉絲棉布ニカユルヲ、貿易ノ重ナル品トセリ、自國ノ棉花紡織モ、處處ニ盛ナリ、蘭國ノ木棉モ名産ト稱ス、英ヨリ輸入ノ棉絲ハ、二千二百餘萬弗ニ及フ、白國モ織棉ニ厲ム、亦棉絲ヲ英ヨリ輸入ス、以太利、瑞士ノ棉布ハ別種ノ機軸ヲ出ス、此他ノ各國、ミナ英國ノ棉布棉絲ヲ以テ、内國産ノ不足ヲ補ハサルナシ、半開、未開國ニ於テハ、英國船ノ到ル處、ミナ自國ヨリ製作元品ヲ出

シ英ノ棉絲棉布ヲ得テ、國中ニ衣被セサルハナシ、歐洲中ニ此業ニ劣レル國
 ハ、西、葡、塹、露ノ四國ナリ、露國モ近年國人ノ開明ニ從ヒ、棉花ノ紡織ヲ興シ、塹
 國ハ内亂漸ニ定マリ、此回ノ博覽會ニテ、殊ニ此業ニ注意ヲ加ヘタリ、○棉ニ
 次テ盛ナルハ、羊毛ノ紡織ナリ、其重ナル品ハ、羅紗、絨毯、フランケット等ノ消費、
 最モ廣シ、此毛織ノ盛大ニナリシハ、近三十年來ノトニスキス、其以前マテハ
 羅紗ヲ手織リニシ、中等以上ノ人民ニテ、始メテ肩ニ上ル貴品ナリキ、然ルニ
 英人豪洲、西印度、南亞米利加、及ヒ喜望峯^{ケイプコロニー}屬地等ニ、羊ヲ放牧シ、甚タ繁息セシ
 ヨリ、羊毛ノ價ハ、年ヲ追フテ下落シ、器械紡織ノ方法モ從テ開ケ、因テ下等賤
 民マテ、衣料トスルニ至リシハ、僅ニ二十年ニスキス、當今羊毛紡織ノ盛ナル
 ハ、英佛ノ兩國ヲ魁トス、白耳義ハ、小國ナレモ亦盛ンニテ、年年ニ紡絲ヲ英國
 ヘ輸出ス、獨逸、塹國ノ羅紗モ亦高名ナリ、但シ其内國ノ消費ニ供スル餘ヲ、外
 國ニ輸出スル高ハ、白國三分ノ一ニスキス、○大麻、及ヒ亞麻ノ紡織ハ、棉毛ノ
 盛大ナルカ如クナラス、亞麻布多キニオル、頗ル高價ノ品ニ屬ス、二十年來、此
 業ニ於テハ、各國ミナ著シキ進步ノ證ヲミサルトナリ、英國ハ元品ヲ東印度、

及ヒ露國ヨリ輸入シテ價四千八百七十萬弗ヲ輸出セリ、六大利益ノ一ニオ

ルモノナリ、佛國ハ阿爾及^{アルゼリヤ}ヨリ輸入シ、製造甚タ盛ナリ、日耳曼ノ麻布モ高名

ナリ、其他諸國之ヲ耕種シ、并セテ之ヲ紡織シ、内國用ノ餘ヲ輸出スルハ、雜貨

部分ニ屬スルノミ、露國ヲ首トシ、漢、以、兩國、及ヒ印度ヨリ、未製ノ大麻、亞麻等

ヲ、年年輸入スルノ夥多シキヲミレハ、猶絹布ノ紡織ヨリハ、一層盛大ナルヲ

證スルニ足ル、○絹布ハ、紡織類中ノ最貴品ニテ、其起リ久シケレモ、一八千

年ノ初メマテハ、今ノ如クニハ盛大ナラサリシ、一千八百五十四年ノ頃ヨリ、

蠶病ノ流行ニヨリ、生絲ノ大凶歉ヲ告ケ、價ノ騰貴セルヨリ、段匹ノ量目ヲ減

シ、細絲ヲ排布シテ織ルヲ務メ、僅ニ需用ニ充チタリシニ、支那、日本ノ貿易

開ケ、從テ各國蠶病ノ豫防ヲ發明セルヨリ、近年ニ至リ、漸ク其利ヲ挽回シ、今

ハ歐洲南部ノ各國、盛ニ桑ヲ植エ、養蠶ニ從事シタレハ、價格モ次第ニ平均

スルニ至レリ、絹ヲ費用スル最モ多キ國ハ英ナリ、之ヲ紡織スルハ、佛國第一

ノ工産ニテ、以國ハ之ニ亞ス、一千八百七十一年、佛國ノ絹織ハ、全價六千萬弗

以國ハ三千五百萬弗ニテ、英國ニ輸入ノ高ハ、前年ニ七千五百萬弗、本年ニ

即チ
千八

百七十一年 四千萬弗、英國ハ益自國ノ織房ヲ興シ、生絲及生繭ヲ輸入シ、紡織ニ從事スレト、本國ニ桑蠶ヲ生セス、日、埃、露、モ貴族多キ國ナレハ、需用モ亦盛ナリ、瑞典ノ儉ナルモ、亦養蠶ノ利ヲ興サント苦心ス、西葡ノ蠶絲モ亦名アリ、米國モ年年ニ需用ヲ益ス、各國競フテ養蠶ニ盡力セン、ヲ謀レト、此物ハ歐ノ北部ニ適セス、又熱帶地ニモ適セス、其產出地ハ一定ノ限界アルモノ、如シ、且養蠶ヨリ紡絲ニ至ルマテ、工力ヲ用フル多キ品ナレハ、恐クハ歐洲備給貴キ國ニテハ、即今ノ市價ヨリ下料ナル絲ヲ出スト難カルベシ、

○鐵ニ次テ、利益ノ廣キ礦物ハ銅ナリ、銅ハ鐵ニ比スレハ、重量ノ割ヨリ價貴キホドニ、其產出モ亦少ク、消費モ狹シ、全世界ニ銅ヲ產スル全量二百萬担ニテ、其四分一ハ英國ニ出ツ、露西亞、日耳曼ハ之ニ次ク、埃、佛、瑞、那ハ、各英國ノ十分一ニオ、ル、銅ノ名所ハ、南米ノ智利^{チリ}ヲ首トナス、英ヘ智利、及ヒ豪洲ノ屬地ヨリ、輸入スル銅モ、價二千萬弗ニ下ラス、此物ハ獨用ノ量少シ、白色金ノ和劑ニヨリテ、種種ノ性質、顏色ヲ變化シ、世ニ大用ヲナスモノナリ、亞鉛ヲ和シテ黃銅トナリ、錫「アンチモニー」ヲ加ヘテ白銅トナリ、或ハ黑銅、青銅トナル「ブリダニヤ

メダール「ドイッメダール」等ノ名アリ、酸化シテ綠色粉トナリ、金銀ニ和シテ貨幣ヲ製シ、石ニ熔化シテ、紅色ノ顔料ヲ與フ、其變化ノ多キニヨリ、工家ノ巧ヲ用フルコトモ、種種ニ多ク、其利モ亦廣シ、

白色金ハ、亞鉛ノ產出最モ多ク、其用モ廣シ、鉛ノ產出ハ較少シ、價モ較貴シ、鉛ハ西班牙ニ最モ多ク產出ス、希臘モ鉛利ノ國ナリ、亞鉛ハ日耳曼ノ產出高殊ニ多ケレト、鉛ヲ產スル高ハ、西國ヨリ英ニ輸入スル高ニスキス、亞鉛ハ黃銅ノ和劑トナル外ニ、烈火ニ游離シ、白粉ト化シ、鉛粉ニ代用ス、鉛ハ水中ニ腐壞セサル性アルニヨリ、大用ヲナス、白鉛漆粉ヲ家屋ニ塗ルモ、之カ爲メナリ、鉛利ハ己ニ英國新
城府ノ記ニ出、○錫ハ、出產ノ高少シ、英、佛、日、及ヒ、白耳義等ニ、較多ク出ル、白色金ノ上品ニテ、銅ニ和劑シテ、良質ヲナス、熔解ニ易ク、酸化ニ鈍ク、人ニ毒セサル性分ナレハ、鐵板ニ鍍シテ「ブリツキ」ヲ製シ、酸化白粉トナシテ、光澤ヲアタヘ、色分ヲ發ス、甚タ貴要ノ礦ナリ、○「アンチモニー」ハ、錫ニ次キテ價ヲ有ス、性剛ニシテ脆シ、錫鉛ノ和劑トナシテ、器用ニ適ス、此金ハ、冷固スルキ、少シ膨脹スル奇性アリ、彫刻ノ模型ニ適スレハ、其文鮮明ナルニ妙ナリ、鉛板活字ヲ

製スルニ必需ナリ、「ピスミット」ト名クル金モ、其性功此金ニ類似スルニヨリ
代用ヲナス、

銀、水銀、黄金、白金^{ブラチナ}ヲ貴金ト號ス、歐洲ニ貴金ノ礦乏シ、多ク^〇。曠^〇。荒^〇。ノ^〇。赤野^〇。ヨリ^〇。生^〇。
ス。重量少クシテ價高貴ナレハ、如何ナル深奥ノ山野ニ於テモ、發掘ニ從事ス
ベシ、諺ニ曰ク、南亞米利加ノ民ハ、金ヲ抱キテ飢ニ泣クト、試ミニ見ヨ、金銀ヲ
多ク産スル國ニ、富沃ノ野ハナキモノナリ、○銀ハ露國烏拉山ヨリ生ス、歐洲
第一ナリ、澳國ノ銀ハ之ニ亞ス、瑞典ハ又其次ナリ、他ノ諸國ノ銀礦、ミナ些少
ノ產出ニスキス、米國太平洋海平地ノ山奥ニ、巨大ノ銀礦多シ、^{第一編ニ世界ノ}
銀ハ、其產出ニテ全部分ヲ包メリ、○水銀モ、米國ヲ第一トス、歐洲ニ於テハ西
班牙ヲ第一トス、西ハ開礦ノ術未タ精ナラス、年ニ二萬担ヲ出ス、近來更ニ減
セリ、澳國ニ六千八百担ヲ出ス、之ヲ合セテ米ノ加利福尼亞^{カリホーニヤ}ニ及フヲ能ハス、水
銀ハ、工業上ニ需用多キ品ナリ、支那ニ水銀ノ產地多シ、朱ヲ製シテ消費スル
高莫大ナリ、歐人ハ支那ヲ評シ、水銀氣ノ中ニ呼吸スト謂フト、其全地ニ朱ヲ
用フルノ多キヲ、實ニ世ニ冠タリ、○黄金礦ハ、歐洲ニ大礦ナシ、露國人ハ、黄金

ヲ探ルニ奔赴ス、其屬地細白里^{シベリヤ}ノ山中ニ、巨大ノ礦多ク、又烏拉山ニモ出ル、米
ノ加利福尼、英領ノ豪洲、是ヲ世界ノ三大金礦ト稱ス、次ハ南亞米利加ノ荒野
ナリ、^{黄金}第一編第五卷ニ出^ニ、歐洲ニテ黄金ヲ多ク出ス國ハ、墺地利アルノミ、○
^{ブラチナ}白金ハ露國ノ烏拉山ニ生ス、此金ハ烈火強酸共ニ侵スト能ハス、因テ鍊金化
學ノ技術ニ、無二ノ功用ヲナス、其製作ニ難キヲ以テ、工藝ニ消費少シ、露國ニ
白金ノ貨幣ヲ製シ、黄金ノ次位ニ通用シタレト、今ハ利益ナキヲ以テ廢シタ
リ、○凡ツ金銀ハ、貨幣ニ適用スルヲ以テ、萬國ミナ以テ商業ヲ媒介スルニヨ
リ、物産融通ニ乏シキ國ト、市價低昂ノ際ニ、危險ヲ畏ル、人ハ、ミナ貴重蓄藏
スレト、歐洲全地ノ民ハ、工業競勵ノ中ニ生長シ、耳目心思ノ快美ヲ求ムルヲ
高度ニ位シ、服飾器玩家屋ニ至ルマテ、他ノ國ニテ奢靡豪華トシタルモ、猶尋
常視セルヲ免レス、故ニ銀ヲ費用スルヲハ、白銅ノ如ク、黄金モ寶トシ視ス、珠
玉燦然、錦繡爛然トシテ、市肆ニ充伋シ、堂ノ高サ數十伋、彫題數十尺、戶牖ノ内
ハ、彫績滿眼ニテ、金光目ニ耀ク、貴金ヲ消費スル高ハ、年年ニ莫大ナリ、然レト
其全國ニ利益ヲ與フルヲハ、銅錫類ノ賤金ニハ及フ能ハス、

○夫礦業ヲ語レハ、金銀ニ注目シ、工業ヲ語レハ、精品ニ挂念スルハ、東洋人民ノ慣習ニテ、濟世ノ真理ヲ遺忘シタルナリ、古人モ謂ハスヤ、先王之於民、阜其財求而利其器用ト、工業ノ尙フヘキハ、元來國民ノ生活ヲ便安ニシ、營業力ヲ増サシムルニヨル、曾テ奢靡ノ境界ニワタラスシテ、礦利工藝ノ必用ナル條件ハ、甚タ多シ、世ニ人民必用ノ物ヲ衣食住ノ三トス、姑ク之ニ就テ工業ヲ論列スレハ、衣服ノ用ニ就テ、紡織ノ四大利ハ起レリ、歐洲ニテ中等以下ノ民ハ、商店ニツキテ、仕立衣服ヲ購ヒ用フ、因テ裁縫場ヲ起シ、盛ソニ製シ出ス、己製ノ靴ヲ購ヒ用フ、因テ靴ノ製造場盛ナリ、表靴ウハグツ舞蹈ノ靴アリ、帽ハ男女貴賤、通シテ必需スル品タリ、因テ絨帽ノ製造場アリ、夏ハ艸帽ヲ用フ、麥稈「アンペラ」ヲ晒白シ、組條ヲ編ム、亦一大利ナリ、英國ノ村民モ、此業ニ從事スルモノ六萬人ニ及フ、猶佛國ヨリ輸入スル高百萬磅五百萬弗ノ價ニ及フ、革ノ手袋モ之ニ比ス、紐釦ノ製造ハ、衣服ノ多キニ從フ、第二編第三十卷ヲミヨ是等ハ各國各都ニ徧ク製作スル、夥多シキ工産ノ部分ニオルモノナリ、食飲ノ用ニ就テ、製作ハ、農業上ノ製作物ト號シ、工業ノ部分ニアラス、麥粉、麪包、釀酒、蒸溜製酪、乾肉ラカン及ヒ烟草、沙

糖ノ製造是ナリ、醃菜、蕃果ノ法ニ於テモ、近年ハ大器械ヲ用ヒテ、製造場ヲ興スニ至レリト云、家屋ノ用ニ就テハ、已ニ建築ノ一科學ヲ開キタル大工業ニテ、其一部分ニ管係シテモ、戸牖ヲ製シ、磚瓦、屋瓦ヲ燒キ、花紋紙ヲ印シ、鉛粉^{ベンキ}ヲ調シ、「テール」ヲ煉リ、松脂ヲ製スル等、其工場ハ無數ナリ。○抑衣食住ノ三件、假令ヘ十分ニ満足シタルモ、人民ノ生活ハ決シテ充分ナルモノニアラス。上下ニ通シテ必用ノ品ハ、猶數件アリ、一ヲ房室具トス、寢牀、榻子、卓案、簞笥、柵子、煖^{スト}爐、燭臺、燈籠、置時斗^{ラングロツク}等是ナリ、二ヲ食飲器トス、刀、匕、肉匕、杯、碗、碟、盃、總テ食卓具^{テーブル}臺所用具、水ヲ盛リ、肉ヲ受クル器、鍍錫鐵細工等是ナリ、三ヲ清潔具トス、洗嗽盤、理髮ノ具、粧飾具、髮髻、刷毛等是ナリ、四ヲ文書具トス、第一ニ抄紙ノ用ハ、此部分ノ境界ヲ越エテ、壁宇ヲ飾リ、物品ヲ套皮スル用ニ及フ、其用莫大ナリ、活版、印刷、製本ノ器械、「インキ」石筆、鋼筆、書籍帳簿、及ヒ學校用ノ諸具是ナリ、是ミナ世ノ文明ニ從ヒ、一人一家、盡クナカルベカラサルモノニ非スヤ、此外ニ日用品ノ一件アリ、引火^{マッチ}、蠟燭、石鹼、油、脂、香水ノ類ナリ。○凡ソ上下男女貴賤ニ通シタル、必用品ノ製作ハ、驚クヘキノ巨額ヲ積成スルヲ、英人カ世界棉花製

造ノ利ヲ引受ケ、年年殆ト一億萬磅ノ價ヲ收ムルニテ知ラレタリ、凡ソ必用品ノ製作ハ、各州縣ミナ興サ、ルナシ、是職工ノ數、農民ニ次キテ多キ、所以ニテ、即チ工業ノ主眼モ亦此ニアリ、家家ノ餘暇ニモ、此ニ從事シ、大都府ニテハ、更ニ精良ノ品ヲ出シ、商人モ此ニ繁劇ノ業ヲ生シタリ、必用品ノ消費ハ、甚タ盛ナルモノナルヲ、米國ニテ先年引火籤ニ稅シテ、國度ノ缺乏ヲ補タルニテ證スベシ、歐洲ノ俗ハ、室内ニ盛火器、烟草盆ナシ、人人火ヲ需用スル毎ニ、引火籤ヲ用フ、衣袋中ニ必ス一函ケースノ引火籤ヲイル、猶日本人ノ懷紙ヲ用意スルカ如シ、一函ノ價ハ、米國ニテモ一二「セント」ニスキス、但シ小今之ヲ全國ニ通シ一人一日ニ一函ヲ用フトスレハ、周年ノ價一億萬弗ニ及フベシ、米國ハ此稅ヲ起シテ、四百萬弗ヲ收メ、國價ヲ消シタリト云、佛人曾テ日本蠟ハ佛國ニ需用多ケレト、輸出僅少ナレハ、己ヲ得ス施蠟ロウキ引火籤ニ用フト謂ヒシイモ、亦省顧スヘシ、若シ夫蠟燭ノ需用多キハ、固リ石炭瓦斯ノ發明ニヨリテ、減少ヲ徵セス、石鹼ハ國ノ文明ヲ證スルノ一トモイフ、皆必用品ノ供給ハ世ヲ逐テ増加スルノ明證ナリ、

工業ハ、人民ノ生活ヲ便利ニスルノミナラス、又營業力ヲ增加スルヲ農業匠工ノ器械ニテ察スヘシ、此ハ鐵ノ利用ニ讓リテ、此ニ贅辯ヲナサス、更ニ一大要項ノ國人ノ營業ヲ盛ンニシ、富殖ヲ媒スルモノアリ、即チ運漕ノ一項是ナリ、西洋ノ港灣ニハ、桅檣ノ森林ヲナシ、街路ニハ車輛ヲ以テ、繁花ヲ粧點ス、之ヲ評シテ、西洋人ハ水上ニ別店ヲ有シ、陸路ニ遊亭ヲオクト、謂フヘシ、此舟船、車輛ハ、一モ工業上ノ物産ニアラサルハナシ、造船術ハ、一大學科ヲ開キ、橋梁、ノ架設モ、建築術ノ一大門ニオル、舟船ニ於テ、河舟、漁舟、快船、單桅、雙桅、三桅、漁船、軍艦ノ類ヲ分チ、車輛ニ於テハ、蒸氣軸車、列車、荷車、街車ノ大ヨリ、重車、運荷車、輕車、乗用馬車、農車、手挽車、コモリ兒車ノ小ニ至ル、電信器械、碎石器械、馬具、手提ケ「トロンク」、日本ノ類荷箱ノ類等ノ製作モ、此部ニ屬シテ論スヘシ、行旅ノ往來、荷物ノ運搬、益繁キニ從ヒ、其利益ハ益莫大ナルモノナリ

○工業ノ材料ハ、農牧產物ニ價ヲ生スルヲ、固リ論ヲマタス、并セテ礦業ノ利ヲ廣クスルモノナリ、礦物ノ工藝ニ要需アルモノ、一ニシテ足ラス、又此諸物ヲ化治シテ、一ノ工藝材料ヲ出ス、モノアリ、之ヲ名ケテ化學上ノ製作物トイフ

工事競へハ、此類ニ一大利益ヲ開クヲ、日本人ハ殆ト意想シ能ハサルベシ。○
 墨鉛ハ大熱ニ壞レサルニヨリ、鎔金ノ土壺ヲ製スルニ必需ス。「クルシヴェール」
 是ナリ、又石筆ノ墨ニ用フ、日耳曼、塙國ニ多ク產出ス、冶金ノ工ニハ、砒石ヲ必
 需シ、玻璃ヲ製スルニハ、^{キリスト}砒石ヲ元材トス、「カオリン泥」「ヘルトスバー」^{白泥ニホッ}
^モ和セルニテ、陶器ヲ製ス、硫磺ハ地表ニ多ク發見スルモノニテ、殊ニ以太利國
 ヨリ多ク產ス、此物ノ大用ハ、硫酸、亞硫酸ヲ製スルニヨル、硫酸ノ消費モ、亦國
 ノ文明ヲ證スルヘキ、多量ノ用アルモノニテ、英國ニ費ス高、年年四億磅ニ下
 ラス、佛國之ニ亞ス、日耳曼ニテモ、殆ト二億磅ヲ費ス、全歐ノ總高ヲ、年二十億
 磅トナシ、百磅ノ價四弗ニ平均シテモ、四千萬弗ノ消費ナリ、曹達ノ消費ハ、硫
 酸ノ上ニ出ツ、石鹼ヲ製シ、練布ニ要シ、玻璃ヲ溶シ、并セテ飲料トナル、其用甚
 タ廣シ、結晶焙過、苛性及ヒ硫酸、曹達等ノ種類アリ、昔時ハ海草ヨリ分析セシ
 ニ、今ハ鹽ヨリ分析シ、曹達ト「コロール」トヲ兩収ス、「コロール」(一名ハ鹽氣)ノ性
 ハ、滅臭、滅色ノ妙效アルニヨリ、漂白布ニ必需ス、又鹽酸ヲ製ス、其元品タル鹽
 ハ、日、塙、英、佛ニ岩鹽ノ礦ヲ發見ス、并セテ海鹽ヲ煮ル新法ヲ發明シ、廉價ニテ

得ルニヨリ「コロール」ト曹達トノ價大ニ減シ消費ノ高ハ年ヲ逐テ盛ナリ「コロール」ノ製作并セテ他ノ酸水素分離術ニハ「滿俺」^{マンゼン}ノ礦ヲ必需ス「滿俺」ハ所謂ル礞石ナリ此金ハ多量ノ酸素ト抱合シテ親和力弱キニヨリ過酸化滿俺ノ名アリ之ヲ以テ漂白粉ヲ製シタル餘滓ハ「玻瓈陶器ニ紫茄色ヲ與フル用ヲナス」藍色劑ハ「コバルト」ノ礦アリ「コバルト」ハ畫燒青（所謂ルエスはナリ）薩撒ノ山中ヨリ多ク出ツ布絲染色ノ媒助ニ於テハ「明礬、綠礬」ノ礦アリ「綠礬」ハ又硫酸ヲ製スヘシ若シ夫洋藍、洋紅、茜根類（凡ソ染色料ハ紡織ノ盛ナルニ從ヒ需用甚タ廣ク英、佛、日ミナ其製作ヲ競フ盡ク必用品ノ類ニアラサルハナシ、

○礦業ノ一大項ハ石材ナリ是ハ第一ニ建築術必用ノ品ニテ務メテ之ヲ内國ニトリテ内地ニ用フルニヨリ貿易上ニハ著シキ巨額ヲ生セサレト全歐地ノ表面ニ「家屋、橋梁、船廠、鐵路」トナリテ人民ニ便利ヲアタヘタル石材ハ實ニ莫大ナルモノナリ石ノ種類甚タ夥多シ「花剛石」ノ類ハ建築家ニ需用セラレ「大理石」ハ并セテ彫石家ニ需用セラル凡ソ石ニハ「灰石、泥石、珪石、溶化石」等ノ大別アリ「灰石」トハ「炭酸ト石灰トヲ主トシテ抱合結成セルモノニテ建築

用ニ適ス、泥石ハ、泥土ノ凝固ヲ主トシ開礦ニハ易ケレ、火ニ壞レ易シ、珪石ハ、即チ淨沙ノ凝固ニテ、一旦地中ノ熱ニテ熔化セルハ、質密ニシテ光澤アリ、上等ノ石材ヲナス、○寶石ノ類ニ至テハ礦物中ノ珍異ニテ、之ヲ金礦ノ貴金ニ比スレハ、其價ノ更ニ貴ク、純炭素ハ金剛石ヲナシ、純礬素ハ寶沙ヲナシ、純珪素ハ水精ヲナス、若シ夫レ珊瑚、眞珠、寶貝ノ水中ニ結成シタルカ如キハ、源利中ノ貴品ニ屬スベシ、

○工業ノ產物、人民ノ阜財利用ヲナス、目的ヲ上達スルニ從ヒ、工ノ巧拙ハ、人ノ嗜好ニ深淺ヲ生スルヲ自然ノ理ナリ、サレハ家產高等ニ位セル人ハ、上好品ヲ競求スル度ヲ進メテ、工藝美術ノ學モ從テ進歩ス、是ハ工業ニテ奢靡ヲ勸ムルニアラス、蓋シ人民ノ勉勵ヲ進メテ富耀ノ榮ヲ工産ニ顯シタルナリ、東洋人ヤ、モスレハ、人民必需品ノ工業ヲ豐足ニスルヲ遺漏シ直ニ美術ノ工ヲ以テ、工業ノ目的トナスハ、甚タ本末ヲ失ヘリ、故ニ東洋ニテ名譽ノ工產物ヲ擧ルハ、紡織ニ於テ絹帛、器皿ニ於テ陶、銅、漆ノ美品、其他刺繡彫鏤ノ工ニ富ミタレ、凡ソ一般ニ需用スル工產ハ、ミナ盛ナラス、西洋ハ之ニ

反シ、工業盛大ナレトモ、手技ノ巧妙風致ト其術ノ敏捷警奇ナルヲハ、東洋ニ及
フ能ハス、佛以兩國最モ手技ニ長ス、佛ノ「コフラン織、陶器、以ノ石彫、油畫ハ、歐
洲ニ珍賞セラレタレトモ、國ノ利益トナルモノニアラス、○西洋各國工藝ノ進
ムニ從ヒ、美術ノ學モ亦進メリ、美術トハ、畫、繪、彫、刻ノ術ニテ、油、繪、石、彫ヲ學ヒ、
精神風韻ヲ勉ム、高尚ノ雅藝ニ屬ス、喩ヘハ東洋ニテ、書、畫、篆、刻ヲ紳士間ニ雅
賞スルカ如シ、精神風韻ハ、人ノ才資ニ發スルモノナレハ、每國每人ニ、各其妙
ヲ存ス、他ノ模倣スルヲ得ヘキモノナラス、此ヨリシテ萬般ノ巧技ニモ、其風
ヲ帶フ、是ヲ名ケ其國ノ工藝トイフ、佛ノ奇警、以ノ穩當、日ノ縹緲、英ノ重厚ナ
ト、各長スル所アリテ、名譽ヲ有シ、世ニ賞美セラル、是一國ノ工藝、長ク利益ヲ
保存スル所以ナリ、故ニ美術ハ、直接ニ國利トハナラサレトモ、間接ニ國利ヲ
基ヒスルモノナリ、歐洲各國、ミナ自國ノ工藝ヲ進メ、自國ノ機軸ヲ出シ、聲價
ヲ世界ニ競フ、日本ヨリ之ヲミレハ、盡ク同一ナルカ如クナレトモ、實ハ各殊ナ
ルヲ、猶政治風化ノ相似テ、實ハ各殊ナルニ同シ、近年露國ノ工技進ミ、其製作
ハ歐洲ヲス細ナラス、一ノ機軸ヲ發見シ、世ニ重セラル、勸工ニ注意スルモノ

此ニ熟察セサルヘカラス、之ヲ要スルニ、西洋ハ自ラ西洋一般ノ氣習アリ、東洋ヨリミレハ、盡ク同範圍ニスキス、近年ニ至リ各國ノ工藝殆ト極點ニ達シ、出產濫多ニテ、人人自ラ厭弄ノ意ヲ生シ、新奇ナル物ニ嗜好ヲ生セルニヨリ、東洋ノ美術品ハ、甚タ聲價ヲ得タリ、東洋ノ工産、西洋ニ利益ヲ生スルノ主要モ蓋シ此ニアリ、然則其利益ノ廣マルハ、東洋固有ノ美術ニヨリテ、必用品ニ嗜好ヲ生スル時ニアルヘシ

○凡ソ世界ノ通情タル利益ノ競争、常ニ需用ノ多キニ生ス、人○工○ニ成リタル物品ハ、人○力○ニテ摸シ得ルヘシ、故ニ今日此工ニテ利ヲ得レハ、明日ハ其工ニテ利ヲ競フモノアルヲ必然ナリ、是ヲ以テ、人○工○産物ノ利ヲ保護スルハ、天然産物ノ利ヲ保護スルヨリモ、更ニ愼密ナラサルベカラス、西洋ニ於テ、工商ノ二業ハ、別段ノ法則ヲ以テ、別段ノ政治ヲウケシム、是村民ト、市民ト、常ニ分別セラレタル所以ンナリ、○工商ハ、必ス都邑ニ集マル、村落ニ散處スルモノニアラス、西洋各都邑ノ實際ヲ察スルニ、工ヲ主トシテ成タル所アリ、商ヲ主トシテ成タル所アリ、或ハ工商並ニ昌フ所アリ、故ニ其都邑ノ實況ニヨリ、工商會

議所ヲ設ク、或ハ偏設シ、或ハ合設シ、或ハ雙設ス、都邑中ニ此業ヲナシ、及ヒ此業ニ練達セシ、著ルキ人物ヨリ、民選ニテ議員ヲ出シ、常ニ其利益保護ノヲ商議セシメ、工商事務省、及ヒ裁判所ハ、之ヲ耳目トナシテ、政法ヲ施設スルヲ、通法トスルナリ、○工業ニテ利益ヲ謀ル民ニ二種アリ、工作ヲ發起シ、需用ノ品ヲ供シ、製作ヲナサシメテ、之ヲ賣捌クモノヲ起作人トイフ、其需用品ヲ受ケ、製作ニ從事シ、其賃銀ヲ受取ルモノヲ職工トイフ、工業ハ必ス此兩種ノ人相會シテ、後ニ起ルモノナリ、自家ニテ内職ノ工ヲナシ、自家ノ商店ニテ、直ニ賣捌キヲナスノ外ハ、内職ノ工モ、亦職工ノ部分タルヲ免レス、師匠ツキノ弟子ニ至リテハ、師匠ハ起作者ニテ、弟子ハ職工ナリ、勸工ノ主意ヲ達スルニハ、先ツ此二種ノ人、互ニ契約ヲナシ、義務ヲ盡シ、相親和シ、利益ヲ失フコトナキ様ニ、慎重ニ保護ヲナスヲ眼目トス、此ニ其保護ノ要ヲイハシ、工作場ノ起作者トナルニハ、先ツ己ノ財貨ヲ擲チ、工場器械、需用元品ヲ買入レサルベカラズ、其品ヲ運用シテ、工産ニ化シ、目的ノ利益ヲウルニハ、全ク職工ノ勞動ニ依頼スルナリ、農業ノ如ク、天然力ヲ媒助スルマテノ勞動ニ異ナリ、若シ需用品ヲ備ヘタル後ニ、職工ノ異變、

アルキハ全ク不用ノ廢物トナルニヨリ乍チ破産スベシ、喩ヘハ十馬力ノ蒸
 氣器械ト織機紡錘ヲ備ヘ、厩舎ヘ居エ付タル後職工ヲ得サルカ、或ハ職工ヨ
 リ過分ノ賃銀ヲ要求セラル、キハ其器械ハ變シテ自家ヲ破産セシメル具
 トナル、又器械ニ應シ製作ノ元品ヲ得サレハ器械ヲ運動シ職人ニ勞動ヲ與
 フルニ由ナクシテ亦破産スヘシ、此兩ノ懸念ヲ免レテ後ニ製作品ノ賣捌キ
 ニ力ヲ盡シ初メテ工業ノ利益ハ生スヘシ、工業會議所ノ設ケハ常ニ此ヲ慎
 密ニ議商シ法ヲ以テ保護スルニヨリ、工作場ヨク年年ニ盛ナルヲ致ス所以
 ナリ、○職工ニテ起作者ヲ兼ルハ到底得ヘカラス、必ス起作者ヨリ勞動ヲ
 與ヘラレ相當ノ賃錢ヲ受取ンヲ望ムモノナリ、故ニ起作者ト職工トハ常
 ニ相親和スヘキ情ヲ有ス、然ルニ親和ノ敗レルハ必ス他ニアラス、勞動ノ價
 ヲ爭フニヨル工業ヲ保護スル眼目ハ最モ此ニアリ、西洋ニテハ職人ノ勞動
 時間ト傭給ノ増減トニハ嚴密ナル規則アリ、起作者モ自由ニ定ムルヲ得
 ス、吾英國倫敦ニアリシキ、瓦斯會社ノ職工、ミナ其増給ノ議ヲ起シテ社員ニ
 逼リ議論沸騰シ、其勞動ヲ止メ、一夕滿街ノ瓦斯燈忽然トシテ消ヘシヲアリ、如

此キ論起リ鎮定セサレハ終ニ工業裁判所ニ訴出ツ工業裁判所ハ別段ニ設ケル至重ノ裁判所ニテ瓦斯職工ノ増給ニツキ炭礦ノ職夫冶鐵場ノ職人等スベテ石炭ニ係累スル職人ノ給金ヲ檢査シ其増サハルヘカラサルヲ看認スルニアラサレハ容易ニ判決ヲ下サハルトナリ工業ノ慎マサルヘカラサル此ニテ察スルニ足ル○起作者ト職工トヨク親和ヲ保テル積成ハ一ノ美風ヲ生ス西洋ニテ工作場ノ起作者ハ其職人ヲ改良シ保護救恤スルヲ以テ榮譽トナス是ナリ何ノ國ニテモ職人ノ景況ハ同一ナルモノニテ多クハ愚昧朴魯只其一技一術ニ全身ノ心力ヲ用フマテニテ日日勞動ノ傭給ハ直ニ飲食ニ擲チ淫慾ニ費シ殖財ノ念ヲ賭博ニ注キ終年ノ勞動ハ反テ身心ヲ腐敗スル資トナリ一旦衰老疾病シ勞動ヲ得サルヒハ其振救ヲ傭主知音ニ勸索^{ダル}ヲ公然タル權利ト思フニ至ルハ職工ノ常態ナリ故ニ起作者ハ豫メ之ヲ保護救恤スル法ヲ思考シ政府モ從テ勸奨シ保護シ其目的ヲ達セシム起作者ノ職人ヲ保護救恤スルノ要ハ其職人ノ身體ヲ壯健ニシ^{無理非道ニ苦教役セサルヲ云}育ヲ廣メ品行ヲ良ニシ之ヲシテ節儉ノ意思ヲ暢達セシメル等ニアリ仲間

會社「コルポレーション」第二編第三十卷ヲ見合セ、工作場學校、第二篇第三十五職工市街、第三篇第四貯金預リ所、共救會社、惠恤場、養老金預リ所等、次第ニ起ルヲ、工業ノ盛ナルニ從フ、或ハ消費品ノ會社ヲ設ケテ、製作ノ元品消費品ヲ、一處ニ仕入レオキ、其社中ノ工人ニ賣渡シ、低價ニテ善良ナル品ヲ得ヘカラス、或ハ製出會社ヲ設ケ、職人相集リ、自己ノ勞動ニテ生スル利益ヲ合一シテ、相共ニ起作者タルヲ得ルアリ、或ハ融通會社ヲ設ケ、小商小工ニ資本金ヲ貸渡ス等、種種ノ便益ナル會社ヲ生セルモ、畢竟工事ノ進ミテ職人ノ改良ヨリ生シタル實果ナリト謂ヘシ、

○工業ハ、熟練ト發明トニテ進ム、熟練ハ利益ヲウケタル實効トイフヘシ、發明ハ之ニ反シ、利益ヲウクル基礎ナリ、發明ヲナスニハ、必ス多少ノ費用ト勞動トヲ消耗セサレハ得ヘカラス、故ニ其費用勞動ニ報フ、實利ヲ得サセ、勉勵ノ氣力ヲ衰頽セシメサルニ、方法ナカルヘカラス、是西洋ニ專買免許ノ起ル原由ナリ。專買免許ハ、所謂「パテント」是ナリ、此免許ヲ與フルモノニ、發明者、檢出者、改良者ヲ分ツ、世ニ是マデアラサル物ヲ製出セルヲ發明トイフ、世ニア

リシモ、未タ人ノ心付カサリシ物ヲ見出シタルヲ、檢出トイフ、世ニ行ハレタルモノヘ、更ニ品性ヲ美ニシ、工費ヲ減シ、製出ヲ多クシタル等ヲ、改良トイフ、免許ニツキテハ、發明ト檢出トニ差別ヲ要セス、改良ニハ、最初ノ專買者ト、相抵觸セサル様ニ、附加ノ免許ヲナスナリ、○專買免許ヲ與フルニハ、本人ヨリ其發明、若クハ檢出ノ實ヲ自陳シ、免許ヲ請求スレハ、官ニテハ、其文面物品ニツキ、己ニ他ニアタヘタル、免許ニ、抵觸サヘナケレハ、乃チ其專買年期ト、稅額トヲ定メ、果シテ發明檢出ナルト、否トヲ檢査セスニ、直ニ免許狀ヲアタフ、後日ニ若シ其物ハ、己ニ世ニ知レタル實賣アレハ、本人ノ請告ニ、未タ他ニハ知レストイヒシヲ、全ク虛妄ニ屬スルユヘ、其免許狀モ亦無效ノモノトナルナリ、故ニ此願ハ、固リ誣告スルヲ得ス、又願出ル前ニ、一品モ他ニ賣與ヘ、利益ヲウケタルキハ、皆免許ヲウケテモ、無效ニ歸スルヲ通法トス、世界ノ廣キ物品ノ夥多シキ、官ニテ一一ニ其眞偽ヲ檢査シタル上ニテ、免許スルニハアラサルナリ、

○歐洲ノ土地ハ十分ナル農野ニアラス、其人民モ亦機敏ノ工ニアラサルナリ、歐洲人ハ、日本人ニ接スル毎ニ其伶俐ヲ稱シ、機敏ニ驚カサルナシ、日本人ハ拙惡ノ器械ニテ、歐洲ノ工産ヲ學フ、歐人ハ之ヲ見テ、模擬ノ精神非常ナルヲ嘆稱セシ、^{レバ}ハ數^{シバ}キケリ、故ニ一人上ニテ論スレハ、歐人ハ、日本人ニ及ハサルヲ遠シ、然ルニ能工藝ノ淵藪トナリ、富殖ノ實益ヲ得シハ何ソヤ、彼ハ其資性ノ機巧ニ於テ、恃ム所ニアラサルヲ猶其地力ノ瘠惡ニテ恃ムニ足ラサルト同シ、故ニ能講究シ、能刻苦シ、能^ク協和シ、人事ヲ盡シ、天ニ勝ツノ道ヲ求ム、是ニ於テ講究力ハ學術ノ進歩トナリ、刻苦力ハ器械ノ發明トナリ、協和力ハ貿易ノ隆昌トナリ、之ヲ積テ今日ノ文華ヲ致セルナリ、歐洲ノ實際ヲ熟覽スルニ、東洋ノ人ハ其天ヲ恃ム、農工ノ業ハ、之ヲ「プラチカル」ニ得タルナリ、西洋ノ人ハ、其人ヲ盡ス、農工ノ業ハ「タオリック」ヲ賴ミ、其術技ハ器械ニ恃ムヲ免レス、是其工事モ亦深ク畏ルニ足ラス、只其最モ畏ルヘキハ、其協同力ヨリ生シテ、

貿易上ニ注意ノ縝密ナル能國產ヲシテ十分ノ價ヲ失ハシメサルニアリ、夫
 商業ハ猶軍旅ノ如シ、天モ恃ムニ足ラス、惟人和ヲ是主トス、歐洲ノ最モ世ニ
 模範トナルハ、商業ヨリ最ナルハナシ、

○商業ハ、歐洲ノ經濟家ニテ、物產變位ノ職ト謂フ、此一語己ニ東洋人ノ意想ヲ
 警破スルニ足ルヘシ、何ヲカ變位トイフ、物產ヲ供給ノ地ヨリ運移シ、需用ノ
 地ヘ輸送スルナリ、即チ價少キ位地ヨリ、價多キ位地ニ變スルナリ、物產ハ位
 地ヲ變セサレハ價ヲ産セス、此目的ヲ仕遂ルニハ、水陸運漕ノ便利ヲ基本ト
 ス、河渠道路ヲ修メ、舟車ノ製作ヲ利スルハ、其基本ヲ厚クスル所タリ、歐洲各
 國、車路、運河、鐵道、及ヒ船廠ヲ修メ、大小ノ船舶ハ、河海ヲ走り、輕重ノ車輛ハ、陸
 地ヲ驅シ、牧馬盛ナレハ、人ハ荷擔ノ勞ヲ價アル職業ニ用フヘシ、修路美ナレ
 ハ、物ハ澀滯ノ隙ヲ爲アル時間ニ加フヘシ、歐洲各國土木ノ功ト、鐵冶ノ業ト、
 ハ前卷ニテ略述シタリ、之ヲミテ貿易ノ基ヲ厚隆ニセル實ヲ察スルニ足ラ
 ン、然レモ道路ト舟車トハ、猶死物ノミ、抑之ヲ運用スル機括ニ至テハ、言ヒ易
 カラス、孟子曰ク、天時不如地利、地利不如人和、ト、夫商事ハ、太平ノ戰爭ニテ、亦

天時モ恃ニ足ラス、地利モ頼ムニ足ラス、惟人ノ心協和力ニアリ。此ニ因テ荒
寒ノ鄉モ、饒薄ノ野モ、富庶繁榮ヲ致スヘシ。歐洲列國ノ商ニ於ル、互ニ長短ア
レモ、之ヲ概言スレハ、國中ノ人民、ミナ一意ニ貿易ノ隆盛ヲ期望スルヲ、東洋
人ノ豐年ヲ望ムニ同シ。我使節ノ歷聘モ、亦他事ニアラス、兩國ノ交際益親睦
ニテ、貿易ヲ益隆盛ナランヲ願フニ出ルノミ、故ニ帝王后妃ニ謁見スルモ、
外務衙門ニ應接スルモ、其演スル辭令ハ、此二語ニアリ。各都府ヲ回ルニ、商工
ノ會社、爭フテ相迎ヘ、盛饌嘉饗シテ相待ツ、其演スル款話モ亦此二語ニアリ。
市廳、商會ヘ羣民集會中ニ延カレ、衆ニ對シ演說ヲナス。毎ニ兩國親睦シ、貿易
隆盛ト言フニ至レハ、盡ク帽ヲ執リ足ヲ鳴シテ、祝聲堂ニ湧ク。歐洲ノ人民、商
業ヲ貴重スルヲ、染テ一般ノ肺腑ニアリ。東洋ト意像格別ナルヲ、此ニテ觀察
スルニ足ヘシ。夫普天ノ下、誰カ富ヲ欲セサラン、然レモ意思ヲ起ス、原點ニ異
アリ。富ヲ求ムル目的、自家ノ生活ヲ全クスルニアルト、快美ノ生活ヲ極ムル
ニアルト、一般ノ風俗上ニ、大ナル懸殊ヲナス。東洋ハ生活ヲ全クスルノ目的
ニアリ、所謂ル養生喪死而無憾ニ始マリ、老者食肉衣帛、黎民不飢不寒ニ終ル

之ヲ政治經濟ノ要トシ、二千年來改ラス、西洋ハ然ラス、財産ヲ富饒ニシ、務メテ快樂ノ生活ヲナスヲ目的トナス、故ニ衆民ノ營業ハ、千殊萬別ナルモ、其注意ハ、盡ク物貨ノ沽價ヲ照顧シ、商業ノ盛衰ニ、影響ノ感觸ヲ具スルニヨリ、竟ニ富殖ニ漸致セルナリ、故ニ東洋ノ民ハ、其自活ノ願ヒ、溢レテ富ヲ致スモノアルモ、其富ヲ用フルニ所ナケレハ、守金奴トナリ、惰怠ヲ計ルニアラサレハ、眼前ノ濫費ニ拋棄スルノミ、西洋ノ民ハ然ラス、最初營求ヲ起ス、快美ヲ希フヨリ出ツ、故ニ食前方丈、錦繡燦然、屋ハ層閣ヲ起シ、器ハ珠玉ヲ鏤メ、以テ其榮ヲ一世ニ誇耀シ、子孫ニ傳フルマテ、盡ク原頭ヨリノ目的中ニアリ、如此ク東洋西洋ノ人民營生ニ於ケル、原意先ツ目的ヲ異ニシ、風尚ノ懸殊ナル、貿易上ニ大ナル影響ヲ生セリ、最モ熟察セサルベカラサルナリ、

○商業ノ利益ハ、二箇ノ價ヨリ生ス、運送ノ價ト、媒介ノ價ト是ナリ、此ニ之ヲ論セシ、夫人民ノ職業ハ、千殊萬別ニテ、或ハ天產ヲ化形シ、或ハ工產ヲ變形ス、其勉勵ノ工力ヲ積ミ、以テ富ヲ生ス、其目的ハ、之ヲ需用ノ人ニ供給シ、至當ノ價ヲ得ント欲スルノミ、固リ自家生活ノ用ヲ足ラスノミニ止ルモノニアラス、

然則必ス其所生ノ地ヨリ運送シ、他ノ需用ノ地ニ供給ス、是ヲ變位ノ本領ト
ス、陸ニ車馬、水ニ舟船ヲ具シ、荷作セシ貨ヲ、道路傳ヘニ、貿易ノ市場ニ達シ
テ、夫ヲ需用ノ人ニ賣渡スマテハ、運送ノ業ニ依頼ス、故ニ供給者ハ、日ノ力ヲ
盡シテ、只物産ノ製作ニ從事スヘシ、然ルニ其運送ノ際モ、必ス供給者ヨリ
宰領シテ、需用ノ人ヘ賣渡スヲマテ一二ニ配慮スレハ、製作ノ職業ハ廢スベ
シ、是ヲ以テ商業ハ其際ニ生シ、貨主ヨリ供給ノ物ヲ受取リテ、之ヲ其需用ノ
地マテ運送スル媒介ヲナス、又其運送シ來ル物ヲ受取リテ、其市價ニヨリテ
需用ノ人ニ賣渡シ、其價ヲ貨主ノ供給地ヘ送ルヲ媒介ス、商業ノコト多端ナ
リト雖モ、此二種ニ包マサルハナシ、○運送ノ業ハ、商業ノ一大項ナリ、是ニ海
路ト陸路トノ二ヲ分ツ、此差別ヲ生スルハ、海ハ天下ノ公有ニテ、陸ハ各國ノ
私有ナルニヨリ、貿易モ較其趣キヲ異ニスレハナリ、歐洲ハ、商事ノ運用ニ別
段ノ法ヲ定ム、其由來遠シト雖モ、一千七百年代ノ季、佛國路易第十四世、商律
ヲ條理セルキ、陸路ノ商律先ツ定マリ、海路ノ商律ハ後ニ定マリタリト、爾後
拿破侖第一世ノキ更ニ其法ヲ改修シ、今日本ニモ譯セル、拿破侖コード中ノ

商律是ナリ、他ノ諸國ニハ、如此ク修訂セル成冊ハナケレト、其大體ハカハル
 ナシ、故ニ佛國ノ商法ヲシレハ、歐洲ノ商法モ類推スヘシト云、○陸路海路
 ノ貿易ハ、其國ノ位置ト、人民ノ習性ニヨリ、其主トスル所ヲ異ニス、佛國ノ利
 益ハ、陸路ヲ主トシテ、海路ニ及ヒタルナリ、英國ハ之ニ反シ、海路ヲ主トシテ、
 陸路ニ及ヒタルナリ、白、日、墺、以ハ佛國ニ類シ、蘭、暹、瑞、及ヒ西、葡諸國ハ、英國ニ
 類ス、露國ハ海上ニテ、歐國ニ交通シ、陸路ニテ、亞細亞ニ關市ス、故ニ世界貿易
 ニ於テ、關係最大ナルハ英、佛、蘭ノ三國ナリ、歐洲交易ニ於テハ、白國小ナリト
 雖モ、日、耳、曼ト共ニ大ナル關係ヲ有セリ、

○東洋ニ於テハ、土地ノ豐美ニ依頼シ、商業未作ヲ抑ヘルヲ務メトシタレト、
 元來勸農ノ主意ニ於テモ、商業ハ甚タ切要ナリ、昔在夏禹カ水土ヲ平クル、后
 稷ト共ニ鮮食ヲ懋遷シ、有無ヲ化居セシヲ載セテ虞夏書ニアル如ク、貿易ノ
 利ハ、農祖タル神農、后稷、ミナ先ツ注意ヲナシタリ、是實際ノ識見ニ出ツ、今歐
 洲各國、貿易ノ盛大ナルモ、其要ハ鮮食懋遷、有無化居ノ二語ニス、及貿易品
 ニニアリ、元品ト製造品ト是ナリ、元品トハ、國民營業ノ元品ニテ、之ヲ食用品、

製作元品ノニ分ツ、食品ハ國民ノ營業力ヲ生スル元品ニテ、製作元品ハ、其營業力ヲ用フル原質ナリ、歐洲ノ土地ハ、其元品ニ不十分ナレハ、片時モ貿易ト化居トニ、注意ヲ怠ルヘカラス、常ニ不足ヲ外國ニ需用スルニヨリ、貿易盛大ヲ致シ、其限界ハ、國民ノ需用ヲ足ラスニ止ラスシテ、元品ヲ輸入シテ、半製元品トナシ、之ヲ輸出シテ半製元品ヲ輸入シ、之ヲ製造品トナシテ、更ニ輸出シ、海陸ノ市場、年年ニ増昌ヲ漸致セリ、○佛、白及、ヒ蘭ニ於テハ、國ノ輸出品ヲ普通貿易ト、別段貿易ノ二類ニ分ツ、總テ商品ノ輸出入ヲ普通貿易トナシ、內國ノ需用品輸入及ヒ國產ノ輸出ヲ別段貿易ト稱ス

佛國普通貿易ノ總計ハ、平均一年七十五億フランク、內三十五億ハ輸入ニテ、四十億ハ輸出ナリ、別段貿易ハ、六十三億フランクナリ、內三十四億ハ輸入ニテ、二十九億ハ輸出ナリ

白耳義ノ普通貿易ハ、二十五億フランク、內過半ハ輸出ナリ、別段貿易ハ十四億フランク、同上ナリ

荷蘭ノ普通貿易ハ、十三億八千八百萬ギULDEN、內七億四千五百萬ハ輸入ニテ、六億四千三百萬ハ輸出ナリ、國內消費ノ爲メ輸入ハ、五億四千八百萬ギULDENナリ、

各國輸出入品多シト雖モ其大半ハ全ク其國ノ需用ヲ輸入シ國產トナシテ
 輸出スルニアルコト此ニテ察スベシ○歐洲ノ通法ニ海陸ノ口ニハ税關ヲ設
 ケ舟車輸出入ノ物品ヲ檢査シ輸入品ニハ其原價ニ從ヒ税ヲ課ス之ヲ關稅
 トイフ以テ大政府ノ費用ヲ足ラシ輸入ヲ防キ且自國ノ製作勉勵ヲ保護ス
 ル所ナリ故ニ製作品奢靡品ニハ税重ク必需ノ元品ニハ税輕ク或ハ免税ニ
 至ル其乗除ハ國益ノ權衡ニヨリ異アリ輸出品ニハ關稅ナシ但其製造及ヒ
 仕出シニツキテ課税アリ所謂ル商工税物產税ノ類是ナリ○物貨ノ輸出入
 ハ國民營業力ノ徵ヲ此ニ著スモノニシテ關稅官ノ報告ニテ全國貿易ノ多
 寡ヲシリコンメルス商長ノ報告ニテ各都邑貿易ノ多寡ヲシル此報告ハ運送會社ノ送
 狀ニヨリ密知ス各都邑ニテ其地ノ生理ヲ商量スルニモ切要ナル報告ナリ
 貿易ノ理タル物產ノ融通年年ニ數ヲマシ人民富ニ興ルヲ眼目トス輸入ノ
 多キトテ憂戚トスルニ足ラス又輸出ノ多キトテ美事トモセス大抵輸出入
 ノ畧平均スルヲ常トナス輸入ノ數常ニ多キヲ貨幣ノ出ル交易ト謂ヒ之ニ
 反スルヲ貨幣ノ入ル交易ト謂フ英國ハ年年食用品ト未製元品トヲ海外ヨ

リ輸入シタルヲ國民ノ營業力ヲ加ヘ、製作品トナシ、其利益ヲ合セテ、再ヒ元品ヲ買込ムユヘ、出貨ノ貿易ヲ以テ國利トナセリ、蘭、白、兩國モ亦然リ、塙國ノ土國ニ貿易スルモ亦出貨ナリ、土國ヨリ輸入ノ高常ニ多ケレト、其物ヲ製造シテ、再ヒ輸出ス、是土國ハ常ニ自國ノ天利ヲ塙ニ與ヘ、塙民ノ營業ヲ買入ルナリ、蘭、白ヘ輸入ノ穀物、再ヒ粉類、酒類及ヒ肉酪トナリテ、輸出スルモ、亦然リ、佛國ハ之ニ反シ、入貨貿易ノ國ナリ、蓋佛國ハ食用品製作元品ヲ輸入スル高ノ大ナルヲハ、英國ニ亞シ、殊ニ營業力ヲ輸出スル盛ナル國ナレト、其國ノ地位、歐洲ノ中心ニテ、製作品ノ市場、流行ノ根本地ナレハ、普通貿易ノ高ニ於テ、別段貿易ノ高ハ、常ニ少キカ如ク、商品ノ輸入セル物ハ、再ヒ利益ヲ増加シテ、輸出スルニヨリ、入貨ノ貿易ヲ國利トスルナリ、○獨、塙、以、葡ノ諸國ハ、大抵輸入出租平均スルヲ多シ、其主意ハ、天產ノ入ヲ増シ、工產ノ入ヲ減少スルニアリ、露國ハ天產ヲ輸出スル國ニテ、近年内地ノ工藝ヲ起シ、入貨貿易ノ勢ニ至レリ、○出○貨○入○貨○共○ニ○其○差○ノ○太○過○ナ○ル○ハ○皆○不○十○分○ナ○ル○貿○易○ナ○リ○羅○馬○尼○ハ○土○國○西○部○ノ○貯○穀○場○ニ○テ○年○年○輸○出○ノ○高○ハ○輸○入○ヨ○リ○三○分○ノ○一○多○シ○埃○及○ハ○外○國○ノ○商

品ヲ以テ、英佛土境ニ貿易ス、輸入ハ輸出ノ半數ニ及ハス、之ニ反シテ、西班牙、土耳其ハ、年年輸入ノ高ハ、輸出ヨリ三分ノ一多シ、

○貿易ノ多寡利損ノ計算ハ、毎社ハ、社中ニテ常ニ注意スル如ク、一都ハ一都ニテ計リ、一國ハ一國ニテ計ル、是ヲ「スタテスチック」ト謂フ、其要ハ重ナル部分ヨリ注意ヲ生シ、全局面ニ、増アリ減ナケレハ、小少ノ變化損益ハ、固リ問フニ足ラス、所謂ル重ナル利益トハ、其部其國ニテ、人民最モ多數ニ、力作營業スル、物品ノ融通ヲ謂フナリ、英國ノ民ハ、内國ノ炭鐵ニヨリ、棉、毛、麻、ヲ紡織ス、佛國ハ、毛ト絹トヲ織リ、葡萄酒ヲ釀ス、蘭ノ牧畜、露ノ農業、以ノ養蠶、西葡ノ葡萄酒等ハ、其最モ重ナル國產ナリ、之ヲ日本ニテ謂ヘハ、稻、米、菽、麥ハ、全國ノ重ナル物產ニテ、絹茶ハ、輸出ノ重ナル物產ナリ、故ニ稻、米、菽、麥ノ利益ニツキテハ、全國民ノ喜戚貧富ニ關係スレヒ、絹茶ノ利益ハ、只一部分ニ止ル、是ニテ日本國民ハ、未タ外國貿易ニ注意ヲ生セサルヲモ、徴トスルニ足ルナリ、○輸出入ノ景況ハ、全國ノ利益ヲ察スヘキ明證ナレハ、其物ノ全國民ニ關係スル如何ヲ、猛省セサルヘカラス、歐洲ニテ、商品ヲ三類ニ分ツ、未製品、半製品、製作品、是ナリ、

凡ソ物ハ、必ス人ノ製作ヲ經テ、益其價ヲ増ス、穀物ノ如キハ、必モ製作ヲ要セ
サルモ、亦日耳曼ノ麥ハ、噠馬ノ花粉トナリ、露米兩國ノ麥ハ、英國ノ「ビール」ト
ナリテ價ヲ生スレハ、スヘテ天然ノ產物ハ、之ヲ未製品ト名ツクベシ、棉毛ヲ
紡シテ絲トナシ、鐵ヲ展ヘテ線條トナシタルハ、半製品ナリ、此三類ノ物品ハ、
國ノ位置ニヨリテ、多寡ヲ同クセス、自國ニ過多ナルハ、未製ニテモ輸出シ、不
足ナルハ、製作品ト雖モ、輸入スルヲ妨ケス、畢竟國民ノ營業力如何ンヲ考量
セソヲ要ス、營業勉勵ノ餘ニテ富ヲ積成シタル人民多ケレハ、他ヨリ高價ノ
製作品ヲ輸入シ、快美ノ生活ヲ満足スルニ至ル、英國ヨリ佛國ヘ輸送スル製
作品ハ、常ニ輸歸スル高ノ三分一ニスキス、是英人生活ノ度、高等ニ達セル證
ナリ、噠馬ノ如キハ、人民勤儉ニテ、全國皆勉勵シ、常ニ內國產ヲ製作シテ輸送
シ、其輸入スル品ハ、國民ノ勉勵ヲ助クルモノナラサルハナシ、是國民ノ營業
ノ度、高等ニオルモノナリ、○商業出貨入貨ノ主義ハ、國ニヨリテ異ナレトモ、更
ニ推究スレハ、未製、半製品ニハ、常ニ出貨ヲ主トシ、製作品ニハ、入貨ヲ主トス、
佛ノ入貨商法モ、亞弗利加、東南洋、兩印度ノ交易ハ、常ニ出貨ナリ、凡海上交易

ヲ廣クシ、屬地ヲ所有スル國ニハ「メルカンマイル、シースティム」ノ主義ヲ以
 テ、務メテ輸入高ヲ多クスル法ヲ設ル、此法ハ非道ニモ、其屬地ノ天產ヲ專買
 シ、工商ヲ抑制シ、自國ノ商人ヘ、必ス輸送シタル物價ニ相當スル高ノ物品ヲ、
 其地ヨリ獲テ輸歸セシムル嚴法ナリ、荷蘭人カ、瓜哇土人ヲ奴役シ、咖啡、烟草、
 蔗糖、草藍ヲ強作サセ、盡ク之ヲ奄特坦^{アムステルダム}商會ニテ包攬シ、本國ニ持歸ルカ如シ、
 英ノ印度ニ於ル、佛ノ安南ニ於ル、其外府トナシタル屬地ニ於テハ、貿易ノ實
 情ハ、此ニ類ス、近頃公論ノ進ミニヨリ、此等ノ惡習モ制止セラレ、從フテ屬地
 モ、有費無利ニ歸スル所多シトナリ、然シ自主ノ國ニテモ、貿易不規則ニテ、輸
 出ノ際、相當ノ價位ヲ失フ^{キハ}、自己ヨリ「メルカンマイル、シースティム」ノ法
 ニ入ルト同シ、如此クナレハ、輸出ノ多キモ、其國利ヲ失フ、實價ノ損ハ愈大ナ
 リ、又之ニ反シ、輸入高少ク、價モ抑制セラレサルモ、有益品ヲ濫出シ、無益品ヲ
 濫入スルハ、國損タル大ナリ、支那ノ如キハ、自國ノ蔗糖、棉花ヲ輸出シ、其白糖
 ト棉布トヲ輸入ス、是年年外國ヨリ製造ト運送トヲ買入ル、ナリ、而テ阿片
 ヲ買入レ、更ニ國人ノ營業力ヲ荒廢ス、國ニ損耗ヲウケルヲ、年年ニ倍過セリ

故ニ貿易ノ盛衰ハ輸出入ノ多寡平衡ニアラス其利益ノ本タル國民營業力
ノ如何ヲ輸出入品ニツキテ常ニ注意スルヲ要ス

○貿易ノ注意ハ常ニ製作品ノ輸入ヲ減シテ製作ヲ補助スル物品多ク輸入ス
ルヲ主要ノ眼目トス全世界中ニ於テ貿易ノ主要品ト稱スル物品ハ製作品
ニハアラサルナリ商業ヲナスモノ、重ニ利益ニ注意スル所常ニ貿易品ニ
アリ貿易品トハ

穀類 世界貿易ニ穀物ノ最モ重ナルハ麥ナリ殊ニ小麥ヲ首トス之ニ次
クモノハ玉蜀黍ナリ此等重要ノ穀ハ全歐地ニミナ耕作スレテ需用莫
大ニテ其高常ニ不足ナリ全歐地ニ穀類ヲ輸出入シ貿易スル總高ハ價
八億五千萬弗ニ上ル一出一入四億二千餘萬弗トナシ觀ルヘシ之ヲ輸出スル國ハ露國ナリ、
年年價一億四千萬弗ニ及フ次ハ米國ニテ八千六百萬弗其他ハ東西印
度、南亞米利加及ヒ加拿他等ヨリス之ヲ輸入スル國ハ英ヲ首トス佛ヲ
次トス、蘭、白、瑞典、瑞士ハミナ輸入ノ國ナリ、日、澳、以、噠國ハ輸出較多シ此
穀物ハ内地ニ輸入シ肉酪及ヒ營業力ト化シテ又輸入スル原品トナル

モノナリ、

酒類 國ノ開化富殖ニ從ヒ、精美高價ナル飲量ヲ競求スルヲ益盛ナルモノナリ、佛國ノ葡萄酒類ハ、國ノ三大利ノ一ニテ、年ニ二千二百萬石ヲ醸シ、一億四千萬弗ノ利益ヲ收ム、塙國ハ其半高ヲ産ス、其他西班牙、葡萄牙、南獨逸等、ミナ此釀造ヲナス高莫大ナリ、全歐ニテ、少クモ三億餘萬弗ノ價ニ及フヘシ「ビール」麥酒及ヒ他ノ穀酒ハ英國ノ一大利ニテ、約千九萬石ヲ醸ス、塙獨ノ兩國ハ之ニ次ク、合セテ英國ノ釀高ニ比較スヘシ、全歐ニ産出五千三百萬石ニ及フ、消費ノ大ナルハ、塙獨ノ兩國ヲ第一トス、英國ハ其半ニ及ハス、重ニ輸出ヲナストナリ、

沙糖 亦酒ニ次テ費用多キモノニテ、蔗糖、燕菁糖ノ別アリ、米國ニテハ又

楓糖ヲ製ス、蔗糖ハ暖國ノ土宜ニテ、歐洲ニハ生セス、西班牙領ノ「キューバ島」
米洲 西 最モ多ク産スル地トス、英、佛、荷蘭等、ミナ各處ノ属地ニテ、蔗糖ヲ
印度 耕シ、本國ニ輸送ス、其全額ハ三千七百萬担セントニ及フ、其内二千五百
萬担ハ、歐洲ニ輸入スル高ナリ、佛獨、塙露、及ヒ白耳義ニテ、甜紅燕菁ヲ以

テ砂糖ヲ製スル高ハ、一千二百萬担ニ下ラサレ^ニ、蔗糖ノ消費モ并セテ増進シタリ、獨佛兩國ハ、消費最モ多シ、獨逸人ハ、年ニ每人十磅半ヲ費ス割ナリト謂フ、其費ス高ノ最少ナルハ、埃露ノ兩國ナリト云、

烟草 亦其消費ノ高、漸次ニ増スモノニテ、歐洲各國、ミナ産セサルハナシ、
産出ノ多キ國ハ、費ス高モ從テ大ナリ、荷蘭ヲ喫烟第一ノ國トナス、爪哇^ニ、
蘇蔓答刺^{シモダラ}ヨリ輸入ス、獨埃兩國之ニ次ク、其産出百五十萬担ナリ、烟草モ
亦暖國ニ多ク産スルモノニテ、米國、及^ニ「キユバ」ヲ第一トス、伯爾西^{ブラジル}及ヒ呂宋^{ソン}
モ名産ナレト、合セテ「キユバ」一島ノ高ニ及フ能ハス、全世界ノ産出ハ、歐洲
貿易ノ統計ニ上ル高ノミニテ、千二百萬担ニ及フ、各國ミナ重稅ヲ課シ、
其內國賣買ノ價ハ、甚タ貴シ、全歐地ヘ輸入ノ原價ヲ算シテモ、一億二千
萬弗ニ下ラスト云、

茶、咖啡、 此兩ノ飲量ハ、歐洲ニテ最上ノ飲料トナス、其消費高ハ年年ニ増
加ス、茶ヲ消費スル國ハ、英露二國ニテ、支那、及ヒ印度ヨリ輸入ス、日本茶
ニ行ハル歐洲ニテハ、糖乳ニ適^ニ、約二億斤ニ上ルベシ、茶ヲ用フル國ハ、咖
セサルトテ未タ希求ヲ生セス

啡ノ消費少シ、咖啡ヲ用フル國ハ、茶ヲ用フルヲ少シ、俄獨兩國ハ、咖啡ノ消費大ナリ、蘭白ハ之ニ次ク、埃ハ佛ノ三分一ニ過キス、咖啡ノ輸入高ハ、五億四千萬斤ナリ、獨逸ハ伯爾西ブラセルヨリ、早堡港ハムボルクニ入ル、此ヲ第一ノ市場トス、其他蘭ノ奄特坦アムステルダムヘ、瓜哇、蘇蔓答刺ヨリ上港シ、錫蘭セイロンヨリハ、英ノ倫敦ニ上港シ、佛國ハ馬耳塞マルセイユヘ、各國ヨリ上港スルト云、

棉花 此物ハ紡織品中第一タルヲ已ニ前卷ニ備論セリ、元來暖國ノ土宜ニテ、歐洲ニテハ南部ニ些少ヲ生スルノミ、米利堅、東西印度、埃及、伯爾西、及ヒ豪洲等ヨリ、歐洲ヘ輸入ノ總高、七千萬包ニ及フ、其三分ノ二ハ英國ニ輸入ス、其價六億弗ニ及フ、次ハ佛獨兩國ヘ輸入スル高、最大ナリ、蘭、白、埃、以ノ輸入モ較多シ、アンウェルハムボルクフ、早堡ハムボルク、不來梅ブレンデ獨、奄特坦アムステルダムヘ、米洲ノ棉ヲ輸入シ、馬耳塞マルセイユ佛、ヴェネツィヤヴェネツィア以、トリエストトリエ埃ヘ、埃及ノ棉ヲ輸入シ、猶不足ニテ、英國ノ港ヨリ、生棉、棉絲ヲ輸入シ、內國ノ紡織ニ給シ、其製造品ハ、再ヒ兩米東南洋ニ向ヒテ輸送ス、

羊毛 豪洲、米洲、及ヒ喜望峯邊ケープコロニーノ漠野ヨリ盛シニ輸入ス、歐洲各國ニモ牧

羊ヲ勉メサルハナシ地球全產出ノ高十二億五十萬斤ニテ價三億七千五百萬弗ニ及フ歐洲ノ市場ニ上ルハ其六分ノ五ニオル英佛白三國ヘノ輸入最大ナリ次ヲ獨逸トス歐洲ニ產スル高モ五億七千斤ニ及フ

麻類 大麻亞麻ノ二種アリ歐洲ニ大麻ノ產出ハ甚タ少シ亞麻ハ所謂ル「リシチン」ニテ產出稍多シ露國ヲ第一トス原價一億弗ノ高ヲ生ス（壤國其三分一ヲ生ス以國モ頗ル產出多シ他ノ諸國ニモ耕作スレト國用ニモ不足ナリ英國ハ印度ヨリ輸入シ其紡織歐洲第一タリ近年荷麻イチビ及ヒ「イスバルト草」ノ利用ヲ發見シ盛ンニ耕種スルトナリ、

生絲 歐洲ノ養蠶國ハ佛以兩國ナリ西班牙ハ甚盛ナラス露國ノ南部ニモ夙ニ此業ヲ興シ澳國南獨逸ニモ及ベリ土耳其ノ生絲ハ質弱シ歐洲北部ニハ全ノ生セス其需用ノ最多ナルハ英佛及ヒ米國ナリ歐洲ヘ生絲輸入ノ全額一千四百萬磅原價二億弗ニ及フ重ニ支那ヨリ英國ニ輸入ス其高五萬包約我百〇七斤入ニスキ原價八百五十萬弗日本ヨリハ其五分一ニスキス其他亞細亞土耳其波斯印度ノ「ベンガラ」及ヒ安南ノ佛屬地

ヨリ出ル、

鐵 此物ハ、礦金中ニ最モ需用多キモノニテ、其概略ハ已ニ前卷ニ詳ナリ、世界貿易品ニ於テ、重ナルモノハ、以上ノ十品ヲ主トナス、商業ノ盛衰ト、國益ノ増減ハ、先ツ此主要品ノ景況如何ヲ注意スルヲ、識者ノ所爲ト謂フベシ、

○右ノ貿易主要品ニ次キ、各國民一般ニ必需ノ品ハ、猶多クアリ、第一穀類ニ次キ、生畜、屠肉、乳酪、乾酪、蛋卵、乾肉、醃魚ノ需用大ナリ、各國普ク其利ヲ務ムレト、猶不足ヲ輸入ス、荷蘭、葡萄牙ヨリ、生畜、屠肉ヲ英ニ送り、米國ヨリハ、乾肉、鹽肉ヲ輸送シ、露、瑞、那、暹、及ヒ加^{カナ}拿^ダ他ノ醃魚、蘭、瑞、典、及ヒ米ノ乳酪、乾酪、ミナ夥多シキ輸出高タリ、○第二ヲ皮革類トス、全歐地ノ屠畜、獵獸、ミナ其生革ヲ硝草場ニ上セ、熟革トナシテ、必用品ヲ製作ス、其夥多シキ、紡織ニ比ス、米國、加^{カナ}拿^ダ他、南米諸國、豪洲ヨリ輸入ス、歐洲ニハ、露國ノ革最モ多シ、又露、瑞、那ニハ毛皮ノ利アリ、高價ナルハ、貂皮、ラッコ皮等、一枚ニテ三四百弗ノ價ニ及フ、○第三ヲ紙類トス、紡織品ノ弊殘ヲ回收シ、製作スルモノニテ、文書用、室房用、百貨ノ包捆、套括ノ用ニ供シ、消費ノ高大ナリ、○第四ヲ石炭トス、英國ニ一歲一億噸ヲ消費

ス、各國內地ノ需用高モ、此ニ匹ス、前卷ニ詳ナリ、○第五ヲ器械類トス、此他石
蠟、燭等、日用、必用ノ諸品ハ、ミナ前卷ヲ照シテ考量スルニ足ルヘシ、凡ソ人
民一般ノ求需ニ供スル物品ハ、消費甚タ莫大ナレハ、貿易上ニ於テ著シキ利
益ヲ生ス、瑞那、及ヒ加拿他ノ木材「コロンビヤ」「エクエートル」及ヒ兩印度ノ樹膠、秘
露ノ雀糞、南歐羅巴ノ橄欖油、西葡及ヒ阿爾及ノ「キルク」兩印度、瓜哇、馬尼刺、呂
ノ藍、藍「コーセンニール」椰子油、其他「チヨコレート」肉桂等、多キハ總價一千萬弗
ニ上リ、少キモ百萬弗ニスク、○製作品ハ、通例内國需用ヲ足ラシ、其餘ヲ外國
ニ輸出スル目的ニアリ、棉毛麻絹鐵ヲ除ク故ニ各國總貿易ノ景況ハ、總論シ難ケレト、
英、佛、米、三國ノ貿易二三ヲ摘舉シテ考量ニ供セン、佛國ヨリ英ニ輸入スル、手袋
靴等ノ革細工、原價六百萬弗、藁帽子五百四十萬弗、陶器四百萬弗、時計二百萬
弗、剪綵花百八十萬弗ナリ、普國ト戰英國モ此諸工ヲ勵ミ、藁帽子、陶器、ミナ技
ヲ進メ、其數ヤ、減シ、而テ英ヨリ米國ニ輸入スル陶器ハ、四百萬弗ニ上リ、其
他曹達六百萬弗、細貨六百萬弗ニ及フ、兩國間ニ貿易スル製作品サヘ、此巨額
ヲナセハ、玻璃、陶器、時計、革細工類、各國ノ内地ニ製造シ、自國ニ供給スル高ハ、

其莫大ナルヲ推察スヘシ、○凡ソ元品ヲ自國ニトリテ、製作消費スル高ハ、貿易輸出入ノ計算外ナリ、全歐地ニ於テ、貿易輸出入ニ上ル物品、一千八百七十一年中ニ、全價七十八億弗ニ及ヒタリ、此内ニ四十三億弗ハ輸入品ニテ、三十五億弗ハ輸出品ナリ、歐洲商人ノ話ヲキクニ、税關ヘ出ス原價ハ、實價ノ三分二ヨリ以下ニテ書出ストナリ、然則全輸出入ノ實價ハ、百億弗ニモ上ルヘシ、又輸入品ハ、重ニ歐洲外ノ諸國ヨリ輸出セルモノニテ、此等ノ國民ハ、利益ノ競ヒ、營業ノ勵ミニ、氣力乏シキ、沃土ノミ多ケレハ、輸出ニモ、輸入ニモ、其實益ハ、盡ク歐人ノ手ニ包收セラレタルモノトイフモ、甚タシキ相異ハナカルベシ、

○歐洲ニ商事ヲ取扱フ景象ヲ、簡短ニ評スレハ、規律ノ嚴正ナル中ニテ、活撥ナル詭權ヲ用フト謂フヘシ、夫レ國民利益ノ競争ハ、商事ニ至テ決ス、固リ詭譎權謀ヲ用フルハ、商業ノ常ナレトモ、全局ニ管シテハ、常ニ整正和協シ、漸ヲ以テ利益ヲ進ムル、機括ヲ維持セサルベカラス、前ニ備論セルカ如ク、歐洲各國ハ、運送ノ便利ヲ開クニ注意ス、水ニハ舟、陸ニハ車、運行自在ニテ、其輻湊ノ衝ニ

ハ船廠ドックステイション驛站ヲ設ケ、荷倉貨庫ヲ建築シ、○品ヲ受ケ、都邑ノ政ハ常ニ商品ヲ自

在ニ融通スル方法ヲ設ケ、商族ヲシテ、其市ニ藏メンコヲ思ハシム、

商品ヲ持集リ、賣買ヲ媒助スル市場ヲ「マーケット」ト云、通例「マーケット」ハ腐爛シ

易キ、日用ノ消費物ヲ賣捌シタメ、隔日、若クハ一週ニ幾度ト、期日ヲ定メ、地方

官即チ州長縣令ノ類ノ許可ニテ、邑長ヨリ取締リヲナシテ開クモノナリ、米ノ新約克

ノ廣達ニテ、蔬果ノ競賣市ヲ開キ、或ハ廨舍中ニテ、屠肉市ヲ開キ、英ノ新城ニ

テハ、柵ヲ廣地ニ匝シ、牛羊市ヲ開キタルヲミタリ、佛帝拿破侖第三世、巴黎ニ

設ケシ新市場ハ、蔬果穀肉ヲ、總玻璃ノ大廨舍中ニ持集リ、近郊ノ農民、府中ノ

市民、群集シテ賣買ヲナス、實ニ巴黎ノ繁華ヲ顯ス壯觀ニテ、此帝德政ノ一ナ

リト謂フ、又其小ナルモノハ、噓馬ノ「コッペンハーゲン」ニテ、農漁ノ男女、小舟ニ

テ魚蔬ヲ運ヒ來リ、運河ノ岸ナル廣達ニ、朝朝露市ヲ開クヲミル、此他朝市、夜

市、露市等、ミナ小民ノ生活ヲ濟理スルニ、最モ緊要ナレハ、其地ノ官長、ミナ意

ヲ加ヘ、法則ヲ與ヘ、警察ヲ嚴ニシテ、其繁昌ヲ促ス、周禮司市職ト意ヲ同クス、

○市場ハ、必モ青物、鮮肉ニハ限ラサルナリ、市チカコ高俄ノ穀物市場「ブラットホール」

英ノ羊毛市場「ノルン堡」^{巴威}ノ葎穗市場「ミュンヘン」^同ノ麥市場、^{ハンホルク}旱堡^{獨逸}ノ咖啡

市場等ノ如ク、凡ソ水陸運ノ衝ニハ、各種ノ市場ヲ設ケ、荒物市場トイフハ、切要ノ商品ヲ、小商人ヘ大口ニ賣捌クタメニ設ク、^{ムエンヂェストル}漫識特^{ガラスゴ}哥羅斯哥ニテミタル

「ウエヤハウス」モ此主意ナリ、又卸賣市場トイフハ、一年間ニ幾度ト定メテ設クル市場ナリ、^{サキセン}薩撒大市ノ如キ是ナリ、是ハ通例數日ノ間開場ス、博覽會ノ設ケハ、此市場ノ積成ナリト謂モ可ナリ、商事ノ便ヲ進メタル國ニ於テハ、荒物、卸賣市場等ハ、往往ニ廢シ、眞ニ切要有益ナルハ、青物、獸畜、穀物ノ市場ヲ主要トスルニスキスト謂フ、

○スヘテノ貿易品ヲ運送賣買スル手續キハ、陸路ノ馬車、^{瀛車}水路ノ舟船ニ、皆運送ノ會社アリ、荷物ヲ驛站、若クハ船廠ニ輻湊ス、此ニ必ス税關^{ハウス}、^{コストン}及ヒ貸庫アリ、荷物ヲ受取ル、大都小邑ミナ然リ、荷主ハ運送會社ニ託シ、日限ヲ約シ、送り狀、物品目錄ヲ具シテ荷ヲ送レハ、其物品ハ目的ノ都邑ニ達ス、佛ノ博士^{シャ}氏ノ言ニヨレハ、^{瀛車}會社ニテ日限ヲ約シ、貨物ヲ送り、若シ日限ヲ超ルキハ、荷主ヨリ會社ニ償金ヲ請求スル權アリ、喩ヘハ、麥ヲ積入レ、日限ヲ

誤リ、機會ヲ失ヒ、不用トナリシハ、其損失ヲ償ハシメル歟。若クハ送リサキニテ、其荷ヲ請取ラサルモ妨ケナシ。又期限中ニ、先方ヨリ受取ニ來ラサルハ、漕車驛ノ倉庫ニイレ、留メオキ、庫敷料ヲ徵收ス。此徵收ハ、英國ハ其日徵收ス。佛國ハ四十八時間ノ猶豫ヲ與フ、是ニテ運送貸庫ノ一斑ヲ知ルベシ。○運送ノ便利起ラサレハ、運送者ニ於テ、期限ヲ確約スル能ハサルノミナラス、到達ノ後モ、取與ヲ信確ニスルヲ得ス。荷主ハ常ニ危險ノ憂慮ヲ抱キ、商業ノ不融通ハ此ニ生ス。故ニ運送ノ道路、舟車倉庫ヲ堅牢ニスレハ、荷主ハ安然トシテ、自家ノ業ニ勉勵シ、期ニ至リ電報郵便ノ來ルヲ待ツノミ、海上ノ風波都邑ノ火災、凡非常ノ變ハ、己ニ舟車倉庫堅牢ニシテ、仕組ノ嚴正ナルヲ以テ、荷主危險ヲ慮ル心ヲ安ンスルノミナラス、又「インシュランス會社」ヲ起ス（即チ保險會社）如此ク舟車ノ到ルヘキ處、ミナ一家一室ノ如ク、便利安穩ヲ謀リタレハ、文明諸國ニ於テハ、我日本人ニテ、遠洋ヲ渡リテ、其市ニ至リ物ヲ買フニモ、市店ヨリ賣品ヲ旅館ヘ届クヘキカ、本國ニ届クヘキカヲ問フ、本國届ケヲ託スレハ、其姓名居住、及ヒ届クヘキ港ヲ審問シ、日ヲ期シテ、橫濱若クハ長

崎ニ送りヤル、買主ハ只一封ヲ飛シテ、本國ニ通信シオケハ、倫敦ノ貨物モ、直ニ横濱、長崎ニテ受取ルヘシ、商品ヲ荷主ヨリ運送社ニ託シ、目的ノ都主ニ届ケルモ、亦之ニ同シ、其荷ノ到着後ハ、其市場ニ於テ賣買ノ取引ヲナス邑ニ、荷ヲ安心セシメ、信確ニ商事ヲ遂クル、其設置ナカルベカラス、是ニ因テ商人集會所ハ起レリ、

○商人集會所ハ、英ニテ「ロヤル、エキステンヂ」佛ニテ「プールス」トイフ、此會所ニテナス事務ヲ手近クイヘハ、相場會所ナリ、抑商業ノ大管係ハ、物品ノ價ヲ定ムルヲ最要トス、物價ニ三アリ、眞價、原價、市價、是ナリ、眞價トハ、其物ノ人間ニ實用ヲナス價ナリ、原價トハ、物ノ眞價ニヨリ、人ノ勞力ヲ加ヘ、之ヲ化成シ、其工費金利ヲ合算シタル、產出地ノ價ナリ、之ニ運送費用ヲ加フレハ、市場ノ原價トナル、即チ問屋ノ原價ナリ、市價トハ、之ヲ市場ノ競求ニカケ、需用人ノ思量ニヨリ、引受ケル價ナリ、凡ソ市價ハ、時時ノ供給求需ノ情況ニテ、原價ヨリ格別ニ騰貴スルアリ、又低減スルアリ、其損得ハ、例シテ仲買ニ歸スルモノナリ、然レモ眞價ハ決シテ變スルヲナシ、故ニ實用實益アルモノハ眞價貴シ、而

テ市價ハ之ニツフモノニ、非サルヲ、水火ヲ以テ證スヘシ、之ニ反シ、眞價ナキ
浮品ニテ、市價ヲ遽ニ潮上スルヲアリ、是ハ眞價ヲ生セルニアラス、全ク一時
ノ流行ニ由ル製産家ハ此ニ痛ク注意センヲ要ス、生業ノ確實ト不確實トハ、
此ニヨリ分ル、モノナリ、故ニ物品ノ眞價ト、原價ト、市價ト、ノ分界ハ、商賣ニ
從事スルモノ最モ詳審セサルベカラス、商人集會所ハ、其市價ヲ定メル所ナ
リトス、○各都邑ニ於テ、商人若クハ賣買ヲ要スル人、日ヲ定メ、時ヲ刻シ、一定
ノ場所ニ會シ、商業世話人ニ面會シ、若クハ仲買人ニ相談ヲトケ、或ハ商事ノ
景況新説ヲキ、取引人ノ身代ヲ知ル等ニ、各人ノ足ヲ勞シ、時ヲ費ヤサスシ
テ、其主意ヲ遂ケシメンタメ、設立セル會所ニテ、此會所ノ開閉ハ、其地ノ景況
ニ管シ、一週日ニ幾度ト定メ、開場中ニテ、商業世話人モ出席シ、此ニテ商品ノ
市價ヲ入札シ、其日ノ相場ヲ定メ、世話人ヨリ保證ノ印形ヲ與フ、此會所ヘハ、
何人ニテモ出入シ、入札スルヲ得ル、之ヲ設クルニハ、右政府ノ許可ヲ經テ、地
方官ニテ取締メヲナシ、商法裁判所ト、商業會議所トノ協議ニテ、其法則ヲ定
ム、商事ヤ、盛ナル都邑ニハ、此設ケナキ所ナシ、○商業世話人ノ主タル職掌

ハ相場ニ保證ヲナスニアリ、此世話人ハ商業會議所ノ公選ニテ命セラレ、或ハ政府ヨリ命ヲウクル國モアリ、皆老實練達ノ商人ノミニテ、其職任中ハ仲買、若クハ金子立替等、一切取引ニ立入り、保證人トナルヲ禁セラル、世話人ニ五アリ、手形、商品保險、貨船運送是ナリ、小都邑ニテハ、只手形ト商品トヲ分チ、他ハ商品ノ内ニテ兼ル、歐洲ノ商業ニ相場ヲ立ルヲハ、重ニ手形ノ賣買ニアリ、是ハ商品多クハ化シテ、券子ト、後拂ヒ證書トナリタレハナリ、商人ノ商業ハ、常ニ銀行ト密接ニ管係ヲ有シ、一方ニテ荷主ト需用人ト、實際ノ商事ハ、已ニ行ハレタル物品ヲ、猶一方ニテ取引ノ條約書ト化シ、他ノ手ニ轉傳シテ、相授受取引スルモノナリ

○商人ハ、商人ノ商業ヲナスモノニハ限ラサルナリ、凡ソ再ヒ賣出スタメニ物品ヲ買入レ、或ハ開肆シ、或ハ製作ヲ加ヘ、又賣出シテ利益ヲ收メ、以テ常職トスルハ、商人ノ商業ナリ、世ノ所謂ル商人トイフモノナリ、此外ニ猶種種ノ商業アリ、市價ノ保證ヲナスヲ世話人トイフ、賣買ノ媒介ヲナスヲ仲買人トイフ、銀行アリ、第四十卷見合ニ保險會社アリ、爲替ヲナスモノ、造船修覆ノ請負ヒヲナ

節目タリ、其他船長、水夫、商人ノ手代等、ミナ商人ノ部分ニテ、是ミナ其業ヲナスル、先ツ商業裁判所ノ看認メヲ受ケ、事業ニヨリ、證據金、或ハ資本金ヲ官廳ニ差出シ、帳簿ヲ備ヘ、官ノ公證ヲウケ、一切取引、授受、出入ノ高ヲ、法則ニヨリテ、一一ニ證記シ、オク等、嚴正ナル規則ニ遵守スルモノタリ、○商人ノ事業ニハ、別段ノ法ヲ立テ、之ヲ保護サレ、別格ナル公會ヲ設ク、之ヲ商業會議所トイフ、所謂「チャンブル、オフ、コンメルス」是ナリ、此ハ一箇ノ公選議會ニテ、都邑商業ノ立法官ニ比ス、其議員トナルモノハ、著明ナル商人ヨリ公選ス、都邑ヨリテハ、工業會議所ヲ別ニ設クル所モアレ、凡、通例ハ合併スルニヨリ、此被選權者ハ、商工ノ業ヲ行フテ、其會議所ノ管轄内ニ任スルモノハ、ミナ其權ヲ有ス、或ハ會テ商工ノ業ヲ行フテ、今ハ廢シタル人モ選マル、此員ヨリ議長ヲ立テ、商工業ニ管スル、公務ノ規則、政事ノ施行ニツキ、意見ヲ政府ニ陳シ、商業利益ノタメニ設ケタル、種種ノ公局ヲ管理ス、州郡内ニ於テ、商工ノ業ニ貴要ナル公會ナレハ、其設置開散、ミナ大政府ノ命ヲ以テスル、立法官ニ異ナラ

ス、凡各地商業ノ權衡ニ於テ秘密ノ事ハ此議員ニテ商量ス、其盛衰進退ヲ謀リ、一地方ノ隆昌ヲ致ス方法ヲ設ケ、能ク耐久ニ利益ヲ進ムルハ此會所ニテ其樞軸ヲ執リタレハナリ、商業裁判所、工商裁判所ヲ設クルニ其裁判官ヲ定ムルモ此公會ニテ公推ス、歐洲ノ都府ニテ商業ヲ盛ンニセル地ハ其氣風最も共和ノ治ニ近キハ是等ノタメナリ、貿易日ニ興ル際ニアタリ、地方ノ富庶ヲ謀ルニハ此公會ノ設ケ殊ニ切要ナリ、識者深ク察セサルヘカラス、

第九十四卷 地中海航程ノ記

二十日 晴

朝八時ニ、旅館ヲ發シ、「アウア號」ノ郵船ニ上リ、十時ニ馬爾塞港ヲ發船ス、此港ハ海灣西南ニ向ヒ、右ノ岬頭ニ燈臺アリ、岬角ハ左短ク右長シ、漸ク佛朗西海ノ南濱「アルプス」ノ山脈トナリ、蜿蜒トシテ東ニ走ル大抵山岡ハ禿嶺ニテ、希レニ草木ヲ生スレ_ル、土色ミナ赭ニ、一望肥潤ノ氣ナシ、府ノ市街ハ灣ノ東北ニアリ、山巒ノ餘脈、海ニ迫リテ島トナリ、岬トナリ、ミナ赤岩ヲ仄ツ、此ヲ修メテ船廠トナス、風浪常ニ恬ナリ、海濱ノ山坡ハ、大抵荒毀ノ谷タリ、此府ノ繁庶ナルニ從ヒ、開キテ家屋ヲ立テ、地ヲシメ海岸ニテレ、左岬ノ山足ニハ、處處ニ屋薨ノ參差タルヲミル、一阜ノ上ニ、羅馬教ノ寺アリ、馬利ノ像ヲ立テ、施スニ金ヲ以テス、爛爛トシテ日ニ閃ク、以テ當港ノ一標トナスヘシ、灣面ノ中央ニ二三ノ島アリ、以テ砲臺トナシテ、南方ヲ睨シ要害トナセリ、

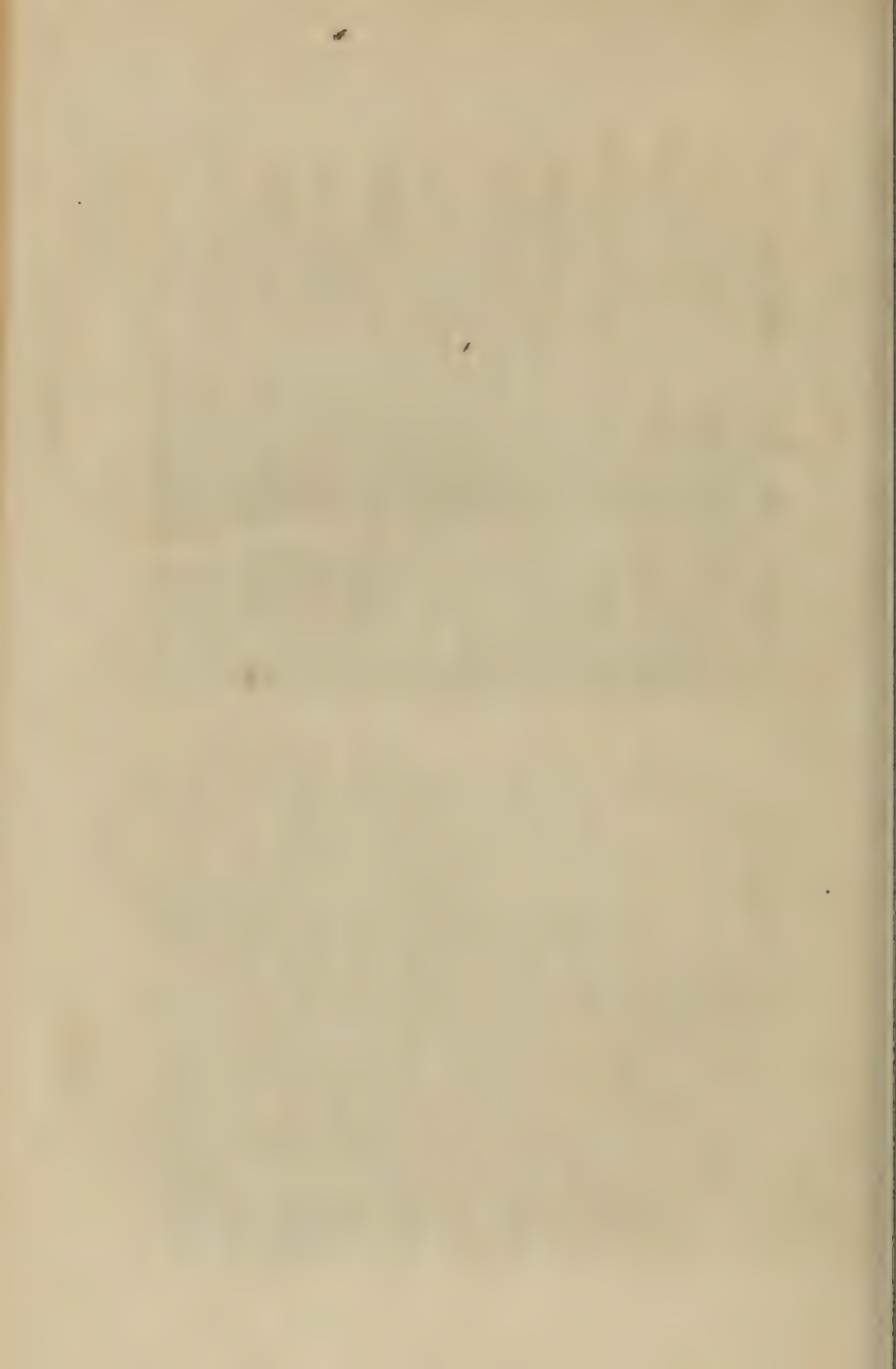
港ヲ離レ駛行スルヲ數時間ニテ「アルプス」ノ山峯漸クニ遠サカリ、晚來ハ見エス、水天一色ノ海トナル、

二十一日、晴天ニテ風浪恬穩ナリ、朝「コルシカ島」ト「サルデニヤ島」トノ海峡ヲスキ、正午ニ北緯四十一度六分、巴黎ヨリ東經五度十五分、英ヨリ七度三十五分ナリ、地圖ヲ用フ是ニ二度二十分ヲ加フレハ進行三百七十五海里、溫八十一度五分、英國綠威ヨリノ經度トナル後之ニ數ヘ進行三百七十五海里、溫八十一度五分、「セ」氏ニ十六度五分、「セ」氏ノ驗、「セ」氏ハ客房ニオイテ驗セル所ナリ、船房ト客房ハ冷溫ニ稍差アリ、此ヲ例シミルヘ氣針二十九度四分、氣針ハ即チ風雨針ナリ、三十度ヲ平和トス、三十度ヨリ減シハ大風雨、八時二十分ニ太陽海平線ニ沈ム、

「コルシカ島」ハ佛國ノ領地ニテ幅員三千三百五十四方英里、一千八百七十一年ニ人口二十五萬九千八百六十一人アリ、其西南ヲ海峡トス、此ヲ「ボニハシオ」海峡ト云、即チ今朝ノ航路ナリ、「ボニハシオ」港ハ、海峡ノ尤モ狹キ所ニテ、北緯四十一度二十三分、東經九度八分ノ地ニ位ス、海峡ノ廣サ一海里餘ニスキス、佛ヨリ砲臺ヲ嚴備シテ、屯兵ヲオキ守衛ス、土民ハ只三千六百アリ、貿易ノ埠頭ニ非ス、島ノ首府ハ西岸ニアリ、第一世拿破侖ハ此ニ生ル、

「サルヂニヤ島ハ、以太利ノ領地ニテ、峽ノ南ヨリ首ヲ起シ、南ニ流レ、略長平方
形ヲナシタル島ニテ、其廣サハ「コルシカ島ニ三倍ス、幅員九千三百九十一方
英里、人口六十三萬六千五百六十五人アリ、分ツテ二郡トナス、以太利聯邦ノ
時ハ「サルヂニヤ國ニ屬セリ、此ヲ首都トセ、ルニハアラス、此島ノ名産ハ、油煮ノ鰯アリ、馬口
鐵ニテ箱ヲ作り、密封シテ賣出ス、歐洲ノ諸國ハ、食前ニ醃魚生菜ヲ食シテ口
ヲ爽ニス、此鰯ハ其用ニ共スル二種ノ珍珠ニテ、利益頗ル廣シ、○兩島ノ峽ハ
ミナ緒山禿阜多ク、綠樹ハ希ナリ、又人家ヲミス、山勢墮亂シテ穢醜ナリ、内地
ニ連リテ、頗ル高峯ヲ起セ、奇峻ノ景致アルヲ覺ヘス、空翠ヲ拖テ僅ニ青色
ヲナス、竟ニ佳眺ニアラス、」コルシカ山ハ、較綠樹青草アリ、亞刺比亞地方赤野
ノ餘脈、此ニ至リテ纔ニ生氣ヲ帶フト謂テ可ナリ、」サルヂニヤ島ノ海濱ニ一
島アリ、一字ノ白聖屋ヲミル、是以國ノ民權家「ガルバルヂー氏ノ住宅ナリ、」ガ
ルバルヂー氏ハ、嚮ニ以太利一統ノ亂ニ、民間ニ起リ、大勳業ヲ立タル、當世ノ
偉人ナリ、往時佛國革命ノ亂ヨリ、帝王專治ノ威權漸ニ衰ヘ、民權自由ヲ展ル
氣運トナリタレ、此頃、以兩國ハ依然トシテ舊政ヲツケ、以國ノ如キハ、聯邦

ノ王侯、填國ノ後援ト、羅馬教皇ノ威權トヲ恃ミ、猶老威ヲ逞クシタルヲ三十餘年、人民ハ堪ル能ハス、一千八百四十年ノ季ニ至リ、處處ニ一揆ヲ起スニ及ヒ、「カルバルヂー氏ハ民兵ヲ指揮シ共和政治ノ論ト、教僧ノ政權ニ干涉スルヲ廢スル說トヲ主張シ、羅馬ニ據テ大ニ諸方ノ軍ト烈戰シ、後「サルヂニヤ王ノ義舉ニ合同シ、填國ノ大軍ヲ破リ、民力疲困ニ至ルモ、毅然トシテ敢テ屈セス、六十年ニ至リ「サルヂニヤ」ノ兵ヲ指揮シ、^{ナアブル}那不兒王國ヲ滅シタルハ、此人ノ武力ニヨレリ、亂定テ後ニ、以國ノ公論ニヨリ「サルヂニヤ王ヲ奉シ、一統ノ治ヲ創メ、立憲ノ政治ヲ建ル、固リ「カルバルヂー氏ノ意ニアラス、猶依然ト共和論ヲ主張シ、退テ此島ニ歸リ、歐洲ノ民權論ヲ維持シ、常ニ帝王ヲ廢シ、僧權ヲ廢スルヲ已ノ責任トナセリ、米國ノ南北相戰フキ「カルバルヂー氏曰ク、北部論正シト、往テ之ヲ助ク、米人群起シテ其隊下ニ從ヒ、大功ヲ建タリ、事綏スルノ後ハ直ニ去テ此島ニ歸ル、後佛國普ニ破レ、合衆政治ヲ始ムルヤ、亦其論ヲ正シトシテ^{リヨン}里昂府ニ出テ、佛人ノ義黨ヲ集メテ烈戰ヲナシタリ、今ニ尙矍鑠トシテ生存シ、海濱ニ漁獵シ、以テ風月ヲ樂ミ、瑞士國ノ山水人民ヲ愛シ、時ニ



那不兒府王宮ノ廣達



同府ノ全景及ヒウスレオ火山



往テ遊フト云フ、

二十二日モ亦晴天風穩ナリ曉四時ニ以太利ノ那不兒埠頭ニ著シ錨ヲ投ス進
行百七十八海里正午ニ錨ヲ拔テ「カンチナ」ノ岬ヲ回リ以太利ノ海ヲ駛行ス溫
八十三度^セ氏二十^{六度半}氣針二十九度五分ナリ七時十七分ニ太陽海平線ニ沈ム此
日大暑ノ節ニ入ル太陽北二十度六分ニアリ、

馬爾塞港ヨリ那不兒マテ四百五十三海里此府ノコトハ己ニ以太利ノ卷ニ
詳ナレハ又記載セス、

往時此府ニ至ルキハ雨フリ翌日ハ祭日ノ混雜ニテ兩日間ノ回覽ハ此港平
日ノ景況ニアラス投錨スレハ土民艇ヲ推シ蟻附シテ上岸ヲ勸メ價ヲ貪ル
甚タシ每名ニ一「リラー」ヲ求ム因テ上岸スレハ垢面穢衣ノ貧兒幼壯埠頭ニ
集リ錢ヲ丐フ蠅ノ如シ市中ヲ歩スルニ道路ミナ大石ヲ斃スレヒ往往ニ
湫隘ニテ車歩ノ別ナク糞芥モ拂ハス益其衰情ノ態ヲ覺ヘヌ歐洲ノ港ニ上
岸スルハ此ヲ終リトス船客ミナ書ヲシタヘメテ郵領ニ投ス凡ソ郵船ノ此
ニ止ルハ別ニ必需ノ用アルナシ船客ヲシテ此音信ヲ辨セシムル爲メナリト

云○此日天半晴ニテ「モンヴェスシウオ」ノ火山、突兀トシテ烟ヲ吹ク、雲ノ薔
起スルカ如ク、港内ノ景色ハ、幾度ミテモ厭サル絶景ナリ、九時ニ船ニ上ル、土
民ハ船中ヘ珊瑚ノ飾リ、葡萄杖、彩影、紐釦等ヲ攤列シ、船客ニ買ソコトヲス、
ム、甚タ喧闐ナリ、○十二時ニ錨ヲ拔キ、一時ニ「コロカンボナ岬」ヲ回ル、此ハ那
不兒灣ノ南角ナリ、岬上ノ地ハ、山嶺海ニ迫リ、スヘテ紫赤色ノ石ヲ以テ成ル
疎疎トシテ綠樹ヲ生ス、豕脊ノ如シ、海濱ニハ人家モナク、小埠頭モナシ、岬前
ニ島アク、「カッパイ島」ト云、ミナ岩石嶄然トシテ土ヲ戴ク、上ニ古城砦アリ、完
存ス、其南岸ニハ、三四ノ奇礁アリ、天然ノ洞門ヲナシ、白浪ヲ吐吞ス、北顧スレ
ハ、遙ニ那不兒灣ニアタリ、三四ノ島嶼星置シ、烟水渺渺トシテ、府ノ烟花ヲヒ
タス、船欄ニ倚リ、眺望ノ久シキヲ厭ハス、此岬ヲ回レハ、以太利南境ノ山山、ミ
ナ海ニ横リ、蜿蜒南ニ走リ、雲ニ際シテナホ盡ス、船漸クス、ムニ從ヒ螺黛ノ
影ヲ失ヒ、水天一色ノ海トナル、○夜半ニ海天闇淡トシテ、銀河獨リ曙ク、西南
ニ乍チ蒼茫タル山影ノ横ルヲ認ム、忽然其頂ヨリ火光ヲ吐キ、赫然トシテ空
ヲ焦ス、爐火ヲ煽スカ如ク、夕照ノ沈ムニ彷彿タリ、又倏然トシテ滅シ、數分

時ニテ復生ス、是ハ細細里島ノ「エヂナ火山」ノ頂ヨリ火ヲ噴ク所ナリ。我日本ニ火山多シ、淺間、阿蘇、溫泉、及ヒ櫻島ノ烟ヲ見シモ、未ダ此ノ如キ盛ナル噴燄ヲミシフナケレハ、世界ノ火山モ亦同想像ニテ例シタルニ、畏ルベキ炎燄ヲ常ニ噴出スル、如此クナル火山アルヘントハ、意料セサリキ、此山ヨリ時アリテ、炎燄ノ甚シク噴出スルニ當レハ、其狀ヲ想像スルモ、亦翟然タラシム、歐洲ノ人ハ此國ノ「モンヴェスシウオ」及ヒ「エチナ山」ノ景ヲ賞美スル、我邦人ノ富士筑波ヲ賞スルカ如シ、嚮ニ各都府ノ劇場ニテ、往往此火山噴燄ノ景ヲ、紅烟劑ヲ燒キテ、摸像スルヲ見タリ、又油畫、石版畫、及ヒ採影ニ、火山烈炎ノ景ヲ寫セルモノ、往處ニアリ、皆想像ノ假景ナラント思ヒシニ、今此像ヲミレハ、大火脈ノ火山ハ、尋常小火脈ノ山ト、同想像スベカラサルヲ信セリ、

二十三日、晴天風穩ナリ、曉三時ニ細細里島ノ海峽ヲ駛リ、「メスシナ灣」ニテ、暫ク輟ヲ止メ、天明ニ「カラブリア岬」ヲハナレ去ル、正午ニ北緯三十七度二十分、東經十四度四十二分、進行二百六十八海里、溫七十九度_セ氏二十_{五度半}、氣針二十九度四分五秒、七時十二分ニ太陽海ニ沈ム、

細細里島ト以太利ノ本土トハ只此所ノ僅ナル海峡ヲ隔ツ全細細里島ハ幅
 員一萬〇五百八十三方英里略^本勾股弦ノ形ヲナシテ西ニ流ル人口二百五十
 六萬五千五百二十三アリ今朝ハ其勾弦ノ角ヲナスヤ勾ノ一面ヲ望ミタル
 ニスキス島内ノ大都ヲ「ハレルモ」ト云以太利國ニ於テ第三ノ都會ニテ西北
 ニアリト云此日ハ「メスシナ峽ヲ過キルニ一灣ノ港アリ港底深ク大船ヲイ
 ルニ餘裕アリ且山陰ニテ風モ恬ナリ其良港タルヲ以テ一都ヲ開ク「メスシ
 ナ」ト云人口十一萬千八百五十四人以太利ニテ第十一ノ都會ナリ北緯三十
 八度十一分東經^英事^{ヨリ}ハミナ同シ十五度二十四分ニ位シ那不兒ヨリ陸地二
 百〇八英里ヲ隔テ「エチナ火山北脈ノ東麓ニアリ灣ニソヒテ家薨連リ市街
 頗ル宏大ニテ火山石ニテ築ケル屋ナドアリ美觀タリト云灣ノ左岬ハ長陂
 ヲナシテ北ニ走リ率然トシテ峽門ニ至ル燈臺ハ首ニアリ此邊ニ砲臺ヲ築
 キ守備ヲ嚴ニス船ハ其火線下ヲ走ル此日天ナホ黎明ナレト燈臺岬角ノ形
 勝ハ蒼然トシテ辨視スヘシ「メスシナ灣ハ海山影暗ク只氣燈ノ光燦然トシ
 テ錯落點綴セルヲ星光ノ如キヲミテ其盛ナルヲトスルノミ」○「メスシナ」

ノ向岸ヲ「カラフリヤ岬トス」即チ以太利ノ本土、南ニ盡ル衝ニテ、一ノ埠頭アリ「レツキオ」ト云人口一萬九千アリ、亦氣燈ノ點點タルヲミル、岬角ノ地ハ、山勢海ニ迫リテ平地ナシ、山ミナ黃禿ニシテ、叢爾タル草木ノ點綴スルノミ、海濱ニハ一帶ノ鉄路アリテ、内地ニ入ル、此鉄道ノ工ハ、今ニ建築中ニテ未タ完成セサルト云、○「エヂナ火山ハ」メスシナ府ヲサル、馬車程五十英里ノ南ニアリ、此峯ハ「モンヴェスシウオ山」ノ特起セルニ似ス、四周ノ峰峰環繞シ、層層ニ相複シテ此一峯ヲナス、蓮花ノ抽ツルカ如シ、其高サ一萬○八百七十四尺、其脈南ニ走リ、兩嶂ヲ起シタレト、此山ノ峻美ナルニ及ハス、此峯ハ一萬尺ノ上ニ抽ツレト、其頂ニ點雪ヲミス、（歐陸地ノ雪線ハ九千尺ニ下ルト云ハ殊ニ内地ノミヲ云ナリ）其烟ヲ噴クノ盛ナル、混混トシテ雲ヲ簇シ、流レテ數峰ノ上ニカハル、郵船ハ其南ヲ馳サル、數時ノ間ハ、尙其影ヲミル、航海中ノ一壯觀ナリ、

細細里島ノ南ニアタリテ「マルタ島」アリ、地中海ニ於テ、高名ナル要害ノ地ナリ、今此ニ其梗概ヲ附録スヘシ、○此島ハ三ツノ島ニテ成ル、北ナルヲ「コソー島」ト云、幅四五英里、長サ九英里、此ヨリ南ヘ峽ヲ隔ツルヲ「一英里ニ滿スシテ

「コミノ島アリ、數方英里ニスキス、其南又一英里ニ滿サル峽ヲ隔テ「マルタ島」アリ、幅八九英里、長サ十七英里、三島ヲ并セテ總積二百十九方英里、獨逸ノ一小侯ニ及ス、ハノ地ニテ海中ニ露出ス、初メハ以太利ノ奈的斯^{ナイツ}サンヂョンス」ノ所領ニテ、早ク砲臺ノ設ケアリケリ、一千七百九十六年、佛帝第一世拿破侖、初メテ起リ、奧國ノ兵ヲ敗リ、以太利ヲ侵略シ、力ヲ亞弗利加ニ伸ヘント、水師ヲ整ヘ「ツルン港」ヨリ艦隊ヲ派シ、埃及ニ向フ、ヒ百方策ヲ苦メ、遂ニ此島ヲ佛ノ手ニ入レタリ、此役タル拿破侖一生ニ於テ、尤モ焦思ノ軍ナリキ、是ヨリ十八年ヲ經テ「ウァートルロー」ノ戰ニ、拿破侖英ヨリ敗ラレ、降虜トナリ、此島ハ再ヒ英國ノ手ニ入リ、是ヨリ今ニ至ルマテ、之ヲ修完シ、増築シテ、益之ヲ固ム、「ヂブラルタル」ト、此「マルタ」トヲ英ヨリ守保スルハ、英國ノ地中海ニ於テ、尤モ權威アル所ナリ、○「マルタ島」ノ地形ハ、山岩ヲ海濱ヨリ仄テ、崛起スル百尺、亦層層ニ上リテ千尺ニ達ス、内地頗ル廣ク、全島ニ二十四萬ノ人口アリ、此天然ノ險ニヨリ、人工ヲ加ヘテ、砲臺ヲ層峙シ、常ニ四千ノ兵ヲ置キ、軍艦ヲ繫キテ、之ヲ守ル、此島、西ハ佛、西、葡ニ控ヘ、「ヂブラルタル」ト遙ニ呼吸ヲ通シ、東ハ以太利灣、威尼斯灣ノ

口ヲ抑ヘ、亞弗利加、亞細亞ノ往來ヲシテ、其線ノ前ヲスキシム、無雙ノ要害ナリ、往時英郵船ノ馬爾塞府ヘツキシトキ、必ス此ニ立寄りシニ、今埠頭ヲ以太利ニカヘテヨリ、佛ノ郵船ノミナレハ、平常此ニ至ル便少シト云、

二十四日、快晴風恬ニ氣ス、正午ニ北緯三十五度九分、東經二十度^セ氏二氣針^{十四度}

二十九度五分、進行二百九十七海里、希臘^{ギリキ}ノ岬ヲ遙ニ乘リスキテ、土耳其ノ「カン

ヂヤ島前ヲ駛ス、七時一分ニ大陽海ニ沈ム、晚ニ溫度八十三度、氣針二十九度三分ニ上ル、

希臘國ハ海上七十英里ヲ隔タレハ、其山ヲミス、只正北ニ一簇ノ雲起ルヲミ

ルノミ、○「カンヂヤ島ハ、土耳其ニ屬ス、幅員三千二百六十九方英里、^{獨逸ノ埃}塞國ヨリ

大ナリ、狹長形ニシテ、東北ニ横ル、日晷午ニ近ツク頃ニ、此島ノ峯峯ヲ海東ニ見

ル、航海中ニ偶山島ヲ看ルハ、途上ニテ故人ニ逢フカ如シ、頻リニ溫問スルヲ

免レス、此島ハ土耳其國ノ所領ニテ、其地形ハ山巒西ヨリ迤邐シ、漸クニ高ク、

遂ニ一峰ヲ起シテ又陷リ、東ニ走リテ一峰ヲ起シテ盡ク、長サ百八十英里、山

ニ赤岩多ク、亦樹木ノ茂生セル谷モミユ、中央ニ「ヒルハウエン」ノ山角アリ、全

シ赤土ノ岡タリ、其裏面ニ平野ヲ抱ク、此ヨリ山ヲコエテ北濱ニ「カンチャ」ノ都府アリト云フ、全島ノ人口ハ二十一萬二千人アリ、橄欖油オリーフノ名産ナリ、又絹絲、棉花、毛布ヲ出ス、一千八百七十一年、英ニ輸入セル橄欖ノミニテ、其價六萬弗ニ及ヒタリ、而シテ英國ヨリ輸入スル所ノ棉絲、棉布、石炭、鏡器等價五十萬弗ナリト云フ、「ヒスハウエル」岬ヨリ、東ニ進メハ日隈ス、歐洲ノ土壤ヲミルハ之ヲ終リトス、

二十五日、晴、此日ハ地中海ノ中腹ヲ駛ス、風靜ナレモ、浪大ニシテカアリ、正午ニ北緯三十三度一分、東經廿五度二十二分、進行二百九十〇海里、溫八十三度「セ」氏七氣針二十九度三分、終日一點ノ島ヲミス、六時五十分ニ大陽海ニ沈ム、四十分時ヲ經テ纖月ヲミル、晚ニ溫八十四度、氣針二十九度一分、

此日ハ終日海中ヲユク、ミル所ナシ、

二十六日、晴、朝五時ニ亞弗利加、埃及ノ地方ニ近ツキ、アレキサンドルヤ亞歷山大府ノ燈臺前ヲ駛リ、九時ニ「ポールトサイト」ノ岸ニ達シ、錨ヲ下ス、進行百五十六海里、此日正午ニ、溫八十五度「セ」氏十八度、四時ニ錨ヲ拔キ、運河ニ進入ス、六時五十四分ニ大陽湖面ニ

沈ム、七時十五分ニ新月光ヲアケ、二十海里ヲ駛シテ河中ニ碇泊ス、

此朝ハ亞弗利加大洲ノ地方ヲ近ク乘過キタリ、此邊ハ埃及國ノ平野ニテ、海

上ヨリハ一點ノ山ヲミス、只平陂茫茫タルノミ、アレキサンデルヤ亞歷山大府ハ、濱海ニ於テ、沙

漠ノ内地ヲシメ、「マトフート湖ヲ抱キ共西岸ニアリ、地平カニ、海ヨリ望メハ

沈ムカ如ク、僅ニ屋薨堂尖ノ海上ニ抽ツルヲミル、兀然タルハ只燈臺ノミ、○

此亞歷山大府ハ、北緯三十一度十一分、東經二十九度五分、佛佛ヨリハ二十二位、六度四十五分

シ、埃及國ト歐洲ト、貿易ノ港ニテ、國中ニ於テ第二ノ都府タリ、人口二十一萬

九千六百〇二アリ、其内ニ五萬三千八百三十九人ハ、歐洲其他ノ寄寓民ナリ、

一千八百五十年ノ季、英國ノ會社ヨリ、國王ニ條約シ、鐵路ヲ築キ、「カイロ府ヲ

スキ、シュエス蘇士ノ埠頭ニ達シ、以テ地中海、及ヒ紅海ノ郵船、及ヒ商船ノ往來ノ郵所

トナセシヨリ、當府ノ繁庶ハ、年ヲ追テ盛ナリ、其後埃及國ヨリ、佛國ト結ヒ、蘇

士運河ヲ鑿割シ、後ニモ鐵路運河ノ兩道共ニ繁榮シ、一千八百七十一年ニ於

テ打算セシ、前年貿易ノ統計ハ、進口船二千八百五十五艘、其噸數百二十萬三

千四百四十四ニテ、出口ノ船二千八百七十艘、其噸數六十萬二千五百六十九

アリケリ、輸出ノ原價ハ四十七萬九千九百磅、此内ニ於テ棉花ヲ第一ノ物貨トス、總ヘテ千三百八十七萬磅、價六百二十萬磅ニ及フ、其次ハ烟草、橄欖油ナリト云、亞弗利加ノ埠頭ニ於テ第一ニ繁盛ナル所タリ、此府ニ於テ外國ノ貨幣ミナ通用ス、市街ニハ往往ニ綠樹ヲ栽植シテ、嵐氣常ニ清冷ナリ、建築ハ「イマトカンフタイル」風トテ、歐洲東方ノ一種ノ造營ナリ、又古代ノ風ヲ并セテ、粧置殊ニ奇趣アリ、近來此府ノ盛ナルニ從ヒ、石ヲ敷キ樹ヲ植エ水道ノ修メ、洒掃ヲ利シ、駸駸トシテ修潔ニ就クト云、○英國ノ郵船ニテ航海スルニハ、必ス此埠頭ヲ出入ス、此埠頭ヨリ國都「カイロ」府マテ南方百三十八英里ヲ隔ツ、埃及古ノ名國ナレハ、旅人遊客ミナ一遊ヲ試ム所ナリ、次ノ卷ニ出

「ボールトサイト」モ亦埃及ノ地ニシテ、亞歷山大府ノ西ニアリ、北緯二十九度五十八分、東經三十度ニ位ス、此地ハ「メンザレ」湖水ノ東北岸ニテ、海ト湖トヲ隔テタル一帯ノ沙嘴上ニ位セリ、故ニ此港頭ヨリ西南ヲ望メハ、總テ白沙ノ平野ニシテ、曾テ一點ノ草ヲミス、李華カ弔古戰場文ニイヘル、浩浩乎平沙無限、竄不見人ノ句ニ符ス、地形ハ甚タ汚下ニテ、水面ヲ抽ル一尺ニミタス、元ハ

漠然タル無人ノ境ナリシニ、蘇士運河ノ開ケシヨリ、此地ニ一邑ヲナシ、今ハ
居民八千八百五十九人ニ及フ、其内四千三百十八ハ外國人ナリ、生活ノ業ハ、
郵船問屋、及ヒ船客ノ散スル利ニヨルニスキス、此地ハ海水、湖水及ヒ運河ヲ
阻隔シタル、一灣ノ沙嘴ナレハ、メンザレ湖ハ、西方ニ淼漫トシテ、亞弗利加洲
第一ノ浩流「ナイル河」ノ海ニ注入スル、餘水ヲウケ、六七百方英里ニ湛^タヘ、只一
帶ノ沙嘴ヲ隔テ、地中海ノ潮ト界フ、故ニ此沙嘴ヨリ望メバ、海ト湖トノ辨別
ナク、只淼淼タル水郷ナルヲ覺フ、埠頭ニ於テ外國人居住ノ屋宅アリ、其建築
ハ、歐風ノ結構ナレトモ、外ニ庇ト檐トヲ設ケテ、納涼ノ所トス、高キモ三層ニス
キス、此地ヨリ以南ノ熱地ニ建タル歐風建築ハ、盡ク然リ、佛英ノ領事館ナドアリ、市中ニ街路ヲ開ク
廣裕ニテ、白沙浩然タリ、日烈ニ沙焦レ、履熱シテ久ク歩スヘカラス、土民驢馬^{ドンキ}
ヲ牽ヒ來リ、迫リ勸メテ騎セシム、市中ニ歐洲人ノスム處ハ、庭園ヲ街路ニ設
ケ、泥壤ヲ填メテ艸木ヲウエ、空氣ヲ滌淨シ逍遙スヘシ、蓋シ肥土ヲ往來ノ船
舶ニテ、他所ヨリ積取リ、沙中ニ埋メタルナルヘシ、然レトモ地氣溫ナルヲ以テ、
花卉ハ茂榮ス、店前ニモ亦葡萄、藤蘿ヲウエテ、樓檐ニ達シ、其清涼ヲ取ル、二三

ノ街ニハ市肆頗ル鬧ニ、衣皿ノ資ニ乏シカラス、病院、寺塔モ、生齒一應シテ備
 ハル、土産ハ咖啡、烟草ヲ美トス、諸果瓜ミナ熟ス、○此日ハ驢ニ跨リテ、邑内ヲ
 散驅セシニ、革鞍穩カナラス、輪鐙^{アシ}參差タリ、騎シテ沙場ヲ行ク、亦此行ノ一奇
 ナリ、土人ハ色銅色ニテ、黑鬚虬ノ如ク、音吐激越ニテ、叫フカ如ク、噉ルカ如ク
 略英、佛ノ語ヲ解スモノアリ、土人ノ住居セル街ニ至レハ、ミナ陋矮ナリ、往往
 ニ蒲ヲ編ミ以テ字トシ壁トシ、其中ニ棲息スルアリ、又板葺ノ矮屋ヲタテ、板
 古ヒテ半額フタリ、男子ハ窄袖ノ單衣ニ指貫ノ如キ袴ヲ着ス、婦人ハ黒巾ヲ
 以テ面ヲ掩ヒ、兩眼ノミヲ出ス、衣ハ下幅頗ル褊褊トシテ、歐人ノ褻服ノ如シ、
 遂ニ一ノ咖啡亭ニ牽ヒ至ル、亭ノ粧置ハヤ、清快ナリ、葡萄、麥酒、曹達、檸檬水
 ヲ飲シム、價ヲ貪ル^一甚タシ、客ヲ款待スルニハ、頗ル懇切ナリ、然レモ聲音ノ
 激昂ナル、乍聞ケハ粗暴ナルヲ怪マシム、此亭ノ前ニ、三、四、字ノ廨舍アリ、謂フ
 娼店ナリト、屋中ニ寢床、食案ヲ設ケ、線^レ縋^スノ帳ナトヲカケ、黑色銅色ノ婦人ア
 リ、其帳前ニ坐ス、其中ニ金ノ指環、腕環ヲ貫キ、粹白ノ木棉ニ、紅紋ヲ印セル花
 布ヲ衣トシ、指貫ヲ著シ、覆面ナクシテ、媚態ハ面ニ溢レ、客ノ來ルヲ待ツ、是ヨ

リ下等ノ娼ハ外ニ出テ土ニ寢タル女モアリ此邊ノ地ハ暖國ニテ乾燥ナル
ユヘスベテノ人民土ニ寢處スルヲ厭ハス平民ノ家ニハ土床多シ○此地ハ
湖濱ナレトモ用水ニ乏シ上水ヲイスマイラ運河ヨリ資取ス沙場ニ經六七寸
ノ鑛管ヲ埋メタル所アリ即チ上水樋ナリ其費二百五十萬弗ヲ用ヒタリト、
水火ハ人民ノ生意ニ必需品ナレハ歐洲ノ俗上水樋ヲ設クル工作ニハ費用
ヲ糜スルヲ吝マサル如此シ土人ノ街ニハ又豚水ヲ駱駝ニテ運スルヲミル
豚水トハ豚ノ全革ヲ取り四脚ヲ緊括シ水袋トナシタルモノナリ四脚脊腹
アリ頸ヲ以テ口トス混沌トシテ猶豚狀ヲミル其革多年ヲ經タルモノヲ用
フルユヘ漆黒ナル「ゴム片ノ如シ是此邊ノ地方ニテ水ヲ運スルノ具ナリ蓋
革ニテ持去リ水ヲ盛來リ水出レハ一略諸港ヲメグリテ後ニ歐風ノ樓ニ休
塊ノ革トナル遠ヨリ運フニ簡便ナリ略諸港ヲメグリテ後ニ歐風ノ樓ニ休
ス店ヨリ橙ヲ食セシム大サ拳ノ如シ味モ亦甘美ナリ名品トスベシ○一時
ニ船ニ上ラント岸ニイタレハ土人艇ヲ蟻附シテ客ヲ爭フ喧囂ノ聲厭フヘ
シ船中ニハ紅絨ノ帽烟草烟管彩影等ヲ攤列シテ賣ル此埠頭ニハ英佛貨幣
ト埃及貨幣ト共ニ通用ス左方ノ岸ニハ廨舍連リ沙ヲ以テ石ヲ造リ是ヲ以

テ運河ノ口ヘ岬角ヲ築出サントス、造石ノ法ハ粗奄特坦アムステルダムニ同シ第五十四卷ヲミルヘシ

○郵船ハ此ニテ石炭、果、鹹魚、蔬ナトヲ積テ、四時ニ錨ヲ拔ク、是ヨリ蘇士運河ニ入ル、河中ハ疾駛ヲ許サス、略一時ニ五英里行、徐徐トシテ進ム、運河ノ口ハ「メンザレ」湖中ニテ、左岸ハ浩浩タル平沙ナリ、右ハ河底ヲ堀テ、撥掀セル沙ヲ堆シ、一條ノ長洲嘴ヲナシ、電線ノ柱ヲ植タリ、洲外ハ湖水淼瀰トシテ、涯畔ヲミス、時ニ洲嘴ヲ漂ヒ出セルヲミルノミ、此邊ノ河幅ハ百「メートル」ニスク、此日ハ英ノ郵船來リテ行合ヒシニ、裕如トシテ餘地アルヲ覺ヘタリ、「メンザレ」湖ヲ盡シテ、河中ニ泊ス、此河中ハ夜駛ヲ許サザレハナリ

第九十五卷 紅海航程ノ記

二十七日、美晴、一點ノ雲ヲミス、朝四時半ニ錨ヲヌキ、進行シ「バラ」「ケムサー」「マビ
テル」ノ三湖ヲスキ、四時三十分ニ蘇士^{スエズ}ノ埠頭ニ達シ、姑ク錨ヲ投ス、進行八十英
里、八時ニ出船シテ「コルシュム」ノ入海ヲ駛出ス、此日溫八十五度ヨリ、升リテ九十
一度ニ至ル、氣針モ二十八度九分五秒ニ上ル、

「ボルトサイド」ヨリ蘇士^{スエズ}マテ、百英里ノ地峽ヲ、郵船ニテ駛行スルヲ得ルハ、僅

ニ四年前ヨリノ「ニテ」是ハ佛國ノ學士「レッセフス氏」ニ向ヒテ、謝スヘキナリ、
此地ヲ鑿割リテ、大運河ヲ通スルニハ「レッセフス氏」多年ノ苦慮ヲ鍾メ、其ノ積
成ニ因テ、實ニ振古希有ノ大偉業ヲ立タリ、抑地中海ト紅海トノ呼吸ヲ、此百
英里ノ地峽ニテ阻絶セラレ、歐細弗三洲ノ交易、之カ爲メニ妨ケラレ、或ハ喜
望峯ノ巨濤ヲ冒シ、或ハ埃及ノ赤野黃埃ヲ涉リシ「數千年ナリシ、古代ヨリ
此障礙ヲ除キテ、便利ヲ開カン」ヲ謀ル「亦幾許人ノ智力ヲ苦メシヲ知ラ
ス、天ノ生民ニ利益ヲ與ヘルヤ、引テ放サス、躍然ナリ、人ノ神智氣力、或ハ思フ

テ至ラス爲テ遂クルアタハスシテ造化ノ秘ハ隠レテ世ニ著レス、後人ヘ靈
 智魄力ヲ用フヘキノ地ヲ與フル、實ニ窮極ナシ此地岐ノ開鑿ハ己ニ三千年
 前、埃及國ノ盛ナルニ當リ、曾テ一ノ河道ヲ開テ、漕舟ヲ通セシ、アリ、紀元前
 四百年代ニ埃及ノ地ヲ希臘ヨリ兼有スルニ當リ、其河道ヲ濬治シ、其後羅馬
 ノ衰フルヤ、亞刺比亞ノ回部ヨリ、埃及ヲ侵取シ、此時ニモ亦濬治ノ舉アリキ、
 此四代ノ間ニ開濬ヲナセシ河道ハ、時時ニ變遷モアリタレト、大略「ナイル河
 ヲ遡リ、紅海ノ西岸ニ回漕シ出ルモノニテ、河道甚タ長クシテ、其幅小ナルヲ
 以テ、大船ヲ出入スルニ足ラス、只小舟ノ航道ヲ容ルノミ、河底淺ク、流沙爲メ
 ニ填塞シ、從テ濬スレハ從テ生シ、輒不通トナルヲ多ケレハ、其便利ヲミルニ
 遑アラサリキ、一千八百年ノ初メ、佛朗西帝拿破侖第一世、埃及ヲ伐從ヘシト、
 此地峽ノ開鑿シテ、河道ヲ通セント、地勢ヲ測量ナサシメシニ、其時ノ測量ニ
 テハ、兩海ノ水面ハ高低ノ差百「メートル」ニ及ヒ、開鑿スルモ其功ナカラント
 ノヲナリキ、因テ佛國ニ於テ、其開鑿ノ法ヲ考量シ、彼是評論決セサル半ニ、英
 國ヨリ埃及國ヲ救フテ烈戰シ、佛軍ヲ退ケシニ因テ、其議ハ寢ミタレト、開鑿

ノ舉ハ此時ヨリ端緒ヲナシ遂ニ今日ノ成業ヲミルニ至レリ埃及國王「アリ
ー」ハ其後又開鑿ノ事ヲ圖リテ英佛ノ兩國ヨリ地理學ニ達シタル學士ヲ申
受ケ測量ヲナサンコトヲ望ミタリシニ佛國ニ於テハ此舉甚タ然ルヘシトノ
議ナレト英國ニ於テハ不承諾ノ說ヲ陳シ彼是ノ齟齬ニ因テ議決セサル間
ニ「アリー王」殂シ事遂ニ中止シタリ當王「イスマール王」ハ初メ佛朗西ニ遊學
ヲナシタル人ニテ即位ノ後ハ佛國ヨリ政事顧問ノタメ大學士數人ヲ聘シ
タリ「レッセ」フス氏ハ其一人ニテ埃及國ニ赴キ王ノ禮遇ヲウケタリ此「レッセ
」フス氏ハ曾テ埃及國ヘ總領事トナリ赴任セシ時ニ國內ノ地形ヲ詳悉シタ
レハ常ニ王ニトクニ埃及國ニ於テ富強ヲ興スノ計ハ蘇土地峽ヲ開鑿スル
ヨリヨキハナシ是特ニ一國ノ利ニ止マラス地球上ニ無限ノ利ヲアタフル
善舉ナリト懇懇ト陳論セシニヨリ王モ深ク其言ニ悅服シ終ニ毅然ト決意
シテ曰此美舉ヲ成就スルニ於テ孤ハ國力ヲ盡シテ從事スヘシ倘其事業人
カニテ爲ス能ハスト決スルニ至レハ詮方ナシ苟モ人力ニテ成ルヘキ理ア
ルニ於テハ他ノ事故ノ障礙ニヨリ孤カ志ヲ撓マシテ中廢セサルハ神明ニ

誓テ之ナキヲ保ツヘシト「レ」セフス氏モ大ニ感激シ、是ヨリ佛國ノ地理學士
 ヲ聘シ迎ヘ、精シ測量ヲナサシメシニ、兩海ノ潮面ハ、高下平均ナルヲモ、詳細
 ニ知レタリ、因テ開鑿ノ舉ヲ佛國ノ公議ニカケシニ、其論定ニ、此業ハ天然ニ
 於テハ、些ノ障礙ヲミス、只[○]人[○]和[○]ヲ[○]傷[○]ル[○]大[○]妨[○]害[○]ノ[○]眼[○]前[○]ニ[○]横[○]ハ[○]リ[○]タ[○]ル[○]ノ[○]ミ[○]トノ
 議ナリケリ、是其意如何トナレハ、埃及國ハ、土耳其二管隸シタル王國ナルニ、
 國內ニ大利益ヲ興シ、駸駸トシテ、富強ノ緒ニツクハ、土耳其國ヨリ甚タ忌嫌
 フ所ナリ、之ニ加フルニ、英國ハ、印度ノ屬地ヲ領シ、之ヲ保存スル爲ニ、多少ノ
 國力ヲ盡ス、蘇士ノ地峽ニヨリ、亞^{アラビヤ}刺伯海ト地中海トノ往來ヲ阻隔シタルハ、
 印度ヲ堡障スルニ、緊要ナル形勝ト恃メリ、然ルニ今之ヲ開鑿スレハ、彼ノ砲
 墩ヲ破毀スルニ均シ、又亞歷山大府ヨリ、蘇士ヘノ鐵路正ニ成就シ、埃及ト英
 國ト、其利ヲ共ニセル際ニアタリ、佛國人ノ意見ニテ、運河ヲ開クモ、亦其悦ハ
 サル所ナリ、是等ヲ首トシテ、他ノ填國ノ如キモ、亦悦ハサルノ情實ハ種種ア
 レハ、假令開鑿ノ土功ハ容易ナルモ、各國ヨリノ偏執ハ、頑乎トシテ破ルヘカ
 ラサル困難ノ事情アリトノ意ナリ、尋常ノ人ナレハ、此等ノ物情ナキモ、元來

百里ノ地ヲ開鑿スル大業ナレハ、憂慮シテ沮止スルモノ多キニ、如此キ大妨
礙アル際ヲ排シ、此舉ノ必成ヲ保チ、必ス其功ヲ遂ケント、志ヲ立タル「レッセフ
ス氏ノ膽力ハ、實ニ畏ルヘシ」「レッセフス氏ハ、本國ノ議、如此クナルヲ聞クヤ、毅然
トシテ其志ヲ堅クシ、開鑿ノ事ヲ一身ニ擔任シ、先ツ土耳其國ニ往テ、辨說
ヲ盡シ、其業ノ必ス著手セサルヘカラサルヲ陳明シ、竟ニ其國議ヲ定メ、承
諾ヲナスニ至リケレハ、又英國ニ赴キ、反覆陳論シ、竟ニ英國モ承諾シタリ、夫
ヨリ諸國ヲ歴說シ、ミナ辯論ノ難キヲ難トセス、反覆懇到ニ、利弊得失ヲ説明
シ、其猜忌ノ心ヲ釋キ、其協同ノ心ヲ啓誘シ、竟ニハ資金ヲ出シテ、其舉ヲ助成
スルニ至ラシメシハ、蘇秦張儀カ連衡ヲ辨論セシモ、爭テカ其難キヲ比スル
ニ足ラン、是ニヨリテ、埃及國ヲ主トナシ、佛國ヨリ之ヲ助成シ、他ノ諸國ヨリ
モ捐金ヲナシ、果シテ開鑿ノ舉ニ著手スルフトナリシハ、雲霧ヲ開キテ、晴日
ヲ仰クノ快ナルヘキニ、是ヨリ生セル困難ハ、開鑿ノ業ト共ニ「レッセフス氏ニ
纏綿シタリ、非常人ニ超越スル事業ヲ成スモノハ、非常ノ忍耐、強有力ノ精神
ナケレハ、其美ヲ保續シ得ヘキモノニアラス、運河ノ開鑿、已ニ著手トナルニ

至ル後、數年ノ間ハ、成功ノ端緒ヲミス、各國ノ物議ハ、囂然トシテ生シ、或ハ其
 業ノ漫ナルヲ謗リ、或ハ其業ノ不成ヲ非スル說、蠅毛ノ如ク起リ、又運河ノ開
 鑿場ニ於テハ、漸漸ニ土功ノ業盛大ニナリ、工役ヲ興スノ多キハ、至テハ二
 萬ノ人夫ヲイレテ、地ヲ鑿リ沙泥ヲ運搬スルニモ至リシニ、埃及ハ未開化ノ
 國ナレハ、器械ノ用意モ不充分ニテ、百事ミナ不自由ナルノミナラス、此邊一
 帶ハ、ミナ赤野ト沙漠トノ曠原ニテ、炎熇、蒸クカ如ク、埃及ノ未開ナル民、ミナ
 陋ニシテ、土功ニナラハス、役夫厭苦ノ聲ハ、暑熱ト共ニ盛ンニ、四方ノ謗議ハ、
 沙淤ノ多カ如ク、内外ヨリ「レ」セツス氏ヲ衝擊ス、然ルニ、日々ニ功程ヲ督シ、
 初メ役夫ハ、徒手ニテ泥沙ヲ搬キ、手足胼胝、勞疲モ亦甚タシク、瘴疫之ニ乗シ
 テ、死スルモノ日ニ相枕籍シタレハ、「レ」セフス氏はニテハ、急功覺束ナシト畫
 ハ、督シ夜ハ思ヒ、種種ニ心ヲ惱マシ、歐洲諸國ニ器械ヲ注文シ、陸ニハ蒸氣器
 械ヲ工夫シテ、沙泥ヲ運搬シ、水ニハ撥沙ノ船ヲ浮ヘテ、河底ヲ鑿濬シ、成功ノ
 歩ヲスハ、ムルヲトナリタレハ、著手ヨリ數年ヲ經テ、工費ハ莫太ノ額ヲ抛チ
 テ、殆ト空竭セントスレハ、未タ成功ヲミサレハ、又百方調金ヲナスニ際シ、各

國誹謗ノ論ハ益其勢ヲ得タリ。夫功ヲ急キ、小利ニ驚スルノ人情ハ、何國モ異ナルヲナシ、此等ノ徒、囂囂沸騰スルニ乗シ、又他人ノ成功ヲ媚嫉スルノ徒ハ、中ヨリ撓沮ノ說ヲ煽動シ、「レッセフス氏ノ惡評ハ、歐洲ニ充テ、或ハ曰ク、蘇士ノ地峽ニテ、航路ヲ阻絶シタルヲ久シ、^{モシ}倘其開鑿スヘキモノナラハ、二千年間ニ「レッセフス氏ヨリ、智力勝リシモノナシトセンヤ、畢竟此業ハ、彼人ノ舌頭ニテ、其成功ヲ耳ニキクヘント雖モ、其地ニ於テ、成功ヲ目ニミルヲハ、元來アルヘカラサルヲナリ、又其甚タシキハ曰ク、此業ノ成功ナキヲハ「レッセフス氏ノ意中ニ、固リ明白ナルヘシ、只集ムルハ他人ノ財ニテ用フルハ己ノ利ナレハ、其目的ハ開鑿ヲ保續スルニアリ、事業ノ成ト否トハ、元來彼人ノ眼孔中ヨリ脱出シタリナド、紛紛議論シ、大工業モ殆ト中落セントスル勢ニ際シタリ、「レッセフス氏、謗議ノ衝撃ヲ掛シ、費用ノ歎竭ヲ聚メテ、渺沙ノ混混タルヲ撥挖スルニハ、實ニ忍フヘカラサル地ニマテ、困難ヲ忍ヒテ、銳意ニ成功ヲ督シタレト、誣罔百端ナレハ、竟ニ各國ヨリ親信セラレタル人ヲ差派シテ、現地ニツキテ事業ヲ勘査アラソフヲ請フニ至レリ、是ニ於テ各國ヨリ人ヲ派シテ實地

ヲ查驗セシニ、此時ハ土功早已ニ半程以上ノ成功ニ及ヒタリキ、是ヨリ流言モ次第ニ衰ヘ、資金モ次第ニ集リ、最初埃及國王ニ建言セシヨリ、十五年ノ功ヲ積ミ、八千萬弗ノ財本ヲ費シテ、一千八百七十年ヨリ、船舶往來ヲハシメ、其年ニ收メタル利益金九萬五千弗、翌七十一年ニハ、二十萬弗ナリシ、七十二年ニ三百二十五萬弗ノ雜費ニテ、三百六十六萬弗ヲ收メ、其利益ハ四十一萬弗ニ増加セリ、

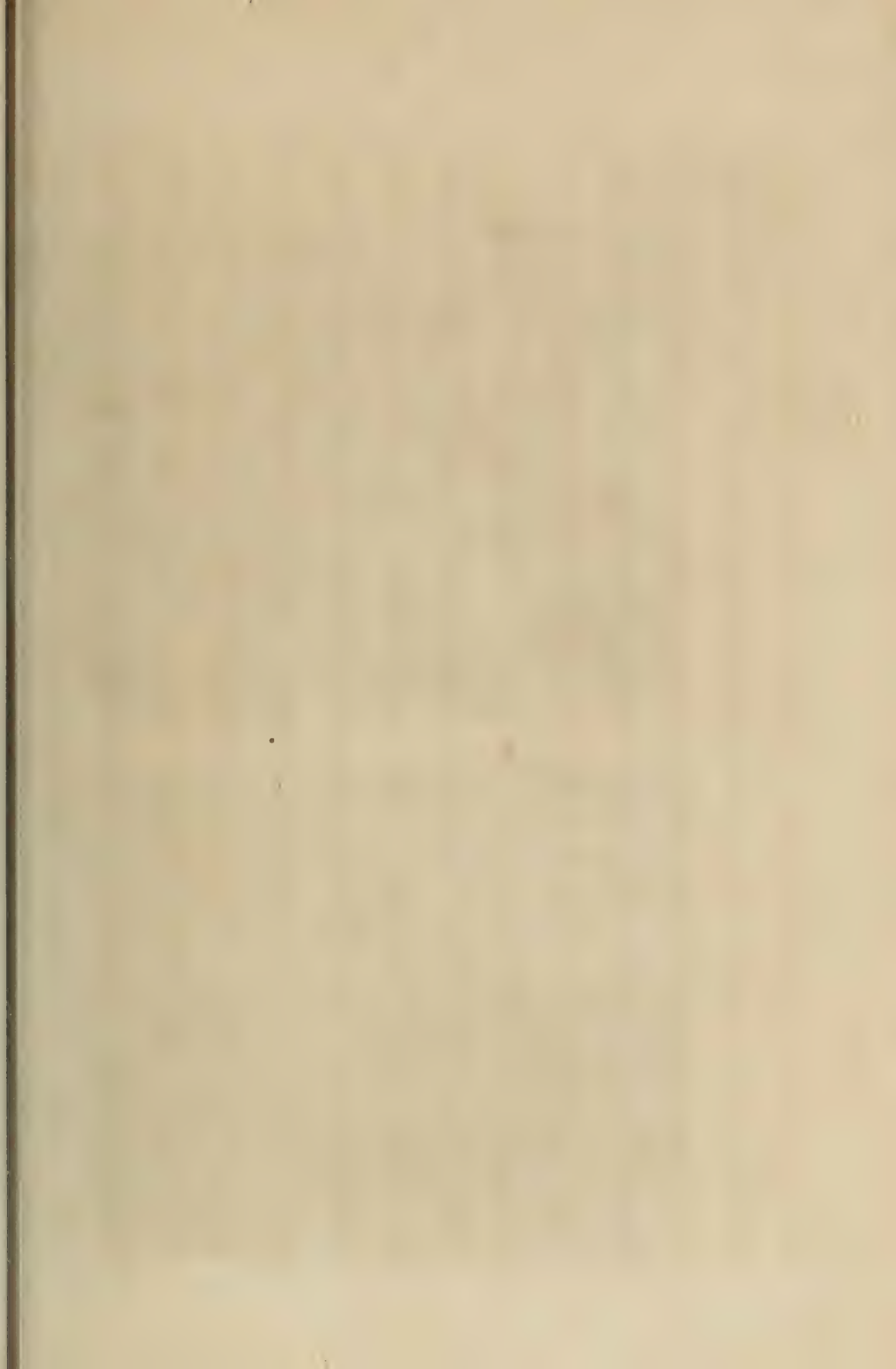
運河ノ總距離ハ百英里、中ニ四ツノ湖水ヲ過ク、湖ト湖トノ間ハ、總ヘテ四十英里ノ地峽ニスキス、皆浩浩タル平沙ニテ、絶ヘテ、山岡ナシ、其至テ高キ所モ、水平ヲ拔ク六十「フイート」ニ上ルハ、甚タ希ナリ、近傍ニ樹木モナク、地ニ石礫モナシ、憶フニ上古ハ、兩海ノ潮互ニ相連リシニ、海潮ノ淘搖ニヨリテ、此ニ游沙ヲ堆シテ、地峽ヲ隔斷シタル歟、^{トルキスタン}土耳其斯坦ノ「アラ湖モ、一ノ地峽ヲ隔テ、裏海ト界フ、今ニ裏海ト「アラ湖トノ水ハ、年年ニ減シテ、地峽ノ沙漠ハ、年年ニ増加ス、是モ盤古ノ昔ニハ、元一湖ナルモノナルヘシ、彼地ヲ以テ此地ヲ相スルニ、亦相同シキニ似タリ、○運河ノ深サハ七十二「フイート」其幅ハ二十英里ハ、百メ

埃及人ノ風俗



同蘇士運河ノ口





一トル二十英里ハ六十メートル」以テ湖水ニ接連シ、湖底ヲ濬シ、湖岸ヲ高クシテ、大船ノ出入ニ障礙ナカラシム、運河ノ岸ニハ、木柵石垣ヲ築固スルニ違アラス、故ニ船來レハ、水ハ岸ヲ洗フテ退キ、船去レハ又岸ヲ拂フテ張ル、一退一漲ゴトニ、洗剝セル沙ハ、河底ヲ填塞スルヲ以テ、挖濬ノ功ハ、一日モ休スルヲ得ス、游沙浩汗ニテ、保持ノ費用モ、甚大ナリト云、○運河ノ口ニメンザレ湖ヨリ入ル、此ハ四湖中ノ最大湖ナリ、地中海ヨリ、岬角ヲ築キ起シ、兩扇相對シテ、湖内ニ入り、湖水甚タ淺シ、鑿開シテ之ヲ深クシ、其沙泥ヲ堆シテ兩岸ヲ築キ、幅一百メートル」ノ運河ヲ開ク「ポールトサイト」ヨリ起リ、二十英里ノ距離ハ、運河ノ最濶ナル處ナリ、昨夕ニ駛行セルハ即チ是ナリ、此邊右ハ湖水淼トシテ天ヲ浸シ、左ハ平沙茫トシテ雲ニ連ル、沙面ヲ望メハ、湖水ノ始メテ退キ、游沙ノ露レタルカ如シ、此夜ハ星斗爛然トシテ、四顧ニ山ナシ、陸地ナレハ、洋中ニ泊船スルカ如シ、沙場ノ空中ニ流火アリ、數回數百丈ノ上ヲ飛過シ、數町ニシテ消滅ス、日本西南部ニ所謂ル天火ナルモノナリ、其形甚タ大ナリ、歐洲ニアル一一年有半、未タ此現象ヲミシナシ、是ハ熱帶ニ近キ地方ニアル象

ナルヘシ、日本ニテモ東北部ニハ、天火ヲミルヲ甚タ希ナリ、○此日ノ朝、錨ヲ
 抜キ「バラ湖ニ入ル、湖首ニ人家三四戸アリ、茅宇板屋、岸ニツヒテ建タリ、是ヨ
 リ湖岸ノ土、梁漸高ク、内地ヲミス、○九時ニ「ケムサー湖ニ出ツ、此湖口ニテ、二
 三ノ土人、半身ヲ裸シテ、河ニツヒテ歩スルヲミル、湖ノ西岸ハミナ白沙ニテ、
 坡ヲナシ、岡ヲナス、眞ニ寒カラサル雪ナリ、此陰ニ蘇士ヘノ瀛車驛アリ、坡陀
 タル沙岡ノ上ニ、二三ノ大屋、聖壁皎然トシテ建チ、環スニ「ホブラ樹ヲ以テス、
 沙白クシテ、樹ハ愈緑ナルヲ覺フ、東岸ハ赤野ニテ、僅ニ藪爾ノ艸ヲミル、土人
 駱駝ヲ其内ニ放置ス、烈日天ニ中シ、沙漠ハ爲メニ爍シ、目ヲ眩スヘシ、而テ駱
 駝ハ悠然トシテ、首ヲ翹シテ遊歩ス、亦沙漠中ノ一奇觀ナリ、此處ヲ運河ノ中
 央トス、湖上ノ景モ亦清快ナリ、是ヨリ河身狹ク、沙漠ノ底ニ、ヤ、ハ、頓壤ヲミル、
 間ニ蓬艸瘠葦ノ數寸ニ長スルアリ、○正午ニ「マビッテル湖ニ入ル、此湖ハ苦水
 ナリ、人コレヲ飲メハ、乍チ嘔吐スルトナリ、湖ノ形ハ狹長ニシテ、大河ヲ航ス
 ルニ似タリ、二時間行ニシテ、漸クニ盡ク、湖ノ首尾ニハ、ミナ三四字ノ屋アリ、
 盡ク新造ノ平舍ナレト、造營ハ淨ク、前ニ園ヲ存シ、蔓草ヲウエ、柵ヲ架シ、塙ヲ

匠シ、清蔭ヲトリ、湖岸ニ棧橋ヲ架セリ、此ヲ除クノ外ハ、亦人家ヲミス、艸木モミルヲナシ、是ヨリ十餘英里ニテ運河ヲ盡クシ、蘇士港ニ出ツ、

蘇士府ハ、北緯二十九度五十八分、東經三十二度三十三分ノ地ニ位シ、紅海ノ盡ル衝頭ニアリ、埃及國ニ屬ス、一千八百五十六年マテハ、人民四千ニミタサル小港ナリシニ、英人ハ此地ヨリ鐵路ヲ布キ、亞歷山大府ノ往來ヲ利シ、地中海紅海ノ航路トナシテヨリ、西洋ト南東洋往來ノ要港トナリ、生齒年ヲ追テ盛ニ今ハ人口一萬三千六百二十五人ニ及ヒ、其内ニ外國人二千五百人アリ、○其地タル、西南ニハ一帯ノ山脈、高ク起リ、蜿蜒トシテ内地ニ連リ、山色黒赭ニテ絶ヘテ生艸ナク、直ニ海嘴ヨリ起ル、灣海ノ水ハ山陰ヲ浸ス、底淺クシテ大船ヲイル、ヘカラス、蘇士ノ府ヨリ、海ニ向ヒ一英里許ノ鐵道ヲ築キ出シ、灣口ノ小島ニ接連シ、以テ埠頭トナス、島面ヲ平カニシ、水岸ニハミナ石ヲ築キ、上ニ人家廨舍百餘宇アリ、東京石川島ニ彷彿タリ、船舶ハ南岸ニ蟻附シ、北岸ハ船槽ヲ掘入レ、輓轡車ヲ設ケテ、修船場トナセリ、○此埠頭ニ碇泊スレハ、土人物貨ヲ以テ、船中ニ來リ販ク、略「ポルトサイト」ニ同シ、土耳其風ノ煙管ヲ

ウル、是ハ陶ヲ以テ小壺ヲツグリ、上ニ輓石ノ火皿ヲウケ、壺中ニ水ヲ蓄ヘ、側
 ヨリ蛇管ヲ施ス、長サ二尺餘、其抄ニ吸口アリ、烟ヲシテ水ヲコシ、煤膠ヲサリ、
 口ニ至ル、且蛇管ノ便ニヨリ、臥テ喫スヘシ、甚タ癩怠ノ狀ヲ覺フ、○蘇土府ハ、
 港濱ニヨリ、赤野ノ中ニタツ、家屋參差トシテ、壁白ク、堂尖秀テ、烟氣簇簇ト
 シテ、繁花ノ象ハ、人口ノ割ヨリ庶殷ナルカ如シ、是ヨリ西北ニ連リ、一望數十
 英里、漠トシテ人烟ナク、曠トシテ艸木ナク、野埃浮ミ、夕陽ノ光爲ニ黃ナリ、此
 ヨリ「カイロー」府ニ向フトイフ、天ニ際シ、遙ニ山ヲミス、海ノ東岸ヨリ東南マ
 テモ、亦是茫茫タル赤野ナリ、王昌齡カ、大漠風塵日色黃ノ句、以テ此地ヲ形容
 スルヘシ、極東ニ一帯ノ遠山ヲミル、斜ニ東北ニ逡遛シ走ル、此ヲ亞刺伯國ト、
 埃及國ト分界ノ山トス、此日ハ落照三竿、一隊ノ土人アリ、駱駝ニ跨リ、遙ニ此
 野ノ黃埃中ヲ行ク、一幅ノ畫圖ヲミルカ如シ、亦奇眺ナリ、運河「マピテル」湖ヨ
 リ以南ハ、土ミナ黃色ノ輓壤ニテ、沙漠ト異ナリ、然レモ生氣ナシ、或云此邊ノ
 土地、古ヘハ艸木繁茂セシニ、埃及ノ衰ヘルニアタリ、北狄東寇ニ亂妨ヲウケ、
 艸木ヲ芟夷シテ、野ヲ赭ニセシニヨリ、土ニ植木ノ質ヲ失ヒテ、遂ニ如此クナ

リシト、此地方ニハ雨少ク、毎歲ニ一雨ヲミルハ、殆ト異事トス、大抵五六年ニ
一回、大驟雨スルノミ、是ヲ以テ土ミナ枯燥シ、艸木ヲ潤スニ足ラス、亞弗利加、
及ヒ阿刺伯^{アラビヤ}ノ地方、大抵ミナ然リト云、○蘇士府ヨリ、埃及ノ國都、カイロー府
マテ、約一百英里、英船ニ搭スルモノハ、此ヨリ上岸シテ、船ヲカヘルモ亦便ナ
リ、佛船モ亦此ヨリ「カイロー」府ハ、埃及ノ國都ナリ、抑モ埃及ハ、西洋古代ノ顯
國ニテ、四千年前ニ、已ニ其盛ヲナラセリ、當時ノ文字ハ象形字ニテ、今世ニ至
リ讀ムモノナシ、歐洲ノ碩學士百方討索シテ、其讀法ヲ學フト云、是ヲ以テ詳
カナル歴史ヲ知ル者ナケレヒ、四千年前後ノ古蹟遺器多ク存ス、「カイロー」府
ノ博物館ハ、好古ノ士、千里ヲ遠シトセサル名所ナリ、又府中ニ存スル錐形塔^{ヒラミヤ}
巨人首ノ如キ、古時埃及ノ豪酋、奴隸ヲ役シ、俘囚ヲ驅テ、造リシ大建築ニテ、之
ヲ視テ以テ古ヲ想像スルニ足ルト云、埃及ハ、幅員十七萬七千九百〇五方英
里、一千八百〇六年「モゴメットエイル」始メテ國權ヲトリ、陰陰自主ノ姿ヲナシ、
三十年前、土耳其ヨリ亞王ノ稱ヲ許サレ、世襲ニ位ヲウク、本年ニ兵權及ヒ外
交ヲ許サレ、獨裁主治ノ國トナレリ、全國ノ人民五百二十萬三千四百〇五人

外國人ハアリ國都「カイロ」府ハ亞歷山大府ト、蘇士府トノ交路ニアリ、人口
三十五萬三千三百五十一人、内ニ外國人二萬千七百八十三人アリ、此ハ道路
ノスグル所ニアラサレトモ、叙ニヨリテ其大畧ヲ叙シ及ス、

蘇士ヨリ紅海へ出ル海峡ヲ「ユルシュム灣」ト云、又ノ名ハ蘇士灣、印度洋ノ航路
ハ此ヨリ亞丁マテノ間ヲ最モ酷熱ノ境トス、

二十八日、亦快晴ニテ點雲ナシ、只海面ニ濛氣盛ンニテ、遠望ヲ妨ク、順風快ク吹
ク、天明ニ西岸埃及ノ「シユウッテイン」レト岬ヲスキ、東ニ西奈山^{シナイ}ヲ望ム、正午北緯二
十七度四分、東經三十二度二分ヲ駛ス、蘇士ヨリ進行二百〇七英里、亞丁マテ殘
程千百〇七英里、溫八十七度^{「セ」氏二}十九度^{「セ」氏}氣針二十九度、是ヨリ紅海ニ入ル、六時四十
分ニ大陽海ニ沒ス、夜溫九十三度^{「セ」氏}三十度

「シユウッテイン」レト岬ハ此邊海岸ノ地ニテ、ミナ赭岩ノ山嶺巖トシテ起伏シ、皴
皺甚タ細ニ、小斧劈ノ書法ニ似タリ、亦奇觀ナリ、然レモ枯燥ニテ點烟モナシ、
童然タル死山ナリ、海面ニ飛鳥ヲミル、魚ヲ食スルノ禽ハ亦如此キ荒地ニモ
棲息スルカ、○東岸ナル阿剌伯ノ地ハ蘇士灣ト「アカバ灣」間ニ斗出セル半島

ニシテ中脊ニ一ノ山脈ヲ起ス、連峰遙ニ濛氣ヲ隔テ、望ムヘシ、此奥ノ高頂
ヲ西^{シナイ}奈山ト云、高サ八千三百尺、險峻ナルヲ紀州ノ熊野ニ似タリ、往古ノ聞人、
摩^{モセス}西ノ家族、久シク埃及ニアリテ、其奴役ノ苦艱ヲウケ、人ヲ殺シテ、此山奥ニ
逃レ來リ、道ヲ修メ、遂ニ山上ニ於テ、神人ヨリ十誠ヲ授ケラレタル處ナリ、此
十誠ハ、即チ希臘諸教ノ根底ニテ、此峰ハ即チ其教ノ熊野山ト謂ヘキ靈場ナ
リ、此半島ノ地ニ、阿剌伯人ノ生齒頗ル多ク、今ハ土耳其ノ麾下ニ服従スル一
部ナリ

「レットシー」(紅海ト譯ス)古來ヨリ此稱アリ、古ヨリ此海底ニ珊瑚ヲ生ス、其質
甚タ美ニシテ、且ツ海水尤モ澄徹シ之ヲ採ルニ便ナリ、又海岸ノ地ニ赤岩赭
峰多キヲ以テ、此名ヲアタヘタリ、ヒ云、午前ニ「セボアン島」ノ東ヲ駛ル、大小兩
三嶼アリ、ミナ枯燥ノ赭山ナリ、晚來ニ埃及ノ山ヲ渺茫トシテ、螺黛ノ如クニ
見送り、東南北ハ、浪濤茫タルノミ、「ボチェル」ト云小島アリ、大小二ツノ赤岩、海心
ニ點綴ス、船ハ其西ヲスク、此處北緯二十六度二十三分、東經三十二度三十五
分ニアリ、

此夜風絶ヘテ暑甚タシク、寢ルベカラス。

二十九日、晴、濛氣較^ヤ澄ム、正午北緯二十三度二分、東經三十四度五十分、進行二百八十七海里、溫八十九度^セ氏三十一度、氣針二十九度、終日一點ノ山ヲミス、夜溫九十三度ニ上ル、

蘇士ヲ發シテヨリ以來ハ、炎暑日ニ進ム、大抵夜半マテヲ最モ甚シトス、朝來ハ較退ク、四五度之ヲ賴ミテ熟眠スルヲ得ル、亦快風アリテ吹盪シ、晝間ハ艀^{カンベジ}板上ニ納涼ヲナス、只列日煌煌トシテ、目ヲ眩スルヲ覺フ、

三十日、晴、濛氣又盛ナリ、風浪較起ル、正午ニ北緯十八度三十五分、東經三十七度二十分、進行三百海里、此日ハ太陽ノ躔、北緯十八度三十分ニアリ、正ニ其直下ヲスク、日中ニ影ナシ、溫九十三度^セ氏三十一度半、氣針二十八度九分、海面濛トシテ、太陽ノ没スルヲ知ラス、夜溫九十五度、

此日ハ航海中最上ノ酷熱ナリトス、尙風來レハ肌ニ觸テ快キヲ覺ヘタリ、朝來熱九十度ヨリ降リシヲナシ、室ニヨリテハ百度ニ上レリト云、是ヨリ太陽ヲ北ニミル

三十一日晴海面尙濛濛タリ正午ニ北緯十四度三十五分東經四十度十分進行三百〇一海里溫九十三度「セ」氏三十一度氣針二十八度九分五抄九時三「ペリー」島ノ燈臺ヲマハリテ阿刺伯灣ニ入ル夜半ヨリ熱度頓ニ退ケリ

此日ハ風タヘテ海上ハ油ヲ漲スカ如ク水面ニ沙漠ノ浮埃ヲ漲シ海色モ爲メニ黄ナリ紅海ニ入りテヨリ此埃ヲ見ザル日ナシ此日尤モ甚シ晚來風起リテ頓ニ浪ヲ起シ驟雨ノ來ルカト疑ヘヒ遂ニ雨フラス然レヒ炎氣ハ爲メニ盪滌シ氣針之カ爲メニ上ルコト一分溫ハ九十一度ニ下レリ九時「ペリー」島ノ燈臺前ヲ過ル此島ハ亞弗利加ノ「アヘスシニヤ」國ニ屬スル一小島ナリ其對岸ハ阿刺伯ノ西北ナル「モンザフ」ノ海角ニテ紅海ノ咽喉タリ峽ノ幅三英里ニ滿タス兩岸共ニ山勢蜿蜒タリ英人此島ヲ「アヘスシニヤ」國ヨリ九十九年ノ條約ヲ以テ借り受ケ燈臺ヲ守リ砲臺ヲ築キテ亞丁ヨリ十五日毎ニ交代ノ戍兵ヲオク此地ノ炎暑ハ世界ニ冠タリ地ニ艸木ナク用水モナシ英人此處ハ印度往來ノ隘阨ナルヲ以テ亦砲ヲ備ヘ兵ヲ置キ費ヲ惜マスシテ其險ヲ扼シ各國ノ船ヲシテ其火線ノ下ヲスキシム英人ハ印度及ヒ豪斯多棘利洲ヲ以テ寶庫トス噫

寶庫ヲ守ルニ其業モ亦勉メタリト謂フヘシ。國○人○ノ○魄○力○旺○ナル○ニ○非○レ○ハ○此○
 遠大ノ力ヲ運スルヲ得ス。國ノ盛衰ハ尤モ人民ノ魄力ニ關係ス。技工財貨ハ
 第二議ニアリ。

スヘテ紅海ノ航程蘇士ヨリ亞丁マテ一千三百十四海里蘇士ノ運河百英
 里地中海一千五百六十四海里

第九十六卷 阿剌伯海航程ノ記

八月一日、晴、朝六時半ニ、亞剌伯ノ亞丁港ニ著シテ錨ヲイル、因テ上陸シ、海岸ヲ回リ、砲臺ニ上リ、府中ニ至リ溜水池ヲミテ、船ニ上リ、船中ニ宿ス、此日溫九十一度、朝八十度、氣針二十九度

阿剌伯ノ地方ハ土壤廣クシテ、海灣狹ク、周年雨ナク、氣候熱ス、故ニ枯燥シテ、沙漠赤野多シ、只三面海岸ノ地ハ、人ヨク至ルヲ得テ、又棲息スヘシ、其内部ノ地ニ至リテハ、駱駝ノ背ニテ、沙漠無人ノ境ヲ渡リ、内部ニ入ルモ、一百里ニ過ルヲ得ス、故ニ其地廣シト雖モ、居民アルハ、只海岸ノ地ノミニテ、百餘里ノ奧ナル、内地ノ景況ニ至リテハ、竟ニ何様ナルヲ知ルモノナシ、スベテ之ヲ沙漠ト目シタルノミ、外邊三面ノ海岸中ニ於テハ、紅海ノ岸ヲ尤モ庶般ノ境ナリトス、數部ヲ分ツテ、各酋長アリ、民ハ「モバメット」回教ヲ信シ、土耳其國ニ附屬ス、亞丁ハ其極南ノ地ニアリ、

亞丁ハ、也門部ノ良港ニテ、紅海往來ノ咽喉ニアリ、北緯十二度四十分、東經四

十四度五十七分ノ地ニ屬シ、海灣西南ニ向ヒテ開ケ、盤渦ノ狀ニ、山脈長嶼ヲ
 匝セリ、故ニ浪恬シテ港廣シ、一千八百三十九年ヨリ英國コノ一角ノ土地ヲ
 買取リテ、東南洋航路ノ郵驛トナシ、是ヨリ繁庶シテ、今ハ人口三萬アリ、海濱
 ノ埠頭ハ、赤岩嶺嶺トシテ聳ヘ、前ニ一條ノ沙場ヲ匝ス、此ニ廨舍、旅館、憩亭、驛
 館ヲ建テ、僅ノ人家、及ヒ土人ノ破村、茅舍アルノミ、○亞丁ノ市街ハ山ヲ越エ
 テ、内部ノ谷中ニアリ、土人ハ銅色ニテ、往往ニ黑色ヲマシユ、骨格ハ歐人ニ近
 シ、亞刺伯語ヲ操ル、亦英語ヲ解スルモノアリ、音吐ハ激昂シテ耳ニ喧シ、其衣
 ハ大抵半身ヲ裸ニシテ、腰ニ長幅ノ棉布ヲ卷ク、褶裾ノ如シ、其衣ハ窄袖施釦
 ノ單衣ヲ其上ニ衣ル、是ヲ上等ノ民トス、貧人ハ一幅ノ白布ヲ腰ニ卷クニス
 キス、頭髮ハ散髮多シ、黃土ノ如キモノヲ塗リ、或ハ之ヲ染メタルモアリ、上ニ
 布ヲ盤渦ニ卷キテ帽トス、琥珀ヲ貫キテ胸ニカケタルモノアリ、婦人ノ服ト
 テ大ニ異ナルナシ、衣袴共ニ紅色ノ棉布、花布ヲ用フ、只奇ナルハ其粧飾ナリ、
 鼻孔ノ右ヲ穿チテ、之ニ金環ヲ穿チタルモノ多シ、途上ニ荷負シテ業ヲ勵ム
 野婦ヲミルニ、亦此ノ如シ、印度地方モ此俗ナリト云、髮ハ黒クシテ直ケレト

モ粗ナリ、之ヲ後ニ締結ス、地方熱甚タシキヲ以テ裸體ノ人多シ、郵船至レハ、
海岸ノ民、艇ヲ推來リテ、客ヲ爭フ、又幼童ハ、普木ノ小艇、僅ニ二三人ヲイル、
ヘキモノヲ浮メ來リ、客ヲシテ銀錢ヲ海水ニ投セシメ、皆水底ニ潜游シテ之
ヲ拾フ、十ニ一モ失フコトナシ、銅幣ハ看認メ難シトテ拾ハス、泊舟ノ間、常ニ
海中ニアリテ、客ニ挑求ス、蛙ノ水ニアルカ如シ、之ヲシテ郵船ノ底ヲ潜リ出
シムレハ、喜ンテ潜リ出テ錢ヲ求ム、其水ニ慣熟セルヲ驚クヘシ、○海岸ノ東
ニ山岬アリ、岩石鋸ノ如シ、之ヲ削リテ砲墩トナシ、磚壁ヲ匝シテ、内地ノ山ニ
接連ス、山口ニ洞門アリ、海岸ノ路、是ヨリシテ山陰ノ谷ニ至ル、約二英里許、即
チ市街ノアル所ナリ、此邊ノ山ハ、砲臺ノ備甚タ嚴ナリ、山下ニ隧道ヲ穿ツテ
路ヲ開ク、常ニ戍兵二千人ヲ置ク、其一千二百人ハ、印度ノ兵ヲ用ヒ、八百人ヲ
英ノ本國ヨリ送ル、阿剌伯人ハ、悍ニシテ抄掠ニ慣ル、英ヨリ土耳其ニ約シテ
此ヲ距ル、四十英里以内ニ、平常ハ兵ヲイル、ヲ得サラシム、砲臺ノ設ケハ、海
港ヲ防キ、兼テ阿剌伯人ニ備ヘテ、谷中ヲ防護スル所ナリ、○此日上陸シテ海
岸ノ旅館ニ休ス、館甚タ壯美ナラス、果瓜ヲ供ス、ミナ美ナラス、貧民集リ來リ、

物ヲ賣リ錢ヲ貰フ、蟻附蠅散シテ厭フヘシ、駝鳥ノ羽ト毛トヲ賣ル、價ヲ眩スル數倍ナリ、○是ヨリ馬車ヲ僦ヒ、谷中ニ向ヒサル、車甚タ美ナラス、馬頗ル健ナリ、土人ハ多ク驢馬ニ騎シ、駱駝ニ駄ス、谷中ノ屋ハ石屋多シ、以テ外圍ヲ壘築シ、上字ハ甚タ粗ナリ、^{ヤシユ}椰葉ヲ編ミテ之ヲ蓋フモアリ、室内ハ木板ノ戸ヲ以テ出入ス、甚タ淨カラス、中ニ廣區ヲ占メテ、二三層ノ白堊ナル大廈アルハ、歐人ノ居ナリ、街路ハ縱橫ニ通シ、平坦ニシテ車ヲ碍ラス、市街ノミルヘキナシ、間ニ椰葉編蒲ノ假屋アリ、然レモ、尙歐洲ノ餘風ヲ帶フ、其賤陋ナルニ至リテハ、茅舍弊蒲ニテ、鳩巢ノ如キ家屋ヲ以テ、村市ヲナスニ至レリ、

紅海ノ周圍ハ、鑠金ノ酷熱ニ終年ヲ度リ、地ノ枯燥スルハ、極目ミナ緒山赤野ニテ、年ニ數回ノ驟雨アルノミ、是ヲ以テ阿剌伯ノ生齒ハ、竟ニ繁密ニ至ラサレモ、少ク土毛ニ適スル地ニハ、諸穀菜果ミナ豐熟シ、乃チ稠人ノ村市ヲナス、亞丁港ノ如キモ、黑岩ニテ山ヲナシ、白沙ニテ野ヲナシ、炎爐ハ蘇カ如キ、谷中ニ三萬口ノ烟戸ヲ簇ラセルヲミレハ、[○]熱帶地方ノ[○]肥沃ナル[○]ヲ[○]察スヘシ、[○]歐洲ノ各國ハ、今文明富強ヲ競ヒ、[○]巍峨トシテ層樓ノ都ヲナセモ、

其地ヲ履行シ、其土民ノ生理ヲミルニ、終年屹屹トシテ、工業ヲ操作シ、日ノ力ヲ盡シテ已ム、然ルニ熱帶ノ地方ニテハ、其家家ノ生計タル、衣服ノ寒ニ備フルヲ要セス、家屋ノ風雨ヲ防クニ切ナラス、其食料ニ資スル百物ハ、容易ニ生殖シ、蓄藏豫備ヲ用ヒス、故ニ食フテ臥シ、睡覺レハ、穀果ノ又熟セルモノアリ、其生理ノ易キ、如此クナルヲ以テ、民ノ繁息スルヲモ、亦草木ト一般ナリ、然レハ、智能ヲ勞シ、艱險ニ耐テ、事業ヲ起ス志モ、何ヲ據トシテ、發生スヘキ、只枵然トシテ生命ヲ保續スルニ止リ、千古一日、開化ノ歩ヲ進ムルヲナク、乞丐境ニ世ヲ閱シタルノミ、古ノ語ニ曰、沃土ノ民ハ惰ナリト、サレハ貧歎ハ人ヲ富潤スルノ砥礪ニテ、饜足ハ倦怠ノ基礎ト謂フヘシ、英、佛ノ文明ナルモ、其國本荒寒瘠薄ノ野ニテ、百物ノ欠缺ニヨリ、勤勉ノ苦ヲツミ、文明ノ光ヲ生セルナリ、同ク一ノ佛國ニテモ、北部ノ野ハ瘠ナリ、民ニ富戸多シ、南部ハ沃ナリ、民ニ惰容アリ、之ヲ推論スレハ、瑞典、芬蘭ノ地ハ、磽确陰寒ニテ、民モ亦椎魯ナレト、皆勉強シテ、日ニ興ルノ氣象アリ、以太利、奧太利ハ、豐腴溫煖ニテ、開明甚タ久シキモ、驕逸シ、日ニ衰フノ兆アリ、歐洲文明ノ

列國中ニテモ「アルプス山脈ノ南北ヲ分ツテ、勤惰俗ヲ異ニシ、貧富從テ判
 セルヲミル、更ニ南方西葡ノ民ハ、是ヨリ甚タシト稱ス、地中海ヲコエ、埃及
 ニ至リ、遂ニ亞刺比亞ニ至レハ、其嶽情ニテ貧陋ナル、以太利ノ如キモ、高ク
 文明ノ天ニ位地ヲシメテ、瞻仰スヘキヲ覺フナリ、故ニ國ノ貧富ハ、土ノ肥
 瘠ニアラス、民ノ衆寡ニモアラス、又其資性ノ智愚ニモアラス、惟其土ノ風
 俗、ヨク生理ニ勤勉スル力ノ強弱イカニアルノミ、試ニ戰ヲ以テ例スレ
 ハ、噠馬ハ巴黎一府ニスギサル人民ニテ、壤、普兩國ノ兵ニ抗シテ屈セス、其
 武力ヲ世ニ示セリ、平時貧富ノ競ヒ、亦此ニ同シ、富沃ノ地ニ生息スルモノ、
 皆能此理ヲ明カニシテ、其自強ノ心ヲ鼓起セハ、其富強タル、豈ニ勝テ言ヘ
 ケンヤ、歐洲ヨリ、亞細亞ノ地ニ回航シテ、其土民ノ狀ヲミレハ、此ニ感慨ス
 ルヲ少カラス、

此地ノ壯觀ハ、溜水地ナリ、紀元前ニアタリ、此地ノ王「キンク、オフ、ソルモン」ナ
 ル人、此邊ノ山勢ヲ按シテ、此溪壑ハ、雨溜ヲ蓄フヘキ地勢ナルヲミテ、岩洞ニ
 石灰ヲ鞏固シ、池ヲ造リテ、其水ヲ受ケシメタリ、蓋シ此地ニ水ナシ、又雨少シ、

大抵四五月ニ一度ノ驟雨來ル、此時ニ其雨水ヲ此ニ注入セシメ、之ヲ蓄ヘテ用水トナス、其池ハ今山足ニアリ、層層トシテ井ノ如シ、第一層ハ深サ五十餘尺、現ニ水緑リヲタヘタリ、是ヨリ二層三層ニ上リテ、其餘ハ谷ニ溢レテ流レ去リシニ、英人ノ此地ニ占據シテヨリ、更ニ之ヲ修完シ、其前ナル谷マテ灰土ヲ鞏シ、大地ヲツクリテ、其餘水ヲ受ク、造作ノ廣大ナル、前時ニ十倍ス、中道ニ石礎ヲ造リ、石橋ヲ架シテ、白堊ノ池上ヲ行カシム、縱横百五六十間ミナ池ナリ、其深サ十間ニモ及フヘシ、是ハ英ヨリ此邊ニ事アルノ日ニ當リ、兵ヲ増備スル時ノ用意トスル所ナリ、池ノ口ニ遊園アリ、土泥ヲ補填シ、草木ヲウヅ、榕樹數株アリ、ミナ近十年來ニウエタルモノニテ、根ヲ生スル猶少ク、蔭ヲ結フ扶疎ナレトモ、亦數人ヲ憩ハスヘシ、其他ノ花卉、ミナ繁茂ニ至ラス、又十年ノ後ニハ、緣陰鬱蔥ヲナスニ至ルヘシ、守園ノモノ、土人ヲ役シ、豚水ヲ負ヒ來リ、其根ニ灌溉スルヲ見ル、園ノ保持モ亦勉メタリ、此日ハ二三ノ邏卒アリ、案内ヲナス、語ハ阿剌伯、印度ヲ雜ヘ、長キ談ハ解スベカラズ、○此邊至ル所ニ、土民物ヲ持來リテ買シ、コトヲ勸ム、亦大小ノ銀貨ヲ以テ、兩替ヲス、ム、其價ハ

常則ヲ照ス、利益ナキモノ、如シ、蓋シ客ノ囊中ニ、貨幣大ナレハ、之ヲ使フニ
 難キ、故ニ之ヲ小貨ニカヘシメテ、其散財ニ易カラシムルノ術ナリ、貨幣ハ英
 貨ヲ主トシ、印度通用ノ「ルーピー」ヲ用フレドモ、佛貨墨銀モ、亦通用ス、市中ニ
 ハ銀行モアリ、○此夕日没ニ當リ郵船ノ舳中ニ、土人カ太陽ノ沈ムヲ拜スル
 ヲミル、即チ回教拜火ノ式ナリ、立テ祈リ、跪キテ拜ス、拜跪ノ狀我邦ノ神ヲ拜
 スルニ匹似セリ、

二日、陰朝五時半ニ錨ヲ拔キ、是ヨリ阿刺伯灣ヲ駛ス、正午ニ北緯十二度四十六
 分、東經四十三度五十一分、進行七十一海里、錫蘭マテ二千
 〇六十四海里、溫八十八度、氣針二十
 九度、

終日一點ノ山ヲミス、

三日晴、日色薄ク、風ハ西南ノ大洋ヨリ來リ、船ノ撼動甚タシ、正午北緯十二度二
 十九分、東經四十八度五十八分、進行三百〇一海里、溫八十二度、^{「セ」氏}二氣針二十
 九度、六時二十五分ニ、日海面ニ沈ム、此日ヨリ阿刺伯海ニカヘル、

此日ハ暑減シ、晝夜升降ナシ、

四日晴、日光薄シ、「ソロトラ」島ノ北ヲ駛ス、其陰蔽ニヨリテ、風モ爲メニ較靜カナリ、正午北緯十二度二十八分、東經五十三度五十九分、進行二百九十七海里、溫八十二度、氣針二十九度、午後ニ風マタ起リ、大浪ハ舳板ニ灑ケリ、

「ソロトラ」ハ、此海上ノ一大島ナリ、此日ハ空氣濛濛ニテ其山ヲミス、午後ヨリノ風ハ、航海中第一ノ猛風ナリ、

五日晴、風浪較靜カナリ、正午北緯十度五十七分、東經五十八度三十三分、進行二百八十八海里、溫及ヒ氣ハ、共ニ昨日ニ同シ、夜八十四度、氣針二十九度一分、

六日陰、風浪較靜ナリ、正午北緯九度三十四分、東經六十三度四十分、進行三百十六海里、溫八十五度、氣針二十九度一分半、

此邊ノ洋面ニ魚アリ、其形ハ長サ七八寸ニテ、碧脊白腹ノ小魚タリ、鰭ヲ張リテ十餘箇相連リ、一齊ニ波間ヲ跳飛ス、其遠キハ三四十間ニ及ンテ落ツ、其狀ハ千鳥ノ飛フニ彷彿タリ、是所謂ル飛魚ノ一種ニテ、時ニ船窓ニ觸レテ、船室中ニ落ルモノアリ、取テ之ヲ查視スルニ、碧色ノ鱗ヲ生シ、左右ノ鰭甚タ廣シ、以テ翼トナシテ飛フナリ、

七日、風益穩カナリ病ムモノ皆起ツ、晴天ナレトモ、浮氛アリテ眺望ニ快ナラス、
正午北緯八度十三分、東經六十六度十一分、進行二百八十一海里、溫八十四度、
二十八度半朝氣針二十九度一分五抄、
來八十二度

今日航程ノ直北六百海里ニ滿スシテ、^{ボンバイ}孟買港アリ、印度ノ西岸ニ於テ第一ノ

要港ナレハ、此ニ其大概ヲ附記スヘシ、

^{ボンバイ}孟買府ハ、北緯十八度五十三分、東經七十二度五十三分ニアリ、人口八十一萬

餘アリ、元ハ葡萄牙ノ所轄ナリシニ保ツコト能ハスシテ英ニ歸ス、英人此ヲ

孟買部ノ首府トナシ、「プレシテント」ヲオク、即チ全部ノ牧伯ナリ、孟買全部ノ

廣ハ、我日本ニ比スヘシ、其人口千四百萬ニ上ル、首府ノ繁華ハ、印度第一タリ、

現今ニ至リテ、其地ノ繁庶、年年ニス、ム、此土ノ商民ヲ「ハリーシス」ト云、其性

精敏ニテ、營度スルニ勇アリ、其打起スル所、ミナ鴻業多ク、外國人ト和シテ、其

生理ヲ盛ニス、是ヲ以テ富庶ヲ進メ、今其種ノ民、八百萬ノ生口アルニ及ベリ、

其他ノ居民ハ、「ヒンドスタント人」アリ、印度人種アリ、「マホメット」即チ回部ノ民

アリ、府中ニ城アリ、城ノ外圍ニ米國、及ヒ歐洲ノ商、「ハリーシス」民等ス、城外

ハ三英里餘ニ連リ、人家ヲ滿シ、埠頭モ亦良港ニテ、船ヲ泊スルニ便ナリ、内地
ニハ鐵道ヲ築キ、印度ノ中腰ヲ貫キ、九百英里ニテ、東方首府ノ「カルカタ」ニ達
ス、又英ノ郵船會社ヨリ、二週ニ一發ノ郵船ヲ發シテ「カルカタ」ニ往來ス、船車
共ニ便ヲ施シ、生理益進ム、此港ノ商法ハ、東方ハ支那ニ貿易シ、西方ハ英ノ本
國ニ運輸スルヲ眼目トス、其物產ハ天然產物ヲ重ナルモノトス、歐洲ノ製作
ニ、無量ノ需用アル棉花ハ、米國ヲ除ケハ、此港ノ輸出ヲ最トス、棉花ハ本來印
度ノ名產ナリシニ、米國ニ此物ヲ耕植セシヨリ、年ヲ追テ盛美ニ赴キ、印度ノ
產ハ下テ第二等ニ落タリ、一千八百六十年ノハシメニアタリ、米國ニ南北市
民ノ戰爭起リ、米ノ棉花英國ニ入ラス、英ノ製造場ハ、ミナ手ヲ措テ其補ヒヲ
印度ニ仰ク、此ニ於テ此地ノ民、大ニ利ヲ獲タリ、然レモ其質粗ニシテ、絲トナ
スニ難ク、米國棉花ノ粹白光澤アリ、朝ニシテ絹ヲ欺クカ如キニハ比セス、米
國ハ南北戰ノ頃ヨリ、棉花ノ產出ニ力ヲ盡シテ、其増出ヲハカリ、英ノ紡織ニ
ハ、三分ノ二ヲ彼ヨリ輸入ス、故ニ英國ニテ印度地方ノ豐饒ノ地ニ、米國ノ移
民ヲ招徠シ、棉ノ培養蕃殖ニ力ヲ盡シ、後年ニハ、米國ヨリ輸入セサランヲ

謀リ、今ハ少ク勢ヒヲ挽回シ、百八十萬担^{セントナル}ヲ出スニ至レリト、

棉花ノ歐洲ニ需用アル其數ノ莫大ナルハ、回覽ノ諸卷ニテ數之ヲ辯セリ、米國產ノ棉花ハ其美ナルヲ實ニ別種ニテ、只豪斯多刺利眞珠光ノ棉花、之ニ超越スルアルノミ、印度ノ棉ハ多ク短毛種ノ部分ニ屬シ、^{日本ノ棉花ハ即短毛種ナリ}其美ナルモ中等ニアタルニスキズ、產出ノ高ハ米國ニ比スレハ、七ト三トノ比較ナリ、半ハ英ニ輸入シ、半ハ「アトリヤチック」海ヨリ、^{英國、獨逸へ}又黑海ノ口ヨリ、露國へ輸入ス、印度ニ次テ棉花輸出ノ盛ナルハ、^{伯爾西、埃及、及ヒ}西印度ニテ、支那產ノ如キハ、未タ世界ニ輕重ヲナスニタラス、其他ハ、支那へ輸入スル鴉片ノ數モ巨大ナレト、「カルカタ」ニハ及ハス、木材ハ四時ミナ暑熱ノ地ナレハ、^{無年輪ノ良材ヲ出シ、}歐洲ノ製作ニ貴重セラル、咖啡、椰子、多分ニ「アトリヤチック」海へ向ケ輸出ス、洋藍、コーセンニール等ノ顔料材モ、亦眼目ノ輸出品ナリ、其輸入ノ品ハ、棉絲、木棉、毛織物、鋼鉄ノ諸器、金、銀、銅、錫、鉛等ニテ、内部ニモ、紡織ノ製場、漸ニ盛大ニナリ、英人力ヲ盡シテ、其利ヲ興シ、歐洲ヨリ移住寄寓ノ民ヲ招徠シ、其繁昌ハ亞刺比亞海岸ニ雄長タリ、○都

府ノ模様ハ、會城ノ外、政廳、市廳、裁判所、運上所、醫館、病院、兵營等、ミナ建築壯大ナリ、寺塔ハ希臘教ノミナラス回教、佛教ミナ備ル、近時此地ヨリ西方ノ内地ニ接連シテ、四ノ砲臺ヲ築キ、波斯^{ペルシヤ}ニ綴ル、數月ヲ經テ功ヲ竣ムニ至ルヘシ、蓋シ以テ露西亞ニ備フ所ナリ、露西亞ハ、頻リニ地ヲ亞細亞ヘ開クニ眼光ヲ注ク、是世人ノ常ニ指目スル所ニテ、其著眼ハ、最モ土耳其、波斯ニアリ、此ヨリ回リテ直ニ南洋ニ出ルハ、是其宿志ナリ、土、波ノ兩國ハ宗教同宗ニシテ異派ナレハ、常ニ和熟スル能ハス、露國因テ其罅隙ヲ窺フ、英人常ニ其謀計ヲ破ルニ注意シ、冥冥ノ内ニ互ニ戒備アリ、印度人ハ其質健ニシテ勇敢ナリ、英人之ヲ教習スル多年、今ハ健兵一百萬アリ、一旦事起レハ、本國ノ兵ヲ勞セスシテ、露ノ衝ヲ挫クニ足ルト云、^{印人ノ兵卒ヲ亞丁ニテ見シニ}軀幹精悍ニテ勇毅テ破レタルヲ謂フノミ

八日、晴、風恬ナリ、正午ニ北緯六度五十七分、東經七十二度四十五分、進行二百八十五海里、溫八十三度、氣針二十九度一分五秒、

九日、晴、正午ニ北緯六度、東經七十七度二十七分、進行二百八十七海里、其後ニ二

十六海里ヲ進ミ三時ニ錫蘭ノ「ゴール」港ニ著ス、

亞丁ヨリ「ゴール」マテ二千百三十五海里、馬爾塞兒^{マルセル}ヨリ五千百十三海里

九日、晴、午後三時ニ錫蘭島ノ「ポイント」デ「ゴール」港ニ著シ、錨ヲイレ、即チ上陸シテ「ホテル」オリエンタルニ宿ヲ定メ、馬車ニテ「チャイナガ―テン」ノ浮屠「アトミタミヒール」寺「ボーカハバット」伽藍ニ至リ、歸路ニ近郊ヲ散驅ス、此夜ハ月色清朗ナリ、海岸ヲ遊歩ス、

「ポイント」デ「ゴール」港ハ錫蘭島ノ西南角ナル一灣ニテ、北緯六度三分、東經八十度十三分ニ位ス、此港ノ地形タルヤ、低巒鉤ノ如ク回リテ、一灣ヲ抱キ、港灣ハ正面ニ向ヒ、南方ハ汪洋タル大瀛ニテ、南極ニ連リ、一點ノ島ナシ、灣口頗ル廣濶ナリ、故ニ南來ノ浪勢ハ、風ナキノ日ニモ港ヲ盪シ、巨舶之カ爲ニ撼動シテ安カラス、少ク風アル日ニハ、船艙ノ内器皿ヲ撼シ落スニ至ルトナリ、西南ノ岬ハ、象鼻ノ如ク回リテ、其角ニ燈臺ヲ築キ、兀立スルヲ五十尺、燈臺ノ前、大洋ニ向ヒタル處ハ、岩礁亂立シ、暗礁下ニ伏シ、危岩欹チ、大嶼小嶼ヲ綴ル、海濤此ニ打寄セ、白馬ノ聯馳スルカ如ク、飛走スル數十歩ニテ、岩ニ當リテ碎ケ、處

處ニ雪花空ヲ拍テ飛跳ス、千鯨ノ闘フカ如シ、鏗鏘琅琅トシテ海面常ニ白ク、
 景象壯快ナリ、岬上ニ椰樹、野棕、繁茂シ、中ニ巨樹ヲ錯ヘ、四時ニ綠色森蔚ナリ、
 樹間ニ人家湧起シ、時ニ堂尖ノ樹上ニ抽ツルヲミル、是ヲ「エール」ノ市中トス、
 是ヨリ北ニ回リタル、一灣ノ海濱ニハ、棕櫚林ヲナシテ、港門ヨリ之ヲ望メハ、
 猶松樹ノ濱ヲミルカ如シ、東方ハ山勢海ニ迫リテ起リ、南ニ走レリ、皆樹木茂
 リテ、森森蔚蔚タリ、前ニ島嶼綴リ、白濤其根ヲ齧ム、此港ハ熱帶ノ地ニテ、樹木
 夭喬ニシテ、葉色ハ深緑ヲナシ、四時ノ驕陽ニ繁榮ヲ爭ヒ、其景象マタ歐、弗、赤
 野禿山ノ觀ニアラス、熱帶ノ國ハ、山緑リニ水青ク、植物ハ榮ヘ、土壤ハ腴ニシ
 テ、空氣ノ清キ、景色ノ美ナル、歐洲ヨリ來リテ、此景象ヲミレハ、眞ニ人間ノ極
 樂界ト覺フカ如シ、○船己ニ錨ヲ投スレハ、土民小艇ヲ打テ、蟻附ス、此邊ノ土
 民ハ一種ノ船ヲ造ル、巨材ヲ刳シテ、舟トナス、其幅僅ニ人身ヲイル、ニ足ル、
 長サ二丈餘、深サ腰ニ及フヘシ、舟ノ兩側ニ茵ヲオキ、客ニ踞セシム、舟形ハ如
 此ノ狹長ナレハ、水中ニ浮ムニ傾仄シ安カラス、故ニ舟楫フチヨリ、二ノ弓材ヲ横
 ニ縛リ出シ、是ニ浮槎ヲ細縛シテ、平均ヲトリ、危キニ似テ甚タ穩ナリ、兩人ニ

テ^カ楫ヲ以テ舟ヲ推ス、此舟ハ熱帶地方、椰樹、棕樹多キ所ノ蠻夷ニ手製シ用フ
ルニ便ナルモノニテ、小笠原島ノ民モ^{元西}洋人亦此船ヲ製ス、神農氏ノ民俗ヲ想
像スルニ足ル、艇ヨリ岸ニ達スレハ、棧橋ノ波止アリ、其上ヲ覆フニ椰樹ノ新
葉ヲ編ミ、夕陽ヲ障ヘタリ、此比ハ佛教盂蘭盆會ノ期ナルユヘニヤ、海岸ニ椰
ニテ、施餓鬼棚ノ如キモノヲ作リタルヲミル、歐洲ヲ離レテヨリ、回教ノ地ヲ
スキ、又此ニ來レハ、土人ニ種種ノ風俗教習ヲミル、益世界ノ奇ヲ覺フナリ、
○此港、元ハ葡萄牙國人ヨリ占領シテ、埠頭トセシヲ、荷蘭陀國ヨリ取り、一千
六百六十五年ニ、城壘ヲ造リテ、岬角ヲ截チ守レリ、港岸ノ一區域ハ、表裏ニ門
ヲ開キ、只二條ノ路アリ、出入スヘシ、其壘ハ石ヲ以テ築起シ、牢ニ^{シツクヒ}漆灰ヲナス、
高サ三四丈、裏門ハ山ニヨリ、要害甚タ隘ナリ、表門ハ海岸ニ向フ、ミナ「アルチ
法」ヲ以テ門ヲ開ク、蘭國ヨリ此地ヲ保有スルヲ百三十餘年ナリシニ、千七百
九十五六年ノ比、歐洲ノ亂ニテ、外國ニ力ヲ用フルニ違ナク、東南洋ノ屬地ヲ
保有スルヲ得ス、英人ハ因テ兵ヲ勞セスシテ、此地ヲ取り、是ヨリ其所屬地
ニウツリ、元「エール」ノ市ハ、此壘内ノミナリシニ、今ハ壘外ニ溢レテ、市街ヲ開

ク人口スベテ一萬五千二百八十九人アリ、内二百三十七人ヲ歐洲人トス、歐人ハ大抵壘内ニスム、壘内ノ家作ハ壯美ナリ、各國ノ領事館、市廳、裁判所、オリエンタルバンク、ホテル及ヒ「エキステンヂ」ミナ此ニアリ、英吉利宗ノ寺アリ、蘇格^{スコット}風ノ造營ニテ、頗ル美觀タリ、道路ハ礫石ナシト雖モ、修掃ヨク至ル、壘ノ外ハ土民ノ市街タリ、中ニ頗ル大屋モアリ、街上ハ平濶ニシテ、洒掃モ亦至ル、處處ニ市場^{マーケット}ヲ建テテ、菜蔬、果、鹹、椰子實ヲ賣ル、觀場、娼店ナトモアリ、又回教ノ寺モアリ、佛教ノ寺ヲミザレト、此地ノ大半ハ佛教ノ民ナリ、

「チャイナガーテン」ハ市街ヲ離ル、二英里餘ノ北ニアリ、土人ノ村落ハ沿途ニ連リ、椰樹ノ陰ヲ占メ、椰葉ヲ編ミテ、屋宇ヲ葺キ、或ハ以テ庇トナシタル矮屋ニテ、壁モ椰葉ヲ編ミ、風露ヲ覆フノミ、床ヲ張ラス、地上ニ居臥ス、櫓ニ蕉實ヲ懸テ販ク家モアリ、或ハ短籬ヲ踈踈ニ結ヒテ圍ヒトナシ、其圍^園ニ芭蕉^{芭蕉}及ヒ芭蕉ヲウエ、芋葉ノ大ナルハ蓮葉ヲ欺キ、芭蕉モ丈五六尺ニイタルアリ、ミナ實ヲ結ヒタリ、土人之ヲ食シテ生ヲ保ス、其生活ノ淡泊ナルヲ、尙太古ノ風ニテ、一村ミナ丐兒ノ數トイフモ、過評ニアラス、道路ハ廣クシテ平カナリ、此邊

ハ平岡相連リ、岡上ニハ樹木修短相榮ヘテ鬱乎タリ、俗ニハ水田アリ、稻ヲウ
エ己ニ熟ス、處處ニ林藪アリテ、椰樹、野棕、最モ多ク、高サ三四丈ノ上ニ、葉ヲ展
ヘ、實ヲ結ヒ、亭亭トシテ林ヲナセリ、其他灌木、喬木、ミナ夭翹タラサルハナク、
艸モ亦暢茂シテ、其亂蕪ヲ覺フ、中ニハ花ヲ著ケ、妍妍トシテ媚ヒ、一一其名ヲ
知ラサレヒ、之ヲ他邦ニオカハ愛賞スヘキ美花モ多シ、○岡上ニ浮屠アリ、ア
トミタミヒアルト云、岡ヲ上ル三丁餘ノ上ニアリ、此ハ佛教ノ寺ニテ、堂宇
三四アリ、垣ヲ匝シ、其中ニ瓦甍ノ小堂アリ、造營頗ル精ナリ、守人錠ヲ開ケハ、
中ニ釋迦趺坐ノ像ヲ安セリ、其相貌、恰モ我邦ニ傳ヘテ刻スル相貌ト異ナル
ナシ、是ニテ佛像ノ刻法ハ來歴アルヲ知ラレタリ、像ノ前ニ白石ヲ以テ刻
ミタル、兩弟子ノ像アリ、此堂ノ前ニ當リ、圓塔ヲ起ス、此塔ハ歐洲ノ建築法ニ
似タリ、其内ニハ玉石金銀ヲ藏メタリト云、所謂ル舍利ナルモノカ、垣外ニ僧
房アリ、僧ハミナ眉髮及ヒ髻ヲ剃リ、黃色ノ棉布ヲ以テ、右肩ヨリ左腋ニ結フ、
即チ七條ノ袈裟ナリ、此地ノ土人、ミナ衣服ナシ、白布ヲ以テ、左肩ヨリ右臂ノ
腕下ニ回シテ、下部ヲ掩フ、是袈裟ノ因テ製スル所ニテ、僧徒ノミ然ルニアラ

ス、眉ヲ剃シタルハ、僧徒ノミナリ、其内一人ノ老僧、其風貌宛然トシテ、羅漢ニ似タルモノ、(是ニテ羅漢ノ像モ、此島ノ人種ヲ寫シタル骨相ナルヲ知ラレタリ、我輩ヲ延テ、一室ニ往キ、貝多羅葉ニ寫シタル經簡ヲ示ス、其上品ナルハ漆ヲ以テ金文字ヲ寫ス、下品ナルハ鐵筆ニテ寫ス、其文字ハ、土耳其文字ノ更ニ彎曲セル如キ狀ニテ、梵字ニハ非ス、蓋シ巫來由ノ文字ナリト云、住僧是ヲ客ニ賣テ利スルモノナリ、其一本ヲ買ハント、價ヲトヒタレヒイハス、施主ノ志ニ任ストイヘリ、

「ポーカハバツト」ハ、是ヨリ較北ナル岡上ニアリ、上ルヲ五丁許ニテ、磴道アリ、イシダン十餘級ヲ拾フテ、一ノ伽藍ニ至ル、是ハ瓦ヲ葺キタル堂ナリ、此内ニ釋迦涅槃チハンノ巨像アリ、長サニ丈餘ノ臥像ナリ、其像ノ面貌ハ、前寺ノ像ニ同シ、右ヲ袒キ、其手ヲ曲ケテ頰ヲ支ヘ、兩足ヲソロヘテ展臥ス、左肩ヨリ足ニ至ルマテハ、黃色ノ袈裟ヲツク、袈裟ノ表ハ、鱗紋ヲ刻ス、頗ル埃及風ノ細工ニ似タリ、其周壁ニ畫キタル、天堂地獄ノ圖ニ至リテハ、純乎タル埃及ノ畫法ナリ、此臥像ハ古昔ヨリ傳ヘタルモノトイヘトモ、未タ深ク信シ難キニ似タリ、○此背ニ一堂

アリ、堂側ニ釋迦ノ分骨或云ヲ葬リタルトテ石ヲ以テ上ヲ匝ヒ、壇ヲ築キ、上
ニ一株ノ菩提樹ヲ植タリ、兩刹ミナ壞頽ニハ至ラサレヒ、草萊斐ラス、荒蕪ノ
岡上ニテ、道路モ修マラサレヒ、佛教ニ於テハ、著シキ靈場ニテ、耶蘇宗ノ「ジュル
サレム」ニ比スヘキ地ナルニ、其寂寞ナルヲ憐ムヘシ、此ヲ巡ルキ僧アリ、導キ
ヲナス、日本人ヲ「ダンナ」ト云、堂ヲ「ガラシ」ト云、ミナ梵語ノ來源、今ニ訛ラサル
ヲ感セリ、錫蘭島ハ、釋迦修道ノ靈蹟ニテ、土人今ニ至ルマテ、ミナ佛教ヲ信向
ス、民ノ生活已ニ淡泊ナレハ、僧ノ生活尤モ淡ナリ、教祖ノ靈場モ草蕪ニ委シ、
莫然タルニ至ル、抑佛教ハ印度ヨリ、東方亞細亞ニ蔓延シタレヒ、此諸國ミナ
遠海航行ニ慣ハサル人民ノミナレハ、其根本ノ靈場ニハ、僧徒ト雖ヒ、曾テ至
リ訪フモノモナシ、其蕭條タルモ亦宜ナリ、耶蘇教、回教ノ靈蹟ニハ、信徒ヨリ
財ヲ寄附シテ、數百尺ノ大塔ヲ起シ、文雕藻績、金玉目ヲ眩スルニ相比較スレ
ハ、雲壤ヲ異ニセリ、是本教ノヨク塵表ニ脫落セルニヨルト謂ヘヒ、抑其恭微
シテ振フ能ハサルモ、亦以テ徵トナスヘシ、錫蘭佛教ノ本山ハ、首府「コロンボ」
ニアリテ、全國ノ僧ヲ支配スルトナリ、巡回途上ニテ試ミニ土人ニ問フ、現今

ハ歐洲ノ屬地トナリ「エール」ニ基督教ノ寺モ多ケレハ何ヲ以テ彼教ニ變宗セサルト言ヘハ曰ク是我父祖ヨリ世世此教ヲ信向ス我世ニ至リ之ヲ變シテ他教ヲ守ル抑モ何ノ益カアルト答ヘタリ土民本ヲ忘レスシテ舊法ヲ守ルノ心ハ嘉スヘキニ似タリ土民佛ヲ拜スル式何如ヲ問ヒシニ合掌シテ跪キ拜ス念誦ノ文ヲ唱ルヲモナシ只默シテ拜スルノミナリト此地ニテ佛寺ヲミシハ只此二字ナリ又市中ニ於テモ僧尼ノ徘徊スルヲ見ス西洋人毎ニイフ印度ノ古學ハ日本支那ニ傳リテ本地ニハ却テ傳ハラス僧徒多ク文盲ナリト此地ノ景況ヲミレハ夫然ルニ似タリ

十日晴今朝ハ爽涼ニシテ溫七十九度十時ヨリ駕シテ「シナメンガーテン」ニ遊ヒ歸路「ウヱクアルラガーデン」ニ上リ眺覽ス正午ニ溫八十二度氣針二十九度一分

「シナメンガーデン」ハ肉桂樹ノ園ナリ「エール」ヨリ北三英里餘ノ北ニアル高名ナル遊歩地ナリ其路ハ「エール」ノ西ニ回り出テ椰樹ノ濱ヲ走ル海水沙灣ニ迫リ白波ヲ噴クスヘテ此邊ノ濱海ハ浪勢強クシテ景象壯ナリ村落ノ狀

ハ、昨日見ル所ニ同シ、途上ニテ、村民椰實ヲ賣ル、其青キモノヲ得テ之ヲ擘ク
ニ、中ニ甜キ清水ヲ含ム數合ナリ、飲ムヘシ、其熟スルニ及ヘハ、甜水凝結シ、外
殼硬ク、中間ニ厚膜ヲ衣包ス、其放鬆ナルモノ、漸ニ充實スルニ及ンテ、堅殼ヲ
ナシ、中心ノ仁ヲ包ム、我邦ニテ舶來スル椰子杯ハ、是ニテ製スルモノナリ、○
「シナメンガーデン」ニ至レハ、滿地ハ白沙ニテ、肉桂樹多シ、荒蕪シテ修潔ヲ欠
ク、中ニ歇亭アリ、後ニ溝渠アリ、溝渠ヲ隔テテ、田野林丘ヲ望ム、水田縱横シテ
丘樹狼籍シ、奇眺ニ非ス、溝水ハ底ミナ淤泥ニテ成ル、水流緩ナリ、此溝中ニ鱷
魚アリ、因テ涸水ヲ禁ス、兩岸ニハ蒲葦亂生シ、其大サハ竹ヲ欺クアリ、園ノ蕪
艸中ニハ、幽花嬋娟トシテ開ク、愛スヘシ、尤モ厭フヘキハ、「エール」近傍、村々ノ
童幼、客ヲ認ムレハ、集テ錢ヲ貫ヒ、^{モラ}覷トシテ耻ナク、追ヘヒ亦來リ、遊觀ヲ妨ケ
殆ト堪ヘカラス、此地ノ土民、生意ノ淡泊ナル、椰子芭實ヲ摘ミ食トナス、此諸
果ハ、終年ニ實ヲ結ヒ、絶ヘルヲナシ、地ニ稻ヲウユレハ、常ニ熟ス、其米ヲ土缶
ニテ炊キ、漿汁ヲツ、キ、手ニテ攪セ食フ、西洋「ライスカレイ」ノ料理法ノ因テ
ハシマル所ナリ、其生活ニ易キヲ如此クナルニヨリ、人民ミナ游惰ニシテ只

驕陽ノ下ニ起臥シ、生命ヲ儉シ、曾テ營生ノ苦ヲシラス、兒童ヲ育スルモ、逸居教ナク之ヲ放テ、客ヲ逐ヒ、錢ヲ乞丐セシムルニ至ル、沃土ノ情俗、此ニ至テ極ルト謂ヘシ、

是ヨリ「ウイツクアルラ、ガーテン」ニ至ル、此ハ桂園ノ稍東北ニアリ、一ノ岡上ニテ樹卉ノミルヘキナシ、只三四ノ奇樹アルノミニテ、其陰ニハ小亭アリ、是ヨリ東北西ノ三面、ミナ敞朗ニシテ、眺望ニ宜シ、岡ノ下ハ、平野稻田相連リ、岡巒其外ヲ圍ミ、鬱鬱森森タリ、正北一帯ハ、平田ノ綠浪廻ニ連リテ、遠巒ニ達シ、山巒ノ狀、近キハ波浪ノ如ク、遠キハ眉黛ノ如シ、此ヨリ靈鷲山ヲ望ムヘシト云、此日陰雲ニテミヘス、此地ノ遊觀中ニハ、此處ヲ第一ノ眺望ナリトスベシ、是ヨリ山路ヲ拾ヒ「ボーカバット」ノ山下ヲ走リ歸ル、歸途ノ田中ニテ、一ノ奇蟲ヲ認ム、長三尺ニ滿タス、其狀蜥蜴ニ似テ鱗甲アリ、全身黒ク、肩ヲ怒ラシ、田中ノ水渚ニ伏ス、是鰐魚ノ子ナリト云、鰐魚ハ西名「コルゴタイル」、大ナルハ人ヲ食フ、鱗介ノ尤モ樟惡ナルモノナリ、支那ノ南部ニモ産ス、韓退之ノ潮州刺史タリシ片、鰐魚ノ文アリ、○此邊ノ地ハ、多ク稻ヲ耕ス、然レモ溝渠ノ設ケ甚タ

疎ニ、往往ニ小溝アリテ、灌溉ニ供ス、河流ニアフコ少シ、土壤ハ赤墳アリ、黒墳アリ、岡坡相錯シテ、廣キ所モ、方一英里ニ及フ平地ナケレトモ、椰林樹藪ノ際ニ、ミナ水田相連リ、稻ヲウエタリ、時ニ乾田アルハ、中ニ牛ヲ飼フヲミル、其牧法ハ、地ニ杙ウチ、牛ヲ繫キテ、田中ノ草ヲ食セシム、牛ハ其體小ニシテ猛ナリ、目孔尖ク、人ニ觸ンヲ恐ル、歐洲滿野ニ牛ヲ放ツテ牧セルハ、ミナ柔和ニテ、厖然タルコ巨豚ノ如クナリシニ、此ニ至レハ恐ルヘキヲ覺フ、豈溫帶ノ地ハ、猛牛ヲ生スルカ、抑圈養ノ暴ニシテ、此性ヲナサシムルナラン、馬モ亦然リ、其樹木ニ至リテハ、皆日本ニテ未タ曾テ見サルノ奇種ノミナリ、椰樹ヲ「ココノツ」ト云、野棕ヲ「ハーム」ト云、皆棕櫚ニ似テ、鬚髮少ク、其葉ハ蘇鐵ニ似テ、較廣シ、椰葉尤モ暢快ナリ、又一種、竹身ニ棕葉ナルモノアリ、如此キ總長類、年輪ナキ木ノ木ハ、種種甚タ多シ、至ル所ニ林ヲナセトモ、竹林ヲミス、桂樹、榕樹、檳榔樹^{ビロウ}、其他ノ樹木モ枚舉スルニ遑アラス、幹大ニ枝扶疎ナリ、絶ヘテ松、杉、檜、槐、樹ノ類ヲミス、目ノ觸ル所、ミナ異樹奇木ニテ、林野ヲナシタレヒ、一般ノ光景ハ、林丘森蔚ニテ、草茂シ、稻秀テ、水田ヲ畔域シ、溝渠ノ環繞セル狀、宛トシテ日本ニ歸

リシ心地セリ、

十一日、曉來驟雨一洗シ、炎氣ヲ滌シ、溫八十度、近街ヲ歩シテ、豪姓「ムードリヤ」ノ家ヲ訪フ、正午溫八十二度、氣針二十九度二分、四時ヨリ郵船ニ上ル、此日「カルカタ」ノ郵船ヨリ、鴉片三千六百箱ヲ移シ積ムヲ以テ、今夕ニハ發船スヘカラス、亦尙港中ニ舶ス、夜驟雨軸ヲ折ルカ如ク來ル、電雷アリ、

「ビートルス、ヂヤス、ムードリヤ氏ハ、此港ノ商民ニテ、英語ヲヨクシ、希臘新教ヲ信シ、家業ヲ勤メテ、富ヲ致シ、今年七十餘旬、純然タル歐人ノ如シ、今ハ退隱シテ世ヲ樂ム、此日國ノ禮服、及ヒ刀等ヲ示シ、又錫蘭ノ事ナドヲ談シ、款待時ヲ移シ歸リ、又因テ此島ノ見聞ヲ集メテ、此ニ附載スル左ノ如シ、

錫蘭島ハ「元」カンリ國ト云、印度ニ關係ナク、古ヨリ獨立ノ一國ナリ、壤地ノ廣サ貳万四千七百方英里、較我宛紫一島ニ比ス、全島ノ形ハ、膽囊ノ下垂ルカ如ク、印度大陸ノ南岬ヨリ、五十英里ノ海峽ヲ隔テ、南大洋ニ向ヒ、西ヨリ北ハ海岸ニ平地多シ、南ヨリ東ニハ、山嶺多ク、峯巒重疊シ、中ニ長坡長谷ヲ抱ク、地ノ隆高ナル處ハ、八千二百八十「フット」ノ高峯アルニ至ル、平均ノ地高ハ二「千」フイ

ト、草木鬱葱トシテ、眺望甚タ清爽ヲ覺フ、○其土民ヲ「シンカレイ人種ト云
此人種ニツキテ、四千年來ノ歴史ヲ存スト云、中古ヨリ以前ハ、島内數部ニ分
レテ、各酋長アリ、互ニ相統屬セザルヲ數百年ナリシニ、遂ニ「カンリー國ノ爲
メニ并セラレ、一統ノ世トナレリ、其王都ヲ「カンリー」ト云、今ニ第二ノ都府タ
リ、○一千五百〇五年ニ、葡萄牙人此ニ來リ、通商ヲナシ、海濱ノ地ハ、其所屬ト
ナリ、後和蘭人ニ歸シ、遂ニ英ニ屬シ、其後一千八百十五年ニ至リ「カンリー國
王政ヲナス能ハス、遂ニ英ヨリ敗ラレテ、全土ヲ其所屬トナシ、今ハ全國ヲ分
テ、東、西、北、中、北、南六「フロウインセス」ニ分チ、各「ガハメント、エイゼント」正副
ノ二人ヲ派シテ駐紮セシメ、各州ニ縣チストリケトヲ分チ「アチスタントエイゼント」一人
ヲ送り、以テ互ニ統括シ、政務ヲナス、每縣ニ邑アリ、土民ノ内ヨリ、公撰ヲ以テ
其長ヲオク、未タ首府ノ立法院ニ、參政ノ權ナシ、首府ヲ「コロンボ」ト云、北緯六
度五十五分、東經七十九度四十五分ニアリ、人口七萬人、此ニ英國ヨリ「ガバナ
ル」二人ヲ差派ス、即チ牧守ナリ、現任ヲ維廉・顯理・グレエリー」トイフ、歲俸三萬
五千弗、其下ニ「カウンスル」五人アリテ、政治ヲ輔相シ、行政官ヲナス、○此島ニ

今四種ノ民アリ、中ニ於テ「シンカレイ人種」ヲ主トス。人種ハ、軀幹甚々長大ナ
 ラス、面貌骨格尤モ日本人ニ似タリ、髪ハ黒クシテ修長ナリ、鬚髯少シ、剪リ去
 ルモノ多シ、肌膚ハ較黒ク、棕色人ノ部分ニヨクヘシ、其性順良ニシテ、柔和ナ
 ルヲ以テ、人ニ接スルニ懇切ニテ、不道ニ報セサルノ風アリ、音吐モ激昂ナラ
 ス、其衣服ハ裁縫甚々簡ナリ、男女ミナ白キ長幅ノ布ヲ以テ、腰ヨリ以下ヲ纏
 フ、裾帶ニ似タリ、右肩ヨリ長幅ノ布ヲ以テ、左腋ニマワリテ結フハ、袈裟ノ遺
 風ナリ、地熱ナルヲ以テ、半身ヲ裸スルモノ多シ、頭髮ハ長ク蓄ヘテ、男女共ニ
 頂邊ニ髻リヲナス、或ハ被髪セル者モ多シ、男ハ鼈甲ノ櫛ヲ頂ニ挾ム、男子ノ
 貌ハ其姣美ナルコト、反テ婦人ニマサル、婦人ハ概シテ醜婦多シ、男女同装ニ
 テ、相混雜シ、往往ニ辨スヘカラサルニ至ル、此人種ハ、多ク海濱ノ地ニスム、其
 生活甚々淡泊ナリ、米ヲ以テ常食トス、葡萄牙人ノ來ラサル以前ハ、田ニハ盡
 ク稻ヲウエ、他ノ植物ヲウユルヲ禁シタリシカ、此時ヨリ其禁ヲ除キタリ、屋
 ハ平屋ニテ、上ニ烟突ナク、地ニ床ヲ架セス、地常ニ乾燥スルヲ以テ、土塊ヲ枕
 ニシテ臥ス、椰陰ヲシメ、蕉實ヲ摘ミ、槐櫚ノ葉ヲ嚼ム、食ニ飭ナシ、鷄羹魚汁ヲ

米ニ混シ、手ヲ以テ搗シテ食ス、木ヲ剝シテ舟トシ、土ヲ捏シテ陶ヲ燒キ、椰殼
ヲ以テ杯トナシ、又一種ノ巨實アリ、其半邊ヲ截去リテ物ヲモリ桶ニカユ、所
謂ル濯鉢ナルモノハ、此風ヲ傳ヘタルナリ、其家産ノ厚キモノハ、屋ヲ建テ衣
ヲトヘ、ノヘ、服器モソナハレトモ、一般ノ風ハ、猶純然タル太古ノ民ナリ、然レ
モ其平居ハ溫ニシテ、舉動ニ禮アリ、龐暴ナラス、只粹勵ノ氣ニ乏シ、故ニ要用
ノ工藝ニ於テ長スル所ナシ、内部ノ民ハ、才識進ミタルモノナシ、之ヲ要スル
ニ、其家素淡泊ニスク、故ニ氣象振ハス才識ノ開ケ限リアリテ伸ヒス、又教育
ノ道ヲ闕ヲ以テ、利ヲ挑ムニ遠識ナク、財ニ臨ミテ苟得テ恥ヲシラサル風習
アリ、旅館ノ前ニ、土民貨物ヲ持來リ客ニ勸メテ賣ルモ、先ツ價ヲ客ニ言シム、
問ヘハ則チ眩價スルヲ十餘倍、前日ニハ折スル十分ノ一ナルモ、肯ンゼザリ
シモ、歸日ニ迫レハ、二十分ノ一ニテモ賣與ヘテ去ル、遊歩ノ途上ニ、童幼車ヲ
追テ錢ヲ求ム、皆丐兒ニ非ス、村民ノ兒、客ノ富貴ナルヲミテ、苟得ンヲ願フニ
過キス、此民一般ニ佛教ヲ信ス、其語ハ本土ノ語アリ、兼テ英語ヲ解ス、蘭ノ支
キハ蘭語ヲナシタ、又其一種ヲ「マテバース」人ト云、是ハ印度陸地ヨリ、移住ノ
レトモ今ハナシ

民ニシテ、骨相ハ歐洲人ニ似タリ、鬚髮蒙茸トシテ鹿ニ、肌ハ黃黒ナリ、此民ハ
 活潑ニシテ、生業ヲ營ムニ、耕圃ニシテ、較才智アリ、其一種ハ「モアス人」ト云、此
 ハ「モゴメツタン」ノ種類ニテ、骨相ハ西亞細亞、阿剌伯人ナトノ種ニ類ス、頭ヲ
 髡シテ突帽ヲ冠ス、此民ハ勉勵ニシテ商業ヲ務ムモノ多ク、皆回教ヲ信仰ス、
 又内部ノ深山中ニ於テ「ウイダー」ト云人種アリ、他人ノ近ツキ難キ、山奥ヲ擇
 ミテスミ、深林ノ樹間ニ巢窟ヲツクリ、天然ノ果物ヲ拾ヒ、獸ヲ狩リテ食ス、是
 ヲ尤モ獷野ナル土苗トス、此國ノ英領トナリシ以前ヨリ、漸漸海口ノ要地ニ
 ハ、歐洲人ノ移住スルモノアリ、又「カフアルス人」支那人ノ僅ニ移住ヲナスモ
 アリ、此島民ハ、近百年間ニ、一時生齒日ニ衰減ヲ致セリ、是ハ咖啡ノ價ヲ生セ
 シニヨリ、之ヲ耕植セシメシタメ、此島ノ民ヲ外國人捕ヘテ、滿刺加ノ地方ニ
 奴役シタル等、他國ニ移民ノ惡弊行ハレタルニヨレリ、英ノ所轄トナリテヨ
 リ、其弊熄ム、故ニ一千八百三十三年ニハ、百萬口ニ滿タサリシモ、五十九年ニ
 ハ、百七十九萬餘人ニ至リ、七十一年ニハ、二百四十〇萬五千二百八十七人ニ
 繁息シタリ、我筑紫全人口ノ半數ニスキス、此内一萬五千ハ歐洲人ナリト云、

千磅ノ多キヲ輸出ス、又木材ニ富ム、紫檀、黑檀ノ類、堅緻ノ材多シ、「コルフ」オフ
 マ子ヤ」ノ濱ハ、古ヨリ眞珠ヲ生ス、甚タ高名ナリシカトモ、今ハ少シ、漁利モ亦
 大ナリ、礦物ハ實用ノ品ニ乏シ、玉石ノ類ハ夥シ、又「グラネツト」石、硫磺ヲ生ス、
 土民ハ、象牙、牙齒、嵌玉ノ指環、鼈甲細工、玉沙、蝟猪ノ毛細工等ヲ持來リテ、之ヲ
 旅館前ニ販ク、一千八百七十一年ニ輸出セル咖啡、椰子油、棉花、材木ノ價、總テ
 一千八百十七萬四千二百六十五弗ニテ、其一千五百八十三萬餘弗ハ、英國ヘ
 輸送セシ高ナリ、輸入品ハ、棉布ヲ主トス、總テ價二千三百九十八萬七千九百
 六十〇弗、重ニ印度ヨリ入ル、政府ノ收税ハ、海關税ヲ以テ主トス、地税之ニ亞
 ス、鹽税又之ニ次ク、全年ノ歲入五百六十〇萬八千三百九十五弗ニテ、出費ハ
 五百三十二萬〇百二十弗ナリ、貨幣ハ印度ト同シク「ルーピー」ヲ用フ、カルカ
ニ詳カナリ、氣候ハ四圍洋海ナルヲ以テ、海風炎氣ヲ洗滌シテ、空氣常ニ潤ヒ、且炎
 熱モ溫和ニシテ、健康ニヨロシ、山地ハ雨多シ、南方ハ洋面ヨリ雲氣ヲ送リテ、
 不時ニ驟雨ヲ起ス、亦快適ナル平土ナリ、

第九十八卷 榜葛刺海航程ノ記

十二日晴、朝六時半ニ錨ヲ拔キ「エール港」ヲ發シ、錫蘭ノ南濱ニツフテ駛行ス、溫八十一度、氣針ハ昨ニ同シ、夕ニ薄陰ヲ醸シ、空氣濕ヒ、風モ平穩トナル。

錫蘭島ノ南邊ハ、全島中ニ於テ、山嶺多キ部分トス、海上ヨリ望メハ、蜿蜒蜿蜒トシテ脈ヲ走ラシメ、餘勢ハ盡ク長阜トナリ、窳然トシテ平地ニ接ス、樹ハ濃緑ヲコラシ、艸ハ深青ヲシク、夜來ノ雨ニ潤ヒ、嵐翠ハ滴ラントス、氣象甚々清シ、總テ錫蘭ノ地形ハ、山巒ミナ長坡ヲナシテ、平地ヲ其間ニ開ク、山山ノ脚、ミナ緩斜度ニテ、漸漸ニ高クナリタリ、此島ノ全土其光景ミナ然リ、如此キ地形ハ、世界中ニ別ニ比類ナシト云、凡山聳ヘ水流ルハ、何ノ國土カ然ラサラン、其色相ニ至テハ、各地ミナ同シカラス、蘇格ノ山ハ奇骨多ク、以太利ハ峻秀、獨逸ハ險岩多シ、阿刺伯ノ山ハ、岩石巖嶄トシテ、細ニ稜角ヲナス、錫蘭ハ斜度漫ニシテ、平坡多シ、造化ノ奇變タル、愈看テ愈巧ミナリ、我邦ノ文人、ミナ支那ノ綴法ヲ以テ、日本ノ山ヲ寫シテ雅トス、實ハ和樣畫ノ眞形ヲ得ルニ如カス、是日

本ノ山ハ、支那ト形ヲ異ニスルヲ知ラサルニヨル、西洋ノ寫生畫ハ、山水樹畜ヨリ、天空ノ色相マテモ、亦各地ノ眞ヲ寫ス、世開明ニ赴ケハ、畫モ亦精美ニツク、其漫然ニナスベカラサル、此ニテ察スヘシ、

十三日、朝晴、正午ニ北緯六度十二分、東經八十三度二十五分、進行三百三十五海里、溫八十三度、氣針二十九度二分、夕ニ陰、夜ニ入テ風浪起ル、

洋中ミル所ナシ、

十四日、陰、正午ニ北緯五度五十七分、東經八十八度十七分、進行二百九十海里、溫八十五度、^{「セ」氏二}氣針二十九度一分、午後ニ雨來リ暑氣ヲ拂フ、

洋中ミル所ナシ

今日ノ航程ヲ^{ベンガ}榜葛刺海ノ中央トス、此海ノ北濱ニ要港アリ、「カルカタ」ト云、印度ニテ肝要ノ港ナレハ、此ニ其大畧ヲ附記スヘシ、

「カルカタ府ハ、^{印度語ニテ「カル」ト}云神ヲ祠ル地ノ義、北緯二十二度三十四分、東經八十八度二十九分ノ地ニ位シ、此日ノ航程ヨリ、約一千海里ノ北ニアリ、「フダリー」河ノ吐口ヨリ、河ヲ遡ルヲ一百英里ノ上流ニヨル、此洞ノ幅ハ二英里ニ及フ、印度ニテ

恆河ニ次ク巨流タリ、印度北境ノ水ハ、大抵此河ニ匯注スルトナリ、今ヨリ二百年以前ニ、葡萄牙人ハ、榜葛刺府ニ據リ、英人ハ此「カルカタ」ニ據リテ、互ニ印度交易ノ利ヲ競ヒ、其頃ニハ、葡萄牙盛ニシテ、英ハ微ナリ、故ニ榜葛刺ヲ以テ海上ノ名ニ冒スルニ及ベリ、然ルニ英國ノ勢ヒ、次第ニ隆盛シ、「カルカタ」ノ繁昌年ヲ逐テ進ムニ從ヒ、榜葛刺ハ遂ニ衰ヘヌ、今「カルカタ」ノ人口五十萬ニス、印度ノ首府タリ、英ヨリ派出ノ「ガハナル」知事此ニオル、

此府中ニ維廉城アリ、一千六百十八年ニ、英人コレヲ修メ、外壘ヲ八稜形ニ築キテ、要害ヲ扼シ、内ニハ製作場ヲ建テ、戎備ヲ足ラシ、武庫、玉藥窖、兵營ミナ壯大ニテ、修理甚タ至リ、其備モ亦牢固ナリ、二萬ノ兵ヲ屯セシムヘシ、後一千七百五十六年ニ國人「チホクラヂヤ、ダウラレ」ナルモノ起リテ、此城ヲ奪ヒ取り、兵ヲカヘテ守ル、一年有半ナリシニ、英人再ヒ攻テ奪ヒ回シ、夫ヨリ今ニ至ルマテ、印度東方ノ京城トナシ、第一ノ固メトセリ、○城府ノ南方ニ、英人ノ移住セルモノ、及ヒ歐洲各國ノ人住居シ、屋廬ノ造營モ、亦歐洲ノ風ヲ帶ヒテ壯麗ナリ、其北部ハ土人ノ居タリ、維廉城外ト市街トノ間ニ、空敞ナル地アリ、修

メテ府中散策ノ場トナス、終日車跡人聲タユルコナシ、府中ノ造營ニ於テ、第
 一二高壯ナルハ、政事堂トス、次ニハガハナル館タリ、此官ニ命セラレタルハ、英
 國ノ榮選ニシテ、此館ニ繫駐シ、英國王ニ代リテ、萬機ヲ裁スルモノタリ、此外
 市廳、大裁判所、造幣寮等、ミナ政府ノ建築ニカ、ル、其他屋造ノ美、街路ノ修レ
 ル、東方ヨリ、始メテ至ルモノハ、目ヲ刮ラサルナシ、大抵歐洲風ノ建築ニテ錯
 ユルニ、亞細亞風ヲ以テス、路ハ濶ニシテ坦平、且潔ナリ、處處ニ遊苑花園アリ、
 椰子、棕櫚樹、芭蕉ノ類ヨリ、スヘテ熱帶地方ノ花卉ヲウエ、爛漫トシテ終年芳
 菲シ、花媚ヒ葉秀テ、天宮極樂界ノ想ヒヲナス、○「ベンガラ、パンク」病院、芝居、大
 寺等、ミナ壯ニ、大學校ハ數所ニアリ、英學ヲ授ケル校アリ、「ヒンドス」即チ印度
 ヲ布キ「モエメツト」教ヲ布ク學校モアリ、「タルポイント」校、エヂヤチ、校ノ兩學
 校ハ、理科工藝ノ學中ニ於テ、榮越ナルモノトス、○此府ヨリ輸出ノ產物ハ、鴉
 片ヲ魁トス、皆支那ニ輸送ス、支那國ハ、全地ノ民、周年ノ勞力ヲ傾ケ、此一品ヲ
 買得テ、精神ヲ癡痺スルコトニ、勉強スト謂フヘシ、英國モ亦此不祥ナル利益ヲ
 受ケテ、自ラ肥ル、豈ニ文明ノ本意ナランヤ、蓋積習ノ後、支那ハ買者ヲ制スル

能ハス、英國モ賣者ヲ禁スルヲ得サルナリ、烟草ノ產出ハ、呂宋ニ匹ス、其高約十五萬担ニ及フ、砂糖ハ、三十萬担、并テ鴉片ヲ以テ交易シ得タル、支那ノ砂糖ト共ニ此府及ヒ近方ノ港ヨリ、歐洲ニ輸送スルモノハ、此數ニ五六倍スヘシ、藍靛ハ榜葛刺ノ產ヲ、世界第一トス、本國及ヒ日耳曼ニ輸送スル高、甚タ大ナリ、瓜哇、呂宋ノ產ヲ并セテ、一千萬磅ニスキルトナリ、稻米ハ土民ノ重ニ耕種スル所ナレトモ、其品類ハ、我日本及ヒ米國ノ米ニ及ハサルヘシ、近年大麻、苧麻ノ需用多キヲ以テ、地方官ヨリ其耕作ヲ勸勵シ、其產出ノ高、年年ニ増加シ、六年間ニ、三倍ノ多キヲ致シ、一千八百七十一年ノ輸出高ハ、大麻ノ價五十萬磅、苧麻ノ價三十七萬餘磅ニ及ヘリ、歐洲麻苧ノ紡織ハ、印度、露西亞ノ產出ヲ仰クトナリ、棉花ハ已ニ孟買府ボンベイヲ記シタル條ニ述ヘタリ、絹絲ハ最上品ヲ出ス、其甚タ少シ、倫敦ニテミタルヲ以テ推スニ、最上ノ養育ト、製絲トヲ經テモ、其質韌勁ヲカキ、光澤ニ乏シ、其總高壹萬磅量ニ及ハス、茶ハ、アズサム洲ノ種ヲ弘メテ、今ハ盛ニ培植ヲ務メ、此耕種ノ爲メニ、會社ニ付シタル荒地ノ面積ハ、八十萬町步ニスキル、廣大ノ野ニテ、現ニ樹藝シタル部分ハ、猶十分ノ一ニス

キス、十二年前マテハ百萬磅量ヲ産スルニスキサリシニ、今ハ己ニ一千五百
 萬磅ノ多キニ倍加シ、價百三十萬磅ノ利ヲ收ムルニ至レリ、此「アズサム茶」ノ
 繁殖ハ、東洋此利ヲ受ル國國ニ、大ナル管係ヲ生スヘシトイフ、是ミナ印度産
 物ノ重ナル部分ナリ、輸入ノ貨ハ、多ク工藝上ヨリ生スル物産ニテ、麻布、礦物、
 書籍、酒、火酒、毛織物、木棉、絹、帛等ニテ、英國ヨリ輸入スルモノ最多シ、○此府ハ
 英國ノ郵船會社「ヘニンシュテ、オリエンタル、イソ、子ロケーション」ノ會社ニ於
 テハ、尤モ肝要ナル港タリ、此府ヨリ西方ヘ陸路九百英里ヲ貫キテ、近年鐵路
 ヲ架成シ、孟買府ト相往來ス、孟買ヨリ直ニ蘇士ノ航路ニツク、○此府英國ノ
 所領トナリ、製産貿易ノ業ヲ盛ニスルニ從ヒ、歐人ノ移寓モ、年ヲ逐テ増加ス
 ルニヨリ、製作ノ業モ、亦漸ニ興ル、殊ニ麻ノ紡織ハ、年年ニ隆盛ニテ、已ニ價七
 十萬磅ノ利益ヲ收ムルニ至レリ、此府ノ製麻ニツキテ、日本ニ於テ緊要ナリ
 トスルハ、鹿布袋ノ製作ナリ、歐洲ニテ穀物ヲ盛ルモノニテ、外國ニ向ヒ、盛ニ
 穀物ヲ輸シ出サソニハ、此袋ヲ輸入セサルベカラス、此物ヲ歐洲航程ノ中路
 ニ於テ製作シ出スハ、大ナル便利ナラスヤ、近年製茶ノ場モ、益盛大ナリト云、

日本ノ茶利ヲ振興スルニハ、此地ノ景況ヲ常ニ照査セサルヘカラス、

東西洋ノ航路ハ、殆ト一萬海里、日本ヨリ程ヲ數ヘ起セハ、橫濱ヨリ神戸、長崎ニ小停シテ、上海ニ赴キ、或ハ南海ヲ截テ、香港ニ達ス、支那南部ト物産ヲ交易スヘシ、香港ヨリ南ハ、新嘉坡ニテ、南洋熱帶ノ物産ヲ交易スヘシ、此ヨリ起航シテ、南ハ瓜哇、豪斯多刺利ヘノ郵船アリ、西ハ錫蘭、カルカタヘノ郵船アリ、印度ノ物産ヲ交易スルハ、カルカタヲ要口トス、カルカタヨリ九百英里ノ鐵路ヲ走り、孟買府ニ至レハ、蘇士ノ郵船アリテ、歐洲ニ航スヘシ、天ノ岬嶼ヲ按排スル、熱中、寒ノ三帶ニ、各其土宜アリ、各國域ヲ異ニシテ、生意從テ異ナルハ、天ヨリ貿易ノ利ヲ生民ニ與ヘテ、相競ヒ相勵マシムル所ニテ、深ク注意セサルベカラサルナリ、試ニ本邦ヘ輸入ノ洋品ヲ以テ、其來源ヲ究ムレハ、カルカタ、新嘉坡、豪斯多刺利、呂宋ヨリ得テ、歐洲ニ於テ化治セルモノ多シ、今日日本ノ民、方ニ外航ノ緒ヲ西洋人ヨリ誘啓セラレ、爭フテ歐洲ニ赴キ、而テ印度南洋ハ、眼孔中ヨリ脱去シタリ、殊ニシラス、國民ミナ貿易ヲ勉メ、工藝ヲ興スハ、未タ歐洲ニ至ラサル半程ノ地ニ、利益ノ伏藏スル

甚タ夥多シキヲ、紫檀、黑檀ノ材ハ暹羅、蘇莫荅刺ニ出テ、象牙及ヒ藤ハ、安南ニ出ルカ如ク、天産ノ豐ナル、反テ近鄰ノ諸邦ニアリ、今ヨリシテ以往、西航ノ人、新嘉坡ヨリ「カルカタ」孟買ニ赴クモノ、年年ニ盛ンニシテ、其地理物產ヲ記スル、此米歐實記ノ如キモノ森出スルニ及ンテ、始メテ日本富強ノ實ヲミルヘシ、因テ姑ク兩府ノ大畧ヲ記シテ、其嚆矢ノ人ヲマツ、

英領印度地方ニ於テ、通用スル貨幣ハ、本國ノ鑄造スル所ナレトモ、其製ヤ、異ナリ「ルーピー」ヲ以テ本位トス、一「ルーピー」ニテ、英ノ二「シルリンク」ニアタル、故ニ十枚ノ「ルーピー」ニテ、一磅ニカユヘシ、一「ルーピー」十六分ノ一ヲ一「アルナ」トス、英ノ一「ペニー」半ニアタル、一「アレナ」ヨリ銀貨アリ、約我三錢ニ「アレナ」ヲ四分スルノ一ヲ「ピース」ト云、銅錢アリ、亞丁、錫蘭、新嘉坡、ミナ此貨ヲ用フ、佛國ノ郵船ノ碇舶スル所ハ、佛貨モ通用スレトモ、土人大半ハ受ルヲ肯ンセス、十五日、晴、正午ニ北緯五度五十六分、東經九十二度三十七分、進行二百五十六海里、溫八十一度、^セ氏二十^{六度半}、氣針二十九度一分、晚來又陰ル、此日午後ヨリ、蘇莫荅刺ノ海濱ニ入テ、^マ滿刺加灣^{ラツカ}ヲ駛ル、

蘇莫荅刺島ハ南洋島中ノ一大島ナリ、榜葛刺海ノ東ニ極ル處ヨリ、其首ヲ起シテ、斜ニ東南ニ横フ、東南ノ岬首ニハ、二島アリテ接連ス、一ヲ「ウエイ島」ト云ニヲ「ブラッス島」ト云、相竝ヒテ本島ニ連ル、前ニ「ニコハ島」アリ、郵船ハ其間ヲ走ル、島島ミナ海面ヨリ山ヲ起ス、日本ノ島嶼ニ肖タリ、山ハミナ樹木ヲ生シテ山面ヲ覆フ、天喬トシテ繁茂セリ、本島ノ地ハ、岬坡樹岑相雜リ、峰巒峻秀ニテ險怪ナラス、一望シテ其肥腴ノ地ナルヲ知ラレタリ、○「エッシーン府」ハ、其岬ノ北濱ニアリテ、海岸ヲ離ル、三英里ノ奥ニアリ、此處ハ海灣ニ、一帯ノ平地アリ、山勢絶ヘテ又起ル、中間ニ長キ平坡アリテ、一條ノ樹林ヲ生シ、海岸ヲ盡シ、其中部ニハ空曠ナル平地ヲ抱キ、向面ニ一峰アリ、突起ス、之ヲ「エールモンテン」ト云、此峰ノ形ハ、酷々富士嶽ニ似タリ、此山ニ金礦多キヲ以テ此名アリ、「アッシーン府」ハ、獨立蘇莫荅刺ノ王都ニテ、近年ハ此港ノ貿易ハ、次第ニ繁昌ニ赴クトナン、

蘇莫荅刺國ハ、此ヨリ首ヲ起シ、斜ニ赤道ヲ貫キ、南緯五度五十六分ニ至リ盡キ、海峡ヲ隔テ、瓜哇島ニ對ス、長サ一千〇五十英里、幅ハ二百四十英里ヨリ

六十英里ニ至ル、狭長形ノ島ニテ、大小ノ島嶼、其周圍ニ點綴シ、赤道ハ、正ニ其中央ニアタル、幅員十四萬七千方英里、我日本全國ニ比較スレハ、較大ナリ、○此島ノ住民ハ、本土ノ人種ト、^{マレイ}巫來由人種トヲ雜ユ、全國ノ語ハ、巫來由ノ語ヲ通用シ、「イスラシス」ノ教ヲ信ス、回教ノ一派ニカハル、甚々文學ニ乏シ、國ノ歴史今ニ至ルマテ記載ナク、只口碑ニテ相傳フ、國ノ法律モ成文ナシ、全島ノ人口五百萬餘トイヘ、其内三百五十六萬人ハ、荷蘭佗ノ所轄ニ屬ス、其他ハ實數ヲ確知シ難シ、凡ソ瓜哇ヨリ南緯一帶ノ地ハミナ、荷蘭ノ所轄ニ歸ス、東北ニ三分ノ一ヲ占メ、一ノ「ソルタン」^{主國}アリテ支配ス、即チ「アッシーン」府ハ其都ナリ、○此國ノ地勢ハ、島ノ流レニ從テ、山脈橫ハリ、内部ノ脊梁トナル、「インテラヒユラ」ト名ツケル峰アリ、高サ一萬二千五百尺ニ達ス、國中第一ノ高山タリ、其他一萬尺ニ及フ峰巒ハ猶多シ、一般ノ地形ヲ平均スレハ、三千尺ヨリ五千尺ニ至ル、西方ノ海岸ニハ、山勢迫リテ、幅二十英里ノ平原ヲ開ケルニ過キス、山脈ノ間ニ高原アリ、樹木鬱葱トシテ、清嵐空氣ヲ浸シ、氣候快暢ニシテ、住居ニヨロシ、湖水アリ、清流アリ、風景モ亦佳絶ナリ、其流ヲ導キテ水利ヲナシ、以

テ米穀ヲ耕作ス、土潤ニシテ豐熟ス、南東一帯ノ海岸ニハ、平地多ク、又大河アリ引テ溝渠トナシ耕種甚タ饒カナリ、其土壤ハ赤壤多シ、間ニ黑壤アリ、黑壤ニハ、艸木尤モ暢茂ス、土民其實ヲ食トス、「セイヨ米即沙」ハ「ムス」等是ナリ、果物ハ、饒多ニシテ腴美ナルヲ、他邦ニ超ヘタリ、甘蔗、蜀黍、生薑、胡椒ヲ産ス、胡椒ノ利尤モ廣シ、咖啡ノ産モ、錫蘭ニ亞ク、瓜哇ノ産ヲ并セテ、荷蘭佗國ノ市場ニ輸送ス、花卉芬芳ニシテ、蜂ノ種類甚タ多シ、蜜蜂ヲ養ヒテ、其蜜ヲ採ル、亦土産ノ一利タリ、漁利モ亦盛ナリ、其他ノ動物ハ、文禽彩鳥ノ類甚タ多シ、獸類ミナ備ル、虎、豹、羆、象、江豚、鹿、猿、熊、犀、樹鼠ノ類夥多シ、馬、牛、羊モ亦多シ、外ニ「ハヘル」ト云獸アリ、或ハ野生シ、或ハ家畜シ、以テ牛羊ニ代ユ、礦物ノ利モ亦富ム、「ゴール」山ニ純粹ノ金ヲ出シ、銅アリ、鐵アリ、錫アリ、國産ノ第一トス、其他石炭、硫磺、ミナ出テ、高土ニ於テハ藥泉多シ、

蘇莫荅刺近方ノ諸島、ミナ果物ニ豐ナリ、又猿類甚タ多シ、果物ヲトリテ之ヲ食ヒ、殆ト盡スニ至ルト云、一物饒カナレハ、一物ノ之ヲ糜スルモノアリ、天ノ乘除亦至ラサル所ナシ、西洋ニテ、禽獸園ニ猿ノ諸種ヲ多ク集ム、南洋

諸島ニ出ルモノ多シ、

氣候ハ一ナラサレ_レ之ヲ概スルニ其暑熱ハ緯度ニ比スレハ甚タ酷烈ナラ
ス凡ソ七十度ヨリ九十度ノ間ヲ平均トス、九十三度ニ上ル暑ハ異常ノ候ト
ス又赤道ノ下ニ位シタレハ終年ニ氷雪ヲミルコナシ、四境海ナルヲ以テ空
氣濕ヒテ朝朝ニ霧深シ其恒風_モ一定ノ方向アリ、四五月ヨリ九十月マ
テハ東南ノ風來リテ空氣乾燥ス、十一月ヨリ三月マテハ西北ノ風來リテ常
ニ雨ヲ醸シ濛濛ノ中ニテ日ヲ送ルコ多シ、地マタ雷多ク地震モ亦多シト云
○此國ノ富饒ナル如此クナレ_レ人民ノ氣ハ尙振ハスシテ工藝貿易共ニ盛
ニ仍リ進歩セス又一ノ陋風アリ妻ヲ買フテ配偶トシ厭ヘハ又他人ニ賣リ
カエ更ニ娶ル土曠ニ人希少ナレハ土地ノ占有モ其境界ヲ審確ニセサル所
多シ○荷蘭陀己ニ瓜哇ヨリ此島ヲ蠶食シ竟ニ全島ヲ得ント欲スル多年ナ
リ今年ノ春ヨリ「エッシーン」ト聲隙ヲ生シ事本國ニ聞ヘ議院ノ協議ニテ瓜哇
ノ軍ヲ發シ本國ヨリモ軍艦ヲ發遣シ大兵ヲ以テ攻壓スルコニ決定シ即今
ハ正ニ其用意中ナリ我塔セル郵船ニ荷蘭本國ヨリ差發ノ大將「ホンス、ウイ

一、テン氏父子、屬官兩三名、同船ヲナシテ、新嘉坡マデ來レリ、又本國、及ヒ瓜哇ヨリ、前後ニ發シタル軍艦ハ、三十七艘、兵卒一萬人、其内本國ノ兵ハ、四千五百人ニテ「エッシーン」ヲ討セント、現ニ一艘ノ軍艦アリテ「エッシーン」ノ港口ニカ、リ、港ヲ塞キタルヲミル、又我郵船ニ先ツテ、二艘ノ軍艦此ニ赴キシニ、海上ニ於テ、其一ハ紅海ニテ岩礁ニ觸レ、其一ハ阿刺伯海ニテ、大風ニ^{カザ}楫ヲ折ラレ、其兵卒ヲ亞丁ニアケタルヲ、此「アッ」郵船ニテ、新嘉坡マテ送ラント、因テ航路ヲ急キシニ、己ニ別ノ郵船アリテ亞丁ニハ、殘兵モナカリケリ、其岩礁ニ擱シタル艦ハ、我紅海ヲ駛スルヒニ、左方ノ海中ニ見タリ、此攻戰ニ付テハ、荷蘭陀ニ於テ、莫大ノ失費ナルヘシ、抑此罅隙ノ起リハ、確トシテ知リ難シ、「ウィー」テン氏ヨリ聞ク所ニヨレハ、「エッシーン」人、海賊ヲナシタルニヨリテ、之ヲ詰責セシニ、彼ヨリ暴發ニ及ヒタルヲ以テ、此師ヲ起スニ及フト云ヘリ、又去ル五月頃ニ、倫敦ノ新聞ニ舉ケタル「蘇莫荅刺」ノ使節、土耳其ニ至リテ、救援ヲ請ヒシ語ニヨレハ、曰ク、本年二月、荷蘭ノ軍艦「エッセー」ニ至リテ、二個條ヲ以テ國王ニ決答ヲ要求ス、其一ハ國人ミナ蘭ノ國旗下ニ服スヘシ、其二ハ奴隸ノ賣買ヲ

廢止スヘシ、其三ハ砲臺兵器ヲ渡スヘシトノ條件ナリ、蘇人其事件重大ナルヲ以テ、一个月間ノ議ヲ待ツテ答ヘンコトヲ乞フ、蘭ノ使節ハ二十四時間ニ答ヲナスヘシトテ、夫ヨリ兵ヲ揚陸セシメテ之ニ迫ル、是ニ於テ、蘇ノ砲臺ヨリ發砲ナシ、遂ニ戰爭トナリ、蘭ヨリ兵ヲ操リ出シタレト、蘇人ハ烈戰シテ、蘭軍ヲ中斷シ二トナシタレハ、蘭兵ノ一半ハ船ニ逃レ歸リ、一半ハ歸路ヲ絶レテ狼狽シ、遂ニ百餘人ヲ生捕リ、并セテ兵器ヲ盡ク奪ヒ取リタリ、其後政府ヨリ三條ノ文、ミナ承允シ難キ旨ヲ以テ決答セリ、是ニ於テ、蘭ノ軍艦ヨリ生擒ヲ返シ、兵器ヲ返サンコトヲ望ム、蘇人ハ是ヨリ後ニ、此港ノ砲臺ニ向ヒテ、打仗セス、再ヒ親睦ニ復スルコトヲ約サハ、返スヘシト云、蘭人許諾ス、因テ其証書ヲ求メタレハ、倉卒ノ際ナルヲ以テ他日ニ修メントテ、遂ニ蘇人ヨリ生擒兵器ヲ受取リ、既ニ船ニ返レハ、頓テ又砲臺ニ向ヒテ攻撃ヲナシタリ、蘇人は是ニ於テ、大ニ憤怒シ、暫テ蘭人ノ肉ヲ啖ハント、又之ヲ拒戰シ、蘭艦利ヲ失ヒテ引去レリ、此時ノ狀態ハ英國ノ商船港内ニアリテ、傍觀ナシタレハ、他日ニ其公評アルヘシト云云、其後六月ノ新聞ニ、蘭ノ軍艦再ヒ攻撃シ、又利ヲ失ヒテ、償金ヲ

拂フヲ約シテ歸レリト云、軍事樞密ニテ、飛評紛紛ナレハ、確報イカンヲ定メ難シ、○荷蘭陀ハ瓜哇ヲ以テ外府トナス、蘇莫荅刺ノ反側ニ、少シク弱ヲ示セハ、此邊屬地ノ土人、常ニ其壓制ニ不滿意ナレハ、ミナ心ヲ生シテ、瓦解スルニ至ルヘシ、是此回本國ヨリモ、方ヲ用ヒ費ヲ惜マスシテ、必ス強兵制服センヲニ決議セル所以ナリ、「ホンス、ウーテン氏ハ、國中ノ公舉ニテ、大將ニ任セラレタル人ニテ、年六旬ニコヘタリ、曾テ南洋東洋ニアル久シク、其地理人情ヲ熟知スル兵家ナリト云、土耳其ハ回教ノ大國ニテ、同教ノ國國ミナ之ヲ尊仰ス、此戰ニ於テ、如何ナル措置ヲナスヤ、蘭人蘇島全部ヲ領スレハ、新嘉坡ノ交易ニ影響ヲ生ス、英國果シテ傍觀間ハサルヤ、蘇民頑陋ニシテ、兵器弱シ、此回ノ數戰、ミナ蘭ニ克タルハ、英人ヨリ密ニ兵器ヲ賣與ヘシニヨルトモ云、又日耳曼頻リニ東南洋ニ屬地ヲ有センヲ望ム、或ハ他日卞莊子ノ功ヲオサメントスルヒ云、他日此戰ハ如何ナル結果ヲナスヤヲ注目スヘシ

弱ノ肉ハ、強ノ食、歐洲人遠航ノ業起リシヨリ、熱帶ノ弱國、ミナ其爭ヒ喰フ所トナリテ、其豐饒ノ物產ヲ、本洲ニ輸入ス、其始メ西班牙、葡萄牙、及ヒ荷蘭

ノ三國先ツ其利ヲ專ラニセシニ土人ヲ遇スル暴慢慘酷ニシテ苟モ得ル
 ニアリシヲ以テ反側數生シ己ニ得テ又失ヒ英人因テ其轍ヲサケ寛容ヲ
 旨トシ先ンスルニ教育ヲ以テシ招撫柔遠ノ方ヲ以テ今日ノ盛大ヲ致セ
 リ今郵船ニアリテ歐洲航客ノ狀ヲ目撃スルニ英人ノ夷人ニ遇スル頗ル
 親和ヲ覺フ西葡及ヒ蘭ノ人ハ概シテ暴慢ナリ是レ昔日ノ遺俗今ニ習慣
 トナリテ除カサルヲ徵スルニ足ル顧フニ屬地ノ夷民ハイカナル暴制ノ
 下ニ壓伏セラルハヤシルヘカラス之ヲ概スルニ馬兒塞ヨリ郵船ニ上レ
 ハ二船ミナ白哲赤髯ノ航客ナレモ亦歐洲本土ノ景況ニアラス舉動蠢忽
 ニテ言語人ヲ侮慢シ高笑ヲ發シ婦人ニ狎レ細故ヲ怒リ暴言ヲ吐クモノ
 半ニオル是ミナ本國ニアリテ小人ノ行ニシテ耻ル所タリ其間ニアリテ
 些シク品行アルモノ歐洲ニテ平常ノ如キモ船中ニテハ斐然ノ君子ナル
 ヲ覺フ蓋シ遠航シテ利ヲ東南洋ニ博取シ以テ生理トナスモノハ大低本
 國ノ猾徒ニテ其無賴無行ナルヲ以テ郷里ニ斥ケラレ或ハ刑辟ニ觸レテ
 人ニ交際ヲ得サルモノ多ク出テ利ヲ外國ニ獲ンヲ圖ル故ニ東南洋ニ

生産ヲ求メルモノハ、大抵文明國ヨリ弄テラレタル民ナリ、共同ク白哲ニ
テ紅毛ナルヲ以テ、之ヲ文明ノ民ト思ヘハ、時アリテ差謬スル甚タシ、此等
ノ民、爭フテ屬地ニ至リテ、其土人ヲ凌侮ス、土人ノ無知ナルモ、殆ト堪ヘサ
ルモノアラン、殊ニ西葡ノ如キハ、其民俗未タ全ク文明寛大ノ風ニ浸漬セ
サレハ、猾徒モ從テ多シ、蘭人ニ至リテハ、本國ニアリテハ、勤儉順良ノ民タ
リ、而テ其東南洋ニ向ヘハ、猶暴侮ノ舉動ヲミル、歐洲ノ文明ニ矜リ、一視同
仁ノ論ヲ唱フルモ、亦未タ言フヘクシテ行ヘカラサルヲミル、我邦ノ外交
日淺ク、未タ歐洲ノ情實ヲシラス、多ク其航渡ノ人ヲ視テ、本國ノ文明ヲ察
スルヲ免レス、抑西航ノ客ニモ、先品行ニ注意スヘシ、文明ノ君子ナレハ、其
舉動自カラ端正溫和ニテ、一面ノ際ニモ畏敬スヘキ所アリ、前文ニアケタ
ル舉動ノ如キハ、決テアラサルモノナリ、

十六日、朝、細雨霏霏トシテ滴リ、海面ハ風全ク絶テ、淪漪ヲタム、正午ニ北緯四
度三十三分、東經九十六度三十九分、進行二百六十四海里、溫八十二度
氣針二十九度一分、五時五十分ニ日沒ス、
七度半

此朝北方ハ陰リ、南方ハ晴ル、蘇莫荅刺一帯ノ地方、山嶺蜿蜒トシテ潤ヒ、白雲絮ヲ劈クカ如ク、峯間ニカ、ル海上ノ眺メ佳ナリ、午後ニハ雨ヤミタレヒ、雲漂ヒテ晴ス、凡ソ熱帶ノ地方ハ、海水蒸散シテ、常ニ陰リ易ク、晴日ニモ雲絮海ニ横リ、山ヲ掩ヒ、空氣常ニ濕フテ、歐洲ト氣象ヲ異ニス、我五六月ノ交ニ似タリ、○此日ハ一簇ノ雲アリ徘徊シ、驟雨ヲ送り、電光ヲ閃カシ、夜間ニ閃電四隅ニ發シテ、海面爲ニ白シ、北斗地ニ低レ、南極圈ノ星象ヲ觀ル、

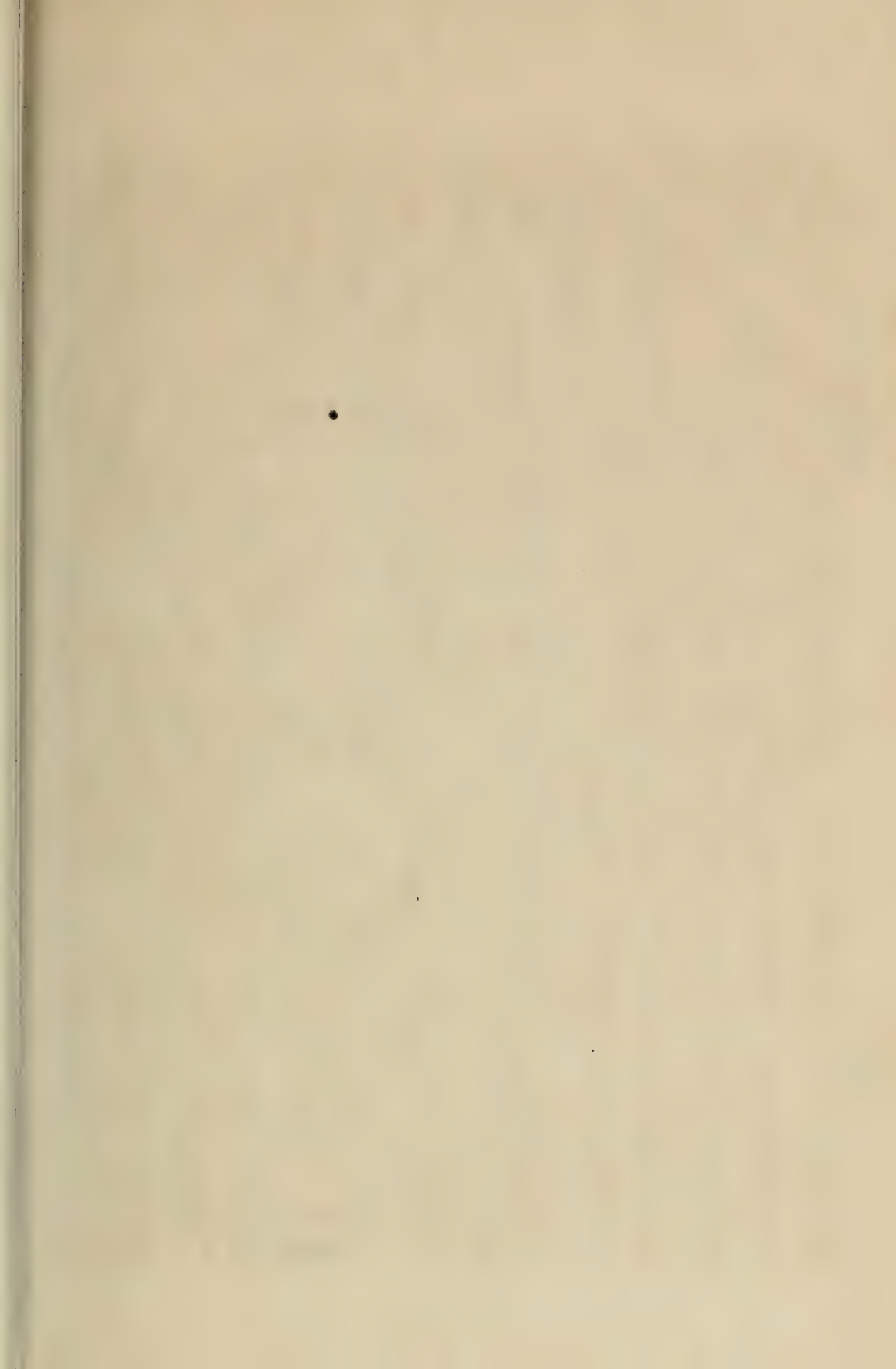
十七日、晴、風尙和ナリ、正午ニ北緯二度十四分、東經九十九度四十七分、進行二百三十五海里、溫八十二度^セ氏二氣針二十九度二分、六時ニ滿刺加^{マラツカ}ノ海濱ニ碇泊

セリ、翌朝早天ニ發船シ、幾クナクシテ新嘉坡^{シンガポール}ノ埠頭ニ達セリ、

此日ハ、天明ヨリ滿刺加^{マラツカ}地方ニソフテ駛ス、滿刺加半島ノ地形ハ、錫蘭ニモ似ス、又蘇莫荅刺ニモ似ス、海岸ニ平坡多ク平原アリ、原ヲ隔テ、山嶺ヲ起ス、山狀ミナ溫ニシテ、樹繁茂シ、崔嵬峻奇ノ峯ナシ、其脈接續セザルカ如ク、處處ニ突起ス、海岸ニハ、茂樹夭暢トシテ、數十里ノ長坡線ヲ引カ如ク、左右ニ走レリ、○十時ニ「パルチュラール」ノ燈臺前ヲ回ル、此所モ亦一灣ノ平坡アリ、東ニアタ

リテ一蕪ノ白烟起ルヲミル、豈ニ製作場ノアル所カ、英人ハ己ニ「カルカタ」ヲ以テ外京トナシ、シンガポール新嘉坡ヲ開キテ、東南洋ノ口ヲ扼ス、榜葛刺海ニ、驛ヲ設クル一所ナラス、滿刺加ノ西灣ニ於テモ、埠頭ニアリ、一ヲ「プレー」トス、昨晝航路ノ正面ニアタル、英ノ郵船「カルカタ」ヨリ錫蘭ヲ回ルモノハ、此ニ碇泊スル多時ナリト云、此邊ニ「ウイッタ」トイフ地アリ、此ニ一族ノ人種アリ、山林ニスミ、獺野ニシテ、他ノ交際ヲシラス、怒レハ人ヲ啖フニ至ルト云、此地ヲ滿刺加ト暹羅シヤムロト界ノ山脈トス、檳榔嶼ハ其前ナル島ニテ、一ヲ滿刺加トス、此夕ノ航程ニカゝル、

錫蘭ヨリ、新嘉坡マテ、航程一千四百〇三海里、馬爾塞兒ヨリ總程六千五百十六海里、



第九十九卷 支那海航程ノ記

十八日薄陰風穩カナリ、九時ニ新嘉坡ニ著ス、此地ニ近來虎狼痢ノ流行スルヲ

以テ、上陸ヲ爲サス、港口ニ泊セリ、此日ハ溫八十二度、夜八十五度ニ上ル

滿刺加^{マラッカ}ノ地方ハ、海灣ニ平坡多ク、山脈斷續シ、土壤ハ衍沃ヲ覺フ、此國ハ後印

度地方ヨリ、矛首ノ如ク、海中ニ斗出セル半島ニテ、其南岬ハ赤道ヲサルヲハ

十英里ニ及ハス、北方ハ北緯七度ノ交ニ、地勢蜂腰ヲナシタル所ニテ、暹羅^{シヤム}ト

界ヲ分ツ、總ヘテ幅員四萬五千方英里、全土ノ山脈紛錯シテ、三千尺ヨリ六千

尺ニ至リ、中ニ平原ヲ開キ、回水ノ利ニヨロシ、土民ミナ、稻ヲ耕シテ食フ、樹木

モ亦饒カナリ、礦利モ亦少カラス、其人口ハスベテ三十七萬ニスキス、一千二

百年ノ頃ニ蘇莫荅刺ヨリ移リシ、巫來由人ニテ、イスシラミズム教ヲ信シ、人

情風俗、略蘇ニ同シ、性鷙悍ニテ殺伐ニ輕ク、報復ノ念深ク、忍耐ノ力ニ乏シ、生

業ニ勵マス、往往ニ舟ヲ以テ近海ヲ抄シ、海賊ヲ事トシ、工藝ノ技ハ、只舊慣ヲ

存シ、進歩ニ至ラス、貿易ハ近年漸クニ盛ナリ、故ニ外國人ノ此ニ至ルモノ其

歡心ヲ得レハ、相友トスルニ難カラス、少シク其意ニ拂戾スルアレハ、睚眦相恨ミテ、長ク忘ル、能ハス、必ス之ニ報復センコトヲ執念ス、是ヲ以テ歐洲ニテハ、東洋南洋ノ人ヲ怖ル、蛇蝎ノ如ク戒心セサルハナシ、地方ニ一統ノ政府ナシ、酋長アリ「ソルタン」或ハ「ラチヤ」ト云、全地ヲ統轄スルト雖モ、權力ニ限制アリテ、地方ノ權ハ、數部落ヲ分チ、各其長アリテ之ヲ握ル、各長其偏執ヲ張リテ、全國ノ政務ニ至テハ相協同スルコト少ク、^{ヤ、モ}輒スレハ諍論相狼戾シテ、鬭爭ヲナスコト多シ、又法教ノ惡弊ヲ受ケ、且人民ノ蠱惑ヨリ出タル法則モ亦多シ、概シテ文化ニ遠キ頑俗ナリ、

新嘉坡府ハ、滿刺加半島南ニ盡ル所ノ首ニ於テ、長サ二十七英里、横十一英里ノ島ニテ、本土ト一帯ノ峽水ヲ隔ツ、尤モ狹キ所ハ、峽ノ幅四分一英里ニスキサルトナン、一千八百十九年、英國ヨリ滿刺加ノ「ソルタン（チュチャーニ）」ニ掛合ヒ、金ヲ出シテ買取りテ、此ニ埠頭ヲカマヘタリ、港ノ前ニハ、島嶼大小星羅シ、大ナルハ十數方英里、小ナルハ數方英里、其他瑣小ノ嶼ヲツヽリ、平嶼アリ、凸嶼アリ、ミナ樹木蒼鬱ナリ、遠キハ眉黛ヲナシ、霞ヲ拖キテ靄如ナリ、近キハ脊梁

ヲ疎カシ、水ニ鑑ミテ蜿蜒ス。一島ヲ送レハ、一島迎ヘ來リ、裏面ノ島嶼、漸クニ位置ヲ移シ、眺望奇絶ナリ。頗ル我中國海ノ景ニ似タリ。錫蘭ヨリ以來、航路愈東スレハ、景色愈秀麗ナリ。地熱帶ニ際シテ、四時草青ク、樹綠リニ、花卉紛披ス、眞ニ極樂土ナリ。○其地ハ北緯一度十二分、東經百〇三度五十二分ニ位シ、僅ナル海岔ヲ隔テ、蘇莫荅刺ニ接シ、中間ニ島嶼相綴リ、海面平カニ、印度海支那海往來ノ咽喉タリ。逐年ニ繁昌ヲマシテ、人口十萬ニ及フ、其内ニ支那人ヲ主トス。五萬八千人アリ、巫來由ハ一萬三千五百人ニスキス、又ヒントスタン人一萬二千七百人、亞細亞チックス「六千五百人、歐羅巴人ハ只六千アルノミ」、一千八百七十一年ノ算、輸入ノ物貨ハ、蘇莫荅刺、瓜哇、呂宋等ヨリ輸入ス、新嘉坡モ亦非常ニ富饒ナリ、平原アリ、長谷アリ、漫坡アリ、民ハ稻ヲ耕種シ、椰子、甘蔗、ヲウエ、丁香、生姜、胡椒等ヨク豐生ス、多ク支那人ノ農作ニカハル。山林ニ猛獸、虎、豹多シ、然レモ此地ノ富庶ハ、地利ニアラス、港ノ利ニアリ、輸出ノ品ハ、稻米、胡椒、咖啡、砂糖、獸革、木膏、象皮「コッタベカ」、馬鈴薯、莖「ガンビヤ」、沙穀米「セイエー」、白荳蔻「ノットメット」、錫等ナリ、一千八百三十年、已ニ原價二百萬磅ヲ出ス、今ハ二百五十萬磅ニスク、輸入ノ貨ハ、

其半ニスキス、小銃類、鐵、銅、木棉、毛布、石炭、諸金具、玻璃、葡萄酒、麥酒、鳥糞等ナリ、
貨幣ハ「ルーピー」ヲ通用ス、氣候ハ甚タ酷烈ナラス、終年快暢ナリ、此埠頭ヨリ、
西ハ印度、東ハ支那、呂宋、南ハ瓜哇、豪斯多刺利洲へ郵船ヲ出ス、四達ノ要港ト
ナリ、東南洋へ貿易往來スルモノ、最モ注意スヘキ地トス、

夜、海岸ニ薪火ヲ焚ク、數箇所、石炭ヲ船ニ積ム、土民荷物ヲ運搬スルニ、エイヤ也
ノ聲ヲナシテ、終夜聲アリ、

十九日晴、朝溫八十五度、氣針二十九度、正午ニ鎗ヲヌキテ發ス、

是ヨリ荷蘭陀管轄ノ「ピンタン」島ノ西ヲ走ル、此島ニハ、平岡長岑多ク、突兀ノ
峯アリ、岬角ヨリ數英里ヲ隔テ、岩嶼アリ、燈臺ヲ建テ、海路ヲ表示ス、

二十日、晴、朝來驟雨一陣スキル、正午ニ北緯四度五十九分、東經百〇三度三分、進
行二百六十四英里、溫八十六度、氣針昨ニ同シ、

廿一日、晴、正午ニ北緯九度五十一分、東經百〇四度三十三分、進行二百六十三海
里、溫八十六度、セ氏二十八度、氣針昨日ニ同シ、

「ロントラ島」「プロザル島」ノ間ヲ駛リテ、夜六時半ニ「セントヂョンス」ノ燈臺前

ヲスク、此邊ハ西灣ニ、^{ランサンキヤン}瀾滄江ノ吐口アリテ、海波穩カニ、潮ハ渾濁ナリ、地方ハ「セントヂョンス」ノ岬ニ、一脈ノ高山突兀セルノミ、一望ミナ平澤茫茫タリ、此夜ハ柴棍^{サイゴン}河口ニ泊船ス、

新嘉坡ヨリ、此河口マテ六百三十七海里、

廿二日、晴、柴棍河ヲ廻リ、柴棍府ニ至リ、船ニ宿ス、^{サイゴン}溫八十六度、

柴棍河ハ、安南ノ北境ヨリ南流スル五百餘英里、^{ランサンキヤン}瀾滄江ニ亞スル大河ナリ、河口ヨリ廻ルヲ三十餘英里ハ、兩岸ノ地ミナ平澤ニテ、潮退ケハ、土ハ水ヲ出ツルヲ七八寸、潮來レバ殆ト水郷トナル、澤中ニ河溝ヲ縱横ニ開通ス、其廣サハ一千尺ニスク、本流モホ、之ニ同シ、澤地ハスベテ林藪ニテ、四モニ山岡ヲミス、亦人家モナシ、漁人ノ小艇ヲ打テ上下スルヲミルハ、數英里奥ノ澤中ニハ、野村アル歟、澤中ニ大木ナシ、大抵叢樹灌木ニテ、^{フナ}榲符ノ中ニ錯出シ、蒙葱タリ、此内ニ籐樹ノ生セルヲミル、水波ハ岸ヲ齧ミ、樹根ハ白鬚ヲ亂シテ水ニ梳ル、禹貢ニ雲土夢乍父ノ句アリ、之ヲ解スル者曰ク、雲澤ニ土アラハレ、夢澤ハ始メテ治ルナリト、又左傳、國語等ニ楚王雲夢ノ澤ニ獵スルナトアルニテ考

フレハ雲夢ハ又陸地ニモ似タリ、又或ハ雲夢ハ湖ナリトモ謂ヒ、一ナラス、今此ヲスキテ而後ニシル、澤地ナルモノハ、水漲レハ土ヲ沒シ、水去レハ土アラハル、濕淤ニ樹木アル地ノ謂ニテ、大陸地方ニハ此河口ノ如キ地形ハ、所所ニアルコナリ、河口ヨリ上ル三十英里ノ後ニ、始メテ平野ヲミル、猶窪下ノ水田ナリ、人家十餘戸、或ハ數十戸、約畧トシテ村ヲナシ、樹少ク田多シ、午後一時ニ柴棍府ニ至リ、錨ヲ下ス、河口ヨリ柴棍マテ四十英里、

柴棍府ハ安南國ノ内、眞臘部ノ都府ニテ、今ハ佛國ノ屬地トナリシヨリ、船路ノ便ニハ非レトモ、佛國政府ヨリ、年年八百萬「フランク」ノ金ヲ郵船會社ニ付シ、往來此ニ立寄ラシメテ、此地ノ運送ヲ便ニシ、植民ヲ利シ、兼テ船客ヲシテ此地ノ民ニ散財シ、其利潤ヲ受シム、故ニ佛ノ郵船ハ必ス此ニ立寄り、二日ノ程ヲ費スナリ、○柴棍府ハ北緯十度四十七分、東經百〇六度四十五分ニ位ス、柴棍河ヲ挾ミテ、人家ヲ列ネ、河東ヲ本府トナス、此地ノ炎熱ハ、非常ニシテ、亞丁ニアスル處ナリト云、本日ハ稍輕熱ナリシモ、八十六度ニ上リテ、晝夜ヲワタレリ、地ハ曠平ニテ、路ヲ開ク濶ナレトモ、修ラス、街上ニ樹アリ、草ヲ生シテ荒

蕪ス、平衍ナレトモ車行安カラス、外國人ノ居留地ハヤ、修美ナリ、砌石ヲ匝シ、
磚瓦ヲ布キ、屋造ハ三階ノ白堊皎然トシテ、亞細亞風ヲ錯ヘタル、歐洲建築ナ
リ、一般ノ市店ハ密比セス、河岸ノ小戸ハ、茅舍矮宇、或ハ椰葉ヲ編ミテ、宇壁戸
扉トス、錫蘭「ゴール」ノ人家ニ比スレハ、頗ル工ミナリ、其美ナルハ、瓦ヲ葺ク、赤
瓦ナレトモ、葺キ法ハ我邦ニ同シク、歐洲ヨリ反テ巧ナリ、屋内ハ多ク土床ニテ、
家モ甚タ低シ、河ニツヒテハ、水中ニ家ヲ架出シ、或ハ舟ヲ家トスルモノアリ、
陸上ノ小屋ハ、前後ノ圍庭蕪穢ニテ、家鴨家猪ノ圈ト相接シ、蹄跡狼籍ナル地
ニ、全家棲止シテ恬然ナリ、支那人種ノ不潔ヲ厭ハサルハ、怪ムヘキホドナリ、
曾テ西洋人ノ長崎ニ來ルモノ、日本ヲ目シテ潔癖アリト云、長崎ハ修潔ノ俗
ニモ非ス、因テ疑フ、西洋モ亦不潔ナリト、今ニシテ信ス、是支那人ニ反對セル
ヲ謂フ所ナルヲヲ、日本人ノ潔ヲ好ムハ、歐洲ニ耻サルヘシ、○全府ノ人口十
八萬人、支那人最モ多シ、巫來由人、暹羅人、及ヒ歐羅巴人ト雜處シ、其類種種ナ
リ、本土人ノ骨格ハ、日本人ニ似タレトモ、鼻準ミナ低ク、面平カナリ、髮ハ黒クシ
テ直ク、男ニ鬚少シ、小民ハ、男女共ニ檳榔葉ヲ齧ミテ、齒ノ漆黒ナルヲ、鐵漿水

ヲ塗タルヲ疑フ、賤民ノ衣服ハ男女同装ニテ、殆ト辨スヘカラス、頭髮ハ梳リテ、頂ニ結フ、冠帽ナシ、或ハ笠ヲ冠ル、稍上等ニス、メハ、婦人ハ髻髻ヲナス、髻結ヤ、密ナリ、衣服ハ窄袖ニテ、領ハ我雨衣ノ製ニ似タリ、右衽ニシテ、肩及ヒ脅ニ三四ノ結紐アリ、其長サ脚ニ至ル、腰ヨリ以下ヲ裂キテ褌襦タリ、是ヲ男子ノ服トス、婦人ハ袖ヲ長クシ、腰下ノ切裂ト共ニ繖ル、頭ハ髻髻ノ上ニ笠ヲ戴キタリ、一般ニ裸體少ケレト、跣足多シ、暹羅人ハ色更ニ黒ク、肌膚粗ニ、鼻準大ニシテ平ク、口大ニシテ唇厚ク、眼色尖ク、甚ダ健ナリ、巫來由人ハ、鼻秀テ、眼光尖ク、口唇大ナラス、肉ハ厚カラス、骨相精悍ナリ、ミナ頭ニ布ヲ戴キテ帽ニカユ、此兩人種ハ、性勇ニシテ緊急ナリ、怒リ易シ、音吐激高ニテ、屈撓セシメ難シ、小少忍ヒサルヲアレハ、輒チ齒ヲ齧ミテ自ラ悲怒ス、○市街ニテ貿易生理ヲナスハ、支那人多シ、府中ニミルヘキモノハ、祠廟ナリ、其屋造ハ、歐洲屋造ノ高キカ如クナラサレトモ、瓦宇瓷檐、石ヲ甃シ、磚ヲ疊ミ、或ハ龍ヲ刻ミテ飾リトス、又羅馬教即チ天主教ノ寺モアリ、造船場、病院、穀倉アリ、ミナ見ルニ足ラス、草木園アリ、區域廣大ニテ、修掃至ラサレト、地熱帶ニ位シ、樹木夭喬ニ、花卉芳

菲シ珍卉異艸枚舉ニ遑アラス榕樹ノ根十圍ヲナシ棕櫚ノ葉ハ十歩ノ地ヲ
蔭シ股大ノ竹ヲ生ス○馬車ヲ散驅シテ南方ナル新隆縣ニ至ル歐人之ヲ「チャ
ーレン」ト云程約三英里平地ニテ路修ラス尙車ヲヤルニ堪ヘタリ沿途ノ野
ニハ草蔓ヲ編ミテ籬トナシ或ハ灌木ヲ叢生シ時ニ巨樹アリテ蔭ヲナス稻
田アリ芭蕉[■]アリ椰子林アリ野欄ハ高ク他ノ廣葉樹ト錯ヘ植エタリ松杉
棕櫚榿[○]檉ノ類ヲミス「カクトース」ト名ク「サボテン」ノ一種アリ歐洲ニテハ窖
藏シテ愛賞セル草ナルニ此地ニテハ野路ニ雜生シ人ノ顧ルモノナシ田野
甚タ腴ナラス甘蔗ヲウエ[○]咖啡ヲウエタル田モアリ田中ニ墓アリ兩兩三三
ヲ處處ニミル安南モ支那ト同ク嫌忌多シ墓地ヲ相シ田中ノ一區ヲトシテ
此ニ葬ル故ニ到ル所ニ冢墓纍纍タリ亦惡風俗ト謂ヘシ途上ニテ徒刑ノモ
ノニアフ邏卒護衛シ刑徒ニハ椰葉ノ笠ヲ冠セシメ數十人隊ヲナシテ來ル
中ニ枷ヲ打タルモアリ支那人多シ此邊ニ佛ノ兵屯アリ○新隆縣ハ數千戸
ノ縣ナリ其市街ハ陋惡ニシテミルニ足ラス穗城會館トテ天后聖母ノ廟ア
リ左ニ關帝ヲ祠リ右ニ財帛星君ヲ祠ル支那人ノ建タルモノニテ造營ハ精

工ヲ極ム、壁ハ磚瓦ニテ造成ス、其瓦ハ青黑色ニテ、甚ダ堅シ、歐洲ノ磚瓦モ、堅
 良ヲ讓ルヘシ、瓦ヲ葺ク、我邦ニ同シ、棟ニ陶製ノ龍ヲオキ、檐ハ平面ノ磁ニ、
 繪畫ヲ染付タルヲ以テ粧ヒ、咸豐戊午、粵東沈玉造ノ欸名アリ、堂庭ハミナ石
 ヲ甃シ、屋內ニハ瓦ヲ甃シ、瓦甚タ堅牢ナリ、○此地ニ生絲ノ製造所アリ、佛國
 人ノ注意ニテ、此邊ニ蠶業ヲ起スノ目的ナルヘシ、安南絲ノ性質イカンハ未
 聞サレ、^ヒ印度絲ノ伯仲ニスキサルヘシ、○六時ニ「ホテルデユニワル」ニ歸リ
 テ、夕餐ス、食饌ノ美、欸待ノ懇ナル、頗ル歐陸地ノ思ヒヲナセリ、「マングスタン」ト
 名ツクル、果實ヲ供ス、「マングスタン」ハ、果中ノ最上品タリ、其狀ハ外殼柘榴皮
 ニ似テ、其色紫黒ニ、甘形小ナリ、之ヲ劈ケハ、中ニ白色ノ瓢ヲ包ム、五瓣相轉成
 シテ、梅花紋「プクラ梅」ヲナス、瓣內ニ其漿ヲ蓄フ、甜ニシテ微酸ヲ帶ヒ、甚タ腴
 ニシテ、口ニイレハ氷解ス、此果實ハ久シク蓄フヘカラス、七日ヲ過レハ味ヲ
 失フ、歐人飛船ニテ、本土ニ輸セン、^フ圖レ^ヒ能ハストナシ、其他荔枝、鳳梨、芭
 實、西瓜、ミナ美ナラサルハナシ、○此地ニハ佛貨、并セテ英貨モ通用ス、又市中
 ニ、支那式ノ孔方錢^{カクアナセシ}ヲ緡ニ貫キタルヲミル、招牌記號ニ、支那文字ヲ用ヒ、紅牋

ノ柱聯ヲ家家ニ貼付シタレハ、情境瞭然ニテ、異語ノ域ナルヲ忘レ、自國ニ歸
リシ心地セリ。是象形文字ノ利ナリト謂ヘシ、亞片烟ヲウル招牌ヲミル、官ヨ
リ制法アリテ、賣モノニ似タリ、此日ハ陰天ニテ、日光皚赫ナラズ、幸ニ八十六
度ノ熱ナリシモ、平生ノ炎皫ハ、其畏ルヘキヲ想像セラレタリ、
二十三日、陰、正午ニ錨ヲ拔キテ、柴棍河ヲ下ル、驟雨來リテ、點滴繩ヲ掛ケルカ如
シ、薄暮ニ支那海ヲ駛ス、

此ニ安南ノ大略ヲ記述セン、○安南ハ、北緯十度ニ起リ、二十二度五十三分ニ
至リテ、支那ト界フ長サ八百六十六英里、東西百英里ヨリ、三百八十英里ニ至
リ、參差トシテ、一ナラス、西ハ暹羅ト界ヲ分ツ、幅員二十二萬方英里、殆ト日本ニ倍スヘシ人口ハ詳ナラサレ、カシ五六百萬口ナルベシ、トシ四大部ニ分ル、一ヲ東京ト云、トシ二
ヲ東捕塞ト云、カシ三ヲ交趾ト云、トシ四ヲ眞臘ト云、トシ○東京ハ北部ニアリ、此部ノ東方
ハ、海ニ接シテ平地アリ、稻稈、棉花、果物、生姜、香料ヲ生シ、良材多シ、濕地ニハ野
棕多ク、礦利モ亦備ハル、金、銀、銅、鐵、ミナ出ツ、他部ノナキ所ナリ、野獸多ク、巨象
ヲ生ス、以テ兵ニ服セシム、凡象ヲ牽ヒテ戰フハ、此邊諸地ノ風俗ナリ、其人種

ハ、勤儉ニテ生業ニ勵ミ、海岸ノ民ハ、専ラ漁利ヲツトム、其首府ヲ順化ト云、○
 交趾ハ東京ノ南ニアリ、歐洲ニテ「コーチンチャイナア」ト云是ナリ、此國ノ内部
 ニハ沙漠ヲ包ム、一般ハ富饒ナル地ナリ、海ニソフテ岔灣多ク、ミナ山峯秀出
 シ、清流ヲ送り、處處ニ風景佳美ナル地多シ、其民種ハ色黒カラス、婦人ノ丰姿
 甚タ姣美ナリ、眼睛淨ク、鬢髮黒ク且直シ、家屋ヲ造ルハ茅舍ニテ矮宇多シ、其
 首府ヲ祿奈ト云、北緯十六度三分、東經百七度十二分ニ位シ、人口五萬アリ、フ
 スワシト川ノ上流十英里ノ左岸ニアリ、中ニ城砦ヲ築キ堅固ナリ、多ク大砲
 ヲ備フ、周圍五英里ノ城内ニ兵屯、武庫、及ヒ市街ヲツ、メリ、近十年來ハ、佛人
 ニ服シ、其保護ヲ仰ク、全地ノ民百二十〇萬五千人、佛ノ屬地ニ比ス、○東捕塞^{カンボヂヤ}
 ハ、交趾ノ東ニアル、富沃ノ地ナリ、多ク稻米ヲ産ス、檳榔「カータ」モンズ其他ノ
 染料ヲ出ス、香料ノ名産ナリ、又桑ヲ植エ蠶絲ヲ製スルヲ、生業ノ第一要トス、
 文化ハ他ノ部ニ比スレハ、一層上ニ居ル、耕稼、樹藝ヲツトムレモ、技工ハ甚タ
 拙ナリ、地ニ虎、豹、犀、象、馬、牛、猿、猴多シ、其都ヲ東捕塞ト云、「メンス河」ニヨリ、古ハ
 名都ナリシニ、今ハ衰微セリ、猶王城、及ヒ大造營ノ屋館多シ、近年此部ノ地ハ

大半折シテ暹羅ニ内附シ、幅員縮リ、一千八百六十二年ヨリ、佛國ノ保護地トナレリ、其民口約一百餘萬ナリト云、○眞臘^{ツァンバ}ハ南部ニアリ、沙壤多クシテ肥沃ナラス、草木少ク、岩石多シ、南方ノ海岸ハ、數大河ノ吐口ニテ、廣大ナル澤藪アリ、運河ヲ通シテ、中ニハ良港ヲ具セリ、柴棍ヲ以テ都城トス、曾テ佛ノ傳教使ヲ殺セルニ因テ、佛國ト釁ヲ構ヘ、其軍威ニ抗スル能ハス、屈シテ之ニ服屬セリ、佛國ヨリ兵ヲ置テ之ヲ守リ、東方ノ府庫トナス、其輸出ノ重ナル品ハ、紙、絹、絲、茶、陶器ナリ、其他牛、羊、果物多シ、稻ヲ生ス、支那、暹羅ト交易盛ナリ、此地ノ西北、及ヒ東北ニ、險嶺アリ、其奥ニ「マイル」ト云人種スミタリ、此人種ハ獷獠ニシテ、樹中ニ伏シ、野獸ヲ啖ヒ、木根ヲ嚼ミテ、生活ヲナス、筋骨甚タ健ナリ、近傍ノ民捕ヘテ、之ヲ奴役スルト云、○此國ノ起源ヲ案スルニ、尙書堯典、羲叔ニ命シテ、南ニ度セシメシハ、南交ノ地ニテ、即チ交趾ナリトイヘヒ、深ク徴スルニ足ラス、然レモ交趾ノ名ハ、此故事ニヨリテ與ヘラレタルナリ、周末マテハ、記述詳カナラス、歐人ノ說ニハ、紀元二百十四年前ニ、支那ヨリ植民セリト云、其後漢ノ代ニ至リ、始メテ交趾郡ヲオケルヲアリ、夫ヨリ以後モ、或ハ獨立シ、或ハ

附屬シ變化一ナラス、之ヲ要スルニ、支那ノ屬郡トナリタルモ、其名ヲ存スル
 ノミ、猶朝鮮、西藏ノ今ニ屬國ト稱スルカ如シ、文化風俗ハ、ミナ支那ヨリ化セ
 ラレタリ、明末即チ千五百五十年ノ頃ヨリ、聯合國治ヲナシ、一千七百七十四
 年ニ至リ、國亂アリ、王、及ヒ太子ヲ殺シテ、政府ナキヲ、七今年ナリシニ、佛朗西
 ノ援兵ニ因テ、前王ノ次子、再ヒ之ニ王トナリ、全國ヲ管轄スルヲ得タリ、爾後
 政治ノ狀ハ、權貴ヨリ王權ヲ奪ヒテ、其弊害ハ反テ擅制ヨリ甚シ、兵ヲ黠スル、
 十八歳ヨリ六十歳マテ、ミナ軍ニ役ス、全國ノ常備六萬アリ、又象一千頭ヲ以
 テ、騎兵ニ代用ス、故ニ陸軍ハ兵員ニ比スレハ、一倍ノ力ヲ具ス、海岸ノ防禦ハ、
 兵備常ニ存シ、又船ニ乗シテ防禦ヲナス、國人善ク銃ヲ製シ、船ヲ造ル、其船形
 ハ、之ヲ「チヨンク」ト云、四五十噸ヲ積ム、頗ル堅固ナリ、國民棉花ヲ紡シ、漆器ヲ
 塗ルニ習フ、内地ノ商法ハ、「フレ河」「メーコン河」ヲ漕シテ、海岸ニツヒ運搬ヲナ
 ス、祿奈、及ヒ東京^{トシキン}トノ間、及ヒ外國ノ商業ハ、重ニ支那人ノ手ニアリ、國中概シ
 テ、西洋ノ風ヲ喜ハス、支那ノ學藝風化ヲ悅フ、詩賦文章ヲ尙ヘ^ヒ甚タ拙ナリ、
 衣服制度モ、亦支那ニ倣ヒ、西洋輸入品ニハ、禁制品ノ多キヲ以テ、貿易盛ナラ

ス其盛ナルハ支那ト暹羅トノ交易ナリ國民佛教ヲ尙ヘ信向ノ心甚タ薄
ク只外面ニ歸依スルト謂ノミ故ニ全國ニ寺觀僧侶ハ甚タ希ナリ、

二十四日陰風穩ナリ船交趾ノ灣ニツテ駛ス正午ニ北緯十二度六分東經百
七度二分進行二百五十海里溫八十一度^{「セ」氏二十}六度半氣針二十八度九分、

交趾ノ海灣ハ山嶺縱橫ニ海ヘ迫リ灣ニ曲折多ク小港大港頻リニ開キ島嶼
紛置シ山脈遠近相亂レ山ニ赤岩多ク間ニ沙岡ヲ挾ミ草木蔚ナラス猶日本
ノ藝州ノ海ヲスキルカ如シ時ニ土民ノ船ヲ洋面ニ駛スルヲミル帆ヲ揚ケ
テ桅前ニアリ帆柁ヲ斜ニシ其尾ヲ艫ニ接シテ結フ艫ニ兩帆アリ支那ノ船
ト異ナリ、

二十五日晴風アリ少シク波タツ正午ハ北緯十六度二十四分東經百〇七度五
十六分進行二百六十二海里溫八十二度^{「セ」氏二}十七度氣針二十八度八分晚來雨來リ
風起ル、

終日淼淼タル洋面ニテミル所ナシ、

二十六日陰正午ニ北緯十九度四十三分東經百十度二十三分進行二百四十三

海里、温八十二度、^セ氏二十七度、氣針二十八度九分、

海上ミル所ナシ、此日ニ海南島^{ハイナン}ノ東ヲ走ル、霧ニテミルベカラス、二十七日ノ朝ハ、香港^{ホンコン}ニ達セリ、新嘉坡ヨリ香港マテ、一千五百海里ニ及ハス、滿刺加、安南ノ地方ニソヒ、洋中ヲ航スルヲハ希ナレト、此邊ノ海上ハ、赤緯ニ近ク、炎熱甚クシキヲ以テ、不時ニ颶風ヲ生シ、巨艦モ碎破スルニ至ルヲアリテ、航海甚タ危険ナリト云、

柴棍河口ヨリ、香港マテ八百十五海里、新嘉坡ヨリ、一千四百五十二海里、馬耳塞兒ヨリ、七千九百六十八海里、○香港ヨリ長崎ニ航スレハ、一千海里、日本陸里ニテ四百七十二里ノ距離ナリ、

第一百卷

香港^{カンコン}及ヒ上海^{シャンハイ}ノ記

廿七日、晴、朝九時香港ニ着船ス、十時ニ上陸シ「ホテルデホンコン」ニ宿ヲナス、正午ニ溫八十八度、

天明ニ、香港ノ海上ナル連島ノ間ヲ駛ス、諸島ミナ山ニテ、大小錯落トシテ、海中ニ點綴シ、衆山ミナ青草ヲ生シ、樹木ナシ、凡ソ廣東地方ノ峯嶺ハ、其形狀ミナ峻秀ニシテ、皴皴ノ間ニ、岩石ノ錯落タル、宛モ黝蒼ノ狀ヲナス、始メテ支那書法ノ由來アルヲ知ル、是ヨリ廣西福建ノ地方ミナ然リト云、嶺南ノ地ハ、山水ノ秀美ナルヲ、韓柳、東坡ノ諸人、ミナ喟々トシテ賞嘆シ、九死ニ南荒、吾不恨此、遊奇絶冠ニ平生ト云ニ至ル、亦誇言ナラサルヲ覺フナリ、

「ホンコン」トハ、葡萄牙ノ語ニテ、海賊ノ謂ナリ、支那人遂ニ填スルニ、香港ノ字ヲ以テス、腐木靈菌ヲ蒸シ出セリト謂フヘシ、此地ハ、廣東省、惠州、新安縣ノ屬島ニテ、澳門ノ灣海ヨリ、東方大嶼島ノ東ニ並ヒタル一島ニテ、長サ十一英里、幅ハ五英里、乃至六英里ニスキス、東西ニ流レ、全島ミナ山嶺ニテ成リ、平地ナ

シ、埠頭ハ其北濱ニ開ク、北緯二十二度十六分、東經百十四度九分ニ位シ、海灣ヨリ山脚ニ連リテ、市街ヲ級級ニ開ク、向岸ハ一峽ヲ隔テ、廣東新安縣ノ山嶺環繞シ、戔角島嶼ヲ點綴シテ、風景絶佳ナリ、是ヨリ西方大嶼島ノ峽ヲスキ、海ヲ西北ヘ航スル海上四十英里ニテ澳門ニ至ル、澳門ハ一ニ阿馮港^{ア、ガハ}トイフ、早ク葡萄牙國ノ占據スル所トナリ、天正慶長ノ間ヨリ、東洋貿易ノ站所トセリ、又灣海ヲ北方ヘ航シ、河ヲ遡ル百二十英里ニテ廣東府ニ達ス、

香港ハ、一千八百四十一年、支那ヨリ英ニアタヘ、英人因テ埠頭ヲ開ク、人口年ヲ逐テ盛ニ、今ハ十二萬六千〇五十一人ニ及フ、中ニモ支那人多シ、此島ノ峯峯ミナ峻嶺ナリ、地ニ耕種ノ利ナシ、樹木モ亦乏シ、然レモ水源ニ乏シカラス、引テ以テ用水トス、河流ナシ、上水樋ヨリ清水ヲ送り、鐵管ヲ以テ市街ニ引ク、用水充分ナリ、山谷ニ「グラ子ツト石」^{御蔭石ノ類}ヲ出ス、英人はヲ採リテ、石屋ヲ築ク、皎白ニシテ潔美ナリ、曩ニ木製屋ノ火災ヲ生シ易キヲ以テ、石屋ヲ建テ支那人ニ借シ、僑居セシム、故ニ此府ハ支那人多ケレモ、市街ハ清潔ナリ、家作ハ三層屋ニテ、前ニ虛廊ヲ設ケテ往來トナス、歐風ニ東洋ヲ兼子タル建築ナリ、

亞丁以來此建築多シ東京京橋以市店ニ玻璃戸ヲ設ケス是ヲ以テ玲瓏ノ觀
南ノ建築モ亦此風ヲ摸セルナリ市店ニ玻璃戸ヲ設ケス是ヲ以テ玲瓏ノ觀
ナシ、每店ニ支那人百貨ヲ攤シテ賣ル、多ク漆器、陶器類ニテ、金銀ノ光華爛然
タルヲミス、支那人ハ喜ンテ朱ヲ塗ル、棚箱、簾、號、ミナ朱色烜然ナリ、曾テ評ス、
歐洲ノ市ニ入レハ、金珠ノ光リ目ニ輝ク、支那ノ市ニ入レハ、朱漆ノ色眼ニ照
ル、記號、招牌、柱聯、漢文字ニテ筆法適美ナリ、我邦ニ傳フル、清人ノ書態ハ、ミナ
坊間ノ俗書ニテ、所謂ル看板筆工ノ字ナリ、書家ノ筆跡ハ、反テ奇崛瑰偉ニシ
テ、姿媚ナラス、○歐人ハ、多ク山ニヨリ居住、館ヲ建テ、屋作モ高朗ナリ、園ヲ匝
シ、樹ヲウエ、清潔幽麗ナリ、此地ハ夏至規ノ南ニ出テ、四時暑アリテ寒ナシ、地
位南方ニ向ヒ、新安縣ノ高峯、海峽ヲ隔テ屹立シタレハ、南北ノ風、盪滌ヲ欠キ
テ、熱殊ニ甚タシ、花草芳卉ハ、四時ニ色衰ヘス、庭花モ爲メニ美ナリ、○府中ニ
修メタル公苑ハ、山ニヨリ、谷ニ臨ミ、白石ヲ以テ磴トシ、層層ニ開ク、奇木異艸
ヲウエ、殊ニ玲瓏トシテ、玉ヲ布クカ如シ、苑前ニ「ガハナル館」アリ、亦「グラ子ッ
ト」石造ノ美館ナリ、近傍ニ兵營アリ、英ヨリ兵卒ヲ差派シテ、常備約八百人ア
リト云、○英華書院ハ、府ノ中央ナル山麓ノ市街中ニアリ、學堂ノ設ケ、頗ル廣

ケレハ、近來ハ衰颯ヲ覺フ、別ニ一域ヲシメ、專ラ傳教ヲ主トシ、新舊約書數種ヲ頒布スル堂アリ、近年ハ新翻譯ノ書モナシ、

二十八日晴、溫九十一度、

夕ニ「オリエンタルバンク」ヨリ招宴アリ、

支那古來ヨリ、外國海商トノ交易ハ、廣東ニアリシヲ以テ、今ニ能ク外國ニ交通往返シ、貿易ヲナスモノハ、廣東福建ノ人ニカキルナリ、香港ハ、廣東ヨリ輸出スル、支那產物ヲ以テ、相交易スルヲ目的トス、廣東ノ人口ハ、一百萬ニ越エ、支那ニテハ、北京ニアスル大都會タリ、巨商大賈モ多カリシニ、先年支那政府、屢外國ト覺隙ヲ起シ、商賈ヨリ軍費ヲ掙克シ、貿易ヲ妨ケ、夫ヨリ大商多ク分散シ、今ハ豪家少ク、是カ爲メニ廣東ノ貿易ハ、自ラ衰頽ヲ招キ、外國人ヨリ利權ヲ專ニサレルニ至レリ、生絲輸出ノ如キモ、上海ニ比スレハ、四分ノ一ニモ及ハス、東洋ノ政府ハ、貿易ニ注意薄キノミナラス、却テ之ヲ妨害シ、自ラ國勢ヲ衰減セシムル、往往ニ此類ナリ、

支那ノ古代、羅馬ニ交通セルヲ、己ニ羅馬ノ記ニ載ス、廣東ハ、其頃ヨリ南洋

西洋へ交通ノ口トセシ_コ猶我筑紫ノ韓唐へ交通セルニ同シ、古へ南海ノ

明珠或ハ日南珠ノ稱アリ、是ハ廣東海ニ眞珠ヲ出セルニアラス、西洋南洋

ヨリ琉璃、水晶、珊瑚、玫瑰ノ類ヲ持來リ、此地ニテ交易セルヲ、中土ニ分播セ

ルナリ、其後中世ニ至リ、廣東ノ交易モ漸ニ衰ヘタリ、杜詩ニ所謂ル越裳翡

翠無消息、南海明珠久寂寥トイヘルカ如シ、如此キ_コ殆ト千年ノ久キヲ經

テ、葡萄牙人再ヒ支那印度ノ船路ヲ通シ、澳門即阿馮港阿ヲ以テ埠頭トナシテヨ

リ、東西洋ノ貿易ハ再ヒ興レリ、我邦ノ近古ニ、阿馮港ヲ葡萄牙、呂宋ヲ西班

牙ト看做シ、南蠻ノ稱ヲアタヘタリ、因テ西洋輸入品ヲ南蠻ノ物產ト思ヒ

南蠻鐵ナドト名ケシハ、實ハ西洋鐵ヲ南島屬地ヨリ輸入シタルナリ、廣東

人ヨク海外ニ航ス、東ハ「カリホーニヤ」ヲ金山ト稱シ、南ハ豪斯多刺亞ヲ新

金山ト稱シ、其他新嘉坡マニラ、安南、ハタヒヤ哇爪等ニ、支那人甚タ多シ、内地

ニ於テモ、能西洋ノ物件ヲ摸作ス、廣東府ニ於テ、種種ノ製作場甚タ多シト

謂フ、古昔ハ西洋ノ物品ヲ目シ、日南珠、南蠻鐵ナトハ、謂シモ、今ハ又廣東ノ

物品ヲ執ヘ、西洋舶來品ト謂モノアリ、其支那製ナルヲ知ラス、凡貿易物產

ニ注意薄ケレハ、百事此ニ類スルヲ多シ、陶器ヲ瀬戸物ト呼ヒ、肥前陶ヲ伊萬里燒トイヒ、越後芋、八丈島、筑前蠟ノ類、内地ニテモ、確ト出處ヲ知ルモノナシ、況ヤ國民親ラ足ヲ舉テ、國境ヲ離レ、外國ト交易スルヲ知ラス、外國ノ地理物產ヲ詳ニセサルモノハ、殆ト群盲ノ古器ヲ評スルニ似タリ、亦何ソ貿易ノ利ヲ興スニ足ラン、今ヤ操舟航海ノ業、年ヲ逐テ開ケ、貿易ノ道ハ、世界必要ノ務メタリ、地理ヲ講シ、民俗ヲ察スル、最モ物產ニ注意シ、其原由ヲ繹予、進歩日新ヲ計ラサルヘカラサルナリ、

二十九日晴、夕四時ニ錨ヲ拔テ發船ス、溫九十一度、夜下リテ八十一度ニ至ル、

朝知事ガハナルヲ訪フ、知事他出中ニテアラス、午後三時ニ船ニ上ル、知事ヨリ舟

二隻ヲ出シ上ラシメ、府ノ兵隊ハ岸ニ整列シ、禮式ヲナシ、樂ヲ奏シテ、諸官吏

豪商上船ヲ送り來リ、欸語シ、發期ニ臨ミテ訣別シサル、甚タ慇懃ヲキハメタ

リ、是ヨリ船ヲ進メテ、香港ノ海峽ヲ乘リ出テ、惠州地方ノ海濱ヲ駛ス、一帶山脈ノ綿亘ニテ、峰峰ミナ海ニ向ヒ奇容アリ、

三十日晴、正午ニ北緯二十二度三十五分、東經百十四度五十分、進行百八十海里、

此日ハ、廣東省ノ東境、湖州ノ地ヲ盡シ、福建省ノ地方ヲ走ル、廣東ノ海岸ニハ、高山多シ、福建ノ境ニ及ヘハ、亂嶺糾紛ニテ、海灣錯リ開ク、諸山峯ハ、岬アリ、樹ナク、皺法黠苔、文人畫ノ景況ナリ、支那ニ樹木乏シク、之ヲ暹羅ヨリ輸入スルトナリ、此日ノ航路ニ、厦門^{アモイ}港口ヲ駛行セリ、厦門ハ、福建省南方ノ要港ニテ、臺灣府及ヒ馬尼刺^{呂宋}ヘ往來スルニ最モ要港ナリ、

三十一日、薄陰、昨夜ヨリ臺灣島ト、福建地方トノ間ヲ駛行ス、風波爲メニ平穩ヲ覺ヘタリ、正午ニ北緯二十五度三十五分、東經百十七度四十三分、進行二百十七海里、溫八十一度、氣針二十九度、

臺灣島ハ、福建省ノ屬島ニテ、北緯二十二度ヨリ、二十五度十二分ニ位ス、福州港ノ烏龍江口ヨリ、直西海程八十海里ヲ隔ツ、猶印度ニ錫蘭島アルカ如シ、此島ノ中脊ニ、山脈隆起シ、南ヨリ北ニ横絶シ、地勢ハ東可ニ兩截ス、西半截ハ稍寬平ナリ、支那人其民ヲ羈縻シ、臺灣府及ヒ數縣ヲオキ、鎮臺兵ヲ派シ、福建總督ニ管隸ス、北方ノ岬角ヨリ、西方ノ海濱^{ミナ}ニ其政化ニ服ス、所謂ル臺灣是ナリ、東方半截ハ、山嶺紛亘シ、中ニ十八種ノ生蕃アリ、各區域ニ生聚シ、酋長ヲ立

テ、弱ノ肉ハ強ノ食、常ニ協一スルヲナク、其民ハ巫來由ノ一種ニテ、慄慄爲慄、
 最モ猛戾ナル部落ニ至テハ、人ヲ殺シ肉ヲ食フニ至ル、支那人之ヲ攻撃スレ
 兵懦弱ニシテ、生蕃ノ健闘ニ當ル能ハス、弄テ化外ニオク、生蕃人ハ支那人
 ヲ蔑視スルヲ嬰兒ノ如シ、其地南緯ニ近ク、氣候熱ニシテ、熱帶ノ草木ヲ生ス、
 重ナル物産ハ石炭、蔗糖、茶葉、及ヒ甘藷等ナリ、又寶石ヲミルト云、歐洲人此島
 ヲ目シ「フオルモサ」ト呼フ、生蕃ノ地方ニハ、良港ニ乏シ、其南方ノ岬ヨリ、東へ海
 路百餘海里ニテ、琉球諸島ニ毘連ス、辛未歲、八重山ノ民、此地ニ漂着シ、土蕃牡
 丹ノ族ヨリ屠殺サレ、去年備中ノ民モ、亦漂著シ、土蕃「マホケ」人ヨリ劫掠セラ
 レタルヲ以テ、當時支那政府へ懸合ヒ、直ニ其罪ヲ土蕃ニ向ヒ、罪ヲ問ハント
 廟議中ナリ、

臺灣生蕃ノ南角ヨリ、百餘海里ノ南ハ呂宋ノ島へ毘連セリ、呂宋ハ、三百年前、西
 班牙國ヨリ占據セラレ、歐洲ニテ呼テ、非立群島トイフ、北緯十九度三十八分
 ヲリ、五度三十二分マテ、東經百十七度ヨリ、百二十七度マテノ海面ニ點綴ス、
 其最北ノ大島ヲ呂宋トス、國王アリ、其南部半截ハ、西班牙ノ管轄ニ屬シ、馬尼

刺港ヲ開キ貿易場トナセリ○馬尼刺^{マニラ}ハ呂宋西南ノ要港ニテ北緯十四度三十六分東經百二十一度ニ位ス^ト交趾地方^ト相對ス西班牙國ヨリ法ヲ設ケテ中外ノ行旅ヲ招徠シ支那ノ福建廣東人往テ業ヲナスモノ甚タ多キヲ新嘉坡柴棍ト一般ナリ土俗未タ開ケス生理ナホ麁朴ナリ歐洲人此港ニ貿易スルニ眼目ノ物產ハ烟草^{支那人名ケテ呂宋烟トイフ上}蔗糖^{輸出高百二十}藍靛^{コーセ}ニール^{紅色ノ染料}及ヒ綱^綱等ナリ又燕窩菜ヲ出ス

燕窩采ハ燕窩ノ内ニ生スル白筋ノ海羅狀ヲナシタルモノト云支那人之ヲ貴重シ上等ノ食饌ニ用フ一盂ニテ數弗ノ價ニ及フ呂宋ノ產物ナリ凡海燕ハ春分ヲ以テ北シ支那日本ニ至リ窩ヲ搆ヘ雛ヲ育シ秋分ニ南飛スレハ呂宋及ヒ近方ノ諸島ニ至リ又巢ヲ搆ヘ雛ヲ育スルトナリ呂宋ノ支那日本ニ於ル最比近ノ地ニテ其海路ヲ按スレハ呂宋ト臺灣トハ南北ヘ海ヲ隔ツル五十里^{日本里下同シ}ニスキス臺灣ハ福建地方及ヒ琉球諸島ト東北相距ル各五六十里ニスキス琉球諸島ヘハ石^{イシ}瓦^{トヒ}ヲ海ニ布ケルカ如ク薩摩ノ屋久島ニ接ス圓リ航海往來スルニ難カラヌ海燕ノ微ナルモ常ニ驛站

ヲ傳フ如ク、春ヲ呂宋ニ迎ヘ、夏ヲ日本ニ避ク、是ニテ天ヨリ兩地ノ民ニ其
 交際貿易ノ端ヲカヘケテ、默示セル甚タ著シキヲ悟ルヘシ、剡木剡舟ノ世
 ハ己ニ遜タリ、船舶往來ノ利モ久シ、今ヤ煤ヲ燒キ鐵ヲ浮ヘルノ時世トナ
 リ、支那、臺灣、呂宋ノ往來ハ眞ニ比鄰ニ齊シ、然ルニ臺灣ノ石炭未タ上海ニ
 輸スルヲ聞カス、馬尼刺ノ洋藍、長崎ニ來ルヲナシ、國人ミナ貿易ノ利ヲ説
 ケル、此ニ考ヲ知ラス、直ニ海外萬里ノ歐米ヲ望ムハ所謂ル道ハ近キニア
 リ、反テ之ヲ遠キニ求ムルト謂フヘシ、

九月一日晴、正午北緯二十八度三十六分、東經百十九度四十一分、進行二百十九
 海里、

海上ミル所ナシ、

二日晴、^{イアン・スー・キャン}楊子江口ニ達ス、河蒸氣船ニテ、^{ワフ}黃浦江ヲ遡リ、十一時ニ上海ニ著シ、ア
 ステルハウスニ宿ス、

香港ヨリ楊子江口マテ七百三十二海里、馬耳塞兒ヨリ總程八千七百海里、
 楊子江ノ海ニ入ル處ハ、流勢ノ浩汗ナル海ヲ望ムカ如シ、水ハ黃泥ヲ攪亂シ、

海面ノ潮、ミナ黃色ニ渾リ、河底ハ淤泥ヲツミ、洲嘴ヲナシテ十餘英里ノ外ニ連ルトナリ、此日碇船ノ所ハ其南流江ナリ、ヨオシヤン寶山縣ノ前ニテ、黃浦江ヲ合セ、海ニ注ク、大江ノ廣キ、茫淼トシテ海ニ異ナラス、遙ニ一島アリ、浮フカ如クニミユルハ、シンシヤンサ新典沙ナリ、ニテ未タ人家耕樹ヲナスモノニアラス此沙ハ淤泥ノ堆シテ水上ニ露出セルモノ、江水ハ、此沙嘴ヲ包ミ、左右ニ流ル、其幅ハ二十英里ニモ及フベシ、北流江ハ此ヨリ百餘英里ノ上流ヨリ、西流シ、中間ニツシミ崇明縣ノ一島ヲ露ストナリ、○黃浦江ハ、一ニ申江ト名ク、ダイヒユ太湖震澤ノ水、東南ノ石湖ヨリ東流シ、吳江縣ヲスキ、三十餘英里ニテ、澱山湖ニ接連シ更ニ東流シ、松江府ヨリ北流シ、此ニ打出スト云、河幅三百餘間、河水頗ル濁ル、其西岸ニ、寶山縣アリ、此ヨリ黃浦江ヲ遡ル二十餘英里ニテ、シヤンハイ上海縣ニ達ス、

シヤンハ上海縣ハ、キヤンズー江蘇省ノ松江府ニ隸ス、スーチユキヤン蘇州江ノ東流シテ、黃浦江ニ合スル北嘴ニアリ、北緯三十一度十二分、東經百二十〇度五十分ニ位ス、長崎ト相距ル、經度九度三十分ニスキス、一千八百十一年、外國貿易ノタメニ開キタル港ノ内ニ、第一ナル繁昌ノ地ナリ、重ナル輸出ハ、茶ト生絲トニテ、次ハ蔗糖、棉花ナリ、輸

入ハ鴉片、醃魚、海草、石炭、及ヒ棉布等ナリ、瓜哇ノ稻米、暹羅ノ材木モ、頗ル多ク
 イルトイフ、蘇州江ハ、幅五六十間ノ運河ニテ、二ノ大橋ヲ架シ、此兩岸ヨリ黃
 浦江ノ西岸ニシヒ、外國人ノ居留地アリ、公使領事館、商店及ヒ、郵船波止モ、ミ
 ナ此ニアリ、此日ハ第二橋ノ南岸「アッソル」ハウスニ宿ヲナセリ、○江蘇地方ハ、
 楊子江ノ下流ニテ、大湖ヲ包ミ、地ハ塗泥ノ平地ニテ、河渠縱横ニ通シ、民ハ河
 舟ヲ以テ道路ニカユ、樹木ヲミル少シ、黃浦江ノ岸ニハ、漫坡ヲ起シテ隄防セ
 ルモアリ、安南ノ柴棍河ト、景況相似タリ、處處ニ江村アリ、河岸ニ向ヒテ家屋
 ヲ並ヘ、半漁半農ノ居ナルヲ認ム、田地ニハ、多ク甘蔗ノ叢生スルヲミル、上海
 ニ達スレハ、河岸ハ外國人ノ居留地ニテ、道路モ修マリ、屋宇宏壯ナリ、河ニハ
 商船森トシテ桅檣ヲ簇ラシ、陸ニハ塹壁、皎トシテ綠樹ヲ植エ、各國ノ旗章、翻
 翻風ニ動クハ、東洋ノ大貿易場タルニ負カス、陸地ノ内部ニ、支那人ノ市街ア
 リ、中央ニ滬城ヲ築キ、城内ハ殊ニ繁昌ノ域トス、街路狹隘ナリ、

三日 晴

朝、滬城ニ至ル、此城ハ吳ノ孫權ノ時ニ築ケルト云、外壁ハ磚瓦ヲ疊ミ、匝スニ

小壕ヲ以テス、城中ニ市店アリ、街路ノ狹キヲ、僅ニ三人並ヒ行クニスヤサル
所多シ、市店櫛比シ、百貨ヲ陳シ、居人ト行人ト、相雜還スルヲ、蜂聚蟻屯ニ比ス、
下水利セス、洩溺漂ヒ流ル、居民ハ、其内ニ居止シ恬然タリ、路ニハ石ヲ甃ス、稍
廣キ所ハ、以太利ノ那^{ナアブル}不兒ニ似タリ、城中ニ廣館アリ、石ヲ甃シ池ヲ廻シ、庭園
ヲ設ケ、土木ノ工、頗ルカヲ用ヒタルヲ覺フ、然レモ洒掃至ラス、塵埃檐ヲ埋メ、
渾水腐敗シテ臭ヲ生ス、支那人ノ不清潔ハ、毎ニ此ニ類ス、○城隍廟ハ、城中第
一ノ香火場ニテ、往來常ニ群カリ、最モ繁劇ノ區トス、城内ニ春申君ノ廟アリ、
廟宇頗ル美ニ、且潔シ、中ニ岩石ヲ集メ、假山谿洞ノ狀ヲ造リ、庭園ヲ修メタル
處アリ、園ニ松樹一二根ヲウエタルハ、日本ヨリ輸入セルモノニテ、甚タ珍重
スルトナリ、上海ハ春申君ヨリ開ケタルユヘニ、此ニ畫像ヲ掲ケテ、永ク祭祠
スル所ナリ、○城隍廟ノ繁花ハ、之ヲ東京ノ淺草ニ譬フヘシ、市肆雜鬧ナリ、盆
親ノ市多シ、支那ノ風俗モ花卉ヲ愛ス、婦人ノ粧飾ニ、生花ヲ用フルヲ豪奢ト
ス、以テ鬢鬢ヲ飾ル、其高價ナルハ、五圓乃至十圓ニ上ル、日日ニ換エテ誇耀ス
上等ノ娼ハ、如此キ飾リヲナスヲ以テ、脂粉ノ價モ從テ貴シ、娼ハ唱ナリ、妓ハ

按ナリ、歌唱、舞技ヲ以テ、客ヲ宴席ニ侍シ、書樓ニ歸リ、枕席ヲ同シスルヲ樂トス。此ナリ、娼館甚々多シ、又骨董店、書畫店多シ、器物繁惡ニシテ、書畫拙劣、ミナ厭ワレシ、牙商ノ槍ナルヲハ、日本ヨリ甚シカラシ、凡ソ有名ノ書畫古器ハ、反テ日本ニ多シトイフ、書肆モ多シ、淺薄ナル經史ノ注釋ヲ主トシ、重ニ小説滑稽ノ書多シ、其文ヲ四角ニシタル人情本ナリ、詩文集モ之ニ類シテ、纖靡輕薄ナリ、亦之ヲ繁昌記中ノ詩文ト看做スヘシ、其紅白箋ヲ標紙トナシタルハ、大抵劇場ノ鸚鵡石ニ屬ス、日本ノ人ハ、曾テ海外ノ地ヲ窺ハス、上海マテノ一帯海水ヲハ、海外萬里ノ想像ヲナシ、支那人ヲミレハ、皆文墨品藻ノ士ト想像シ、現ニ彼地ヨリ獲タル骨董、書畫、詩文ハ、貴重崇尚スル習慣ハ、今ニ消セス、京攝ノ牙商ハ、續續トシテ此地ニ來リ、其弊惡ノ品ヲ購ヒ歸リテ、好古文墨ノ士ヲ欺キ、利ヲ収ムルモノ、近年甚々多シ、殊ニ痛恨スヘシ、抑清國ノ學ハ、振ハサル久シ、高名ノ士ト雖モ、其才藝未タ必モ盡ク貴フニ足ラス、況ヤ坊間ノ俗詩書骨董ヲヤ、世ノ支那ヲ貴重シテ、一意ニ其物品評譽ヲ信スルモノ、此ニ反顧スル所アルヘシ、○此夜同知縣陳副勳ヨリ、招宴ヲ設ケ、支那ノ食饌ヲ設ケ、燕窩

菜ノ享アリ、其他煎海鼠、昆布、鳥卵、鳥肉、豚肉等、十七八品ヲ供ス、食器ハ、筋箸陶
ヒヲ用フ、西洋ニアラス、日本ニモアラス、亦別種ノ調味ナリ、○席ヲ竟ヘテ歸
路ニ、演劇ヲ一覽ス、樂器甚タ麗ナリ、其打扮モ亦巧ミナラス、衣裳ノ華麗、或ハ
日本ニ優ナルモアルヘシ、倡優ノ伎倆ト、舞臺、道具、仕掛等、ミナ世界ノ拙藝ニ
屬ス、音樂ハ、鉦ヲ鳴シ、板ヲ叩キ、耳ニ喧シ、窈窕ノ音ニ乏シ、美人雙珠ヲ返スノ
一曲ハ、蓋シ張籍明珠吟ノ詩意ヲ演セル舞曲カ、且女形ノ俳優一人細聲ニ詩ヲ吟
シテ舞フ、猶我ノ淨瑠璃幕ノ類カ、

四日 雨

申江ヲ下ル三英里餘ニテ、造船場ニ至ル、即補道官馮俊光之ヲ督ス、迎ヘテ其
館ニ延キ、欸語スル須臾、導キテ場場ヲ回ル、器械粗備ル、蒸氣輪大ナルハ百馬
力、小ナルハ七十馬力、日ニ石炭ヲ燒ク一五噸、職人ヲイル、一千人、初メハ英
人十二名ヲ僦ヒ、且外國ニ寄寓シタル國民、諸製造場ノ操工ニナラヘルモノ
ヲイレ、製作セシメシニ、逐年ニ益嫻熟シ、今ハ國人ノミニテ、一切之ヲ辨ス、其
給料ハ、一週日一元二十五錢ドルヨリ、六元ドルニ至ル、此場ヲ設ケテヨリ、今ニ五十年

ニテ、六艘ノ船ヲ打立テタリ、○又大砲ヲ鑄ル場アリ、小銃ヲ製スル場アリ、小銃一挺ニ付テ價七元^{ドル}ニテ成ル、一日ニ四十挺ヲ打出スベシ、政府ヨリ月ニ四萬二千五百元ノ費用ヲ給ス、○場ノ區域内ニ學校アリ、英、米、獨三國ノ教師ヲ雇ヒ、生徒ヲ教育ス、又翻譯局アリ、理、化、重、礦、地、質、航、海、防、海、及ヒ度學ノ書ヲ翻譯ス、已ニ開版セルモノ、十七八部アリ、○場内ニ設ケタル船廠ニアリ、長サ二百二十尺、水門ニ浮箱^{ウキハコ}ヲ設ケテ開塞ヲナス、場内ノ規則整ハリテ、職工ミナ勉強ヲナス、船ノ修覆ヨリ打立マテ、大略此一場ニテ辨スベシ、鐵、石、炭ハ多ク英ヨリ輸入ス、亦我邦ノ石炭モ用フ、支那ノ造船場ハ、此ヲ第二ノ場トス、福建ニアルモノ更ニ廣大ナリ、支那海往來ノ船ヲ修覆スルハ、此二場ヲ以テ表的トナス所ナリ、

夜米利堅ノ郵船「エルテンエン」ニ上船ス、

五日 雨霽

十時ヨリ、黃浦江ヲ下リ、十一時ニ楊子江口ニ至ル、楊子江ハ、支那第一ノ大河ニテ世界第二ノ大河ナリ、此水ハ蜀ノ岷山ヨリ濫觴スルト言傳ヘタレト實

ハ西域蔥嶺ヨリ來ル源流甚タ遠シ其江漢ヲ合セテ海ニ朝宗スルニ當リテ、
河勢ノ浩汗ナル大湖ノ如シ、淼トシテ天ヲ浸シ、崇明ノ島ハ浮ムカ如ク、新典
沙ハ殆ト沈マントスルカ如シ、曾テ荷蘭陀ニテ「スケルト」及ヒ「メイセ」ノ河口
ヲスキタルモ此ニ比スレハ猶數等ノ下ニアリ、凡支那ノ海濱ハ黃河楊子江
等黃水ヲ注キ、潮色到ル處ミナ黃ナリ、黃海ノ稱モ誣レサルヲ知ル、此日ハ終
日黃色ノ海ヲ航走シ、昏ニ際シ始メテ青色ノ海トナリヌ、

五日 晴

終日海上ヲ走リ、ミル處ナシ、夜半ニ五島ノ山ヲミル、

六日 晴

朝伊王島、神島ノ海嶼ヲ駛リ、八時ニ長崎ニ達ス、

上海ヨリ長崎マテ四百三十五海里、日本陸里ニテ二百〇五里ノ航程ナリ、
長崎ハ北緯三十二度四十三分、東經百三十〇度十二分ニ位シ、港口大小ノ島
嶼、ミナ秀麗ナル山ニテナリ、遠近ノ峯峯、ミナ峻拔ナリ、船走レハ、島嶼ハ流ル
、如ク、轉瞬ノ間ニ種々ノ變化ヲナス、眞ニ瓊浦ノ美稱ニ負カス、新嘉坡、香港

島嶼ノ景モ、廻ニ及フヲ能ハス、世界ニテ屈指ノ勝景地ナリ、

上陸シテ行在所ニ憩シ、市中ヲ回覽シ、夜船ニ上リ、一時ニ發ス、

七日 晴

黎明ニ唐津呼子^{ヨラコ}ノ浦ヲ駛リ、午後ニ下ノ關岔ヲスヤ、周防沖ニテ日暝ス、

八日 晴

平明五時ニ、船將ヨリ世界第一ノ風景ヲ過ルヲ以テ、船客ヲ呼起シミセシム、

即チ藝備ノ海峽ナリ、英、米ノ遊客一二名、崎陽ヲ發シテ以來、其絶景ヲ劇賞シ

テ之ヲ圖ニ寫シテ終日己マス

九日 晴

午後ニ神邊ニ著シ上陸シ宿ヲ定ム、

十日 晴

終日神邊ニアリ、

十一日 晴

午後ニ上船シテ發シ、由良ノ戸ニテ日暝ス

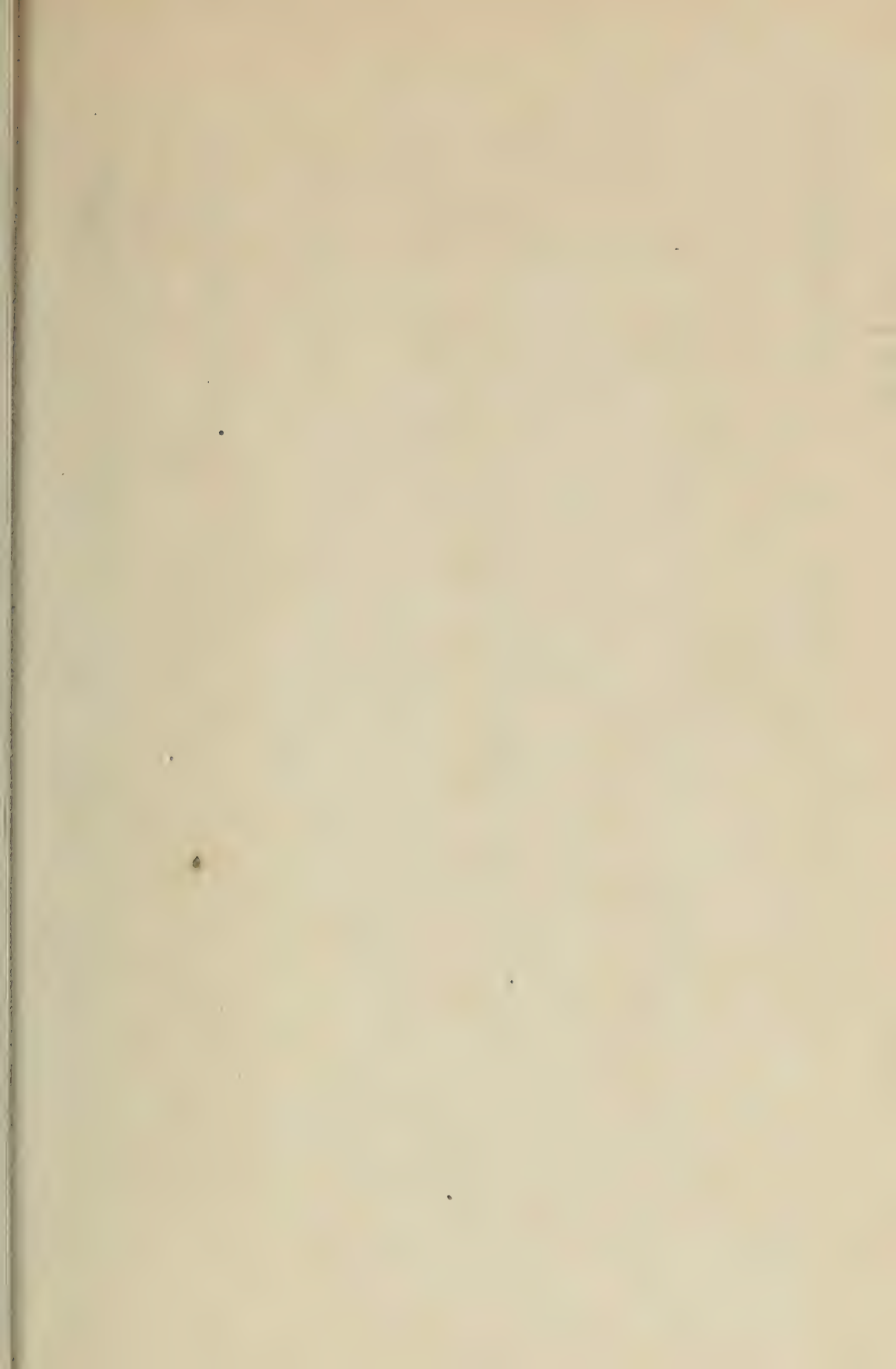
十二日 晴

十三日 晴

朝橫濱ニ着船ス

米歐回覽實記大尾

卷一百



太政官少書記官久米邦武編修

明治十一年十月刊行

御用刊行所

東京銀座丁目

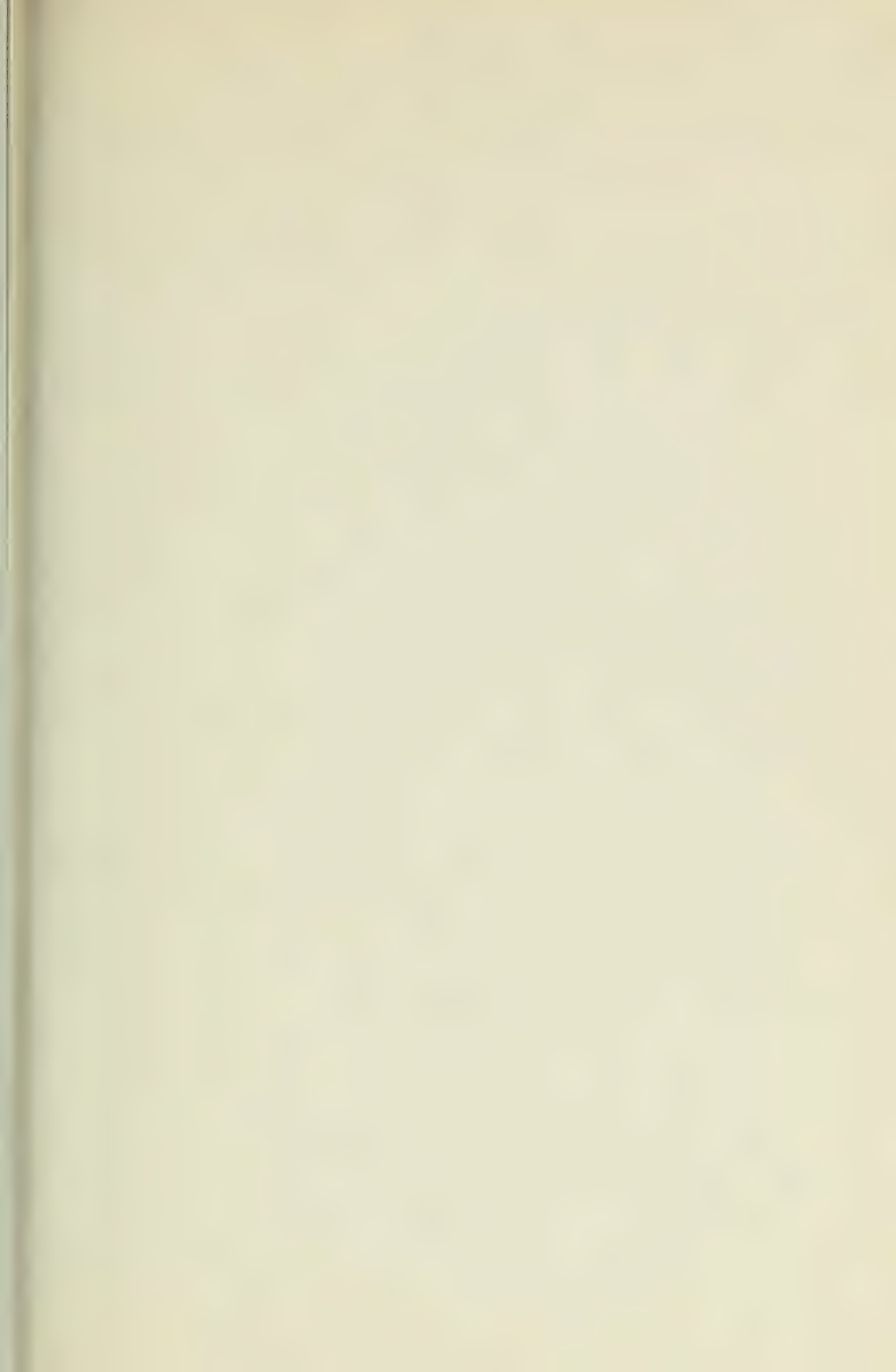
博聞社

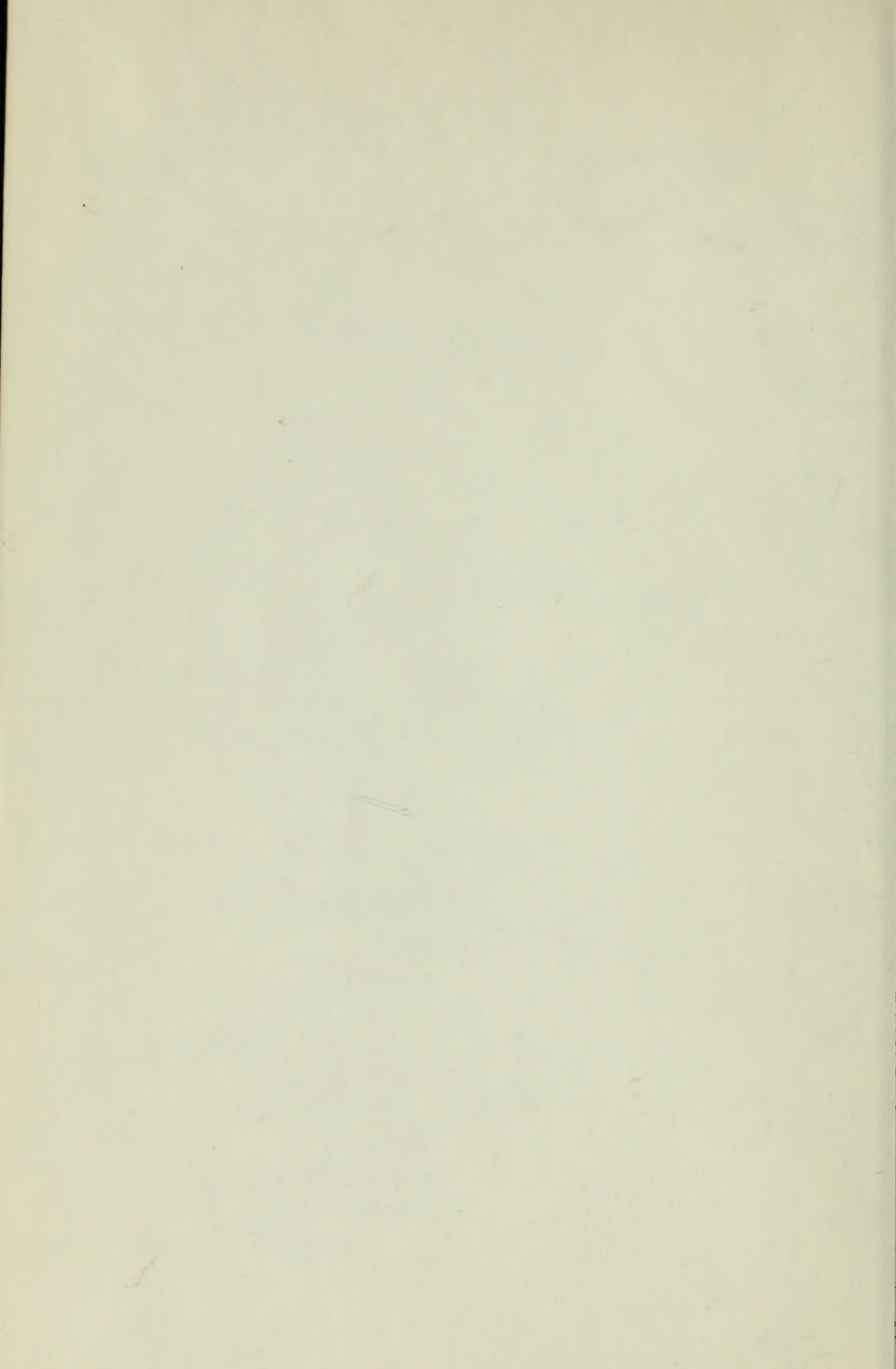
866

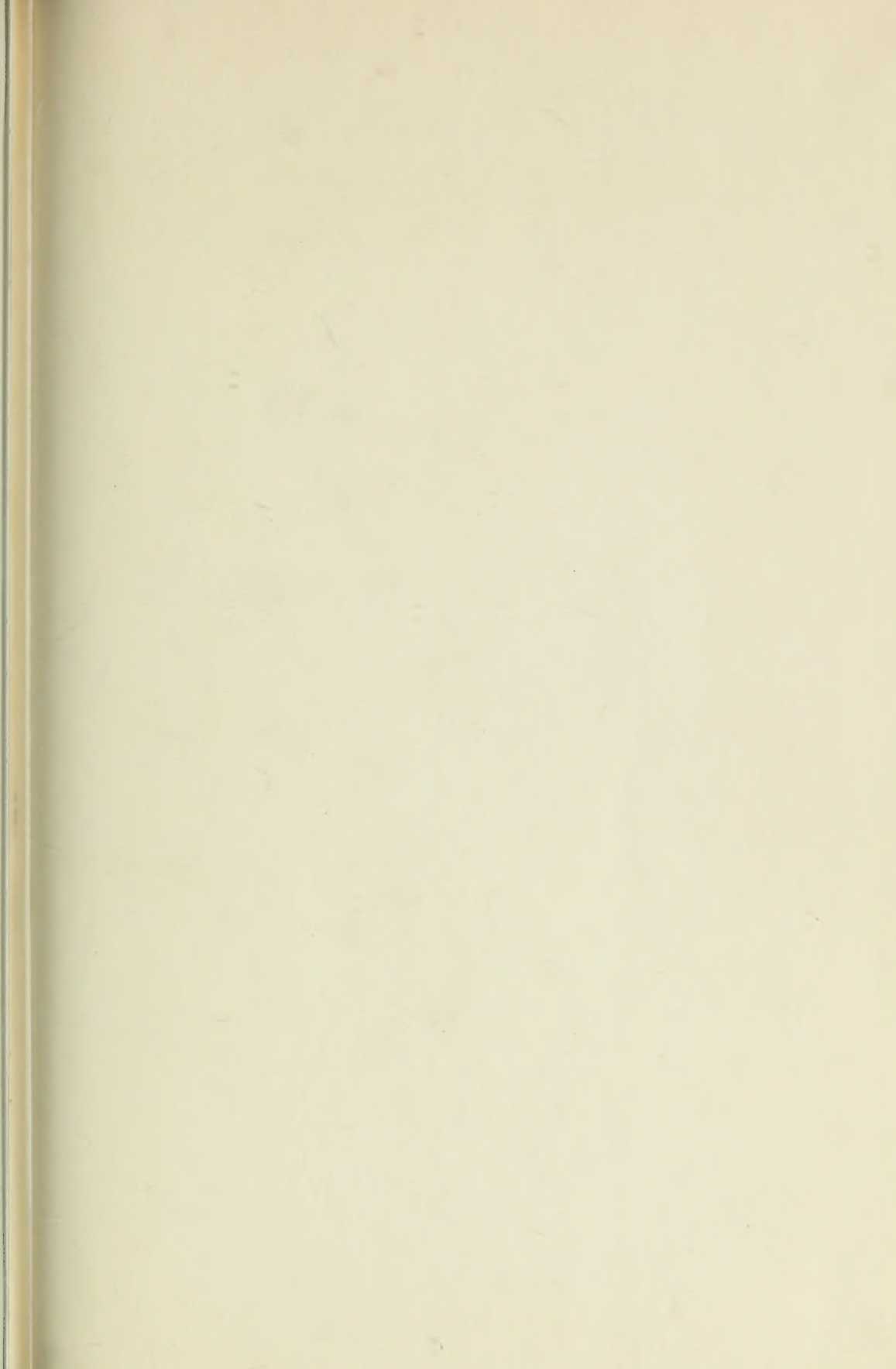
57

105





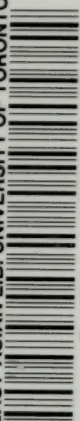






PURCHASED FOR THE
UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY
FROM THE
CANADA COUNCIL SPECIAL GRANT
FOR
FAR EASTERN STUDIES

EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO



3 1761 03024 1350